事業名		であいサポート支援事業			2111-03
担当課		人権・男女共同参画課		現　年	前年度からの繰越
款	05	労働費	当初予算額	3,252,000円	―
項	01	労働諸費	最終予算額	3,252,000円	―
目	01	労働諸費	決　算　額	3,249,984円	―
事業の目的		結婚を希望する市民等に出会いの機会を提供することにより結婚を支援し、少子化対策及び市内定住の促進を図る。			
事業の概要		結婚希望者に対し、相談・紹介・助言などを行う民間団体である加須市結婚相談所「であいサポートｉ」の円滑な運営を側面から支援する。（補助金・適切な指導・助言・事業協力） 加須市結婚相談所の登録者数の増加を図ることも含め、婚活グルメツアーを実施する。			

事業の実績・成果

結婚相談やお見合いイベント開催等により、結婚希望者の出会いをサポートする「加須市結婚相談所であいサポートｉ」に助成した。

事業の円滑な運営を側面から支援することにより、結婚を希望する市民等に出会いの機会を提供し、結婚へ向けた支援を行ったが、結婚には至らなかった。

○活動実績（相談員12人、うち事務局5人）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
登録者数（人）	114 （男69・女45）	124 （男84・女40）	138 （男98・女40）	106 （男79・女27）	95 （男71・女24）
相談件数（件）	1,177	1,658	1,726	1,903	2,288
紹介者数（人）	141	173	114	104	72
お見合い件数（組）	39	72	66	22	15
結婚成立件数（組）	3	2	4	2	0

※お互いの条件に合う人を紹介、希望によりお見合いを設定

○令和7年度　であいふれあいのつどい（お見合いパーティー）実績

回数	年　月　日	対　象	参加総数（人）	男性(人)	女性(人)	マッチング組数（組）（重複含む）
1	令和7年 5月25日（日）	25～50歳の男女	16	9	7	6
2	8月24日（日）	25～50歳の男女	20	12	8	14
3 (※)	11月9日（日）	20～45歳の男女	29	19	10	5
4	12月14日（日）	25～50歳の男女	20	12	8	5
5	令和8年 3月1日（日）	25～50歳の男女	24	14	10	14

(※)栃木県さくら市との「姉妹都市婚活グルメツアー」

○SAITAMA出会いサポートセンター（恋たま）への参加

利用登録者数　男性192名　女性111名　合計303名（令和8年3月末）

事業名		就業支援事業			3112-01
担当課		産業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	05	労働費	当初予算額	931,000円	―
項	01	労働諸費	最終予算額	931,000円	―
目	01	労働諸費	決　算　額	288,016円	―
事業の目的		市民が安定した生活を営めるよう、厳しい雇用情勢に対応し、求職者の早期就業を支援する。			
事業の概要		国や県、関係機関と連携し、セミナーや相談会等を開催するとともに、内職相談を実施する。また、就業支援に関する情報を市ホームページやSNSなどを通じ広く提供する。			

事業の実績・成果

就業を希望する市民に対して、国・県及びその他関係機関との連携により、それぞれの状況に応じた就業支援セミナー等を実施することにより、早期就業を支援した。

・ 就業支援セミナー等の利用実績　（単位：人）

催事名	参加人数	共催者
生活保護受給者等就労相談 （全40回、生活保護受給者等を対象とした相談員による就労相談）	166	ハローワーク行田
就業支援セミナー （全2回、求職活動の内容や面接履歴書作成等の指導）	31	ハローワーク行田
県北地域障害者就職面接会 （障がい者を対象とした面接会）	63	ハローワーク熊谷・本庄・行田、埼玉労働局、埼玉県 主催 加須市後援
埼玉しごとサポート （就職相談全102回、セミナー全4回、求職者の活動を幅広く支援）	327	埼玉県就業支援課
全年齢向け合同企業面接会in加須 （全1回、全年齢を対象とした面接会）	18	埼玉県就業支援課
地域合同就職相談会in加須 （業務を拡大し広く人材を募集する企業の面接会）	89	埼玉県雇用・人材戦略課 ハローワーク行田
若年者向け就職面接会in加須 （概ね44歳以下を対象とした面接会）	20	ハローワーク行田
福祉の仕事就職面接会 （福祉関連業種の面接会）	32	ハローワーク行田
企業説明会in加須 （全3回、市内企業4社の説明会、個別相談会）	46	埼玉県雇用・人材戦略課
企業de体験セミナー&個別相談 （15歳から49歳までの就労を目指す方やその親・家族向けのセミナー）	2	埼玉県就業支援課 埼玉とうぶ若者サポートステーション
サポステ出張就職相談会 （全25回、働くことに悩みを抱える若者と保護者を対象とした就業支援）	75	埼玉とうぶ若者サポートステーション
合　計	869	

・ 広報、LINE 等 SNS への「就業支援情報」の掲載、配信
　掲載、配信件数：16 件

・ ハローワーク求人情報の提供
　ハローワーク行田が定期的に発行するハローワーク求人情報を、公共施設や加須駅など 32 か所に設置し、情報を入手しやすい環境を整えた。

・ 内職相談
　内職をお探しの方へ内職提供登録事業者のあっ旋と紹介を行った。
　内職相談受付状況の推移　（単位：件）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
相談件数	60	45	60	66	54
紹介件数	40	38	43	60	49
決定件数※	16	13	8	10	7

※決定件数は相談者より連絡があった件数

事業名		勤労者支援事業			3112-02
担当課		産業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	05	労働費	当初予算額	1,504,000 円	―
項	01	労働諸費	最終予算額	1,504,000 円	―
目	01	労働諸費	決　算　額	507,068 円	―
事業の目的		勤労者の労働意欲を向上させるため、勤労者福祉（勤労者の生活の安定・向上）の充実を図る。			
事業の概要		勤労者の生活環境改善のために必要な資金の融資あっ旋を行う。 勤労者生活資金　貸付限度額　100 万円 失業者生活資金　貸付限度額　50 万円 埼玉県の融資制度利用者に対する保証料補助及び利子補給を行う。 労働セミナーを開催する。			

事業の実績・成果

勤労者の生活の安定のために必要な資金の融資あっ旋や労働セミナーの開催等を行うことにより、勤労者の労働意欲の高揚を図った。

・ 預託金額及び融資残額　（単価：円）

令和 7 年度 預託金額		令和 7 年度末 融資残額
勤労者住宅資金	506,000	3 件　229,446
勤労者生活資金	0	0
失業者生活資金	0	0
合　　計	506,000	3 件　229,446

・労働セミナーの開催
　労働者の労働意欲の高揚と勤労者福祉の充実を図るため、埼玉県との共催により、動画配信方式によるセミナー「労働法の基礎セミナー ～賃金の基礎とトラブル対応～」を令和 7 年 6 月 30 日（月）から、「労働法の基礎セミナー ～社会保険・労働保険の基礎と応用～」を令和 7 年 7 月 31 日（木）から、「労働法の基礎セミナー ～労働契約の基礎知識～」を令和 7 年 8 月 25 日（月）から開催し、埼玉県公式 YouTube にて配信した。

事業名		シルバー人材センター支援事業			3112-04
担当課		産業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	05	労働費	当初予算額	18,050,000 円	―
項	01	労働諸費	最終予算額	18,050,000 円	―
目	01	労働諸費	決　算　額	18,050,000 円	―
事業の目的		高齢者が健康で生きがいのある充実した暮らしを送れるよう、高齢者の社会参加を促進する。			
事業の概要		高齢者の就業支援事業を実施する公益社団法人加須市シルバー人材センターの運営費を補助するとともに、適切な指導・助言・事業協力等を実施する。			

事業の実績・成果

高齢者の就業支援事業を実施する公益社団法人加須市シルバー人材センターに助成し、事業の円滑な運営を側面から支援することにより、高齢者の社会参加を促進した。

・ 会員数の推移　（単位：人）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
会員数	896	893	925	1,002	1,029

・ 主な受託実績

	受託件数(件)	契約金額(円)	金額比率(%)	主な仕事
公共事業	946	184,825,882	40.5	公園等清掃、除草、植木剪定
一般企業等	1,955	185,681,980	40.7	除草、清掃、軽作業
個人家庭等	2,321	85,606,439	18.8	除草、植木剪定、障子等張替え
合　計	5,222	456,114,301	100.0	

・ 主な取り組み

（1） 会員の増強

・女性限定入会説明会や女性向けイベントの開催により女性会員を増加させるとともに、保育・福祉関係など女性向けの就業先を開拓。

・会員に対し、就業に関する知識や技能、マナー等の習得、安全就業の徹底など、会員のスキルアップを促進する研修会及び講習会を開催。

・シルバー人材センターのホームページに就業案内、行事日程、会員募集等を随時更新し情報を発信。また、市民まつり等に参加しＰＲ活動を行う他、広報紙「シルバーかぞ」（年 2 回全戸配布）を発行。

・公益財団法人いきいき埼玉の会員確保支援事業を活用して 20,000 部の会員勧誘チラシを作成し、各家庭に配布。

（2） 就業機会の拡大

・女性会員が馴染みやすい仕事の確保として、家事援助の拡大、パソコンを使った仕事や育児支援など新たな就業先を開拓。

・未就業の会員に対して就業相談会を実施するなど、会員と仕事との良好なマッチングを図り退会を抑制。

・企業訪問やシルバー事業の紹介等を実施し、企業等の新規就業先を開拓。

事業名		中小企業退職金共済掛金助成事業			3112-10
担当課		産業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	05	労働費	当初予算額	10,602,000 円	―
項	01	労働諸費	最終予算額	10,602,000 円	―
目	01	労働諸費	決　算　額	9,762,400 円	―
事業の目的		雇用を安定させ労働意欲を向上させるため、市内中小企業における勤労者福祉の充実（退職金の確保）を図る。			
事業の概要		市内中小企業に対して、中小企業退職金共済法に定める退職金掛金の一部を助成する。 ・新規加入月から３年間 ・一人につき掛金月額（上限 5,000 円）に 0.2 を乗じて得た年間総額			

事業の実績・成果

市内の中小企業の事業主に対して、中小企業退職金共済法に定める退職金掛金の一部を助成することにより、中小企業者の費用負担を軽減し、勤労者の雇用の安定と労働意欲の高揚を図った。

・ 令和７年度の実績

区　分	補助対象数	補助交付数	補助交付率（%）
事業所数	164	148	90.2
従業員数(人)	1,076	1,047	97.3

・ 補助金交付事業所等の推移

区　分	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
事業所数	158	155	162	160	148
従業員数(人)	1,036	1,028	1,105	1,072	1,047
補助金総額(円)	8,920,600	8,362,600	9,457,800	9,619,000	9,762,400

事業名		ふるさとハローワーク事業			3112-12
担当課		産業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	05	労働費	当初予算額	1,404,000 円	―
項	01	労働諸費	最終予算額	1,404,000 円	―
目	01	労働諸費	決　算　額	1,254,757 円	―
事業の目的		職業紹介機能を整え、市民の就業機会の増加を図る。			
事業の概要		加須市ふるさとハローワークを国とともに管理・運営し、求職者に身近で便利な職業相談・職業紹介サービスを提供する。			

事業の実績・成果

加須市ふるさとハローワークを国とともに管理・運営し、求職中の市民に、より身近な場所で職業相談・職業紹介サービスを提供することにより、早期就業を支援した。

・ 利用実績　（単位：人）

	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
求人検索	2,610	1,916	1,847	1,482	1,180
職業相談	6,914	5,559	5,907	5,716	5,586
職業紹介	2,107	1,654	1,705	1,650	1,390
就職決定者	429	434	399	427	373

事業名		女性就業支援事業			3113-01
担当課		人権・男女共同参画課		現　年	前年度からの繰越
款	05	労働費	当初予算額	44,000円	―
項	01	労働諸費	最終予算額	44,000円	―
目	01	労働諸費	決　算　額	35,500円	―
事業の目的		活力ある産業のまちづくりを支援するため、女性の活躍を支え女性のための就業支援を行う。			
事業の概要		女性の様々なニーズに対応できるよう、多様な就労形態等の情報を発信し、潜在的に就労意識のある女性の発掘から就業に向けて支援する。			

事業の実績・成果

○　女性就業支援セミナー

結婚・出産・育児・介護等により仕事を辞めた女性の、再び仕事を始めたい、働きたいという希望を叶えるため、就業支援セミナーを実施して、再就職するための知識を提供し、参加者の意識を高めた。

	日　時	場　所	テーマ	参加者数	その他
第1回	令和7年6月26日 10:00～11:30	市民プラザかぞ　5階活動室	「やりたい仕事を明確にし、内定を勝ち取ろう」	16人	ハローワーク行田との共催
第2回	令和7年9月16日 10:00～12:00	ＷＥＢ開催	「在宅ワーク実務スキルセミナー【生成AI 活用入門セミナー】」	0人	埼玉県、行田市、羽生市、久喜市、北本市、八潮市、蓮田市との共催
第3回	令和7年10月28日 10:00～12:00	ＷＥＢ開催	「未来のためのお金のハナシ」	0人	埼玉県、行田市、羽生市との共催
第4回	令和7年12月8日 10:00～11:30	市民プラザかぞ　5階活動室	「Ｃｈｅｃｋ✓面接のポイント～自分に合った話し方・伝え方～」	15人	ハローワーク行田との共催
第5回	令和8年1月16日 10:00～11:30	市民プラザかぞ　5階活動室	「自分らしい印象アップ！」	7人	
第6回	令和8年2月6日 10:00～11:30	市民プラザかぞ　3階301 会議室Ａ・Ｂ・Ｃ	「Ｃｈｅｃｋ✓面接のポイント～自分に合った話し方・伝え方～」	15人	ハローワーク行田との共催

事業名	農業委員会運営事業			3211-10
担当課	農業委員会		現　年	前年度からの繰越
款 06	農林水産業費	当初予算額	24,116,000 円	－
項 01	農業費	最終予算額	24,116,000 円	－
目 01	農業委員会費	決　算　額	20,038,492 円	－
事業の目的	優良農地を維持保全し、効率的な農地の利活用を図るため、農業委員、農地利用最適化推進委員及び事務局が連携して取り組み、農業委員会業務を適正に執行する。			
事業の概要	・農業委員会法第 6 条第 1 項事務（農地権利移転許可、農地転用の意見、遊休農地への対応等） ・農業委員会法第 6 条第 2 項事務（農地等の利用の最適化の推進） ・農業委員会法第 6 条第 3 項事務（法人化、農業経営の合理化、情報提供等） ・農業者年金基金からの委託業務等。			

事業の実績・成果

・農業委員会の業務を適正に執行した。（原則、毎月 25 日に農業委員会総会を開催）

（農地移動件数の推移）

（単位:件）

農地法第 3 条	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
	242	262	226	271	288

※農地法第 3 条:　農地の売買・貸借等による権利移動

（単位:件）

農地法第 4 条	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
	59	54	34	50	44

※農地法第 4 条:　農地の所有者が自ら農地を農地以外に転用する場合

（単位:件）

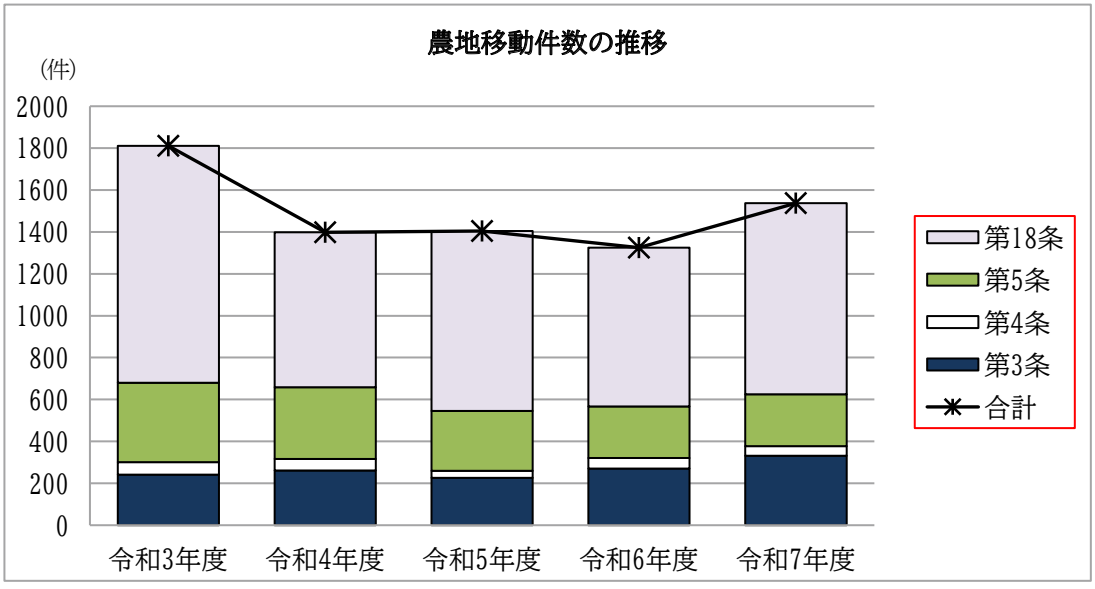
農地法第 5 条	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
	379	342	286	246	238

※農地法第 5 条:　権利移動を伴い農地を農地以外に転用する場合

（単位:件）

農地法第 18 条	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
	1131	741	858	758	913

※農地法第 18 条:　農地の貸借の合意解約



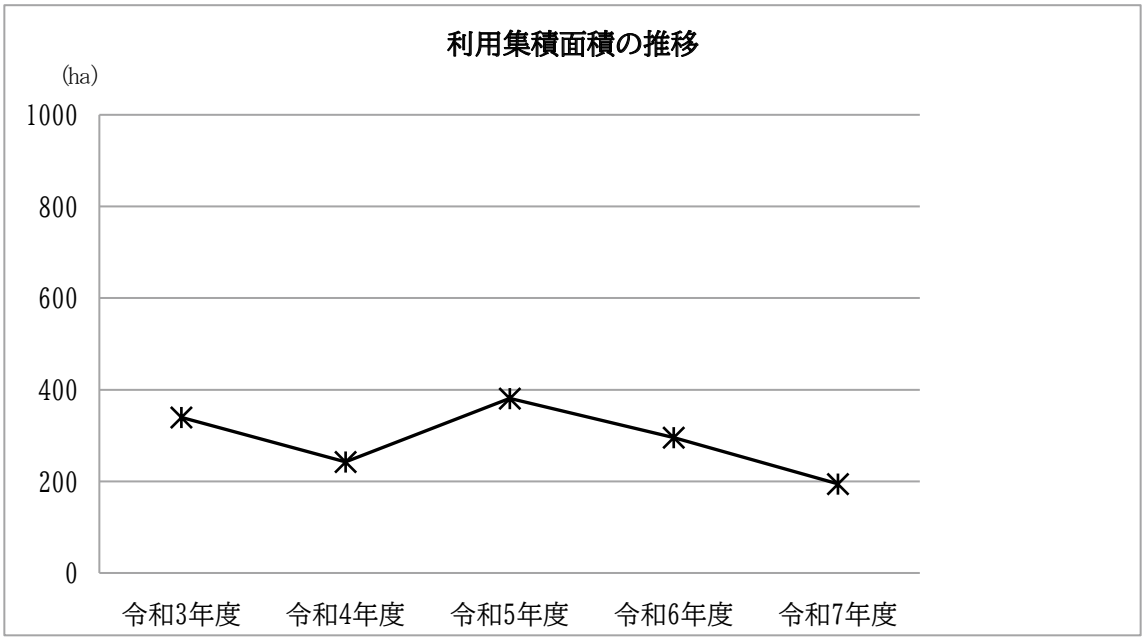
・農地パトロールの実施
　全農業委員及び農地利用最適化推進委員による管内の全農地のパトロールを実施
　地域のパトロールを各地区の担当農業委員及び農地利用最適化推進委員と連携して通年実施

・農用地利用集積の推移
　農地中間管理事業による貸借を実施
　農用地利用集積計画に基づく利用権の設定

（単位：ha）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用集積面積	339.29	242.60	381.08	295.87	194.57

※令和7年度からは、利用権の設定が廃止された。



・翌年度への繰越事業（繰越明許）　　836,000円
翌年度への繰越事業の内容
　自治体情報システム標準化に伴う農地台帳管理システムの連携対応　　836,000円

令和7年度から令和8年度へ繰り越す理由
　住民情報システムに連携する農地台帳管理システムについては、他の自治体での運用テストや稼働後の不具合等が確認されたことから、システムの品質及び安定した行政運営を確保するため、令和8年度へ延期し、必要な予算の繰り越しを行った。

事業名		耕作放棄地解消事業			3211-11
担当課		農業委員会		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	180,000円	―
項	01	農業費	最終予算額	180,000円	―
目	01	農業委員会費	決　算　額	156,800円	―
事業の目的		優良農地の保全及び耕作放棄地の発生の防止と解消に向け、農地の有効活用を図る。			
事業の概要		毎年1回の農地利用状況調査を実施し、所有者に対する利用意向調査及び、利用に向けた指導を行う。また、耕作放棄地を解消し、作物の生産を再開する農業者、農業者組織、農業参入法人等が行う再生作業や必要な施設の整備等の取組を総合的に支援する。 また、農業委員及び推進委員の個別訪問を実施し、耕作放棄地の新たな発生を未然に防ぐ。			

事業の実績・成果

・市内全域の耕作放棄地等を把握するため、農業委員及び農地利用最適化推進委員による耕作放棄地の現地調査を実施し、耕作放棄地の再生、活用を図った。

また、農地の適正管理について、所有者等への改善指導を行った。

（市内耕作放棄地の推移）　（単位:ha）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
耕作放棄地	92.7	96.7	90.7	90.9	81.1

（市内耕作放棄地が再生された農地の推移）　（単位:ha）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
営農再開により再生された農地	4.1	4.0	7.0	9.0	2.5

事業名		農業管理事業			3211-12
担当課		農業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	3,483,000 円	―
項	01	農業費	最終予算額	3,596,000 円	―
目	02	農業総務費	決　算　額	2,849,799 円	―
事業の目的		農業施策全般に関わる管理事務を適正に行い、農村環境の保全に資する。			
事業の概要		・農業振興課及び各総合支所農政建設課の効率的な管理運営、事務を適正に行う。 ・県からの移譲を受けた農地転用許可事務等を適切に執行していく。			

事業の実績・成果

・管理運営、事務

所管の公用車の管理、施設の保険料等の諸経費の支払い、関係機関負担金の支払い等、課及び各総合支所農政建設課の事務を適正に行った。

・農地転用許可事務

［農地転用許可件数］　（単位：件）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
農地法第 4 条	39	32	19	31	26
農地法第 5 条	224	226	205	166	168

※農地法第 4 条：農地の所有者が自ら農地を農地以外に転用する場合
※農地法第 5 条：権利移動を伴い農地を農地以外に転用する場合

事業名		農業振興ビジョン進行管理事業			3211-02
担当課		農業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	135,000 円	―
項	01	農業費	最終予算額	33,000 円	―
目	03	農業振興費	決　算　額	33,000 円	―
事業の目的		令和 3 年 3 月に策定した第 2 次農業振興ビジョンについて、各施策を推進し、進捗状況を確認し、PDCA を実施することにより加須市農業の振興を図る。			
事業の概要		農業振興ビジョン推進会議を設置し、農業振興ビジョン達成のための施策の進捗状況の確認・検証をし、さらに各施策を進める。 ・第 2 次加須市農業振興ビジョン （令和 3 年 3 月策定） ・計画期間：令和 3 年度～令和 12 年度			

事業の実績・成果

加須市農業振興ビジョンについて、各施策の進捗状況の確認及び評価を行うとともに、事業の推進を図るため、加須市農業振興ビジョン推進会議において進捗状況を確認した。

・開　催　日　　令和 7 年 8 月 12 日
・出席委員数　　14 名（14 名中）
・議 事 内 容　　第 2 次加須市農業振興ビジョン令和 6 年度実施状況について

令和 6 年度については 32 項目中、22 項目（68.8%）が「目標を達成」と評価された。

［令和 6 年度取組結果（評価区分ごとの項目数等）］

区　分	取組項目数	割　合
1　目標を達成	22	68.8%
2　概ね達成	3	9.4%
3　やや遅れている	5	15.6%
4　大幅に遅れている	2	6.2%

［令和 6 年度取組結果（基本方針ごとの評価数）］

基本方針	目標達成	概ね達成	やや遅れ	大幅遅れ
1 良好な生産基盤の確保と農地の有効活用	6	0	0	0
2 「稼ぐ」農業の確立	4	1	1	2
3 多様な担い手の育成	8	0	1	0
4 市民や他産業と協働する「かぞ農業」の実現	4	2	3	0

事業名		多面的機能支援事業			3211-06
担当課		農業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	35,392,000 円	―
項	01	農業費	最終予算額	35,392,000 円	―
目	03	農業振興費	決　算　額	34,756,581 円	―
事業の目的		集落機能の健全化を促進するとともに、農地、水路等の生産環境の適切な保全を図る。			
事業の概要		農地の多面的機能の向上を図るため、農地・農村環境保全等の共同活動を行う組織に対し、適切な指導・支援を行う。 交付金負担割合（国 1/2、県 1/4、市 1/4） ・加須地域　　7 団体 ・騎西地域　　12 団体 ・北川辺地域　18 団体 ・大利根地域　 2 団体　　合　計　　39 団体			

事業の実績・成果

水路や農道等の維持管理における農業経営体の負担を軽減し、農業・農村が持つ多面的機能の適切な発揮と、農業経営体への農地集積をより一層促進するため、農地・水保全管理支払制度を改変するかたちで、平成 27 年度に法制化された。

・認定（活動組織⇔市）認定年度：令和 7 年度　→ 活動期間終了年度：令和 11 年度 5 団体
認定年度：令和 6 年度　→ 活動期間終了年度：令和 10 年度 1 団体
認定年度：令和 5 年度　→ 活動期間終了年度：令和 9 年度 3 団体
認定年度：令和 4 年度　→ 活動期間終了年度：令和 8 年度 30 団体

活動組織名	対象農用地面積（ha）	年度交付金額（円）	年度交付金額内訳（円）		
			国 1/2	県 1/4	市 1/4
大越美土里の会	18.18	818,100	409,050	204,525	204,525
種足野通川資源保全ネットワーク	57.54	2,589,300	1,294,650	647,325	647,325
内田ヶ谷東部資源保全ネットワーク	26.06	2,040,139	1,020,069	510,034	510,036
牛重環境保全協議会	22.47	1,007,100	503,550	251,775	251,775
下崎環境保全協議会	28.69	1,278,570	639,285	319,642	319,643
芋茎環境保全協議会	10.40	467,360	233,680	116,840	116,840
鴻茎資源保全ネットワーク	41.06	1,746,360	873,180	436,590	436,590
日出安環境保全協議会	11.90	527,500	263,750	131,875	131,875
外田ヶ谷環境保全協議会	11.96	532,800	266,400	133,200	133,200
伊賀袋区水と緑を守る会	9.20	409,200	204,600	102,300	102,300
飯積区水と緑を守る会	20.60	920,600	460,300	230,150	230,150
麦倉北区水と緑を守る会	12.43	537,430	268,715	134,357	134,358
麦倉中区水と緑を守る会	8.56	383,120	191,560	95,780	95,780
麦倉南区水と緑を守る会	20.60	920,600	460,300	230,150	230,150
元久保区水と緑を守る会	6.61	289,930	144,965	72,482	72,483
柳生南区水と緑を守る会	2.28	100,040	50,020	25,010	25,010

柳生北区水と緑を守る会	7.55	331,110	165,555	82,777	82,778
藤畑区水と緑を守る会	4.55	199,630	99,815	49,907	49,908
小野袋区水と緑を守る会	8.83	394,630	197,315	98,657	98,658
柏戸区水と緑を守る会	11.77	525,970	262,985	131,492	131,493
向古河区水と緑を守る会	20.60	920,600	460,300	230,150	230,150
駒場区水と緑を守る会	8.92	395,160	197,580	98,790	98,790
本郷区水と緑を守る会	6.53	289,370	144,685	72,342	72,343
栄東区水と緑を守る会	9.95	440,870	220,435	110,217	110,218
大曽区水と緑を守る会	12.82	576,900	288,450	144,225	144,225
高野区水と緑を守る会	3.27	147,150	73,575	36,787	36,788
柳生新田区水と緑を守る会	8.91	400,950	200,475	100,237	100,238
佐波農地環境保全協議会	8.37	376,650	188,325	94,162	94,163
上崎環境保全協議会	21.98	989,100	494,550	247,275	247,275
町屋新田みどりの会	30.20	880,200	440,100	220,050	220,050
戸川みどり会	33.92	1,001,700	500,850	250,425	250,425
割目地区環境保全グループ	37.08	1,097,000	548,500	274,250	274,250
戸室１０区環境保全協議会	22.85	673,800	336,900	168,450	168,450
上樋遣川地域環境保全協議会	22.58	1,014,820	507,410	253,705	253,705
北辻地区環境保全協議会	37.66	1,129,200	564,600	282,300	282,300
ぴっか美化新川通	19.84	1,608,775	804,387	402,193	402,195
種足古川環境保全協議会	43.42	3,617,842	1,808,921	904,460	904,461
志多見西地区環境保全協議会	64.67	1,566,500	783,250	391,625	391,625
名倉環境保全協議会	51.98	1,559,100	779,550	389,775	389,775
合　　計	806.79	34,705,176	17,352,587	8,676,286	8,676,303

・活動内容

① 農地維持支払交付金… 23,568,700 円

畦畔・農用地法面・水路等の草刈、側溝の泥上げ、農業用施設の点検等

② 資源向上支払交付金事業(地域資源の質的向上を図る共同活動) … 7,947,300 円

施設の軽微な補修、地域住民との交流等の普及・啓発活動、植栽等の景観形成、水質・生態系保全活動等

③ 資源向上支払交付金事業(施設の長寿命化を図る活動) … 3,189,176 円

老朽化が進む農業用用排水路、農道等の施設の長寿命化のための補修・更新等の活動等

事業名		農業振興地域管理事業			3211-09
担当課		農業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	3,594,000 円	―
項	01	農業費	最終予算額	3,594,000 円	―
目	03	農業振興費	決　算　額	3,219,873 円	―
事業の目的		農業振興地域整備計画に基づき、優良な農用地の保全を図る。			
事業の概要		農業振興地域内農用地区域からの除外申出の受付を年 2 回実施する。また、除外申出等に係る農業振興地域整備計画の変更についての協議、検討等を行う。			

事業の実績・成果

・令和 7 年度農業振興地域整備計画の変更として、農用地区域からの除外等を行った。

[申出に基づき農用地区域から除外した農地]　（単位：㎡）

	田		畑		合計	
	筆数	面積	筆数	面積	筆数	面積
令和 3 年度(4 月)	19	8,962	16	7,314	35	16,276
令和 3 年度(10 月)	13	7,639	17	4,046	30	11,685
令和 4 年度(4 月)	8	4,263	10	3,010	18	7,273
令和 4 年度(10 月)	7	3,756	4	1,055	11	4,811
令和 5 年度(4 月)	3	476	8	2,496	11	2,722
令和 5 年度(10 月)	20	13,781	7	2,992	27	16,773
令和 6 年度(4 月)	3	788	2	950	5	1,738
令和 6 年度(10 月)	1	630	7	3,476	8	4,106
令和 7 年度(4 月)	2	1,642	31	11,476	33	13,118

※令和 3 年度から除外申出の受付を年 2 回（4 月、10 月）とした。10 月受付分の農業振興地域整備計画の変更完了は翌年度となる。

[農業振興地域の状況(令和 8 年 3 月末)]　（単位：ha）

	総面積	農用地						混牧林地	農業用施設用地	山林・原野	その他
		農地				採草放牧地	計				
		田	畑	樹園地	小計						
農業振興地域	10,644	4,902	2,158	101	7,161	0	7,161	0	13	82	3,387
うち農用地区域	5,544	4,032	997	101	5,130	0	5,130	0	13	0	401

・農業振興地域整備計画策定委託の実施

加須農業振興地域整備計画は、令和 8 年度以降の計画の改訂を検討するため、農業振興地域整備計画策定委託を実施した。

農業振興地域整備計画策定委託　　3,190,000 円

事業名		加須の農業ＰＲ事業			3212-03
担当課		農業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	1,323,000 円	―
項	01	農業費	最終予算額	1,044,000 円	―
目	03	農業振興費	決　算　額	956,887 円	―
事業の目的		加須市の農業・農産物を市内外に PR することで、消費拡大や生産農家所得の向上を図る。			
事業の概要		加須市の農産物の更なる販売促進が図られるよう、PR・広報活動、即売会等を行うとともに、効果的な方法を検討する。 また、メディア取材等に的確な資料を提供する。			

事業の実績・成果

・各地域農業まつり等への支援

各地域で開催される農業まつり等の運営に対して補助をし、本市農業のＰＲを図った。

（単位：円）

事　業　名	事　業　内　容	事業費	市補助金
加須地域農業まつり	農産物品評会、農産物直売、農機具展示・相談等	1,243,683	813,000
騎西農産物収穫祭	中止	－	－
北川辺ふるさと秋まつり	農産物直売、食品展示販売等	100,000	100,000
童謡のふる里おおとね市民まつり	農産物直売、食品展示販売等	30,704	30,704

・青空市場の開催

加須市の農産物のＰＲと消費拡大を図ることを目的として青空市場を実施した。

［参加団体数の推移］

事業名	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
加須市民平和祭	中止	中止	3	3	4
加須地域市民まつり	中止	8	雨天中止	6	6
加須はなさき公園春まつり	中止	3	3	－	－

※令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により中止

・本庁舎玄関ホールへの養殖魚の展示

市本庁舎玄関ホールに養殖魚を展示しＰＲを図った。

養殖魚・・・ヒレナガニシキゴイ

・農産物ＰＲイベント

渡良瀬遊水地まつり、浦和競馬地域連携などのイベントにおいても、加須産農産物のＰＲ販売を実施した。

事業名		農産物ブランド育成事業			3212-05
担当課		農業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	14,609,000 円	―
項	01	農業費	最終予算額	14,609,000 円	―
目	03	農業振興費	決　算　額	14,332,920 円	―
事業の目的		加須市農産物のブランド化を進め、付加価値の高い「売れる農産物」づくりに資する。			
事業の概要		・市として農産物の共通ブランドを確立させ、市産品のさらなる振興を図るとともに、農産物を使用した加工品の開発の検討を行う。 ・浮野の会の支援をする。			

事業の実績・成果

・そば、いちじくの産地としての定着、ブランド化を推進するため生産者へ支援を行った。

そば産地づくり推進事業（種子代相当額の一部を助成）

作付け拡大支援事業

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
助成農家数（件）	3	1	4	6	5
拡大面積　（㎡）	23,384	6,177	92,853	704,940	438,393
交付金（円）	81,843	21,619	324,985	2,467,289	1,534,375

生産継続支援事業

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
助成農家数（件）	2	0	1	0	0
対象面積　（㎡）	11,644	0	14,602	0	0
交付金（円）	30,274	0	37,965	0	0

いちじく作付拡大対策事業（いちじくの苗木（挿木）購入費の一部を支援）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
助成農家数（件）	5	9	3	1	2
苗木購入数量（本）	406	414	380	50	160
市補助金（円）	71,050	82,800	76,000	11,250	40,000

・北川辺こしひかりの更なる知名度アップのために商標シール、のぼり旗により PR を行った。

［ロゴシール頒布実績］

サイズ（規格）	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	枚数（枚）	金額（円）	購入者数（人）	枚数（枚）	金額（円）	購入者数（人）	枚数（枚）	金額（円）	購入者数（人）
大（12.5㎝×10㎝）5円／枚	940	4,700	4	770	3,850	5	1,410	7,050	10
小（6㎝×4㎝）3円／枚	3,260	9,780	10	4,950	14,850	14	2,050	6,150	8
合　計	4,200	14,480	4,200	5,720	18,700	19	3,460	13,200	18

・良質な農産物の生産技術の研究や新たな加工品づくりに取り組む団体へ支援を行い、ブランド育成に努めた。

（単位:円）

事業主体	事業内容	令和5年度	令和6年度	令和7年度
加須市騎西稲作経営研究会	現地検討会、坪刈りの実施	38,000	38,000	38,000
北川辺米の会	現地検討会、適期刈取指導会の実施	38,000	38,000	38,000
北川辺農産物加工研究会	全体会議、加工実習の実施	38,000	38,000	38,000
農業創生センター加工部会	役員会、打合せ会の実施	30,000	30,000	30,000

・転作麦作付けの拡大と定着化に係る助成

土地利用型作物としての麦の作付拡大及び定着化の推進を図るため、カントリーエレベーターの利用に係る麦の乾燥調製料金の一部（1／3以内）を助成し、土地利用型作物としての転作麦の作付け拡大と定着化を推進した。

［助成農家等の推移］

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
助成農家　（戸）	79	80	81	81	79
補助金額　（円）	8,972,925	7,472,227	9,343,745	12,135,629	12,146,033
麦荷受重量（ｔ）	1,538.1	1,199.6	1,610.1	1,926.4	2,009.4

・農産物の加須ブランドの認定

市内の優れた農産物等を活用し、市のイメージの向上と地域経済の活性化を目指すための、かぞブランド認定制度において、次の24品が認定されている。

①北川辺コシヒカリ　②特別栽培米コシヒカリ　③きゅうり（加須市園芸組合）
④きゅうり（加須市騎西園芸組合）　⑤いちごとまと　⑥木甘坊　⑦つるつきいちご
⑧加須市騎西産の茄子　⑨加須産のいちじく　⑩加須市騎西産の梨　⑪香り豚
⑫加須産の胡蝶蘭　⑬加須産のシクラメン　⑭加須市産酒米 五百万石　⑮ねぎ
⑯彩の国 いもぶた　⑰加須産のカトレア　⑱加須市産酒米 山田錦
⑲ストロベリーフィールズナカヤマの苺　⑳関口農園の朝もぎ完熟梨
㉑シャインマスカット18　㉒平飼い有精卵 おぼろ月　㉓水野農園の朝摘み完熟いちご（あまりん）
㉔北川辺いちご部のいちご（べにたま・あまりん）

事業名		加須市ライスセンター管理運営事業			3212-06
担当課		農業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	1,319,000円	―
項	01	農業費	最終予算額	1,319,000円	―
目	03	農業振興費	決　算　額	1,305,727円	―
事業の目的		米の一大産地として穀類の付加価値を高め、地域農産物のブランド化を図る。			
事業の概要		ライスセンターの運営 遠赤外線乾燥調製施設60石×３基 色彩選別機１基 ６インチもみすり機　１基 温湯消毒器　１基 精米機（移動用）１基 フォークリフト１台			

事業の実績・成果

株式会社かぞ農業公社が、指定管理による施設の管理運営を行い、特別栽培米及び一般米の乾燥調製を行った。高温等の異常気象が常態化しているものの、カメムシ等の害虫被害は減少したこともあり、荷受重量、施設使用料共に増加した。

・指定管理の期間
令和6年4月1日～令和9年3月31日の3年間

・業務内容
(1) 施設及び設備の管理運営
(2) 穀類の乾燥及び調整
(3) センターの利用の許可
(4) センターの利用料金の徴収

・業務実績

	面積（ha）	荷受重量（kg）	施設使用料（円）
令和3年度	46.31	273,715.9	6,925,010
令和4年度	47.62	297,275.8	7,521,077
令和5年度	53.00	338,358.7	8,560,475
令和6年度	50.10	318,236.4	8,051,381
令和7年度	52.94	379,831.5	9,609,737

・施設の修繕
張込コンベア修繕　781,000円
ベルトコンベアエンドレス交換修繕　484,000円

事業名		園芸振興事業			3212-07
担当課		農業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	3,425,000 円	―
項	01	農業費	最終予算額	13,675,000 円	―
目	03	農業振興費	決　算　額	2,958,934 円	―
事業の目的		園芸農家関係団体の活動への支援を通じ、園芸農家の経営の安定・合理化、産地力の強化促進する。			
事業の概要		・園芸農業者（野菜・果樹）で組織する各農業団体に補助金を交付し、活動を支援。（野菜4団体、果樹3団体）			

事業の実績・成果

・園芸団体運営補助事業

市内の園芸農業者（野菜・果樹・花き）で組織する各農業団体の運営や事業を支援し、本市園芸農業の振興を図った。

（単位：円）

事　業　主　体	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
加須市園芸組合連合会	670,000	670,000	670,000	670,000	670,000

事業内容：加須地域内の園芸農業者（野菜、果樹、花き）で組織する各農業部会（胡瓜・茄子、梨、葡萄、花き）の運営や事業、園芸農産物の生産改良及び販売改善等を支援し、本市園芸農業の振興を図った。

（単位：円）

事　業　主　体	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
加須市騎西いちじく組合	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000

事業内容：騎西地域内のいちじく農家の発展に期するため、計画的にいちじくの生産・生産物の共同出荷・講習を実施し、いちじく栽培技術の向上及び安定推進を支援し、地域農業の振興を図った。

（単位：円）

事　業　主　体	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
加須市騎西露地野菜研究会	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000

事業内容：騎西地域内のブロッコリーの露地野菜農家で組織する団体により、農産物の生産改良及び販売改善新技術の研究導入等を支援し、野菜生産技術の向上と経営の安定を図った。

（単位：円）

事　業　主　体	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
加須市騎西果実生産協同組合	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000

事業内容：騎西地域内の梨農家の発展に期するため、計画的に梨の生産・生産物の共同出荷・講習を実施し、梨栽培技術の向上及び安定推進を支援し、地域農業の振興を図った。

（単位：円）

事　業　主　体	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
加須市騎西園芸組合	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000

事業内容：騎西地域内の胡瓜・茄子の施設野菜農家で組織する団体により、農産物の生産改良及び販売改善新技術の研究導入等を支援し、野菜生産技術の向上と経営の安定を図った。

（単位：円）

事　業　主　体	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
青果物出荷協議会	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000

事業内容：北川辺地域内の系統販売農家の会員相互の事業上の連絡・協調、出荷体制の確立、環境保全型農業の推進を支援し、地域農業の振興を図った。

・梨赤星病防除対策事業

市内の梨栽培農家で組織する団体による、薬剤の共同購入及び啓発看板の設置等により梨園周辺住民の理解が得られ、病原元となる植物抑制が図られた。

（単位：円）

事　業　主　体	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
加須市園芸組合連合会梨部会	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000

・多目的防災網設置補助金

防ひょう・防風網の整備(新設及び張替え)を行う農家に対して整備費用の一部を支援した。

補助率：資材費の3分の1以内

	加須地域	騎西地域	計
作　物	梨	梨	
件　数	1件	4件	5件
金　額	103,050円	1,689,884円	1,792,934円
ほ場面積	803㎡	9,202㎡	10,005㎡

・物価高騰に係る対応を実施した（巻末参照）

事業名		花・植木振興事業			3212-08
担当課		農業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	66,000円	―
項	01	農業費	最終予算額	66,000円	―
目	03	農業振興費	決　算　額	66,000円	―
事業の目的		地元花卉市場の立地を活かし、本市の花卉園芸の振興を図る。			
事業の概要		・花卉生産団体へ補助金を交付し事業費を支援する。(2団体)			

事業の実績・成果

市内で花き園芸を営む農業者の団体に対し、運営費及び事業費の一部を助成し、花き園芸農業の活性化及び花・植木の生産振興を図った。

[花・植木栽培育成事業費補助金]　（単位：円）

事　業　主　体	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
加須市騎西花卉園芸組合	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
加須市北川辺花卉園芸組合	61,000	61,000	61,000	61,000	61,000

事業名		エコ農業推進事業			3212-10
担当課		農業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	17,959,000円	―
項	01	農業費	最終予算額	11,124,000円	―
目	03	農業振興費	決　算　額	8,388,200円	―
事業の目的		市民の食の安全・環境対策への関心が高まるなか、農産物の安全安心による付加価値を高めるとともに、地球温暖化や生物多様性に配慮した営農活動を促進し、農業経営の安定と環境保全に資する。			
事業の概要		環境保全のため、営農活動から排出される廃ビニール廃プラスチック（産業廃棄物）の適正処理や、減農薬、減化学肥料、有機農業等の取組に対する支援を行う。			

事業の実績・成果

・特別栽培農産物の生産促進

農林水産省の「特別栽培農産物に係る表示ガイドライン」に基づき、栽培期間中、節減対象農薬及び化学肥料（窒素成分）の双方を慣行の5割以下に減らして栽培された特別栽培農産物の生産促進を図った。

［生産面積の推移］　（単位：ａ）

種　別	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
米	8,623	7,209	5,731	5,907	4,459
麦	0	3,351	110	2,488	0
大豆	0	0	140	0	0
野菜・果樹	211	65	58	29	40

・環境保全型農業推進事業補助金

市内の園芸農業者で組織する団体による、環境に配慮した害虫の共同駆除により、害虫発生の抑制が図られた。　（単位：円）

事　業　主　体	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
加須市園芸組合連合会	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000

・環境保全型農業直接支払交付金

地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者の組織する団体に対して、当該営農活動の実施に対する支援を行い、農業分野の有する環境保全機能を発揮させた。

［取組実績］

区　分	令和7年度
団体構成員数	19人
取組作物・面積	・有機農業による水稲　2,903a　・有機農業による野菜類　125a ・有機農業による麦、豆類　270a　・有機農業による果樹　7a ・有機農業によるそば　1,166a ・緑肥の取組による麦、豆類　29a　・緑肥の取組による水稲　108a ・総合防除による水稲　225a 合計　4,833a
交付額	5,138,700円

・自園給食を実施する6公立保育所に有機米を提供

加須市環境保全型農業推進協議会の会員のうち、有機農業（化学肥料・化学合成農薬を使用しない取組）に取り組んでいる4件から、市が1週間（5日）分の加須産有機米を購入し、自園給食を実施している6公立保育所に提供し、有機農業の知名度向上に繋げた。

有機米提供農家数　4件　6公立保育所　計137.5kg　97,000円

・有機転換推進事業補助金

新たに有機農業への転換等に取り組む農業者に対し、有機種苗の購入や土づくり等、有機農業の生産開始に必要な経費相当額を支援した。

支援者（就農地）	対象面積等	補助金額等
個人・1経営体 （大利根地域）	17a （水稲）	慣行農業から有機農業への転換初年度となる農地 34,000円（10ａあたり2万円以内）

・農業用廃プラスチック処理運営協議会補助金

使用済み農業用プラスチック（廃プラ）を適正に処理するため、この収集処理を行う団体に対し、補助金（処理費用の一部）を交付した。この取組により野外での廃プラ焼却（野焼き）や不法投棄等に歯止めをかけ、更にリサイクルを推進し、廃プラの適正処理が図られた。

(1) 塩化ビニール…補助金額 684,750円　（単位：kg）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
処　理　量	20,210	16,000	12,930	11,290	12,450

(2) ポリエチレン…補助金額 2,345,750円　（単位：kg）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
処　理　量	55,200	56,920	51,690	50,660	42,650

・環境にやさしい農業推進事業補助金

土壌環境や生物多様性の保全などの農業生態系を守るとともに、持続可能な農業を推進するため、化学農薬や化学合成肥料の使用を低減する「環境にやさしい農業」に取り組む農業者に対して、補助対象資材の購入費用の一部を補助。

	令和6年度	令和7年度
件数（計）	2	1
給付金額（計）	17,000	18,000

・有機JAS認証取得等支援事業補助金

有機JAS認証の定着及び取組を図ることにより、農産物の付加価値を高めて販路拡大等につなげるとともに、地球温暖化や生物多様性に配慮した有機農業を推進するため、有機JAS認証の取得又は更新に係る費用の一部を補助。

	令和6年度	令和7年度
件数（計）	3	0
給付金額（計）	77,000	0

事業名		農作物災害対策事業			3212-11
担当課		農業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	20,197,000 円	―
項	01	農業費	最終予算額	27,787,000 円	―
目	03	農業振興費	決　算　額	13,358,000 円	―
事業の目的		天災による災害によって損失を受けた農業者に対し、被害農作物の回復等に要する補助及び農業経営に必要な資金の補助等を構ずることにより、農業経営の安定を図ることを目的とする。			
事業の概要		被害状況を勘案し、病害虫の防除用農薬購入費、樹勢・草勢の回復用肥料購入費等、農業用施設の建設費及び農業経営の継続に対する取組支援の助成を行う。			

事業の実績・成果

・農業共済組合事業負担金

農業災害補償法に基づく埼玉県農業共済組合に対し、区域市町で事務費負担金を負担した。

農業共済事業事務費負担金　2,020,000 円

・収入保険制度の周知支援

平成 31 年 1 月から始まった収入保険制度について、ポスター掲示や市のホームページで周知を行った。

・カメムシ等防除支援交付金

令和 6 年度に大量発生したカメムシにより、水稲の品質の低下及び収量の減少による被害が多数発生したため、市のホームページ等で周知し加須市カメムシ等防除支援交付金を交付した。

	交付件数（件）	交付額（円）
令和 7 年度	625	11,297,000

※交付金申請期間：令和 7 年 7 月 1 日から令和 8 年 2 月 27 日まで

・物価高騰に係る対応を実施した（巻末参照）。

事業名		経営安定・自給力向上事業			3212-12
担当課		農業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	8,227,000 円	―
項	01	農業費	最終予算額	8,249,000 円	―
目	03	農業振興費	決　算　額	7,832,580 円	―
事業の目的		経営所得安定対策等の推進により農業経営の安定を促進するとともに食料自給率の向上に資する。また、農業再生協議会の運営により地域農業の調整役を担う。			
事業の概要		農業経営の安定と生産力の確保を図るため、各種交付金等により助成する。			

事業の実績・成果

・加須市農業再生協議会の事務局業務

加須市農業再生協議会の運営により、4 地域（加須、騎西、北川辺、大利根）の農業に関する調整を行うとともに、経営所得安定対策等を推進することにより、安定した農業経営の促進に資した。

また、各地域の水田農業推進協議会との綿密な調整を図るため、幹事会（2 回）、通常総会及び臨時総会を開催し地域農業の調整役を担った。

会議名	期日	場所	議案
幹事会 （第 1 回）	令和 7 年 6 月 10 日	加須市役所	・加須市農業再生協議会通常総会議案書（案）について
通常総会	令和 7 年 6 月 26 日	ほくさい農業協同組合 加須中央支店	・加須市農業再生協議会令和 6 年度事業報告及び収支決算の承認について ・監査報告 ・加須市農業再生協議会令和 7 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について ・加須市農業再生協議会で採用する畦畔率について
幹事会 （第 2 回）	令和 8 年 1 月 19 日	加須市役所	・加須市農業再生協議会臨時総会議案書（案）について
臨時総会	令和 8 年 1 月 28 日	ほくさい農業協同組合 加須中央支店	・令和 8 年産主食用米の「生産の目安」の配分（案）について

・畑地化促進事業

水田を畑地化して畑作物の本作化に取り組む農業者に対して、畑地化に伴う費用（土地改良区の地区除外決済金等）の負担等に要する経費を支援した。

支援者	対象面積等	対象経費
市内農業者 （1 経営体）	149.35a 間口地区	葛西用水路土地改良区が定める地区除外決済金 1 ㎡当たり 148 円（1ａ当たり 14,800 円）

事業名		農業公社支援事業			3213-01
担当課		農業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	8,951,000円	―
項	01	農業費	最終予算額	7,554,000円	―
目	03	農業振興費	決　算　額	7,504,090円	―
事業の目的		農作業受託による経営支援や農地の利用集積調整等により、農地の有効活用を促進する。			
事業の概要		良好な農地を次代に引き継ぐため次の支援を行う。 ・農地の集積・流動化の支援 ・不耕作地の解消支援 ・経営農地の農産物栽培事業支援 ・公社の事業及び経営支援			

事業の実績・成果

株式会社かぞ農業公社の経営農地は、年々増加している状況の中で、農作業を効率的に行うため市が購入した農業用機械を農業公社に無償貸与した。

・業務実績　（単位：ａ）

作業内訳	経営農地						農地の集積
	水稲	小麦	蕎麦	大豆	野菜等	計	
令和3年度	2,893	990	630	668	200	5,381	5,380
令和4年度	2,888	1,347	838	690	145	5,908	5,410
令和5年度	2,790	1,651	838	691	140	6,110	5,655
令和6年度	2,919	1,701	992	731	90	6,433	6,016
令和7年度	3,096	1,777	1,366	638	125	7,002	6,427

・農業用機械の更新等
- ・普通型コンバイン　1台　　7,064,090円
- ・コンベア搬送機　　1台　　440,000円

事業名		担い手育成支援事業			3213-02
担当課		農業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	12,060,000 円	16,648,000 円
項	01	農業費	最終予算額	17,343,000 円	16,648,000 円
目	03	農業振興費	決　算　額	10,447,158 円	16,648,000 円
事業の目的		認定農業者等の担い手の育成及び確保を図り、優れた農業経営体の構築に資する。			
事業の概要		・認定農業者の確保・育成に努めるとともに、担い手組織活性化のための支援を行う。 ・制度資金活用に係る利子補給・利子助成を行い、経営支援を行う。 近代化資金 1%以内 ・農福連携の推進			

事業の実績・成果

・市内農業者で組織する担い手関連団体の運営や各種事業に対して補助し、農業の振興を図った。

（単位:円）

事業主体	事業内容	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
ヤング農マン KAZO	市民まつり参加、定例会の開催など	30,000	30,000	30,000	30,000
加須市農村女性組織連合会	農業まつり参加、研修会、料理教室実施など	50,000	50,000	50,000	50,000
加須市若手農業女性生活研究会	研修会、手芸教室実施など	40,000	40,000	40,000	40,000
加須市北川辺 4H クラブ	農業体験講師、他団体交流会など	44,000	44,000	44,000	44,000
大利根農業青年会議所	市民まつり参加、研修会参加など	30,000	30,000	30,000	30,000
童謡のふる里おおとね主穀作受託協議会	特別栽培米栽培・販売、視察研修実施など	50,000	50,000	50,000	50,000

・担い手農家の経営改善等、担い手の育成・確保のための推進及び支援を行った。

［認定農業者数（各年度 3 月 31 日現在)］　（単位：経営体）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
市認定	260	273	268	269	255
国・埼玉県認定	12	17	23	28	31
合計	272	290	291	297	286

［新規認定農業者数（市認定）(各年度 3 月 31 日現在)］　（単位：経営体）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
新規認定数	17	23	3	16	12

・農業近代化資金借入に対する利子補給実績　1,725,170 円
（上期 53 件 877,560 円、下期 53 件 847,610 円）
農業近代化資金の借入者に対し利子補給を行い、農業者等の資本整備の高度化を図り、農業経営の近代化に努めた。

・農地利用効率化等支援事業（5,491,000 円）
地域の担い手が融資を受け、農業用機械・施設等を導入する際、融資残について補助金（国 100%）を交付することにより担い手の育成・確保を推進した。

［対象地区・内容］

地区名・事業対象者	整備内容	補助額	事業費
騎西地域第2地区・認就（第4-3号）	コンバイン　1台	5,491,000円	20,134,950円

※認就：認定新規就農者

・スマート農業・農業支援サービス事業導入総合サポート緊急対策事業（2,937,000円）

市内の事業者が農作業受託等の新規・拡大に取り組む際、スマート農業機械を導入する経費及び専門人材を育成する経費について補助金（国100%）を交付することにより主体的な経営展開を支援した。

［対象地区・内容］

事業対象者	整備内容	補助額	事業費
認農（第7-加5号）	可変施肥ドローン　1台	1,241,000円	2,731,300円
	研修受講費	360,000円	396,000円
認農（第7-加13号）	農業用ドローン　1台	1,116,000円	2,456,300円
	研修受講費	220,000円	242,000円

※認農：認定農業者

【前年度からの繰越事業（繰越明許）】　16,648,000円

・前年度からの繰越事業の内容

担い手確保・経営強化支援事業（16,648,000円）

地域の担い手が融資を受け、農業用機械・施設等を導入する際、融資残について補助金（国100%）を交付することにより主体的な経営展開を支援した。

［対象地区・内容］

地区名・事業対象者	整備内容	補助額	事業費
加須地域第1地区・加須地域第2地区・大利根地域広認（令6農支-11号）	コンバイン　1式 田植機　1式 鎮圧ローラー　1台 アースロータリー　1台 ディスクハロー　1台 ブームスプレーヤー　1台	16,648,000円	36,629,650円

※広認：広域認定農業者

・令和6年度から令和7年度へ繰り越した理由

12月に国の「担い手確保・経営強化支援事業」を要望する農業者がおり採択となったが、年度内の事業完了が困難となったため。

【翌年度への繰越事業（繰越明許）】　4,305,000円

・翌年度への繰越事業の内容

地域農業構造転換事業（4,305,000円）

地域の担い手が農業用機械・施設等を導入する際、補助金（国100%）を交付することにより主体的な経営展開を支援する。

［対象地区・内容］

地区名・事業対象者	整備内容	補助額	事業費
加須地域第2地区・認農（第6-加12号）	田植機　1式	1,783,000円	6,538,200円
加須地域第3地区・騎西地域第2地区認農（第4-加10号）	乗用管理機　1式	2,522,000円	9,250,000円

※認農：認定農業者

・令和7年度から令和8年度へ繰り越す理由

1月に国の「地域農業構造転換支援事業」を要望する農業者がおり採択となったが、年度内の事業完了が困難となったため。

事業名		新規就農者育成事業			3213-07
担当課		農業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	25,437,000 円	―
項	01	農業費	最終予算額	19,437,000 円	―
目	03	農業振興費	決　算　額	11,818,600 円	―
事業の目的		今後の加須市の農業の新たな担い手を確保するため、新規就農者の育成を図る。			
事業の概要		・新たな担い手の確保・育成を図るため、就農のための研修や設備取得等の支援を行う。 ・知識や技術取得のための「加須の農業担い手塾」を開講する。			

事業の実績・成果

・研修事業

(1) 対象者

市内に住所を有する方で、市内で就農することが確実と見込まれ、年齢が 64 歳以下の方

(2) 支援内容

次のいずれかの研修を受講した場合、1 ヶ月当たり 3 万円を最長 3 年間支給（市が負担）

① 埼玉県農業大学校が実施する研修

② 市内の農業者、農業生産法人等のもとでの研修

※研修生を受け入れた農業者等（埼玉県農業大学校を除く）に対し、1 ヶ月当たり 2 万円を支給（市が負担）

[新規就農者育成数・研修奨励金の推移]

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
新規対象者数（人）	1	0	1	0	3
新規対象者支給額（円）	360,000	0	360,000	0	810,000
事業継続者数（人）	0	0	0	0	0
事業継続者支給額（円）	0	0	0	0	0
合　計	1	0	1	0	3
	360,000	0	360,000	0	810,000

[新規就農者研修受入農家数・謝金の推移]

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
研修受入農家数（人）	0	0	0	0	2
受入農家支給額（円）	0	0	0	0	540,000

・助成事業

(1) 対象者

市内に住所を有する方で、次のいずれかの要件に該当する方

① 埼玉県就農計画認定要領に基づく就農計画の認定を受けた方

② 新たな営農類型に変更しようとする方

③ 就農に意欲と熱意があると認められる方

(2) 支援内容

市内で就農するときから 5 年以内に必要となった農業用設備又は農業用機械を取得する場合、費用の 2 分の 1 以内の額（上限 100 万円、1 年度限り）を助成（市が負担）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
新規対象者数（人）	4	3	1	4	3
対象者認定番号等 ※	新規(第 1-3 号) 新規(第 1-4 号) － 新規(第 2-3 号)	新規(第 3-1 号) 新規(第 3-15 号) －	新規(第 4-1 号)	－ 新規(第 5-3 号) 新規(第 4-2 号) 新規(第 6-1 号)	新規(第 5-2 号) 新規(第 4-3 号) 新規(第 7-4 号)
新規対象者補助金額（円）	3,938,921	3,000,000	1,000,000	3,306,636	3,000,000

※新規：認定新規就農者

－：認定新規就農者以外

・営農開始資金
※「農業次世代人材投資資金」から「営農開始資金」へ令和4年度に名称変更
(1) 対象者
農業経営者となることについて強い意欲を有している50歳未満（農業次世代人材投資資金は45歳未満）の独立・自営就農する方
(2) 支援内容
農業経営開始から経営が安定するまで最長3年間（農業次世代人材投資資金は最長5年間)、最大資金150万円を交付（国が負担）
※令和3年度は、令和4年度交付分の前倒し交付（150万円）を実施した。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
給付対象者数（人）	2	3	3	1	2
対象者認定番号 ※	新規(第30-3号) 新規(第2-1号)	新規(第30-3号) 新規(第2-1号) 新規(第3-1号)	新規(第30-3号) 新規(第2-1号) 新規(第3-1号)	新規(第2-1号)	新規(第2-1号) 新規(第7-1号)
給付金額（円）	3,750,000	3,000,000	3,650,450	1,350,000	2,700,000

※新規：認定新規就農者

・経営継承・発展支援事業
(1) 対象者
中心経営体である先代事業者から経営に関する主宰権の移譲を受けた後継者であって、要件等を満たしたもの
(2) 支援内容
地域農業の担い手から経営を継承した後継者が経営の発展に向けた取組を行う際に必要となる経費（機械装置等費や研修費等）について、100万円を上限に交付（国と市が1/2ずつ負担）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
給付対象者数（人）	3	1	0	0	0
対象者認定番号 ※	－ 認定(第2騎-6号) 認定(第2騎-13号)	認定(第31-大3号)			
給付金額（円）	3,000,000	1,000,000	0	0	0

※認定：認定農業者
－：認定農業者以外

・経営発展支援事業（地域計画早期実現支援枠）
(1) 対象者
49歳以下の認定新規就農者であって、要件等を満たしたもの
(2) 支援内容
将来の農地の受け手となる新規就農者等が経営発展のための農業用機械・施設等の導入等をする場合、900万円を上限に交付（国1/2、県1/4ずつ負担）

	令和7年度
給付対象者数（人）	1
対象者認定番号 ※	新規(第7-2号)
給付金額（円）	3,750,000

※新規：認定新規就農者

・加須の農業担い手塾

	令和3年度（第6期）	令和4年度（第7期）	令和5年度（第8期）	令和6年度（第9期）	令和7年度（第10期）
受講者数（人）	10	11	10	10	13

事業名		地産地消推進事業			3214-01
担当課		農業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	14,697,000円	―
項	01	農業費	最終予算額	13,667,000円	―
目	03	農業振興費	決　算　額	13,204,260円	―
事業の目的		地域農産物の地域内消費を促進し、安全・安心を求める消費者ニーズに対応するとともに、生産者の所得向上を図る。			
事業の概要		地元農産物の地域内消費拡大を図るために、直売所への出荷団体の支援、地場産小麦の地域内流通推進等地産地消の啓発を行う。			

事業の実績・成果

・学校給食への地元農産物の提供

［提供実績の推移］　（単位：kg）

品目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
じゃがいも	1,721	1,476	781	438	1,294
たまねぎ	4,242	3,427	2,970	1,050	1,572
ねぎ	4,620	4,372	3,586	3,868	4,857
だいこん	3,148	1,614	1,161	1,108	1,055
きゅうり	3,879	4,489	3,899	4,402	4,722

［学校給食における地元農産物の使用率の推移　※地産地消事業としては、令和4年度以降］

品目	使用量	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
野菜	全体使用量(kg)	120,432	111,770	108,886	112,909	121,182
	地元農産物使用量(kg)	24,041	23,590	17,213	17,837	20,906
	地元農産物使用率(%)	20.0	21.1	15.8	15.8	17.3

・加須産小麦「あやひかり」の推進

（1）加須産小麦「あやひかり」の粉を手打ちうどんや和洋菓子等の地元加工食品事業者等へ供給し、地場産農産物の地域内利用率の向上を図った。　2,440,530円　契約額

あやひかり供給実績（9,825kg）

① 手打ちうどん（6,575kg）…（手打うどん会6店舗）手打ちうどん販売

② 和洋菓子（450kg）…（和洋菓子6団体）いがまんじゅう等販売

③ その他（2,800kg）…　直売所販売等

（2）地産地消推進事業補助金　381,000円

あやひかり加工業者に対する補助金による支援

・農産物直売農家めぐり

消費者（市民等）に対し、直売農家・直売所を周知・ＰＲするため、民間バスを使用して農産物直売農家めぐりを開催した。

開催日　令和7年9月17日（水）　参加者数14名　直売農家等3軒

・農産物直売所の活性化のための取組

市内農産物直売所に対し、補助金による支援を行った。

（単位：円）

事　業　団　体	市補助金
加須農産物直売所協議会	50,000
騎西農産物直売所利用組合	50,000
道の駅かぞわたらせ農産物出荷組合	50,000
ＪＡほくさい北川辺農産物直売部会	50,000
童謡のふる里おおとね農業創生センター生産者部会	50,000
加須市グリーン・ツーリズム振興組合	650,000

事業名		道の駅かぞわたらせ管理運営事業			3214-02
担当課		農政建設課（北川辺）		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	256,000 円	―
項	01	農業費	最終予算額	256,000 円	―
目	03	農業振興費	決　算　額	181,867 円	―
事業の目的		地域の農産物及び特産品の推奨及び販売並びに地域情報の発信を行い、産業の振興及び地域の活性化を図る。			
事業の概要		指定管理者による農産物直売施設、レストラン、物産施設等の管理運営及び農産物の販売促進と生産者・消費者の交流を目的とした各種イベントを実施する。			

事業の実績・成果

農産物直売施設を拠点に、農産物出荷組合及び指定管理者と連携し、イベントの開催、地元新鮮野菜の販売等を行い、産業の振興及び地域の活性化につなげることができた。

≪指定管理制度の導入≫

指定管理者　ウム・ヴェルト株式会社

指定期間　平成31年4月から10年間

（1）　イベント事業

○令和7年 5月18日：メダカフェア（対面販売、飼育相談、メダカすくい等）

○令和7年 9月 7日：新米フェア（おにぎり無料配布による試食を実施）

○令和7年10月 5日：遊水地まつり（三県境訪問で三國最中を無料配布）

○令和7年10月11日：メダカフェア（対面販売、飼育相談、メダカすくい等）

○令和8年 1月 1日：早朝展望デッキ解放

（2）来客者数　（単位：人）

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
175,693	167,252	178,483	177,463	167,403

※来客者数は、レジ通過者数をカウント

（3）販売実績　（単位：円）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
農産物直売施設	98,187,254	93,925,439	114,684,690	138,799,481	143,365,849
レストラン	41,833,289	42,881,146	43,636,451	40,036,588	37,557,778
物産施設	27,464,954	23,976,589	28,953,489	26,771,518	26,682,784
合　　計	167,485,497	160,783,174	187,274,630	205,607,587	207,606,411

（4）物産施設（旧スポーツ遊学館）の利用者数

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
来館者数（人）	27,548	27,405	31,925	28,700	29,269
自転車（大人：人）	1,076	1,004	754	733	810
自転車（子供：人）	181	55	95	106	106
カヌー（艇）	46	46	61	60	56

※来館者数は、レジ通過者数をカウント

事業名		童謡のふる里おおとね農業創生センター管理運営事業			3214-03
担当課		農政建設課（大利根）		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	322,000 円	－
項	01	農業費	最終予算額	322,000 円	－
目	03	農業振興費	決　算　額	298,381 円	－
事業の目的		市内で栽培された農作物を活かし、消費者ニーズに応えた付加価値を付けた地元農産物を販売促進し地域農業の振興を図る。			
事業の概要		農産物直売室・各種加工室・農村レストラン等を指定管理者（米米倶楽部）が一体的に管理運営し、地元農産物の販売を促進する。			

事業の実績・成果

農村レストランの修繕を行い、利便性の向上を図った。

農村レストラン及び農産物直売所の販売促進のため、市ホームページやパブリシティなどを積極的に活用し、ＰＲに努め集客を図った。

管理運営事業

（1） 施設等の工事・修繕

・農村レストラン照明修繕工事（92,400 円）

（2）パブリシティ、新聞掲載等によるＰＲ

・ホテイアオイ植付（埼玉新聞・6/5 掲載）
・ホテイアオイ開花情報（埼玉新聞・8/17 掲載）
・他市町広報紙によるホテイアオイの紹介（関東どまんなかサミット）
・図書館資料の貸し出しによる PR 事業の活用（8/1～8/31 実施）
・行政情報・広告放映モニター掲載（8/1～8/31 実施）

（3）テレビ・ラジオ放送取材

・米の販売状況　日本テレビ　ＤａｙＤａｙ.（5/22 放送）
・ホテイアオイ開花情報　テレ玉　ニュース番組（8/28 放送）

（4）来客者数（5 月 1 日～4 月 30 日）　（単位：人）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
来客者数	170,195	179,019	175,028	176,920	168,556

※ 直売所はレジ通過客数、レストランは来客数

（5）販売実績（5 月 1 日～4 月 30 日）　（単位：円）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
農村レストラン	41,265,020	45,356,490	51,395,290	50,978,404	50,610,773
農産物直売所	227,553,281	237,605,343	230,262,286	245,183,261	230,829,065
（うち特別栽培米）	（10,144,903）	（8,907,684）	（9,984,393）	（16,447,550）	（10,886,585）

上記直売所実績のうち各部会の販売実績（補助団体）（5 月 1 日～4 月 30 日）　（単位：円）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
生産者部会	44,844,575	47,263,215	46,406,482	45,696,482	41,344,411
加工部会	10,792,755	11,902,890	11,314,685	11,160,365	11,341,190

事業名		市民農園管理運営事業			3214-05
担当課		農業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	14,485,000 円	－
項	01	農業費	最終予算額	14,798,000 円	－
目	03	農業振興費	決　算　額	13,716,015 円	－
事業の目的		都市住民が農村との交流を体験できる事業を広く展開し、農業に対する理解を深める。			
事業の概要		・市民農園（加須地域 233 区画、北川辺地域 122 区画）、バーベキューサイト、加工実習室等の管理運営を行う。 ・グリーンファーム加須を活用したうどん・そば打ち講座、豆腐・こんにゃく作り講座などを実施する。			

事業の実績・成果

市民農園を都市住民の方々が利用することにより、食の安全・農業に対する理解が深まったとともに、地域農業者と都市住民の交流の場として活用された。

・加須地域の市民農園

［市民農園・グリーンファーム加須の利用状況］

市民農園は、農作業や地域農業者との交流を通じて都市住民の方々（農業体験のない市民）に、農業への理解の醸成を図るため整備した施設であり、広く市民に利用されている。

総区画数 233 区画　50 ㎡… 222 区画（賃貸借料 1 区画当たり年間　8,000 円）

80 ㎡…　11 区画（賃貸借料 1 区画当たり年間　12,000 円）

市民農園利用区画数の推移　（単位：区画）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
利用区画	231	232	232	225	233

※3 月末時点の貸出利用状況

［加工実習室・情報交換室・研修室利用状況］

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
利用回数(回)	101	149	159	236	221
利用人数(人)	1,178	1,865	1,862	2,988	2,419

［バーベキューサイト利用状況］

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
利用炉数(炉)	26	20	84	132	114
利用人数(人)	302	577	947	1,581	1,297

［各種交流講座等の開催］

講座名	開催回数（回）	参加人数（人）	事業費
手づくり豆腐	3	24	委託費 19,800 円、材料費　9,300 円
手づくりこんにゃく講座	3	30	委託費 19,800 円、材料費　8,296 円
そば打ち講座	5	25	委託費 39,600 円、材料費 21,800 円

［収穫祭　11 月 30 日（日）］

浮野営農組合、市民農園利用者との共同により、「市民農園収穫祭」を実施した。

［グリーンファーム加須の施設管理］

市民農園の管理及び各種講座を開催している、グリーンファーム加須の適正な管理を行った。

（主な経費）　（単位：円）

経 費 名	内 容	金 額
委　託　料	施設管理補助、施設警備等	2,875,576
報　　酬	会計年度任用職員報酬	3,474,895
工事請負費	浄化槽工事	5,280,000
土地借上料	市民農園用地借上料	772,454
機器借上料	複合機借上料	8,844
光熱水費	水道、ガス、電気代	392,654

・北川辺地域の市民農園

［北川辺農園利用状況（総区画数 122 区画、1 区画 35 ㎡、貸借料 1 区画当たり年間 3,000 円)］

新古河農園　52 区画
風張農園　22 区画
柳生新田農園　18 区画
土部農園　12 区画
久保山農園　18 区画

北川辺農園利用区画数の推移　（単位：区画）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
新古河農園	52	52	52	52	52
風張農園	20	20	20	20	20
柳生新田農園	10	10	14	12	15
土部農園	12	12	12	12	12
久保山農園	18	18	18	18	18

※3 月末時点の貸出利用状況

土地借上料　（単位：円）

経 費 名	内 容	金 額
借 上 料	北川辺農園用地借上料	188,133

事業名		加須未来館グリーンツーリズム推進事業			3214-06
担当課		農業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	4,355,000 円	―
項	01	農業費	最終予算額	4,649,000 円	―
目	03	農業振興費	決　算　額	4,484,620 円	―
事業の目的		都市と農村の交流活動を促進し、地域農業の振興と周辺地域の活性化を図る。			
事業の概要		加須未来館の施設を利用し、グリーン・ツーリズム推進講座（郷土料理講座、工芸講座）農業体験、ふれあいイベントなどを実施する。			

事業の実績・成果

加須未来館を拠点として、グリーン・ツーリズム推進事業を展開することにより、都市住民との積極的な交流を図った。

・各種講座

事業費：932,000 円

［農業体験講座］

講座内容	参加人数（延べ）
水稲（コシヒカリ）づくり体験	68人
さつまいもづくり体験	42人
春じゃがいもづくり体験	73人
大根づくり体験	31人

［ふれあい料理講座］

手作り味噌講座等 12 講座　参加人数 182 人

［ふれあい工芸講座］

ラベンダーのポプリ等　5 講座　参加人数 38 人

・グリーン・ツーリズム推進事業（ふれあいイベント）

事業費　50,000円

イベント	開催日	来場者数
春のふれあい感謝祭	令和7年 5月　3日（土）・4日（日）	2,768 人
ラベンダー祭り	令和7年 6月 16日（日）	928 人
夏休み子ども広場	令和7年 8月　3日（日）	1,164 人
秋の収穫感謝祭	令和7年11月 16日（日）	803 人
新春子ども広場	令和8年 1月 11日（日）	1,010 人

事業名		ライスパーク農業体験推進事業			3214-07
担当課		農政建設課（北川辺）		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	842,000 円	―
項	01	農業費	最終予算額	798,000 円	―
目	03	農業振興費	決　算　額	772,885 円	―
事業の目的		各種農業体験を通じ、農業者以外の市民等の農業に対する理解を促進するため、農業体験者数の増加を図る。			
事業の概要		計画的に農作物の栽培をし、各種農業体験及び加工体験を適切に実施する。			

事業の実績・成果

各種農業体験を通じて農業への関心を高めてもらうとともに、多くの市民等に参加していただけた。

・米作り体験実施（収入額：80,000 円　田んぼオーナー1 区画(50 ㎡)5,000 円）
田んぼオーナー　16 区画　内訳：一般 11 区画、ふるさと納税 5 区画
保育所・幼稚園　約 50 ㎡
開智未来中学校　約 400 ㎡

体験内容		実施日	参加者数
田植え体験	田んぼオーナー	令和 7 年 5 月 3 日	81 人
	保育所・幼稚園	令和 7 年 5 月 8 日	45 人
	開智中学校	令和 7 年 5 月 8 日	111 人
稲刈り体験	田んぼオーナー	令和 7 年 8 月 30 日	72 人
	保育所・幼稚園	令和 7 年 9 月 3 日	45 人
脱穀・籾摺り体験	田んぼオーナー	令和 7 年 9 月 20 日	58 人

・サツマイモ苗植え体験及び芋掘り体験実施（収入額：67,300 円　苗植え無料、芋掘り 1 株 200 円）
【サツマイモ苗植え体験】
実 施 日　令和 7 年 5 月 21 日
参加者数　56 人　内訳：北川辺保育所 42 人(無料)、北川辺幼稚園 14 人(無料)
【サツマイモ堀体験】
実施期間　保育所：令和 7 年 10 月 30 日
幼稚園：令和 7 年 10 月 29 日
一　般：令和 7 年 11 月 1 日～11 月 16 日
参加者数　266 人 内訳：一般 214 人、北川辺保育所 40 人(無料)、北川辺幼稚園 12 人(無料)
※一般の芋ほり体験は 1 人 5 株まで
※社会福祉協議会北川辺支所の主催事業（親子ふれあい体験）の受入れ

・親子農業体験（親子で家庭菜園&カレー作り大作戦）開催（収入額：8,000 円　参加費 1 組 2,000 円）

	1 回目	2 回目	3 回目
開 催 日	9 月 13 日(土)	10 月 18 日(土)	12 月 13 日(土)
参加者数	8 人	8 人	8 人
体験内容	プランターづくり ニンジン播種 ジャガイモ植付	ニンジン間引き ジャガイモ芽かき 防虫ネット設置	ニンジン・ジャガイモ 収穫 カレー作り

・そば打ち体験実施（収入額：15,000 円　参加費 1 人 1,000 円）
※自身で打ったそば(4 人前程度)はお持ち帰り。

	1 回目	2 回目
開 催 日	11 月 24 日(月・祝)	3 月 22 日(日)
参加者数	7 人	8 人

・まんじゅう作り講座開催（収入額：4,000円　参加費1組1,000円）
※生地から炭酸まんじゅうを5個作る。基本的には持ち帰り。
開 催 日　令和7年10月19日
参加者数　4組4人

・【新規事業】親子パン作り教室
※バターロールの生地で思い思いの形を形成して焼く。基本的にはお持ち帰り。
開 催 日　令和8年3月29日
参加者数　7組14人

事業名		ライスパーク管理運営事業			3214-08
担当課		農政建設課（北川辺）		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	10,904,000円	―
項	01	農業費	最終予算額	10,948,000円	―
目	03	農業振興費	決　算　額	10,089,109円	―
事業の目的		農とのふれあい促進を図るため、施設の適切な維持管理及び運営により、快適な利用環境を形成する。			
事業の概要		管理棟、水塚等各施設の管理運営と利用者への貸出業務を適切に行う。			

事業の実績・成果

農業体験施設としての機能を活用し充実した活動拠点として、各種団体をサポートし利用者の支援を行ったほか、一部業務委託や、施設及び設備の修繕等により適切な維持管理を行った。

・管理運営の主な内容
・委　託（警備、清掃、高木剪定、空調設備保守、スズメバチ駆除）
・修繕等（屋外トイレ）

・施設利用者の状況　（単位：人）

施　設　名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
ふれあい農園	229	562	785	688	833
農業体験室	147	69	102	72	187
ふれあい広場	294	331	635	760	1,055
研修室	629	1,291	1,730	1,608	1,610
料理室・厨房	240	355	663	755	746
情報室	3	5	19	266	289
読書コーナー・ロビー	24	92	510	830	1,348
その他	1,983	902	961	1,353	1,594
合　計	3,549	3,607	5,405	6,332	7,662

事業名		宇宙米プロジェクト推進事業 （新設）			3214-15
担当課		農業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	122,000円	―
項	01	農業費	最終予算額	122,000円	―
目	03	農業振興費	決　算　額	109,029円	―
事業の目的		宇宙を旅した加須産米（種もみ）を活用し、こどもたちが宇宙に関心を持つきっかけづくりや地域の活性化を図る。			
事業の概要		㈱デジタルブラストとの協働により、宇宙を旅した加須産米を活用し、農業体験講座等の事業を展開する。			

事業の実績・成果

イベントの実施など「加須宇宙米」を広くＰＲし、こどもたちが宇宙に関心を持つきっかけづくりや地域の活性化を図った。

・令和7年4月24日　加須未来館で「加須宇宙米プロジェクト」スタートセレモニーを実施
・令和7年9月8日　大阪・関西万博で「加須宇宙米プロジェクト」をPR
・令和7年10月26日　加須未来館で「加須宇宙米」ロケット打上げパブリックビューイングを実施

事業名		道の駅かぞわたらせ簡易パーキング維持管理事業			3311-14
担当課		農政建設課（北川辺）		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	2,599,000円	―
項	01	農業費	最終予算額	2,599,000円	―
目	03	農業振興費	決　算　額	2,594,556円	―
事業の目的		物産販売施設等の利用者の増加を図るため、簡易パーキングの適正な管理による施設の好感度アップに努める。			
事業の概要		埼玉県行田県土整備事務所との管理覚書に基づき、トイレ、休憩所及びパーキング内の清掃を行うとともに、ゴミの収集・処分を行う。			

事業の実績・成果

・道の駅かぞわたらせに立ち寄った利用者が快適に過ごせるよう、常に清潔で衛生的な状態を保つことができた。

○維持管理実施内容
清掃員　2人（ウム・ヴェルトへの委託）
時　間　8時～10時　　2時間/1日
日　数　365日
内　容　パーキングトイレ・休憩所・周辺清掃：毎日実施
休憩所窓清掃：月1回実施
周辺除草：年10回実施（繁茂期）
トイレ消耗品交換・補充、ゴミ収集・処分：適宜

○対象施設の内訳
①簡易パーキング面積：6,298㎡
②トイレ面積：62.0㎡
・男子用（洋式便器3・小便器4・手洗い設備3・おむつ交換台1）
・女子用（洋式便器7・手洗い設備4・おむつ交換台1）
・多目的トイレ（洋式便器1・手洗い設備1・おむつ交換台1）
③休憩所面積：56.0㎡

事業名		道の駅おおとね簡易パーキング維持管理事業			3311-15
担当課		農政建設課（大利根）		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	2,703,000 円	―
項	01	農業費	最終予算額	2,703,000 円	―
目	03	農業振興費	決　算　額	2,697,307 円	―
事業の目的		観光資源でもある道の駅のイメージアップに努める。			
事業の概要		埼玉県行田県土整備事務所との管理覚書に基づき、トイレ、休憩所及びパーキング内の清掃を行うとともに、ゴミの収集・処分を行う。			

事業の実績・成果

道の駅「童謡のふる里おおとね」に設置されたトイレ、休憩所、駐車場及び外周広場等の清掃を定期的に実施し、常に清潔で衛生的な状態を保つことができた。

○実施内容(シルバー人材センター)
トイレ、休憩所、周辺清掃　毎日実施
休憩所窓清掃　月1回実施
周辺除草　年10回実施(繁茂期)
ゴミ運搬処理

○対象施設の内訳
①簡易パーキング面積：9,000 ㎡
②トイレ面積：81.00 ㎡
・男子用（洋式便器2・小便器6・手洗い設備3・おむつ交換台1）
・女子用（洋式便器6・手洗い設備3・おむつ交換台1）
・多目的トイレ（洋式便器1・手洗い設備1）
③休憩所面積：94.50 ㎡

事業名		加須未来館周辺景観形成事業			4222-03
担当課		農業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	379,000 円	―
項	01	農業費	最終予算額	269,000 円	―
目	03	農業振興費	決　算　額	254,200 円	―
事業の目的		魅力的な景観を形成することによる集客力の向上を図る。			
事業の概要		加須未来館周辺の遊休農地等を活用し、花卉等を栽培する。			

事業の実績・成果

加須未来館周辺の休耕田等に景観形成作物（コスモス等）の栽培を実施し、加須未来館への集客の向上と遊休農地化の解消を図った。

・受託者　　加須市グリーン・ツーリズム振興組合
（コスモス）市の花コスモス普及事業に記載

（菜の花）令和8年3月開花（令和7年12月12日播種）
事業面積　4,211 ㎡

事業名		道の駅おおとね周辺景観形成事業			4222-05
担当課		農政建設課（大利根）		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	1,135,000 円	―
項	01	農業費	最終予算額	1,135,000 円	―
目	03	農業振興費	決　算　額	1,125,768 円	―
事業の目的		道の駅おおとね周辺の魅力的な景観形成を推進する。			
事業の概要		道の駅周辺の景観形成を目的として、ホテイアオイの植付を行い、まちづくり事業を推進する。			

事業の実績・成果

道の駅童謡のふる里おおとね周辺の景観形成と集客を目的に、株式会社米米倶楽部に対し補助を行い、わらべ保育園児にも参加してもらい、ホテイアオイの植付け（約 8,000 ㎡）を実施した。

ホテイアオイを適正に管理することにより、来客者に対し観賞する機会を 6 月から 9 月まで提供することができた。

管理・事業に係る経費

・土地借上料（地権者 11 名）　123,788 円
・負担金補助及び交付金（米米倶楽部）　1,000,000 円
・切手代　1,980 円



事業名		畜産振興事業			3212-09
担当課		農業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	2,920,000円	―
項	01	農業費	最終予算額	2,920,000円	―
目	04	畜産業費	決　算　額	2,890,000円	―
事業の目的		家畜伝染病の予防等に取組む関係団体の活動を支援し、畜産経営の安定・振興を図る。			
事業の概要		畜産経営の安定及び振興を図るため、畜産農家で組織する団体の活動費助成及び活動支援を行う。 また、家畜伝染病自衛防疫協議会を畜産農家、ＪＡ、獣医師、市で組織し、家畜伝染病予防法に基づく予防や自衛防疫事業、畜舎病害虫発生防除対策事業を実施する。			

事業の実績・成果

・畜産振興団体育成強化事業

畜産農家の経営の合理化と安定を図るため、畜産団体の各種活動を支援した。

畜産環境保全対策事業等の推進

（単位：円）

事業主体	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
加須市畜産連合会	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000

・加須市家畜伝染病自衛防疫事業

家畜伝染病の発生と蔓延の防止を徹底するため、家畜伝染病予防法に基づく自衛防疫事業を支援し、ワクチン接種が円滑に実施された。

（単位：円）

事業主体	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
加須市家畜伝染病自衛防疫協議会	1,621,000	1,621,000	1,621,000	1,621,000	1,621,000

・畜舎害虫発生防除対策事業

畜舎及び堆肥舎から発生する蚊や蝿の防除と悪臭の防止を徹底するため、畜産団体が実施する畜舎害虫防除薬剤を一括購入する事業を支援し、害虫発生防除対策が図られた。

（単位：円）

事業主体	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
加須市家畜伝染病自衛防疫協議会	1,031,862	1,033,000	1,074,000	1,074,000	1,074,000

事業名		北川辺排水機場維持管理事業			1217-02
担当課		農政建設課（北川辺）		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	26,461,000 円	―
項	01	農業費	最終予算額	26,461,000 円	―
目	05	農地費	決　算　額	24,728,041 円	―
事業の目的		市民の生命財産を守るため、台風や大雨時の雨水を渡良瀬川に強制的に排水し、冠水被害を軽減する。			
事業の概要		・排水機場の運転監視 ・施設の点検・修繕 ・維持管理委託(北川辺領土地改良区)			

事業の実績・成果

・災害に備えて、排水機場の機能を十分に発揮できるよう、施設の日常的な保守点検や必要に応じた修繕を実施したことにより、台風や大雨時に排水機場を支障なく運転することができた。

○維持管理の主な内容

・管理委託

排水機場維持管理業務委託（北川辺領土地改良区）

・保守点検委託

排水機場保守点検業務委託
排水機場天井クレーン法定点検委託
自家用電気工作物保安管理業務委託
消防用設備法定点検業務委託

・修繕

冷却水ポンプ修繕
所内排水ポンプ外交換修繕
No.3 減速機潤滑油交換修繕
堤外ゲート開度計変換器交換修繕

○主ポンプ稼働日数　（単位：日）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
稼働日数	35	29	21	29	14

○主ポンプ稼働時間　（単位：時間）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
稼働時間	271	207	108	180	46

○主ポンプ排水量　（単位：㎥）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
排水量	6,881,032	5,276,272	2,653,274	4,568,542	1,160,799

事業名		北川辺排水機場大規模修繕事業			1217-03
担当課		農政建設課（北川辺）		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	4,562,000 円	7,639,500 円
項	01	農業費	最終予算額	4,562,000 円	7,639,500 円
目	05	農地費	決　算　額	1,312,750 円	7,639,500 円
事業の目的		台風や大雨時の雨水を渡良瀬川に強制的に排水するため、建設から年数が経過した設備等が適正に稼働できるよう計画的な修繕を実施する。			
事業の概要		年次計画に基づいた排水機場の修繕を実施する。			

事業の実績・成果

・主要設備の年次計画に基づいた大規模修繕を実施し、施設の信頼性を向上させることができた。なお、令和７年度は、県営かんがい排水事業により調査設計委託を実施した。

〇埼玉県が実施するかんがい排水事業に係る負担金
・かんがい排水事業（長寿命化対策）北川辺排水機場１期地区　　1,312,750 円

【前年度からの繰越事業（繰越明許】　7,639,500 円
・北川辺排水機場電気設備更新修繕　7,639,500 円
　前年度、電気設備更新修繕を発注したが、資材の搬入に期間を要し、年度内の完了が困難となったため、修繕費の繰越を行った。

事業名		水路維持管理事業			1217-08
担当課		治水課		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	45,338,000 円	―
項	01	農業費	最終予算額	45,171,000 円	―
目	05	農地費	決　算　額	43,356,329 円	―
事業の目的		農業用用排水路の機能維持と環境保全に努め、農業の振興を図る。			
事業の概要		農業用用排水路の浚渫について自治協力団体へ費用の 1/2(限度額 200 円/m)を交付（重機運搬費は全額補助） 自治協力団体等へ水路延長などを考慮し、水路維持管理委託料を支給 土地改良区管理用排水路へ維持管理に関する費用の助成 市街化調整区域を流れる市管理水路の維持管理（雑草刈払、浚渫清掃、転落防止柵）			

事業の実績・成果

自治協力団体等への市管理用排水路の水路管理委託料及び水路浚渫補助金を交付し、市民との協働による水路維持管理（通水機能及び水路環境の維持）を行った。

市街化調整区域を流れる市管理水路の維持管理を行った。

土地改良区管理水路の維持管理費の一部を負担することにより、治水・利水機能の維持を図った。

自治協力団体等水路管理委託料

加須地域	915,000 円
騎西地域	478,430 円
大利根地域	360,838 円

※北川辺地域については、多面的機能支援事業の農地維持支払交付金を、18 の活動組織に交付し水路等の維持管理を実施している。

農業用用排水路水路浚渫補助

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
補助金（円）	750,000	679,600	612,000	784,440	617,600
件数	11	8	5	7	6

土地改良区等負担金

見沼代用水協力協議会負担金	1,883,000 円
羽生領島中領用排水路土地改良区負担金	12,975,973 円
施設管理強化推進委員会負担金	3,477,390 円

事業名		幹線用排水路改修事業			1217-09
担当課		治水課		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	121,420,000 円	―
項	01	農業費	最終予算額	203,220,000 円	―
目	05	農地費	決　算　額	114,009,060 円	―
事業の目的		農業用用排水路改修によって、市街化調整区域の浸水被害の防止と農業環境の保全を図る。			
事業の概要		幹線用排水路の改修工事、修繕、緊急工事を実施。			

事業の実績・成果

自治協力団体等からの要望箇所を排水路整備事業評価システムにより評価を行い、事業効果の高い幹線用排水路の改修等を実施し、浸水被害の軽減と農業用水の安定供給が図られた。

工事施工場所

加須地域　　船越地区、大越地区、南篠崎地区において、水路改修工事を行った。

北川辺地域　　麦倉地区において、設計及び水路改修工事を行った。

（単位：円）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
委託料	9,345,600	8,649,300	5,544,000	27,709,000	6,600,000
工事費	20,398,400	28,868,400	25,674,000	19,802,200	100,794,100

【翌年度への繰越事業（繰越明許）】　　85,800,000 円

北川辺地域

・高台排水路改修工事については、早期完了を推進するため県と協議を行い、国の補正予算の対象となったことから、2月補正により予算措置を行い事業が年度内に完成しないため繰越を行った。

（委託費：500 千円、工事費：85,000 千円、補償費：300 千円）

事業名		枝線用排水路改修事業			1217-10
担当課		治水課		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	125,511,000 円	7,890,000 円
項	01	農業費	最終予算額	121,511,000 円	7,890,000 円
目	05	農地費	決　算　額	94,213,760 円	7,198,100 円
事業の目的		農業用用排水路改修によって、市街化調整区域の浸水被害の防止と農業環境の保全を図る。			
事業の概要		枝線用排水路の改修工事、修繕、緊急工事を実施。			

事業の実績・成果

自治協力団体等からの要望箇所を排水路整備事業評価システムにより評価を行い、事業効果の高い枝線用排水路の改修等を実施し、浸水被害の軽減と農業用水の安定供給が図られた。

工事施工場所

加須地域　大越地区、上樋遣川地区、下谷地区、大室地区、多門寺地区、割目地区において、水路改修工事を行った。

騎西地域　上種足地区において、水路改修工事を行った。

北川辺地域　柳生地区において、水路改修工事を行った。

大利根地域　北大桑地区において、水路改修工事を行った。

（単位：円）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
委託料	8,661,400	12,590,600	16,157,900	11,390,500	11,444,400
工事費	68,597,980	60,360,900	83,025,800	61,062,400	68,060,750

【前年度からの繰越事業（繰越明許）】　7,198,100 円

・前年度からの繰越事業の内容、及び令和6年度から令和7年度へ繰り越した理由

大利根地域

令和6年度 20-198 枝線排水路改修工事　(7,198,100 円)

車道及び歩道を分離する施設の工種及び時期の見直しを行ったため。

【翌年度への繰越事業（繰越明許）】　22,800,000 円

・翌年度への繰越事業の内容、及び令和7年度から令和8年度へ繰り越す理由

加須地域

令和7年度 北辻沼浚渫工事（3,000,000 円）

地元等の調整に期間を要したため。

大利根地域

令和7年度 20-198 枝線排水路改修工事　(19,800,000 円)

水路フリュームの作製に期間を要したため。

事業名		土地改良区管理用排水路整備支援事業			1218-01
担当課		治水課		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	42,443,000 円	―
項	01	農業費	最終予算額	79,628,000 円	―
目	05	農地費	決　算　額	77,989,199 円	―
事業の目的		農業用水の安定供給、風水害による農業被害の軽減など、農業経営基盤安定のため、関係団体と連携して農業用施設の適正な改修、維持管理等のマネジメントを行う。			
事業の概要		土地改良区管理水路の機能の維持・向上のための改修事業において、土地改良区へ事業費用を一部負担し、用排水路の整備を支援する。			

事業の実績・成果

県や土地改良区が実施する用排水路整備事業における事業費の一部を負担し、幹線用排水路の整備を支援することにより、溢水被害の防止や農業生産基盤の安定化を推進している。

また、各事業団体へ工事費や維持管理の一部を負担することによって、農業用施設の適切な維持管理が行われた。

【加須地域】

県土地改良事業団体連合会賦課金	583,900 円
土地改良施設維持管理適正化事業賦課金	572,304 円

【騎西地域】

令和 7 年度古笊田落排水路整備工事の費用負担金（備前堀土地改良区）	3,919,000 円

【北川辺地域】

令和 7 年度県営農業農村整備事業負担金	16,880,766 円
令和 7 年度県営農業農村整備事業負担金（2 月補正）	18,060,000 円

【大利根地域】

令和 7 年度県営農地防災事業（湛水防除）負担金（稲荷木落）	19,016,137 円
令和 7 年度県営農地防災事業（湛水防除）負担金（稲荷木落）（2 月補正）	18,957,092 円

事業名		中川上流地区排水対策整備促進事業			1218-02
担当課		治水課		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	216,000 円	―
項	01	農業費	最終予算額	216,000 円	―
目	05	農地費	決　算　額	214,936 円	―
事業の目的		中川上流地区における、老朽化及び地盤沈下による不同沈下した農業排水路等について、埼玉県が行う河川整備事業との一体的な整備を進める。			
事業の概要		国営かんがい排水事業による、老朽化した農業用排水施設整備改修を促進し、中川上流地区の排水機能向上を図る。			

事業の実績・成果

令和元年 8 月 27 日「中川上流地区国営事業等推進協議会」の設立。
　会員　羽生領島中領用排水路土地改良区、羽生市、加須市、久喜市、幸手市、ほくさい農業協同組合、埼玉みずほ農業協同組合

　令和元年から現在まで、国（農林水産省）による中川上流地区の地区調査が実施されており、事業規模、負担割合、造成施設等について、協議を継続している。

【令和 7 年度　推進協議会等】
　令和 7 年 5 月 28 日　幹事会を開催
　令和 7 年 6 月 12 日　推進協議会総会を書面開催
　令和 7 年 9 月 16 日　第 1 回施設部会・第 1 回環境部会を開催
　令和 7 年 9 月 24 日　第 1 回営農部会を開催
　令和 7 年 9 月 30 日　第 2 回環境部会を開催
　令和 8 年 1 月 8 日　第 2 回施設部会、第 2 回営農部会を開催
　令和 8 年 3 月 25 日　第 3 回施設部会、第 3 回営農部会を開催

・令和 7 年度中川上流地区国営事業等推進協議会負担金　200,800 円

事業名		会の川整備支援事業			1218-03
担当課		治水課		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	11,072,000円	―
項	01	農業費	最終予算額	75,292,000円	―
目	05	農地費	決　算　額	10,467,000円	―
事業の目的		埼玉県、見沼代用水土地改良区などの関係機関と連携を図り、用排水路としての機能を維持し、街中に貴重なうるおいとふれあいの空間を提供し、沿川地域の安全、利便の向上を図る。			
事業の概要		会の川沿線整備計画に基づき、護岸整備及び沿線道路整備等を進める。 見沼代用水土地改良区に対し、雑草刈払い等の維持管理費用を負担する。 水辺周辺活用事業地域協議会の設立、運営、護岸改修に係る関係機関との調整、附帯施設の整備 会の川フェンスの計画的な更新			

事業の実績・成果

会の川の維持管理費については、見沼代用水土地改良区へ、一部を負担することにより、治水・利水機能の維持を図った。また、老朽化したフェンスについては県の補助事業を活用し市が工事を実施している。

委託費

会の川フェンス改修設計委託　L=74.4m　385,000円

工事費

会の川フェンス設置工事　L=74.4m　4,510,000円

負担金

会の川用悪水路管理費及び修繕工事負担金　5,572,000円

令和7年度概要

① 雑草刈払業務（諏訪堰～葛西用水合流地点）　A=25,212㎡
② 堰管理（一畝歩堰、切所堰、嵯峨堰、肱曲堰）　4箇所
③ 雨量計設置（嵯峨堰）　1箇所
④ 水位計設置(嵯峨堰)　1個
⑤ 礼羽樋管操作用足場設置　一式
⑥ 堤塘補修（諏訪堰下流から嵯峨堰）　16箇所
⑦ 雑木伐採（宝橋下流　右岸）　20本
⑧ 肱曲堰改修工事負担金支出(R8年度予定)　一式

【翌年度への繰越事業（繰越明許）】　64,220,000円

護岸崩落に伴い管理者である見沼代用水土地改良区が修繕工事を行い、市が地元負担分として事業費の一部を負担している。工事完了が年度を超えることから、年度内の負担金支払いが見込めないため繰越を行った。

事業名		農地利用集積推進事業			3211-03
担当課		農業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	13,433,000 円	―
項	01	農業費	最終予算額	17,643,000 円	―
目	05	農地費	決　算　額	15,533,708 円	―
事業の目的		耕作できなくなった農地を担い手農家に集積し、効率的かつ安定的な農業経営を実現する。			
事業の概要		農地を円滑に担い手に集積していくため、出し手の貸付希望農地を把握し、出し手と担い手農家とのマッチングを行い、担い手農家に農地を集積していく。			

事業の実績・成果

○農地利用集積円滑化事業

市が担い手農家から賃貸料として収入し、所有者に対して賃借料として支出した。

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
累計利用権設定面積(ａ)	6,009	5,362	4,643	2,213	801
賃借料支払額（円）	2,657,934	2,430,960	2,210,569	1,358,866	13,691

※累計利用権設定面積には無償貸借分は含まない。

○農地中間管理事業

農地中間管理機構（公益社団法人埼玉県農林公社）を活用した担い手への農地の集積及び集約化を推進するため、農地の集積等に協力する地域に対し、機構集積協力金を交付した。

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
集積面積（ａ）	28,829	3,993	13,004	8,028	19,457
地域集積協力金（円）	34,760,000	21,891,600	16,428,000	7,053,200	3,441,200
経営転換協力金（円）	868,500	390,000	1,116,000	－	－

※経営転換協力金は令和 5 年度で終了。

※令和 7 年度は新たに芋茎地区（11 月）、下崎地区（2 月）の 2 地区で集積が完了。

※地域集積協力金は交付要件を満たした芋茎地区に交付。

○地域農業経営基盤強化促進計画（地域計画）

令和 7 年 3 月 28 日に策定した地域計画について、農業を担う者の変更や、農用地区域からの除外や農地転用許可に際して変更した。

地　域	令和 7 年度 変更回数
加須地域第 1 地区	4 回
加須地域第 2 地区	7 回
加須地域第 3 地区	4 回
騎西地域第 1 地区	5 回
騎西地域第 2 地区	4 回
北川辺地域	1 回
大利根地域	5 回
合計	30 回

事業名		ほ場等整備推進事業			3211-05
担当課		農業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	54,539,000 円	―
項	01	農業費	最終予算額	60,019,000 円	―
目	05	農地費	決　算　額	48,274,157 円	―
事業の目的		良好な生産基盤を確保することにより、生産コストの低減を図るとともに、経営規模の拡大を促進する。			
事業の概要		ほ場を拡大し、農作業の効率化を支援するため、埼玉型ほ場整備事業（県営）及びほ場区画拡大事業（機構営）を活用した基盤整備を推進する。 　また、個人での区画の拡大を支援するため、市単独による畦畔除去及びそれに伴う整地等に係る経費の一部を助成する。 　このほか、県営ほ場整備事業等への各種負担金を支出する。			

事業の実績・成果

・ほ場整備事業の推進

1　土地改良施設維持管理適正化事業賦課金　3,910,800 円

第 45 期生　加須地域　　三俣地区揚水機場管理組合学頭深沼揚水機場キュービクル嵩上げ等
下谷水利組合小沢、大道下揚水機場配管等修繕
戸川町屋揚水機場管理組合卯ノ森揚水機場ポンプ等修繕

第 46 期生　加須地域　　戸川町屋揚水機場管理組合内川、前川揚水機場ポンプ等修繕

第 47 期生　加須地域　　三俣水利組合三俣揚水機場電気設備等修繕

第 48 期生　大利根地域　加須市南部水利組合第一揚水機場ポンプ盤等修繕

第 49 期生　加須地域　　下谷水利組合大道北揚水機場ポンプ等修繕

2　土地改良施設維持管理適正化事業による整備補修工事　7,920,000 円

第 49 期生　加須地域　　下谷水利組合大道北揚水機場

3　ほ場区画拡大事業（農地中間管理機構営）による基盤整備の推進　19,568,600 円
（麦倉中地区、麦倉東地区）

	令和 6 年度		令和 7 年度	
	区画拡大(ha)	負担金(円)	区画拡大(ha)	負担金(円)
麦倉中	17.6	10,485,400	18.6	11,275,700
麦倉東	20.1	11,138,700	13.0	8,292,900
計	37.7	21,624,100	31.6	19,568,600

4　加須土地改良推進協議会負担金　174,400 円

・農地の畦畔除去・整地に係る助成

［加須市農地集積事業補助金］　8,650,000 円

年度	件数（件）	畦畔除去（m）	整地面積（㎡）
令和 3 年度	73	5,427	262,363
令和 4 年度	103	7,500	315,804
令和 5 年度	108	7,123	322,632
令和 6 年度	95	6,797	330,354
令和 7 年度	129	10,418	448,821

・農業経営改善事業資金返済補助金

かんがい排水・農道舗装・土地改良事業（平成5年度から平成23年度）実施のために借入れた農林漁業資金の償還に充てるため、補助金を交付した。

地域名	地　　区	補助団体数	補助金額(円)
騎西	鴻茎	1	960,357
合　計		1	960,357

・土地改良施設の長寿命化支援

適正な維持管理と適期の補修・修繕により施設の機能保持と長寿命化を図るため、揚水機場の修繕を行う土地改良区に対して補助金を交付した。

・事業実施主体：志多見土地改良区
補助額：730,000円（補助対象事業費の10%以内）
・事業実施主体：埼玉県北川辺領土地改良区
補助額：5,898,000円（補助対象事業費の10%以内）

【翌年度への繰越事業（繰越明許）】　2,860,000円

・翌年度への繰越事業の内容

志多見土地改良区が管理している平永地区の堰について、同改良区が国の農業水路等長寿命化・防災減災事業を活用し修繕を行うため、市の負担割合である事業費の13%を市が同改良区に対して交付する。

農業水路等長寿命化・防災減災事業負担金　2,860,000円

・令和7年度から令和8年度へ繰り越す理由

令和8年2月補正予算により予算を確保したが、事業主体である志多見土地改良区が実施する修繕の年度内完了が困難となったため。

事業名		旧川環境保全事業			4212-09
担当課		農政建設課（北川辺）		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	300,000円	—
項	01	農業費	最終予算額	300,000円	—
目	05	農地費	決　算　額	283,800円	—
事業の目的		旧川の水辺環境の保全を図ると共に、排水路機能と貯水機能の維持を図る。			
事業の概要		旧川周辺の環境美化、施設維持等の活動を行う。			

事業の実績・成果

・北川辺地域の市民及び「旧川の自然と環境を守る会」との協働により、旧川周辺の環境美化や水質保全を推進するとともに、旧川クリーン大作戦を実施した。

○「旧川の自然と環境を守る会」の活動（地域活動）

令和7年　6月　1日	水路清掃（雑草の刈払い）
令和7年　5月 25日	環境美化活動（ゴミ拾い）
令和7年　8月　3日	水路清掃（雑草の刈払い）
令和7年 11月　9日	環境美化活動（ごみ拾い）
令和8年　3月　1日	旧川クリーン大作戦

○旧川クリーン大作戦

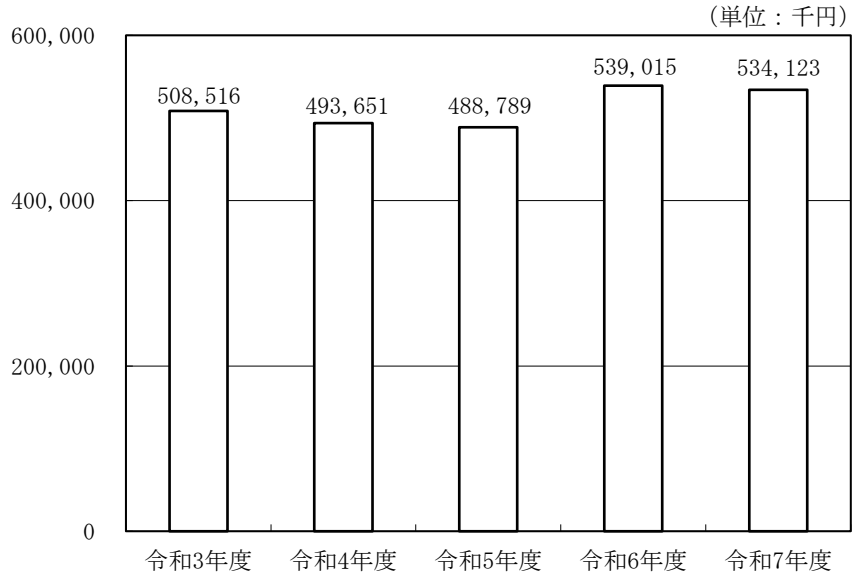
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
参加対象	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	北川辺全域	北川辺全域	北川辺全域	北川辺全域
参加人数		97人	80人	62人	82人
ゴミ回収量		トラック4台分	トラック6台分	トラック3台分	トラック3台分

事業名		農業集落排水事業繰出事業			4422-01
担当課		下水道課		現　年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	534,123,000円	―
項	01	農業費	最終予算額	534,123,000円	―
目	06	農業集落排水事業費	決　算　額	534,123,000円	―
事業の目的		農村生活環境の改善と農業用排水路の水質保全に寄与する農業集落排水事業の健全かつ円滑な運営を図る。			
事業の概要		農業集落排水事業の収支の均衡を図るため、一般会計から同事業への繰出金を措置する。			

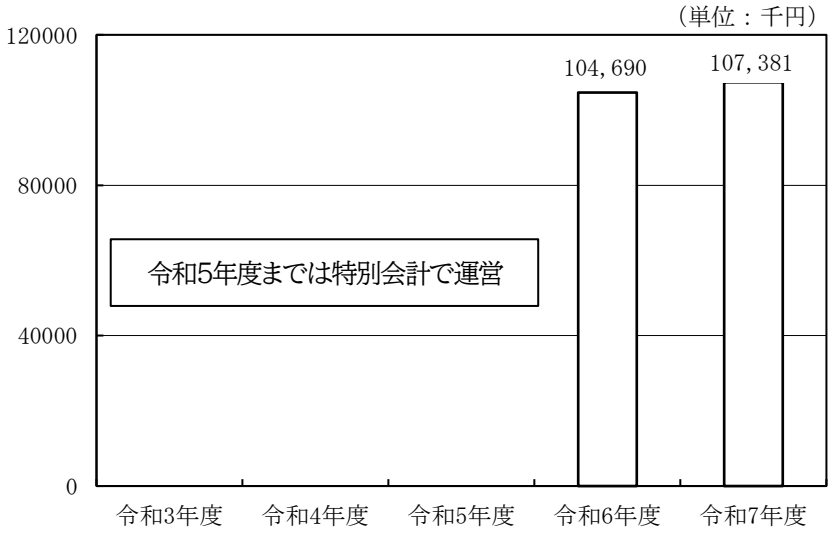
事業の実績・成果

1　下水道事業会計（農業集落排水事業）繰出金の推移

一般会計から下水道事業会計（農業集落排水事業）へ繰り出すことにより、事業経営の健全化及びサービスの持続的な提供が図られた。



2　下水道事業会計（農業集落排水事業）における内部留保資金の推移



※内部留保資金：減価償却費など現金の支出が伴わない経費により蓄積された資金や積立金などの利益剰余金であり、企業内部に留保されている資金のこと。

事業名		企業内人権教育指導者育成事業			2511-06
担当課		産業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	68,000円	―
項	01	商工費	最終予算額	68,000円	―
目	02	商工業振興費	決　算　額	67,620円	―
事業の目的		人権尊重社会を実現するため、市内の企業における人権教育指導者を育成し、企業の社会的責任と自覚を促す。			
事業の概要		市内企業の経営者、労務担当者及び職場のリーダー等を対象に年5回の人権問題指導者研修会を生涯学習課、人権・男女共同参画課と共催で開催する。			

事業の実績・成果

人権・同和問題に対する理解と認識を深め、企業の社会的責任と自覚を促すため、人権問題指導者研修会との共催により、企業内人権教育指導者研修会を開催し、企業内における指導者の育成と資質の向上を図った。商工会と連携し、商工会の会員へ通知することで企業への広い周知を図った。

・ 対象

市内企業の経営者、労務担当者及び職場のリーダー等（商工会員）

・ 企業内人権教育指導者研修会実施内容

	テーマ	講師	延参加企業数（社）	延参加人数（人）
1	様々な人権問題 原爆被害者と平和について	埼玉県原爆被害者協議会 （しらさぎ会） 木内　恭子　氏	13	14
2	高齢者問題 認知症の人と家族の支援について	認知症の人と家族の会 代表 加藤　典子　氏	18	22
3	同和問題 入門／部落問題・人権問題 ～歴史・現状、そして未来へ～	東日本部落解放研究所 吉田　　勉　氏	11	15
4	障がい者問題 聴覚障がいの方への理解について	ろう児、ろう者対象の 国語専門学習塾早瀬道場 塾長 早瀬　憲太郎　氏	13	13
5	男女共同推進 防災と男女共同参画について	埼玉県男女共同参画推進センター 男女共同参画専門員 黒須　さち子　氏	15	15

・ 企業内人権教育指導者研修会の実施状況の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
研修回数　（回）	4	5	5	5	5
延参加企業数　（社）	116	52	64	68	70
延参加人数　（人）	136	58	70	77	79

※令和3年度は書面開催のため、参加予定者を全ての回に参加として計上。

事業名		産業振興プラン進行管理事業			3221-02
担当課		産業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	48,000 円	―
項	01	商工費	最終予算額	48.000 円	―
目	02	商工業振興費	決　算　額	36,000 円	―
事業の目的		産業振興プランに定める各施策を推進し、進捗を管理する。			
事業の概要		商工会、市内事業者、市民などで構成する加須市産業振興プラン推進会議を開催し、産業振興プランに定める各施策の進行を管理する。 【計画期間】令和 5 年度～令和 9 年度			

事業の実績・成果

「第 1 次加須市産業振興プラン」の適切な進行管理を行うために「加須市産業振興プラン推進会議」を設置し、基本方針ごとに具体的な取り組みや事業の進行管理等について検証や意見交換を行った。

・ 令和 7 年度 加須市産業振興プラン推進会議
　開催日時　令和 7 年 8 月 18 日（月）10 時 30 分から
　場　　所　加須市役所 505 会議室
　委 員 数　委員 15 名、うち 14 名出席
　会議内容　第 1 次加須市産業振興プラン 令和 6 年度実施状況の点検・評価

・ 令和 6 年度取組結果（達成度評価区分ごとの取組事業数等）

区　分	取組事業数	割　合
1　目標を達成	22	41.5%
2　概ね達成	10	18.9%
3　やや遅れている	12	22.6%
4　大幅に遅れている	9	17.0%
計	53	100%

・ 令和 6 年度取組結果（基本方針区分ごとの達成度評価内訳）

区　分	目標を達成	概ね達成	やや遅れている	大幅に遅れている
1　多様な雇用の創出	3	4	5	1
2　商業の活性化	8	4	3	4
3　地域経済の活性化	11	2	4	4
計	22	10	12	9

事業名		個店魅力アップ促進事業			3221-03
担当課		産業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	1,374,000 円	―
項	01	商工費	最終予算額	1,374,000 円	―
目	02	商工業振興費	決　算　額	1,354,400 円	―
事業の目的		元気でがんばる商店を支援し、地域商業の振興を図る。			
事業の概要		地域商店の良さを伝える「加須の逸品カタログ（ＫＡＺＯＦＡＮ）」の作成支援と「かぞまちばる」の開催支援として事業費の一部を補助する。			

事業の実績・成果

・一店逸品事業（補助金交付額　750,000 円）

加須市商工会に対し、市内のこだわりのお店や加須の逸品を紹介する第 18 弾カタログ「ＫＡＺＯＦＡＮ（カゾファン）」の作成を支援することにより、個店の良さや魅力のＰＲを図った。

ＫＡＺＯ ＦＡＮ（加須の逸品カタログ）参加店舗数

（単位：店舗）

令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
177	187	181	180	188

発行部数 50,000 部



第 18 弾「加須の逸品カタログ」

・まちばる開催事業（補助金交付額　600,000 円）

地域経済の活性化と個店の魅力アップを目的とし、令和 8 年 2 月 10 日（火）から 2 月 28 日（土）までの間に、かぞまちばる実行委員会（加須市商工会）が開催した「かぞまちばる」を支援し、市内飲食店の魅力のＰＲを図った。

※まちばる参加者が、飲食した店舗 3 店舗から 5 店舗分のスタンプを集めて応募すると、抽選で商品券が当たる「まちばるラリー」も実施。

まちばる参加店舗数

（単位：店舗）

令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
53	54	55	70	68



「かぞまちばる」リーフレット

事業名		商店街共同施設支援事業			3221-04
担当課		産業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	1,446,000 円	―
項	01	商工費	最終予算額	1,446,000 円	―
目	02	商工業振興費	決　算　額	860,400 円	―
事業の目的		商店街の環境整備及び美化を促進し、商店街の振興や活性化を図る。			
事業の概要		商店街等が所有している共同施設（街路灯など）の維持管理や新設・補修（ＬＥＤ化含む）に係る費用の一部を補助する。 【電灯料補助金】1 基あたり 1,800 円 【街路灯新設補助金】1 基あたり工事費査定額を設置基数で除した額の 1/3 以内の額。（1 基あたりの限度額：10 万円） 【街路灯補修補助金】工事査定額の 15%以内の額			

事業の実績・成果

商店街の近代化や美化を促進し、商店街の振興を図るため、商業団体が共同で設置した街路灯等の維持管理を側面から支援し、安心・安全なまちづくり及び商店街の環境整備を促進した。

・街路灯電灯料補助の推移

区　　分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
団　体　数	16	16	16	15	14
街路灯基数	809	712	704	612	583
（ＬＥＤ基数）	(539)	(529)	(532)	(514)	(504)
補助基数	686	659	619	555	478
補助金額（円）	1,234,800	1,186,200	1,114,200	999,000	860,400

※補助金額は、1 基につき年間 1,800 円

・街路灯補修補助の推移

区　　分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
団　体　数	1	0	1	1	0
基　　数	32	0	8	35	0
補助金額（円）	89,760	0	18,000	218,250	0

※工事費査定額の 15 パーセント以内の額

事業名		創業支援事業			3222-04
担当課		産業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	12,040,000 円	―
項	01	商工費	最終予算額	15,160,000 円	―
目	02	商工業振興費	決　算　額	7,287,632 円	―
事業の目的		創業者を支援することにより、次代を担う新たな産業の育成を図る。			
事業の概要		市内で創業する方に対し、創業に係る費用の一部を補助するほか、運転資金、設備資金の融資あっ旋を行う。 融資限度額　起業家育成資金 3,000 万円 起業家育成資金の保証料助成（上限 50 万円）や利子補給（支払利子額の 50%）を行う。 市商工会や県創業ベンチャー支援センターと連携し創業者への相談やセミナー開催に向けた支援を行う。			

事業の実績・成果

・ 制度融資（起業家育成資金）の周知

広報紙や市のホームページ、市民行政情報モニターで制度融資（起業家育成資金）のＰＲをするとともに、案内チラシを市内金融機関に設置し、制度の周知に努めた。

・ 連携協定の締結

加須市、加須市商工会及び埼玉県信用保証協会による「地域の中小企業者の持続的成長支援及び地域活性化に向けた連携協定」を令和 7 年 4 月 9 日に締結し、起業家育成資金の信用保証料の割引や金融支援、経営支援等において三者で連携して取り組むこととした。

・ 起業家育成資金の相談及び実行件数等の推移　（単位：円）

区　分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
融資に関する相談件数	11 件	4 件	7 件	3 件	12 件
融資実行件数 及び金額	0 件 －	0 件 －	1 件 1,500,000	1 件 6,000,000	2 件 8,800,000

・ 起業家育成資金の預託内容等　（単位：円）

令和 7 年度 預託金額		令和 7 年度末 融資残額
起業家育成資金	793,000	4 件 13,931,000

・ 起業家育成資金の利子補給（毎年利子補給分含む）及び保証料助成の推移　（単位：円）

区　分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
利子補給件数 及び金額	1 件 22,991	0 件 －	0 件 －	1 件 2,893	1 件 44,582
保証料助成件数 及び金額	0 件 －	0 件 －	0 件 －	2 件 231,000	2 件 281,050

・ 創業者への支援

国から認定を受けた「創業支援等事業計画」に基づき、市と市商工会等が連携し、「KAZO 創業塾」や「創業支援ワンストップ相談窓口」を設置し、創業に向けた相談を随時受付ける体制を整備し、市内での創業を促進した。

KAZO 創業塾の参加者数の推移　（単位：人）

区　分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
参加者数	25	57	44	37	41

※各年度 2 回実施

創業に関する相談等の推移　（単位：件）

区　　分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
創業に関する相談件数	18	15	34	15	35
認定特定創業支援等事業による証明発行件数	9	6	17	13	19

・ 創業支援補助金

創業時、創業初期の経営安定や必要な設備の充実を図り、事業の安定成長を支援した。
補助対象者は市内でこれから創業しようとする者または創業後5年未満の中小企業者。
補助額上限100万円（補助率1/2）。

創業支援補助金の交付実績

区　　分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
補助件数（件）	12	5	10
補助金額（円）	7,707,000	3,322,000	6,169,000

・ 創業100年超企業の表彰

これまで様々な経済危機を乗り越え、長年にわたり企業活動を継続している市内事業者は、市内経済の強さを象徴するとともに地域経済の発展への寄与が計り知れないものであることから、昭和元年（1926年）から起算して満100年の節目となる令和8年（2026年）3月23日の加須市民の日に、創業満100年を超える市内31事業者を表彰した。

事業名		産業チャレンジ支援事業			3222-05
担当課		産業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	17,139,000 円	―
項	01	商工費	最終予算額	17,139,000 円	―
目	02	商工業振興費	決　算　額	6,911,885 円	―
事業の目的		意欲ある市内中小企業を支援することで、産業の活性化を図る。			
事業の概要		埼玉県の承認を得た経営革新計画を実行する事業者の事業費の一部を補助する。 展示商談会等出展費用や 6 次産業化商品開発費用の一部を補助する。 市内で電気工事業を開業するための登録等の認定事務を行う。			

事業の実績・成果

・ 展示商談会等出展事業補助金

市内の中小企業の展示商談会等に出展する事業所に対して、出展費用の一部を助成することにより、中小企業者の費用負担を軽減し、販路拡大や新規参入などへの企業意欲の高揚を図った。

展示商談会等出展事業補助金の交付実績

区　分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
出展企業数（件）	7	9	11	11	10
補助金額（円）	701,285	924,094	1,880,944	1,052,261	816,238

・6 次産業化事業補助金

市内農業者による 6 次産業化商品の開発及び販売に向けた量産化に必要な経費の一部を助成することにより、市内産業の活性化を図った。

6 次産業化事業補助金の交付実績

区　分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
研究開発費に対する補助金（円）	0 件 －	0 件 －	0 件 －	0 件 －	1 件 200,000
設備設置費に対する補助金（円）	0 件 －	0 件 －	2 件 1,299,986	1 件 187,979	1 件 49,000
合　計	0 件 －	0 件 －	2 件 1,299,986	1 件 187,979	2 件 249,000

・経営革新支援補助金

埼玉県の承認を得た経営革新計画に基づき、経営の向上のための積極的な経営革新を行おうとする市内中小企業者を支援するため、令和 5 年度から経営革新支援補助金を支援した。

補助対象者は創業後 5 年以上の中小企業者。

補助額上限 100 万円（補助率 1/2）。

経営革新支援補助金の交付実績

区　分	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
補助件数（件）	17	16	7
補助金額（円）	12,267,000	12,205,000	5,833,000

事業名		にぎわう商店街推進事業			3223-01
担当課		産業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	2,052,000円	―
項	01	商工費	最終予算額	2,052,000円	―
目	02	商工業振興費	決　算　額	1,258,960円	―
事業の目的		商店街や地域商店の賑わいづくりを促進することにより、地域商業の活性化を図る。			
事業の概要		商工会や商店街（会）が実施する賑わいづくりや中心市街地スタッフ会議等が独自に取り組む事業費の一部を補助する。			

事業の実績・成果

・商店街（会）等が独自に取り込む賑わい創出イベントへの支援
商店街や地域商店に活気や人を呼び込む取組を促進し、商店街や地域商店の利用促進を図った。

【にぎわう商店街推進事業補助金】
商店街（会）イベント実施状況

事業名	開催日	事業実施商店街（会）
桜見っどナイト	令和7年4月5日 令和8年3月28日	不動岡奉仕会
夕涼みにイカナイト	令和7年8月2日	不動岡奉仕会
節分会　福の市	令和8年2月3日	不動岡奉仕会

商店街（会）別補助金交付状況　（単価：円）

商店街（会）名	事業費	補助金額
加須一番街商店会	165,000	82,000
加須ぎんざ商店会	―	―
加須駅通り商店会	1,174,800	585,000
不動岡奉仕会	234,468	115,000
合　　計	1,574,268	782,000

・まちなかの賑わい創出を支援する取組み
加須市商工会や商店街が実施するまちなかの賑わい創出を支援し、地域商業の活性化を図った。
（単価：円）

イベント名	事業費	補助金額
【まちなか賑わい創出事業補助金】		
まちなか賑わいフェスティバル 令和7年8月30日（土）	734,048	100,000
中心市街地商店街共同売出し 令和7年10月30日（木）～11月2日（日）	508,440	200,000
【商店街活性化事業補助金】		
彩の街騎西スタンプ会事業 ありゃりゃーい市　令和7年12月7日（日）	158,238	158,238

事業名		商工団体等振興支援事業			3223-03
担当課		産業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	32,634,000円	―
項	01	商工費	最終予算額	32,634,000円	―
目	02	商工業振興費	決　算　額	32,434,000円	―
事業の目的		市内中小企業の振興と経営の安定化の取り組みを実施している市内商工団体等を支援することにより、市内商業の振興と活性化を図る。			
事業の概要		本市商工業及び地場産業の振興と活性化を推進する各種団体等の事業費の一部を補助する。			

事業の実績・成果

・ 市商工業の振興と活性化を図るため、加須市商工会に対し補助金を交付した。
　加須市商工会会員数　2,197事業所（令和7年度末現在）

（単位：円）

事業主体（事業内容）	総事業費	市補助金	自己資金等
加須市商工会 ・ 経営改善普及事業（小規模事業者を中心とした金融・税務・経営・労務等の相談、指導、研修会等の開催及び経営発達支援事業、加須みらい経営塾、KAZO創業塾、専門家派遣事業の実施、事業承継支援、経営革新計画の推進、補助金申請支援、よろず相談窓口・事業環境変化対応型相談窓口の開設） ・ 地域総合振興事業 ・ 商業サービス業関連事業（一店逸品事業、歳末セール、中心市街地事業、研修会、空き店舗対策、共同販促事業、スタンプ会支援・まちばるの開催等） ・ 工業関連事業（研修会、技能講習会、販路開拓支援、ものづくり研究会（MONO KAZO）の開催、商談会・展示会、ビジネスアリーナへの出店等） ・ 建設関連事業（絆券交付事業等、地域振興等） ・ 青年部関連事業（人材育成研修会、キッズタウンフェスタ、サンタが家にやってくる、部員交流・増強等） ・ 女性部関連事業（地域振興・環境・健康増進、フードドライブ、広報紙発行、部員増強等） ・ 各地域観光振興事業 ・ 広報事業（商工会情報発行、年4回） ・ 委員会関連事業（総務、金融、会員増強、機能強化） ・ 絆サポート事業の実施 ・ 絆券配布事業（第4弾・第5弾全世帯、敬老祝金）	450,411,873 うち絆サポート券配布事業等除く 159,902,610	32,344,000	418,067,873 うち絆サポート券配布事業等除く 127,558,610

・ 市の地場産業である武州織物工業の発展、活性化を支援するため、地場産業団体に側面から支援し、地場産業団体の振興を図った。

（単位：円）

事業主体	事業内容	総事業費	市補助金	自己資金等
武州織物工業協同組合	工場視察や情報交換等を行う技術研修会の実施	407,072	50,000	357,072
石織商店	産業交流センター催事（武州正藍染のＰＲと展示販売）への出展、武州正藍染体験教室の開催	282,770	40,000	242,770

事業名		騎西ルネサンス推進事業			3223-04
担当課		地域振興課（騎西）		現　年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	1,140,000円	―
項	01	商工費	最終予算額	0円	―
目	02	商工業振興費	決　算　額	0円	―
事業の目的		騎西地域の街なかにぎわいと活気を創出するため、加須市商工会の取組みを支援する。			
事業の概要		加須市商工会が開催する「奇彩ハロウィン」や市民活動団体「きさいルネサンス“藤”」が空き店舗を活用して実施する「ものづくり通り」を支援する。			

事業の実績・成果

・加須市騎西地域街なかにぎわい創出事業

市民活動団体「きさいルネサンス“藤”」に対し、補助金を交付し、商店街の魅力向上及び地域の賑わいづくりを行う事業であったが、事業主体である「きさいルネサンス”藤”」が令和７年５月に解散が決定（年度末に清算完了）し、空き店舗を活用して実施する「ものづくり通り」は事業終了となった。

（単位：円）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
補助金額	213,622	－	－	80,757	－

・「奇彩ハロウィン」開催事業

加須市商工会に対して「奇彩ハロウィン」を開催するための補助金を交付し、商店街の魅力向上及び地域の賑わいづくりを行う事業であったが、令和 7 年度は実施団体の人手不足等に伴い、事業が中止となった。

（単位：人）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
来場者数	－	－	－	10,000	－

事業名		まちなかにぎわい創出推進事業 （新設）			3223-12
担当課		産業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	300,000 円	―
項	01	商工費	最終予算額	300,000 円	―
目	02	商工業振興費	決　算　額	78,496 円	―
事業の目的		加須駅北口の既存中心市街地の活性化やにぎわい創出を推進する。			
事業の概要		商工会や商店会等から意見を伺う場を設け、加須駅北口の中心市街地における空き店舗活用やにぎわい創出について検討する。			

事業の実績・成果

令和7年5月31日に「かぞマイン」が閉店したことにより全館閉鎖した加須駅ビルを含む駅周辺の中心市街地のにぎわい創出について検討を進めるため、関係する方々から課題や要望などの意見を伺った。

・ 加須駅周辺中心市街地における商業の活性化対策に係る意見・情報交換会

かぞマインが閉店することを契機として、加須市商工会及び中心市街地商店街の方々と加須駅周辺の中心市街地における商業の活性化について、意見・情報交換を行った。

開催日時　①令和7年5月20日（火）19時から　②令和7年5月21日（水）15時から

場　　所　加須市商工会3階会議室

参加者数　①18事業者（19名）　②14事業者（15名）　合計32事業者（34名）参加

・ 東武鉄道㈱との協議

加須駅ビル跡地の活用について、加須駅ビルの所有者である東武鉄道株式会社との協議を重ねた。

回	年月日	場所	備考
2	令和7年4月28日	東武鉄道㈱本社	市長が訪問
3	令和7年5月28日	東武鉄道㈱本社	
4	令和7年7月2日	東武鉄道㈱本社	
5	令和7年8月5日	加須市役所	
6	令和7年10月17日	東武鉄道㈱本社	
7	令和7年11月12日	東武鉄道㈱本社	地元衆議院議員と市長が訪問
8	令和8年3月18日	東武鉄道㈱本社	

※回数は、令和7年3月19日（令和6年度）を1回目とした通算回数で表記

・ 加須駅・駅周辺利用者アンケート調査

都市整備部スーパーシティ推進課と連携し、加須駅及び駅周辺商店等についての利用実態や傾向を把握するアンケート調査に係る周知ポスター、チラシを作成した。

※アンケートの概要は「加須駅周辺まちづくり推進事業」を参照

事業名		事業資金融資あっ旋事業			3231-01
担当課		産業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	19,700,000円	―
項	01	商工費	最終予算額	31,700,000円	―
目	02	商工業振興費	決　算　額	17,221,000円	―
事業の目的		中小企業の経営安定化と事業発展を促進することにより、雇用の創出や地域産業の活性化を図る。			
事業の概要		市内中小企業者に対し、運転資金、設備資金などの事業に必要な資金の融資あっ旋を行う。(預託事業) 融資限度額 ・事業資金　　2,000万円 ・特別小口資金　2,000万円 ・不況対策資金　2,000万円			

事業の実績・成果

市内中小企業者に対し、必要な事業資金（事業資金、特別小口資金、不況対策資金）の融資あっ旋を行い、経営の安定と設備の近代化・事業の拡大等を促進した。

・ 預託内容等　　(単位：円)

令和7年度 預託金額		令和7年度末 融資残額
事業資金	13,534,000	29件 224,576,263
特別小口資金	1,951,000	6件 30,383,000
不況対策資金	1,736,000	6件 28,303,500
合　計	17,221,000	41件 283,262,763

・ 融資実行件数、金額の推移　　(単位：円)

区　分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業資金	6件 72,200,000	1件 10,000,000	2件 14,100,000	3件 42,000,000	17件 196,830,000
特別小口資金	2件 16,000,000	2件 11,000,000	1件 3,000,000	2件 32,000,000	1件 2,000,000
不況対策資金	1件 10,000,000	0件 －	0件 －	3件 12,500,000	2件 20,000,000
合　計	9件 98,200,000	3件 21,000,000	3件 17,100,000	8件 86,500,000	20件 218,830,000

事業名		中小企業融資支援事業			3231-02
担当課		産業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	4,251,000 円	―
項	01	商工費	最終予算額	8,043,000 円	―
目	02	商工業振興費	決　算　額	3,847,983 円	―
事業の目的		市内中小企業の経営安定化と事業発展を促進することにより、雇用の創出や地域産業の活性化を図る。			
事業の概要		事業資金、特別小口資金及び不況対策資金の保証料助成や利子補給等を行い、負担軽減を図る。 ・保証料助成 支払済みの保証料の全額（上限 30 万円）を助成 ・利子補給 毎年又は完済後の支払利子額の 20%を補給			

事業の実績・成果

事業資金等の融資あっ旋を行った中小企業者に対し、保証料助成や利子補給を行い、市内中小企業の経営の安定と設備の近代化・事業の拡大等を促進した。

・ 中小企業資金利子補給（毎年利子補給分含む）の推移　（単位：円）

区　分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
事業資金	15 件 567,911	13 件 794,240	3 件 156,510	7 件 433,700	6 件 206,340
特別小口資金	2 件 38,333	2 件 39,270	0 件 －	3 件 83,820	1 件 33,438
不況対策資金	10 件 200,033	4 件 36,882	3 件 69,154	1 件 13,962	1 件 8,216
県短期事業資金	0 件 －	0 件 －	0 件 －	0 件 －	0 件 －
合　計	27 件 806,277	19 件 870,392	6 件 225,664	11 件 531,482	8 件 247,994

・ 市制度融資保証料助成の推移　（単位：円）

区　分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
事業資金	6 件 1,599,625	0 件 －	3 件 546,315	3 件 673,920	17 件 3,265,975
特別小口資金	2 件 211,200	2 件 242,000	0 件 －	3 件 705,600	1 件 26,400
不況対策資金	1 件 166,025	0 件 －	0 件 －	3 件 165,137	2 件 305,250
合　計	9 件 1,976,850	2 件 242,000	3 件 546,315	9 件 1,544,657	20 件 3,597,625

・ 代位弁済補填の推移　（単位：円）

区　分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
補填金額	1 件 391,638	0 件 －	2 件 1,225,645	1 件 179,983	0 件 －

事業名		住宅改修等需要促進事業			3231-11
担当課		産業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	27,101,000 円	―
項	01	商工費	最終予算額	27,169,000 円	―
目	02	商工業振興費	決　算　額	21,273,439 円	―
事業の目的		市内事業者への工事受注機会を拡大し、工業の振興及び地域経済の活性化を図るとともに居住環境の向上を図る。			
事業の概要		市民が市内施工業者により自己所有の居宅等を改修する場合、その工事費用の一部を助成する。 ・対象工事：200 千円以上（税抜） ・補助率：工事費用の 5%相当額 ・助成金交付限度額：50 千円			

事業の実績・成果

市民が市内施工業者により自己所有の居宅を改修する場合、その工事費用の一部を助成することにより、市内事業者の工事受注機会の拡大を図った。

・ 住宅改修補助の推移

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
補助件数(件)	368	432	443	450	431
補助金額(円)	15,943,000	18,940,000	18,874,000	19,313,000	18,632,000
補助対象金額(円)	457,114,611	592,805,760	600,594,600	616,816,857	602,438,479

事業名		かぞブランド創出事業			3231-12
担当課		産業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	1,842,000円	―
項	01	商工費	最終予算額	1,774,000円	―
目	02	商工業振興費	決　算　額	1,138,685円	―
事業の目的		市内の優れた産品や製品、農作物等を「かぞブランド」として認定し、本市の知名度及び産品の付加価値の向上を図り、産業振興及び地域活性化に資する。			
事業の概要		かぞブランド認定委員及び公募により選ばれた市民モニターにより①加須らしさ②優位性・独自性③信頼性・安全性④市場性・将来性について審査し、認定委員会で決定後、市が認定する。			

事業の実績・成果

・ 令和7年12月17日のかぞブランド認定委員会において、「かぞブランド」認定品を新たに3品（加須産 完熟いちごスムージー、空およぎ、鰻重と香り豚生姜焼き）を認定した。

かぞブランド認定品数

区　分	令和7年度 新規認定品数	合　計
① 一次産品	0	24
② 加工品	2	37
③ 工芸品	0	7
④ 工業製品	0	5
⑤ 飲食店メニュー	1	5
合　計	3	78

かぞブランド認定物品販売

物　品	単　価	販　売　数	販　売　金　額
シール小（1セット100枚入り）	100円	141セット	14,100円
シール大（1セット100枚入り）	150円	71セット	10,650円
のぼり旗	600円	6枚	3,600円
ミニのぼり旗（ポールスタンド付き）	400円	1セット	400円
		合　計	28,750円

・ページごとに雰囲気を統一し、見る楽しさを向上させ、明るく鮮やかで手に取りたくなる表紙にした「かぞブランドブック2026」を13,000冊作成した。



事業名		地域通貨発行による地域福祉サービス支援事業			3231-13
担当課		産業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	1,560,000円	―
項	01	商工費	最終予算額	1,560,000円	―
目	02	商工業振興費	決　算　額	1,560,000円	―
事業の目的		地域の支え合い（共助）や高齢者の生きがいづくりを推進するとともに、高齢者福祉の充実を図る。併せて地域産業の振興を図る。			
事業の概要		生活支援を必要とする方をサポートして謝礼として受け取る「絆サポート券(500 円)」の販売を促進するとともに、商工会と連携し、各種事業で絆サポート券を活用する。			

事業の実績・成果

高齢者等の生活支援サービスの充実を図り、元気な高齢者の「生きがいづくり」、「介護予防」、併せて地域商業の振興を図った。また、加須市商工会と連携を図り、広報紙やチラシ等を活用し、おたすけサポーターや利用会員の募集、絆サポート券の利用等についてＰＲを行った。

・総事業費　　3,393,540 円（加須市商工会）

・補助金額　　1,560,000 円

・ ちょこっとおたすけ絆サポート事業の利用状況

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
利用会員登録数(人)	339	382	460	502	556
サポーター登録数(人)	91	111	120	132	133
活動時間(時間)	2,556	2,843	2,981	2,703	3,074

・ 活動時間数の内訳　　(単位：時間)

お手伝いサービスの内容	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
買物代行、犬の散歩代行など	143	90	97	86	123
買物や通院など外出の付き添い、話し相手	1,770	2,176	2,470	2,476	2,778
掃除や洗濯・部屋の模様替えなど	235	225	269	108	161
庭の草むしりや芝刈り・枝の切り落としなど	408	352	145	33	12
合　　計	2,556	2,843	2,981	2,703	3,074

・ ちょこっとおたすけ絆サポート券の利用状況

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
券販売枚数(枚)	28,814	42,681	43,127	44,301	34,704
券換金枚数(枚)	25,534	37,545	40,381	41,046	38,379
取扱店舗数(店舗)	724	743	738	727	728

事業名		ちょこっとおたすけ絆サポート券全世帯配布事業			3231-19
担当課		産業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	0円	―
項	01	商工費	最終予算額	305,968,000円	―
目	02	商工業振興費	決　算　額	282,324,744円	―
事業の目的		物価高騰等の影響を受けている全ての市民の生活を支援及び市内経済の活性化を図るため、市内全世帯に「ちょこっとおたすけ絆サポート券（第4弾）」を配布する。			
事業の概要		加須市商工会が発行するちょこっとおたすけ絆サポート券を全世帯に配布する。 対象者：令和7年7月1日時点で加須市に住民登録がある世帯の世帯主 配布額：1世帯あたり5,000円分 配布方法：簡易書留郵便 利用期間：令和7年9月1日から令和8年2月28日まで 取扱店舗：ちょこっとおたすけ絆サポート券取扱店			
事業の実績・成果					
物価高騰に係る対応を実施した（巻末参照）。					

事業名		第５弾ちょこっとおたすけ絆サポート券全世帯配布事業			3231-20
担当課		産業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	0円	―
項	01	商工費	最終予算額	593,350,000円	―
目	02	商工業振興費	決　算　額	33,506,384円	―
事業の目的		物価高騰等の影響を受けている全ての市民の生活を支援及び市内経済の活性化を図るため、市内全世帯に「ちょこっとおたすけ絆サポート券（第5弾）」を配布する。			
事業の概要		加須市商工会が発行するちょこっとおたすけ絆サポート券を全世帯に配布する。 対象者：令和8年1月1日時点で加須市に住民登録がある世帯の世帯主 配布額：1世帯あたり10,000円分 配布方法：簡易書留郵便 利用期間：令和8年3月1日から令和8年8月31日まで 取扱店舗：ちょこっとおたすけ絆サポート券取扱店			
事業の実績・成果					

・ 物価高騰に係る対応を実施した（巻末参照）。

【翌年度への繰越事業（繰越明許）】　　559,843,616円

・ 翌年度への繰越事業の内容

令和8年1月1日時点で加須市に住民登録がある世帯の世帯主に対してちょこっとおたすけ絆サポート券（10,000円分）を支給。

・ 令和7年度から令和8年度へ繰り越す理由

ちょこっとおたすけ絆サポート券の換金期間が令和8年度に差し掛かるため。

事業名		物価高騰利益減対策事業			3231-21
担当課		産業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	0円	―
項	01	商工費	最終予算額	31,050,000円	―
目	02	商工業振興費	決　算　額	1,914円	―
事業の目的		物価高騰の影響で利益を確保することが困難な経営環境が続く中で、中小企業者の事業継続を支援するため、市独自の給付金を支給することで、事業継続の下支えを図る。			
事業の概要		直近の決算（1年分）の売上総利益又は営業利益が前年同期分と比較して20万円以上減少している市内事業者（主たる事業が農林水産業の事業者を除く。）で、法人の場合は令和7年1月1日時点及び申請時点で市内に本店を有する法人、個人事業者の場合は令和7年1月1日時点及び申請時点で市内に住所を有する個人に対し、1事業者一律10万円を給付する。			

事業の実績・成果

・　物価高騰に係る対応を実施した（巻末参照）。

【翌年度への繰越事業（繰越明許）】　　31,048,086円

・ 翌年度への繰越事業の内容

直近の決算の売上総利益又は営業利益が前年同期分と比較して 20 万円以上減少している市内事業者（法人及び個人事業者）へ、1事業者一律10万円を給付する。

・ 令和7年度から令和8年度へ繰り越す理由

申請開始、給付開始が令和8年度中に実施するため。

事業名		産業連携推進事業			3233-01
担当課		産業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	223,000円	―
項	01	商工費	最終予算額	223,000円	―
目	02	商工業振興費	決　算　額	112,600円	―
事業の目的		「持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）」達成を通じた地域中小企業等の競争力強化や企業間連携・官民連携による地域課題の解決を図る。			
事業の概要		企業間連携や官民連携を強化することを目的に、ビジネス懇談会を開催する。 企業訪問や研修等を通じて、企業のＳＤＧｓ導入や様々な地域課題の解決を促進する。			

事業の実績・成果

・市内企業がＳＤＧｓの取組と事業者間の連携で経営力を強化するため、三井住友海上火災保険㈱、加須市商工会と連携し、市内企業向けＳＤＧｓセミナー＆ワークショップ・ビジネス懇談会を開催した。

テ　ー　マ：カスタマーハラスメントから従業員・企業を守るために
開　催　日：令和8年2月12日（木）
会　　場：加須市商工会3階会議室
参加企業数：6社

・市内事業者に対するＤＸ推進のため、埼玉県信用金庫加須支店が実施するＤＸ体験イベントを加須市商工会と共に後援し、市内事業者に対し周知した。

テ　ー　マ：デジタルによる働き方改革
開　催　日：令和7年12月12日（金）
会　　場：市民プラザかぞ3階多目的ホール

・企業訪問

市内企業の実態や行政への要望等を把握し、実情に即した商工労働振興施策を展開していく基礎資料とするため、53社の企業訪問を実施した。

事業名		デジタル商店街運営促進事業			3233-02
担当課		産業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	100,000 円	―
項	01	商工費	最終予算額	100,000 円	―
目	02	商工業振興費	決　算　額	100,000 円	―
事業の目的		市内事業者が様々な媒体を活用し、積極的な情報発信とサービス向上に寄与する取り組みを支援により、地域経済の活性化を図る。			
事業の概要		中小事業者や個人商店、直売農家等がインターネットサービスやＳＮＳ等を活用して情報発信や個別サービスを提供をできるバーチャルタウン「はなまる加須」を支援し、市内事業者の利用促進のための周知を図る。			

事業の実績・成果

デジタル技術を活用した情報発信ツールによる市内事業者の販売力向上等を目的として支援している株式会社ＦＵＮＳが運営するバーチャルタウン「はなまる加須」内で、登録事業者宣伝ページ「お店みせて！」「お仕事みせて！」の掲載、ＷＥＢ広告を実施することを支援した。

・ はなまる加須の登録事業者数　211 件（うち市内　202 件）　（令和 8 年 3 月 31 日現在）

業　種	農業	建設業	製造業	電気･水道業	情報通信業	運輸業
件数(市内)	18（17）	33（31）	24（23）	0（0）	5（5）	1（1）
業　種	卸売･小売業	不動産業	飲食店･宿泊業	医療・福祉	教育･学習支援業	サービス業
件数(市内)	30（29）	2（1）	32（31）	13（13）	18（18）	35（33）

・ はなまる加須の登録市内事業者数及び年間サイト閲覧件数（単位：件）

	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
登録市内事業者数	105	136	189	202
年間サイト閲覧件数	120,137	251,549	275,431	389,258

※令和 4 年度は令和 4 年 10 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで

・ デジタル商店街運営促進事業補助金　（単位：円）

事業主体（事業内容）	総事業費	市補助金	自己資金
はなまる加須の活性化に寄与する事業 ・ はなまる加須内で、登録事業者宣伝ページ「お店みせて！」「お仕事みせて！」の掲載、ＷＥＢ広告実施	130,000	100,000	30,000

事業名		かぞグルメ協働事業			3233-07
担当課		産業振興課		現　年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	68,000 円	―
項	01	商工費	最終予算額	68,000 円	―
目	02	商工業振興費	決　算　額	0 円	―
事業の目的		市内に所在する事業所、学校、行政が協働して、食に関連する連携事業を積極的に行うことにより、地域の活性化並びに学生、企業等の地域参画の促進を図り、多種多様な食によるまちづくりを推進する。			
事業の概要		花咲徳栄高等学校食育実践科との協働事業として、産学官連携による加須産農産物等を活用した食に関する事業を実施する。 「かぞグルメ」に係る情報発信を積極的に実施し、豊かな食のまちとしての加須市をＰＲする。			

事業の実績・成果

・ 花咲徳栄高等学校食育実践科の農業体験として、市内園芸農家との協働により令和 7 年 5 月 28 日にトマトの収穫体験、令和 8 年 1 月 15 日にきゅうりの収穫体験を実施した。

事業名		誘客促進ビジョン進行管理事業			3311-02
担当課		観光振興課		現　年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	54,000 円	―
項	01	商工費	最終予算額	54,000 円	―
目	03	観光費	決　算　額	27,000 円	―
事業の目的		観光の振興を推進するため、誘客促進ビジョンに掲げた取組を着実に実行する。			
事業の概要		取組状況を取りまとめたうえで、誘客促進ビジョン推進会議を開催し、様々な視点からの意見や助言を受けることで、進捗を的確に管理する。			

事業の実績・成果

誘客促進ビジョンに掲げた取組みについて、令和 6 年度実績を取りまとめ、進捗状況の確認や意見交換を行う「加須市誘客促進ビジョン推進会議」を開催した。

・日　　時　　令和 7 年 8 月 21 日（木）
・参加人数　　11 名

事業名		「うどん」と「こいのぼり」によるまちおこし事業			3311-04
担当課		観光振興課		現　年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	830,000 円	―
項	01	商工費	最終予算額	830,000 円	―
目	03	観光費	決　算　額	773,200 円	―
事業の目的		加須市の特産品である「うどん」と「こいのぼり」の魅力を全国に発信し、観光による交流人口の増加を図りながら、賑わいの創出と地域経済の活性化を図る。			
事業の概要		「うどん」「こいのぼり」に関わる様々な団体や関係者と連携した事業を展開して知名度アップを図る。			

事業の実績・成果

1　うどんによるまちおこし事業内容



【オリジナルステッカー】

○加須市観光大使のうどん YouTuber 武正倫氏とコラボイベントを実施した。
・オリジナルステッカー配布
　令和 7 年 6 月 16 日（月）から配布　協力店　24 店舗（約 6,000 枚を配布）

○加須市うどんの日（6 月 25 日）をＰＲする各企画を実施した。
・うどん情報誌「るるぶ特別編集加須」掲載店との連携により、各店考案のうどんの日特典を実施（協力店　18 店舗）
・市内各スーパーに「うどんのまち加須」のポスター掲示を依頼（協力店　12 店舗）



○地域の祭り等に参加する市内の団体に対し市所有のうどん釜等の貸出しを行った。
・貸出し　1 団体

○加須手打うどん会へ補助金を交付した。　360,000 円

2　こいのぼりによるまちおこし事業内容

公共施設をはじめ、市内事業所、協力団体と連携し、特産品である鯉のぼりを掲揚・展示し「こいのぼりのまち加須」をＰＲした。

○掲揚・展示場所
（市内）市役所本庁舎、総合支所、小中学校、幼稚園、保育園、加須市民体育館、文化・学習センター、図書館、道の駅おおとね、道の駅かぞわたらせ、加須駅北口前広場、加須駅南口ロータリー、加須駅構内、加須駅前商店会、「ふじとあじさいの道」の藤棚、会の川親水公園
（市外）東京スカイツリータウン®、ホテル椿山荘東京、Ｍ's ＳＱＵＡＲＥ（武蔵野銀行本店）

○関係団体との連携
・市所有の手描き鯉のぼり等を多くの人に見てもらうため、加須未来館を水族館に見立て、こいのぼり展示会を開催した。（期間：令和 8 年 3 月 3 日～5 月 8 日）
・鯉のぼり作家コミュニティ「鯉師会」
　鯉師会制作のこいのぼりをパストラルかぞにて展示した。（期間：令和 8 年 3 月 8 日～5 月 8 日）

○加須市鯉幟組合へ補助金を交付した。　70,000 円

事業名		観光資源活用事業			3311-18
担当課		観光振興課		現　年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	6,449,000 円	―
項	01	商工費	最終予算額	5,547,000 円	―
目	03	観光費	決　算　額	3,942,187 円	―
事業の目的		観光によるまちおこしを図るため、観光資源を活用した市のＰＲを推進する。			
事業の概要		本市が有する観光資源やその魅力、イベント等の情報を広く発信するとともに、関係団体等と連携した取組の推進により、市内への誘客及びにぎわいの創出を図る。			

事業の実績・成果

既存の観光資源を有効活用し、観光客を誘致し交流人口の拡大を図るため、マスメディアや冊子媒体、他県他市からの問い合わせ等を通して観光情報を発信した。

○観光入込客数の推移　（単位：千人）

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
観光入込客数	1,200.0	1,469.2	1,772.4	1,853.5	1,808.4

○古河花火大会

「第20回古河花火大会」の開催に伴い、メイン会場への最寄り駅である東武日光線新古河駅（北川辺地域）に多くの来場者が予想されることから、茨城県古河市をはじめ関係機関・団体と連携して交通整理やイノシシ対策の防護ネットを設置などの安全対策を講じた。

・古河花火大会協賛金　400,000 円
・渡良瀬川右岸防護ネット設置工事　429,000 円

○その他

・埼玉県物産観光協会への負担金
・近隣観光施設ネットワーク連絡会議への参加

事業名		観光サイクリング推進事業			3312-01
担当課		観光振興課		現　年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	718,000円	―
項	01	商工費	最終予算額	718,000円	―
目	03	観光費	決　算　額	582,860円	―
事業の目的		サイクリング適地としての認知度を高め、サイクリングによる交流人口の拡大を図る。			
事業の概要		「観光サイクリング」の推進や、サイクリングイベントを開催する。 　また、年間を通して自転車による観光を推進するため、観光レンタサイクルの維持管理や利用促進を図る。			

事業の実績・成果

加須市の観光サイクリングブランド「KAZOLING」を推進するため、サイクリングイベントの開催や観光レンタサイクルの貸出を行うなど、観光サイクリングの普及啓発を図った。

1　サイクリングイベント　　323,405円

本市を訪れるサイクリストの交流人口の拡大と、知名度の向上を図るため、市内外の立寄りスポットや協力店などのラリーポイントを自転車でめぐるサイクリングラリーを実施した。

開催期間：令和7年10月5日～11月14日
参加者数：94名
ラリーポイント：11カ所（立寄りスポット：7、店舗等：4）
主要経費：チラシ・ポスター印刷費、参加者賞品代他

2　かぞ観光レンタサイクル　　259,455円

環境に優しい交通手段の提供、交通アクセスの利便性の向上、観光事業の推進及び地域の活性化に寄与することを目的とし、市内5箇所においてレンタサイクル貸出事業を実施した。

観光レンタサイクル利用実績　　（単位：人）

ステーション名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
加須市商工会館　※	736	696	884	790	758
花崎コミュニティセンター	112	133	156	151	167
騎西文化・学習センター	51	42	31	42	26
北川辺文化・学習センター	7	11	13	13	9
道の駅童謡のふる里おおとね	20	31	26	8	12
合　計	926	913	1,110	1,004	972

※令和7年10月1日より、一般社団法人加須市物産観光協会（加須市商工会館1階）で実施

事業名		物産観光協会支援事業			3314-03
担当課		観光振興課		現　年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	36,781,000円	―
項	01	商工費	最終予算額	36,781,000円	―
目	03	観光費	決　算　額	31,941,998円	―
事業の目的		交流人口の増加を図り、賑わいの創出と地域経済の活性化を図る。			
事業の概要		加須市物産観光協会の運営を支援する。 【物産観光協会事業】 ・物産・観光イベントの開催 ・観光催物等の後援 ・宣伝ＰＲ・観光案内所の運営 ・観光資源の保存、創出			

事業の実績・成果

1　加須市物産観光協会が実施した事業について補助金を交付し支援を行った。

加須市物産観光協会補助金　交付額：36,781,000円
実績額：31,941,998円
返還金：　4,839,002円

2　「加須市物産観光協会」の法人化について

令和7年7月10日開催の協会総会において、同協会の法人化が承認され、この合意形成を踏まえて、8月7日に新協会の設立総会を開催し、その後の登記手続きを経て、10月から「一般社団法人」として、新たな組織運営を開始した。

・一般社団法人加須市物産観光協会発足式　9月28日（日）
・事務局スタッフの募集・採用（1名）
募集期間：5月9日～6月30日、応募人数：70名、採用日：10月1日

【協会の主な事業内容】

■物産・観光イベント等開催事業

○物産・観光イベント等の開催
藤まつり、あじさい祭り、騎西だるま市、オニバスフェスタ、遊水地探鳥ハイキング、こいのぼり展示会（手描きこいのぼり教室）、戸田ボートレース物産展 ほか

○物産・観光イベント等への参加、協力
東京スカイツリータウン®こいのぼりフェスティバル、世界キャラクターさみっと in 羽生
喜びの道の駅☆ゆめきらり出展 ほか

■普及事業

○地域の祭行事や伝統芸能への助成、支援
かぞ どんとこい！祭り、加須駅前こいのぼり掲揚、出初式、總願寺節分会、騎西夏祭り、イルミネーション大作戦、北川辺商工会サマーフェスタ、おおとね商工夏まつり、北大桑円満寺千手観世音大祭、御墳印の販売 ほか

■宣伝事業

○メディア等への情報発信
テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等のマスコミ各社へ情報提供

○浦和競馬北埼玉シリーズへの協力、三県境フェアの開催

○観光案内所の運営、ホームページの管理・運営

○市内各所（加須駅前広場、加須駅構内ほか）でのこいのぼりを展示

■観光拠点地振興事業

○地域に根ざし、交流拠点ともなる歴史ある観光資源の保存
植木剪定等に係る助成（不動ヶ岡不動尊總願寺、千方神社、玉敷神社）

■観光サイクリング促進事業

○加須市の観光サイクリングブランド「KAZOLING」関連イベントの実施
・サイクルエキスポ2025in 渡良瀬遊水地まつりへの協力

事業名		建築物耐震改修促進事業			1221-01
担当課		建築開発課		現　年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	6,020,000円	―
項	01	土木管理費	最終予算額	620,000円	―
目	01	土木総務費	決　算　額	13,173円	―
事業の目的		地震による建築物の倒壊等の被害から市民の生命、身体、財産等を保護する。			
事業の概要		・加須市建築物耐震化計画に基づき、耐震化を促進する。 ・建築物の耐震化の促進のため広報やホームページ等により情報発信をする。 ・被災建築物応急危険度判定の体制を整備する。 ・旧耐震基準の木造住宅の耐震診断及び耐震改修の費用の一部を補助する。			

事業の実績・成果

地震による被害から市民の生命、身体、財産等を保護するため、「加須市建築物耐震改修促進計画」に基づき、広報、耐震相談会、無料簡易耐震診断などを行い、耐震化の促進に努めるとともに、当該計画について、計画期間を令和8年度から令和12年度とする「第4次加須市建築物耐震改修促進計画」を策定した。また、発災時の余震等による二次災害を防止するため、被災建築物の応急危険度判定の体制整備を図った。

1　耐震化の促進

紙面等によるＰＲを行うと共に、地区防災訓練や加須地域市民まつり等のイベントにおいて耐震相談会を開催し、耐震化の促進を図った。

(1)　紙面等によるＰＲ　：計5回
- 無料簡易耐震診断兼耐震補助チラシ及びポスターを公共施設45施設に設置（4月）
- 耐震補助制度をSNSで発信（5月）
- 無料簡易耐震診断及び耐震相談会を広報紙に掲載（2回：8月号、11月号）
- 市内建築等関連業者317社に無料簡易耐震診断兼耐震補助チラシを配布（12月）

(2)　耐震相談会：計4回
- 令和7年5月24日（土）午前中　水深地区防災訓練（水深小学校）
- 令和7年10月4日（土）午前中　元和地区防災訓練（元和小学校）
- 令和7年10月19日（日）午前中　加須地域市民まつり（加須市民運動公園）
- 令和7年11月30日（日）午前中　日曜開庁（騎西総合支所1階北側エントランスホール）

(3)　市職員による木造住宅の無料簡易耐震診断

判定結果別件数　（単位：件）

区　分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
A（安　全）	1	1	7	7	5
B（概ね安全）	1	0	2	9	10
C（やや危険）	0	1	0	1	1
D（危　険）	2	0	0	5	3
合計	4	2	9	22	19

(4)　木造住宅への耐震補助（令和7年度増額：耐震診断 100,000円/件　耐震改修 500,000円/件）

区　分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
診断件数（件）	0	0	0	1	0
診断補助額（円）	0	0	0	25,000	0
改修件数（件）	0	0	0	0	0
改修補助額（円）	0	0	0	0	0

※令和6年度以前の耐震補助限度額（耐震診断 25,000円/件　耐震改修 100,000円/件）

2　被災建築物応急危険度判定の体制整備

(1)　加須市応急危険度判定士ネットワーク登録者数：47人

(2)　加須市応急危険度判定士ネットワーク参集連絡訓練：1回（令和7年9月）

(3)　埼玉県内一斉参集連絡訓練：2回（令和7年7月、令和8年3月）

(4)　応急危険度判定備蓄資機材（判定調査票、下げ振り等）の点検：1回（令和8年3月）

事業名		特定行政庁等建築行政事業			5212-02
担当課		建築開発課		現　年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	3,855,000円	―
項	01	土木管理費	最終予算額	3,855,000円	―
目	01	土木総務費	決　算　額	3,546,851円	―
事業の目的		建築基準法の審査等を通じて、建築物の安全を確保し、市民の生命、健康及び財産の保護等を図り、もって公共の福祉の増進に資する。			
事業の概要		・建築確認申請の適正な審査と建築パトロールを実施する。 ・長期優良住宅の認定やその他の法令に基づく審査等を実施する。			

事業の実績・成果

限定特定行政庁として、建築基準法及びその他の法令に基づき、建築物の審査等を行い、安全で快適な都市環境の形成に努めた。

1　主な対象建築物の規模

・木造2階建て以下かつ床面積300平方メートル以下のもの
・非木造平屋建てかつ床面積200平方メートル以下のもの

2　建築確認申請等の状況　（単位：件）

区分			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
確認申請	市審査	建築物	7	6	11	9	10
		工作物	1	0	0	0	0
		変更建築物	1	1	3	1	4
		変更工作物	0	0	0	0	0
		小計	9	7	14	10	14
	民間審査	建築物	635	632	571	562	507
		工作物	9	5	11	6	7
		変更建築物	28	34	24	21	26
		変更工作物	0	0	0	1	0
		小計	672	671	606	590	540
	合計		681	678	620	600	554
完了検査	市検査	建築物	5	6	5	6	12
		工作物	0	8	0	0	0
		小計	5	14	5	6	12
	民間検査	建築物	567	653	590	515	504
		工作物	7	5	11	6	3
		小計	574	658	601	521	507
	合計		579	672	606	527	519
長期優良	認定		69	77	106	131	191
	変更		8	6	23	25	37
	合計		77	83	129	156	228
低炭素	認定		13	7	4	1	0
	変更		0	0	0	0	0
	合計		13	7	4	1	0

（前ページの続き）

建省エネ	認　定	7	12	0	1	0
	変　更	0	0	0	0	0
	合　計	7	12	0	1	0
道路位置	指　定	0	0	1	0	0
	変更・廃止	1	0	3	3	0
	合　計	1	0	4	3	0
図書等写し	台帳記載証明書	209	250	234	275	333
	道路位置指定図	81	97	81	74	64
	建築計画概要書	184	198	203	213	273
	合　計	474	545	518	562	670

※確認申請及び完了検査の件数は、計画及び完了の通知件数を含む。

3　完了検査率の状況(民間確認検査機関を含む)　（単位：%）

区　分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
完了検査率	99.04	94.69	97.35	93.22	88.89

※令和5年度以前は新築、増築が対象で、令和6年度以降は県と同様に増築のみが対象。
※増築の確認申請物件を対象に建築パトロールを実施し、完了検査率の向上に努めた。

4　埼玉県屋外広告物条例に基づく許可の状況　（単位：件）

区　分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
新　規	19	22	39	35	27
期間更新	74	37	39	63	41
変更改造	10	9	5	12	18
合　計	103	68	83	110	86

5　加須市道路後退用地整備要綱に基づく分筆測量登記の状況

区　分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
件　数　(件)	1	2	2	2	1
面　積　(㎡)	16.98	26.16	36.81	34.13	27.39
委託料　(円)	0	377,300	557,700	400,400	390,500

6　その他届出書の状況　（単位：件）

区　分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
埼玉県景観条例	25	29	22	20	15
建設リサイクル法	158	126	135	134	124
建築物省エネ法	18	15	9	16	－　※

※建築物省エネ法の改正により令和7年度から確認申請時に省エネ義務化

事業名		建築営繕事業			5314-04
担当課		建築開発課		現　年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	763,000 円	―
項	01	土木管理費	最終予算額	763,000 円	―
目	01	土木総務費	決　算　額	675,905 円	―
事業の目的		市有施設について、施設の目的を反映した、利用しやすく、安全、快適で、高品質な建築物を整備する。			
事業の概要		・加須市市有施設設計方針に基づき施設整備を行っている。 ・施設所管課への技術支援を行っている。			

事業の実績・成果

公共施設の目的を反映し、利用しやすく、安全、快適で高品質な建築物を整備するため、他課からの依頼を受けて、「加須市市有施設設計方針」に基づいた、設計・工事を実施した。

1　建築物の設計、工事の状況

(1) 加須市立礼羽小学校校舎長寿命化改良工事1工区
(2) 加須市立礼羽小学校校舎長寿命化改良工事2工区
(3) 加須市立礼羽小学校校舎長寿命化改良工事3工区
(4) 加須市立礼羽小学校校舎長寿命化改良工事4工区
(5) 加須市立礼羽小学校校舎長寿命化改良電気設備工事
(6) 加須市立礼羽小学校校舎長寿命化改良機械設備工事
(7) 加須市立礼羽小学校校舎長寿命化改良工事監理等業務委託
(8) 加須市立高柳小学校校舎長寿命化改良工事設計業務委託
(9) 加須市立昭和中学校外7校屋内運動場空調設備設置等工事設計業務委託
(10) 加須市立昭和中学校外3校屋内運動場空調設備設置等工事【R7.12補】
〔繰越明許　令和8年度完成予定〕
(11) 加須市立大利根中学校外3校屋内運動場空調設備設置等工事【R7.12補】
〔繰越明許　令和8年度完成予定〕
(12) 加須市立昭和中学校外7校屋内運動場空調設備設置等工事監理等業務委託
〔繰越明許　令和8年度完了予定〕
(13) 加須市立新保育所新築工事設計業務委託
(14) 加須市立新保育所新築工事敷地測量業務委託
(15) 加須市立新保育所建築敷地地質調査業務委託
(16) 加須市消防団第1分団詰所新築工事
(17) 旧北川辺学校給食センター（昭和44年築）等解体及び駐車場整備工事設計業務委託
〔繰越明許　令和7年度完了〕
(18) 旧北川辺学校給食センター（昭和44年築）等解体及び駐車場整備工事【R7.9補】
〔繰越明許　令和8年度完成予定〕
(19) 加須市本庁舎給排水衛生設備改修工事設計業務委託
(20) 本庁舎冷却塔及び自動制御機器等更新工事【R7.2補】〔技術支援〕
(21) 本庁舎議場等天井改修工事〔技術支援〕
(22) 本庁舎照明器具ＬＥＤ化改修工事〔技術支援〕

2　設計資料等整備の状況

(1) 月刊積算資料、季刊建築施工単価、季刊建築コスト情報等の購入
(2) 埼玉県営繕積算システム複合単価及び刊行物掲載価格情報の利用料
(3) 公共建築工事標準仕様書等の図書購入

事業名		地籍調査事業			5211-05
担当課		農政建設課（北川辺）		現　年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	45,902,000 円	―
項	02	道路橋りょう費	最終予算額	45,902,000 円	―
目	01	道路橋りょう総務費	決　算　額	44,802,028 円	―
事業の目的		国土調査法に基づく地籍調査を実施することで、国土の開発及び保全並びにその利用の高度化に資するとともに、地籍の明確化を図る。			
事業の概要		国有林及び公有水面を除く一筆ごとの土地について、所有者・地番・地目・境界の確認と調査を行い、併せて境界の測量及び面積の測定を行うことにより、その成果である地籍図及び地籍簿を作成する。			

事業の実績・成果

・地籍の明確化とその利用の高度化を図るため、地域住民の協力のもと平成 12 年度から年次計画に基づいて調査を実施している。

○令和 7 年度の実績

・柳生 3 地区（後半工程：地籍図原図の作成、地籍測定、地籍図及び地籍簿の作成）

・小野袋 1 地区（前半工程：地籍図根三角測量、一筆地調査、細部図根測量、一筆地測量）

○調査地区の概要及び実績

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
地　区	麦倉 5(前半)	麦倉 5(後半) 柳生 1(前半)	柳生 1(後半) 柳生 2(前半)	柳生 2(後半) 柳生 3(前半)	柳生 3(後半) 小野袋 1(前半)
面　積	0.27 ㎢	0.27 ㎢ 0.35 ㎢	0.35 ㎢ 0.39 ㎢	0.39 ㎢ 0.34 ㎢	0.34 ㎢ 0.36 ㎢

○調査費（委託料）の推移　（単位：円）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
委託料	19,657,000	36,385,800	45,356,960	43,719,500	43,312,500
地籍調査費補助金	12,376,500	23,925,000	22,678,500	24,037,500	14,703,000

事業名		道路管理事務事業			5226-04
担当課		道路公園課		現　年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	67,718,000円	―
項	02	道路橋りょう費	最終予算額	59,539,000円	―
目	01	道路橋りょう総務費	決　算　額	50,228,134円	―
事業の目的		・加須市道及び法定外公共物に係る行政手続きを適正に処理することにより、道路利用者の通行の安全と適切な道路利用を推進する。			
事業の概要		・道路法で定める市で管理する道路の台帳を調整・保管し、閲覧に供する。 ・道路、水路の境界確定・復元及び証明書の発行。 ・市道への占用行為及び工事施工等の許可・承認。 ・法定外公共物の払い下げ等に関する事務。 ・市道内に残る未登記の調査及び所有権移転登記。			

事業の実績・成果

1　道路法に基づく許可事務

道路法に基づき道路工事施行承認及び道路占用許可に係る事務（申請受付から承認、許可）を停滞なく処理した。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
道路工事施行承認(件)	132	151	106	127	85
道路占用許可（件）	797	797	657	581	550
道路占用料（円）	40,247,938	41,186,043	41,859,583	42,328,536	41,979,265

2　加須市道及び法定外公共物の管理事務

道路台帳補正及び境界査定委託を実施し、道路の台帳及び境界を適正に管理した。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
委託金額（円）	37,851,000	30,672,400	26,165,700	32,842,600	33,826,100

3　道路・水路境界の確認及び確定事務（申請受付、現場立会い、境界確認証明書の交付）

境界確認申請に基づき、査定事務を停滞なく処理した。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
申請件数（件）	488	427	488	321	381

4　法定外公共物等の用途廃止に関する事務

法定外公共物等用途廃止に係る申請について書類を迅速に審査するとともに、法定外公共物等用途廃止検討委員会を開催し、法定外公共物等の用途廃止について適正に処理を行った。

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
開催回数（回）		3	3	3	2	4
処理件数（件）	道　路	11	7	12	13	16
	水　路	4	2	5	1	3

5　屋外広告物の簡易除却

違法な屋外広告物の除却を定期的に実施し道路景観が改善された。

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
除去回数及び件数	回数（回）	1	1	1	1	2
	件数（件）	17	35	21	21	23

6　道路賠償責任保険料

道路管理瑕疵による交通事故等について、速やかに現場を確認し保険会社へ事務手続きを開始することにより、適正に事務処理を行うとともに、道路交通に支障を来さないよう安全対策を実施した。

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事故発生件数及び保険金支払額	件数（件）	6	4	3	5	3
	金額（円）	1,230,049	552,524	83,830	918,982	120,223

7　道路敷借上料

市道を適正に管理するため、市道敷地として使用している私有地に係る契約に基づき、土地賃借料を支払った。

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
件数及び借上料	件　数（件）	19	18	18	18	19
	借上料（円）	339,766	332,323	332,323	332,323	379,503

事業名		自転車歩行者道整備事業			5224-08
担当課		道路公園課		現　年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	16,000,000円	14,100,000円
項	02	道路橋りょう費	最終予算額	16,000,000円	14,100,000円
目	02	道路維持費	決　算　額	15,771,800円	14,068,000円
事業の目的		自転車の利便性を推進し、自転車の交通安全を確保するため、自転車歩行者道の整備、既存道路を利用した自転車通行帯の整備など、快適な自転車生活を支援する。			
事業の概要		道路パトロールを実施し、不備な箇所について、その都度補修、修繕を実施する。 また、自転車歩行者道の舗装修繕や段差解消や植栽を舗装に転換し、自転車通行環境を整備する。			

事業の実績・成果

通行の支障となっている街路樹や植栽の伐採及び舗装転換を実施し、自転車環境の安全性と利便性の向上を図った。

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費等	箇所数（件）	－	2	1	2	2
	事業費（円）	－	946,000	462,000	14,199,800	15,771,800

【前年度からの繰越事業（繰越明許）】事業費計14,068,000円

○令和6年度から令和7年度へ繰越しを行った理由

・加須地域　（事業費14,068,000円）

市道141号線は、9月議会において補正予算を計上したが、測量設計に期間を要し、年度内の完了が困難になり工事費の繰越しを行った。

事業名		道路維持管理事業			5226-02
担当課		道路公園課		現　年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	531,441,000円	81,200,000円
項	02	道路橋りょう費	最終予算額	487,009,000円	81,200,000円
目	02	道路維持費	決　算　額	448,572,694円	73,750,000円
事業の目的		安全で快適な道路環境を作るため、加須市管理道路の維持を行う。			
事業の概要		道路パトロール、自治会や市民からの通報に基づき、直ちに修繕を行う。 幹線道路は、損傷度等から優先順位を付け計画的に修繕を行い、生活道路は、自治会等から要望が出された路線を「生活道路整備事業評価システム」により事業化する。			

事業の実績・成果

道路の維持補修の実施により、市民の日常生活や交通などの安全を確保し、生活環境の改善を図った。

○単価契約工事

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
件　数（件）	85	88	92	72	55
事業量（㎡）	3,282	2,831	2,343	3,369	4,676
事業費（円）	44,163,725	42,140,940	44,593,870	56,289,625	58,758,527

○舗装新設工事

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
件　数（件）	22	19	11	17	28
事業量（㎡）	17,826	19,030	7,240	17,516	26,417
事業費（円）	202,826,800	173,117,700	73,788,900	150,214,500	246,280,300

○業務委託

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
件　数（件）	40	47	44	54	73
事業費（円）	44,540,121	45,580,359	47,924,537	76,592,589	84,410,691

○維持管理工事

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
件　数（件）	43	52	51	51	57
事業費（円）	7,568,550	8,327,660	8,857,970	9,526,900	9,297,750

○道路照明灯LED更新工事

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
件　数（基）	2	19	21	12	16
事業費（円）	407,000	5,313,000	9,191,050	8,548,100	10,280,600

※水銀及びナトリウムランプからＬＥＤ灯具へ更新したもの

○原材料費

事業費（円）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	10,059,650	9,301,710	11,448,363	13,093,016	13,410,623

○舗装率

実績値（%）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	70.0	70.1	70.3	70.4	70.5

【前年度からの繰越事業（繰越明許）】 事業費計 73,750,000 円

○令和 6 年度から令和 7 年度へ繰越しを行った理由

・騎西地域 （事業費 26,840,000 円）
　市道 147 号線は、9 月議会において補正予算を計上したが、測量設計に期間を要し、年度内の完了が困難になり工事費の繰越しを行った。

・北川辺地域 （事業費 20,004,000 円）
　柳生駅遊歩道は、当初予算において予算を計上したが、関係機関との調整に期間を要し、年度内の完了が困難になり工事費の繰越しを行った。
　市道 162 号線は、9 月議会において補正予算を計上したが、関係機関との調整に期間を要し、年度内の事業完了が困難になり工事費の繰越しを行った。

・大利根地域 （事業費 26,906,000 円）
　市道 241 号線は、国の補正予算により新たに予算措置されたが、履行期間が短く、年度内の完了が困難になり工事費の繰越しを行った。

【翌年度への繰越事業（繰越明許）】 繰越明許費計 6,900,000 円

○令和 7 年度から令和 8 年度へ繰越す理由

・騎西地域 （繰越明許費 6,900,000 円）
　市道騎 2049 号線は、当初予算により予算を計上したが、隣接する水道工事との調整に期間を要し、年度内の完了が困難になり工事費の繰越しを行った。

事業名		街路樹維持管理事業			5226-03
担当課		道路公園課		現　年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	124,997,000 円	―
項	02	道路橋りょう費	最終予算額	124,997,000 円	―
目	02	道路維持費	決　算　額	115,536,978 円	―
事業の目的		街路樹を適切に管理し、「安心・安全」および「良好な沿道環境」の確保を図る。			
事業の概要		街路樹の樹形調整及び樹勢維持のために適切な管理を行いながら、維持管理の方針に基づき問題の解決を図る。 ・高木基本剪定：2～3 年に 1 回実施 ・低木選定：毎年度実施（樹高 50～70 ㎝以下に剪定） ・薬剤散布：害虫の発生時に適宜実施 ・除草：年 2 回実施 ・支障街路樹の伐採、植樹帯の撤去			

事業の実績・成果

市内幹線道路植樹帯の適正な維持管理を行い、快適な道路環境の整備を実施した。

安全な通行のため、街路樹の低木の高さを可能な限り高さを抑える剪定を行った。特に交差点付近では、乗用自動車の運転者の目線の高さに配慮した剪定を行い安全を確保した。

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
委託料（円）	45,930,144	46,976,017	70,618,935	118,795,410	114,750,478
工事費（円）	0	396,000	595,100	840,400	786,500

		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
箇所数（路線）	高木剪定	25	25	28	33	31
	低木剪定及び除草	53	53	53	51	50
	薬剤散布	3	4	15	15	28
	補植工事	0	1	1	1	1

事業名		野中まちづくりプラン整備推進事業			5212-05
担当課		農政建設課（大利根）		現　年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	10,754,000 円	―
項	02	道路橋りょう費	最終予算額	10,754,000 円	―
目	03	道路新設改良費	決　算　額	8,993,507 円	―
事業の目的		野中土地区画整理事業から除外する区域約 22.8ha について、道路及び公園等の基盤施設の整備を推進し、安心・安全で良好な居住環境の形成を図る。			
事業の概要		「野中地区まちづくりプラン」に基づく 44 路線(延長約 5.0km)について、用地買収方式により道路整備(現道拡幅及び新設)を進める。			

事業の実績・成果

・　安心・安全を基本に生活を支える道路等の基盤施設を充実し、良好な居住環境の形成を図った。

令和7年度 市道大4140号線外1路線境界杭設置業務委託　・・・・　407,000円

令和7年度 市道大4232号線道路改良工事　・・・・　8,580,000円

事業名		国・県道整備促進事業			5221-01
担当課		道路公園課		現　年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	25,000 円	―
項	02	道路橋りょう費	最終予算額	25,000 円	―
目	03	道路新設改良費	決　算　額	25,000 円	―
事業の目的		加須市と他地域を結ぶ広域幹線道路である国県道の整備促進を図る。			
事業の概要		・国道 125 号バイパス建設促進期成同盟会で埼玉県に要望活動を行う。 ・県道久喜騎西線バイパス建設促進期成同盟会で埼玉県に要望活動を行う。 ・市内の国道、県道の整備促進を図るため、県との調整を図り、地元関係者との調整を行う。 ・国道　 3 路線（バイパス整備 1 路線） ・県道　22 路線（バイパス整備 5 路線）			

事業の実績・成果

・埼玉県と共に事業を推進している路線
　一般国道 125 号加須羽生バイパス/都市計画道路国道 125 号加須バイパス
　一般県道久喜騎西線バイパス/都市計画道路幸手久喜加須線、下高柳道地線
　主要地方道羽生栗橋線バイパス/都市計画道路栗橋大利根加須線
　一般県道加須幸手線バイパス/都市計画道路幸手鷲宮加須線
　一般県道北中曽根北大桑線バイパス
　主要地方道羽生外野栗橋線バイパス

・国道 125 号バイパス建設促進期成同盟会等負担金
　国道 125 号バイパス、及び県道久喜騎西線バイパスの整備促進を図るため、埼玉県知事、道路県土整備部長及び地元選出県議会議員に対し、要望活動を行った。

（単位：円）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
負担金	10,000	29,000	25,000	25,000	25,000

事業名		利根川新橋建設促進事業			5222-01
担当課		道路公園課		現　年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	20,000 円	―
項	02	道路橋りょう費	最終予算額	20,000 円	―
目	03	道路新設改良費	決　算　額	10,000 円	―
事業の目的		加須市と板倉町を結ぶ利根川新橋の早期建設及び架橋に係る幹線道路の整備、並びに渡良瀬川新橋の建設を見据えた幹線道路の整備の実現。			
事業の概要		利根川新橋の建設に向け、関係自治体間の連携により関係機関への要望活動を行う			

事業の実績・成果

・加須・板倉利根川新橋建設促進協議会負担金
　利根川新橋の建設促進を図るため、埼玉県及び群馬県に対し、要望活動を行った。

（単位：円）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
負担金	20,000	20,000	20,000	20,000	10,000

事業名		幹線道路新設改良事業			5224-03
担当課		道路公園課		現　年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	45,200,000 円	26,931,500 円
項	02	道路橋りょう費	最終予算額	34,700,000 円	26,931,500 円
目	03	道路新設改良費	決　算　額	18,624,100 円	26,878,500 円
事業の目的		国県道とのネットワークを構築し、円滑な交通誘導により、交通事故の防止に寄与する。また、渋滞緩和により環境への負荷を軽減させる。			
事業の概要		「加須市道路網整備計画」において整備計画路線として位置付けた幹線 1･2 級市道の整備を行う。			

事業の実績・成果

道路の拡幅整備や構造改良等の実施により、市民の通行の安全性と利便性の向上を図った。

○事業費等

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
箇所数（件）	9	3	8	3	9
事業費（円）	3,037,743	9,592,000	14,050,600	2,544,541	18,624,100

【前年度からの繰越事業（繰越明許)】 事業費計 26,878,500 円

○令和 6 年度から令和 7 年度へ繰越しを行った理由

・騎西地域 （事業費 26,878,500 円）
　市道 145 号線は、国の補正予算により新たに予算措置されたが、履行期間が短く、年度内の完了が困難になり委託費、工事費の繰越しを行った。

【翌年度への繰越事業（繰越明許)】 繰越明許費計 14,000,000 円

○令和 7 年度から令和 8 年度へ繰越す理由

・騎西地域 （繰越明許費 14,000,000 円）
　市道 145 号線は、国の補正予算により新たに予算措置されたが、履行期間が短く、年度内の完了が困難になり工事費の繰越しを行った。

事業名		幹線道路側溝事業			5224-04
担当課		道路公園課		現　年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	23,000,000円	44,000,000円
項	02	道路橋りょう費	最終予算額	23,000,000円	44,000,000円
目	03	道路新設改良費	決　算　額	21,758,000円	40,193,900円
事業の目的		側溝整備により、道路溢水対策を図ると共に、道路幅員を有効活用し、歩行者の安全確保及び通行の利便性を図り、市内の道路交通網の充実を図る。			
事業の概要		幹線1・2級市道のうち、交通安全上危険な箇所、溢水箇所及び自治会等からの要望が出された路線について、検証し事業化する。			

事業の実績・成果

道路に側溝等を設置することにより、道路の溢水対策を図るとともに、市民の通行の安全性と利便性の向上を図った。

○事業費等

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
箇所数（件）	9	1	4	3	3
事業費（円）	47,130,600	15,653,000	7,979,900	14,629,000	21,758,000

【前年度からの繰越事業（繰越明許)】 事業費計40,193,900円

○令和6年度から令和7年度へ繰越しを行った理由

・加須地域 （事業費18,030,000円）
市道228号線は、9月議会において補正予算を計上したが、電柱移設に期間を要し、年度内の完了が困難となり工事費の繰越しを行った。

・大利根地域 （事業費22,163,900円）
市道217号線は、9月議会において補正予算を計上したが、測量設計に期間を要し、年度内の完了が困難になり工事費の繰越しを行った。

事業名		生活道路新設改良事業			5224-05
担当課		道路公園課		現　年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	49,150,000 円	6,203,013 円
項	02	道路橋りょう費	最終予算額	47,034,000 円	6,203,013 円
目	03	道路新設改良費	決　算　額	45,575,976 円	5,022,609 円
事業の目的		幹線道路等への円滑な交通アクセスの確保、日常生活における生活道路の安全性及び交通の利便性の向上を図る。			
事業の概要		生活道路のうち、交通安全上危険な箇所及び自治協力団体等からの要望が出された路線について、「生活道路整備事業評価システム」により評価し事業化する。			

事業の実績・成果

道路の拡幅整備や構造改良等の実施により、市民の通行の安全性と利便性の向上を図った。

○事業費等

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
箇所数（件）	37	5	13	15	20
事業費（円）	51,661,763	25,938,000	34,931,478	49,746,987	45,575,976

【前年度からの繰越事業（繰越明許)】 事業費計 5,022,609 円

○令和 6 年度から令和 7 年度へ繰越しを行った理由

・加須地域 （事業費 5,022,609 円）
　市道 5393 号線は、当初予算において予算を計上したが、用地交渉に期間を要し、年度の完了が困難になり委託費、土地購入費及び物件補償費の繰越しを行った。

【翌年度への繰越事業（繰越明許）】 繰越明許費計 998,000 円

○令和 7 年度から令和 8 年度へ繰越す理由

・加須地域 （繰越明許費 998,000 円）
　市道 5393 号線は、当初予算において予算を計上したが、用地交渉に期間を要し、年度の完了が困難になり委託費の繰越しを行った。

事業名		生活道路側溝事業			5224-06
担当課		道路公園課		現　年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	20,800,000 円	－
項	02	道路橋りょう費	最終予算額	17,949,000 円	－
目	03	道路新設改良費	決　算　額	16,749,720 円	－
事業の目的		側溝整備により、道路溢水対策を図ると共に、道路幅員を有効活用し、歩行者の安全確保及び通行の利便性を図り、市内の道路交通網の充実を図る。			
事業の概要		生活道路のうち、交通安全上危険な箇所及び自治協力団体等からの要望が出された路線について、「生活道路整備事業評価システム」により評価し事業化する。			

事業の実績・成果

道路に側溝等を設置することにより、道路の溢水対策を図るとともに、市民の通行の安全性と利便性の向上を図った。

○事業費等

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
箇所数（件）	6	7	3	3	8
事業費（円）	23,956,900	21,488,500	5,443,000	13,497,000	16,749,720

【翌年度への繰越事業（繰越明許)】 繰越明許費計 800,000 円

○令和 7 年度から令和 8 年度へ繰越す理由

・加須地域 （繰越明許費 800,000 円）

市道 8034 号線は、当初予算において予算を計上したが、用地交渉に期間を要し、年度の完了が困難となり委託費及び土地購入費の繰越しを行った。

事業名		橋りょう維持改良事業			5225-03
担当課		道路公園課		現　年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	106,330,000 円	30,354,843 円
項	02	道路橋りょう費	最終予算額	80,330,000 円	30,354,843 円
目	04	橋りょう新設改良費	決　算　額	49,315,034 円	21,262,474 円
事業の目的		市民が安全で安心して通行できる道路橋を確保するため、橋りょうの長寿命化及び耐震化という目的の違う 2 つの事業を実施することにより「防災のまちづくり」の実現を図る。			
事業の概要		令和 6 年度に改訂した「加須市橋りょう長寿命化修繕計画」に位置付けられた橋りょう（Ⅲ判定 39 橋、Ⅳ判定 5 橋）の長寿命化を行う。また、令和 6 年度に改訂した「加須市橋りょう整備計画」に位置付けられた耐震化 15 橋の進捗を図る。			

事業の実績・成果

橋りょうの長寿命化を図るため橋りょう点検を行い健全度の評価を実施した。
また、長寿命化修繕設計及び工事を行い通行の安全性の向上を図った。

○事業費等

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
箇所数（件）	214	204	274	78	82
・修繕設計(橋)	2	2	2	2	2
・修繕工事(橋)	2	2	2	2	2
・点検総数(橋)	208	200	268	73	77
うち職員点検数（橋）	111	200	138	0	26
事業費等（円）	65,853,146	31,695,740	98,502,475	69,538,857	49,315,034

【前年度からの繰越事業（繰越明許)】 事業費計 21,262,474 円

○令和 6 年度から令和 7 年度へ繰越しを行った理由

・加須地域 （事業費 21,262,474 円）
古門樋橋の橋りょう架替えは、当初予算において計上したが、関係機関との調整に期間を要し、年度内の完了が困難になり負担金の繰越しを行った。

【翌年度への繰越事業（繰越明許)】 繰越明許費計 27,050,000 円

○令和 7 年度から令和 8 年度へ繰越す理由

・加須地域 （繰越明許費 27,050,000 円）
橋りょう点検は、国の補正予算により新たに予算措置されたが、履行期間が短く、年度内の完了が困難になり委託費の繰越しを行った。
古門樋橋の橋りょう架替えは、当初予算において計上したが、関係機関との調整に期間を要し、年度内の完了が困難になり負担金の繰越しを行った。

事業名		県管理河川等整備支援事業			1216-01
担当課		治水課		現　年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	249,000 円	―
項	03	河川費	最終予算額	249,000 円	―
目	01	河川総務費	決　算　額	233,246 円	―
事業の目的		市民を洪水から守るため、国、県及び土地改良区が管理する河川・水路の整備を促進する。			
事業の概要		各協会、同盟会等を通じて国、県へ河川・水路の整備促進の要望活動を実施。			

事業の実績・成果

事業を推進するために必要な経費の一部を、埼玉県河川協会、五県連合利根川上流改修促進期成同盟会、利根川治水同盟、中川・綾瀬川流域改修促進期成同盟会、埼玉県治水協会、一級河川中川（上流域）改修事業整備促進期成同盟会及び青毛堀川改修事業整備促進期成同盟会へ負担し、国等に要望活動を実施した。

・埼玉県河川協会

治水及び利水に関する方策を研究し、河川事業の促進等を図るため、埼玉県県土整備部河川砂防課に事務局を置き、各県土整備事務所に支局を置き円滑な河川事務にあたる。

・五県連合利根川上流改修促進期成同盟会

河川改修工事を促進し、治水利水事業の完璧を期するため、治水事業に伴う利根川上流河川事務所管内関係各市町及び関係団体で同盟会を組織する。

国土交通省、関東地方整備局に対し、令和 7 年 10 月 29 日に要望活動を行った。

・利根川治水同盟

利根川の治水及び利水に関する方策を研究するとともに天災を防止するため、事業に関係を有する公共団体及び公営企業団体で同盟会を組織する。

令和 7 年 11 月 26 日の政府提案要求のための令和 7 年 7 月 31 日第 75 回利根川治水同盟治水大会（茨城県牛久市）に参加した。

・中川・綾瀬川流域改修促進期成同盟会

中川・綾瀬川流域の国直轄工事及び中川・綾瀬川流域の各河川の改修工事の促進を図るため、県及び関係市町で同盟会を組織する。

令和 7 年 5 月 19 日、令和 7 年度総会（越谷市）に参加した。

国会議員や関係省庁に対し、要望活動を令和 7 年 8 月 27 日に行った。

・青毛堀川改修事業整備促進期成同盟会

青毛堀川改修事業の促進を図るため、加須市、久喜市の首長、議会議長及び関係部長で同盟会を組織する。

埼玉県知事や関係当局に対し、要望活動を令和 8 年 1 月 19 日に行った。

・一級河川中川（上流域）改修事業整備促進期成同盟会

中川改修事業の促進を図るため、羽生市、加須市、久喜市並びに幸手市の首長、議会議長で同盟会を令和 2 年 8 月に設立した。

埼玉県知事や関係当局に対し、要望活動を令和 8 年 1 月 19 日に行った。

・利根川上流河川利用者協議会

利根川上流河川事務所管内の河川美化の推進、計画的高度利用、改修事業の促進を図るため、利用者相互の連絡調整を行い、河川の適正な利用を図ることを目的として、管内市区町村、各種利用団体で協議会を組織する。（会長：加須市長）

令和 7 年 4 月 12 日、渡良瀬遊水地クリーン作戦を実施した。

事業名		雨水流出抑制対策事業（雨水流出抑制対策事業（公共施設）、雨水流出抑制対策事業（民間施設）（ゼロ予算事業）、事業統合のうえ新設）			1217-19
担当課		治水課		現　年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	1,466,000 円	―
項	03	河川費	最終予算額	306,000 円	―
目	02	河川改良費	決　算　額	31,915 円	―
事業の目的		雨水を一時的に貯留し、河川や水路への流出を抑制して、洪水を防止することにより浸水被害を軽減し、市民生活の安全を確保する。			
事業の概要		・特定都市河川浸水被害対策法指定に伴う、雨水浸透阻害行為（開発行為等）の許可事務を実施する。 ・加須市溢水対策計画に基づき、公共施設（学校や公園など）の改修に併せた雨水貯留施設の設置を推進する。			

事業の実績・成果

【公共施設】

小学校、中学校、高校及び公園などにおいて、9,574 立方メートルが対策済みであり、引き続き公共施設での対策量の確保に向け、公共施設の改修時期に併せ、施設の機能を損なわない範囲での関係各課との協議を進め、設置を促進する。

○令和 8 年 3 月 31 日時点における対策済施設及び対策量(㎥)

①	香林寺池風の子公園	：	1,209
②	大利根中学校	：	1,677
③	県立不動岡高校	：	2,576
④	加須小学校	：	1,450
⑤	久下公園	：	546
⑥	騎西小学校	：	820
⑦	こすもす保育園	：	810
⑧	水深小学校	：	39
⑨	くさぶえ公園	：	347
⑩	元和小学校	：	50
⑪	加須南小学校	：	50
計		：	9,574

【民間施設】

加須市（北川辺地域を除く）を含む中川・綾瀬川流域では、昭和 55 年に総合治水対策協議会を設置、昭和 58 年に対策の目標・取り組み内容をまとめた流域整備計画を策定以降、40 年以上の長きにわたり、流域（国、 1 都 2 県、28 市区町）が一体となり総合治水対策を推進してきた。

一方で、気候変動の影響による降雨量や洪水発生頻度の変化という新たな課題や、流域における更なる市街化の進展、保水・遊水地域の減少等、将来への備えの観点から、浸水被害の軽減に向けた更なる治水対策として、特定都市河川浸水被害対策法の適用（特定都市河川の指定）について、国と流域の関係する自治体で意見交換を行ってきた。

国より令和 6 年 3 月 29 日に中川・綾瀬川流域が特定都市河川の指定を受け、同年 11 月 18 日に開催された中川・綾瀬川流域水害対策協議会において、協議を行い、令和 7 年 3 月に「中川・綾瀬川流域水害対策計画」が策定された。

また、令和 7 年 7 月の「特定都市河川浸水被害対策法」施行後は、1,000 ㎡以上の雨水浸透阻害行為（土地からの流出雨水量を増加させるおそれのある行為）については許可が必要となり、雨水流出抑制施設の設置が義務化されるなど一層の治水対策の強化が図れることとなった。

・令和 7 年度　雨水貯留浸透施設許可件数　　22 件

事業名		利根川未来パーク推進事業			4212-07
担当課		都市計画課		現　年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	15,000円	―
項	04	都市計画費	最終予算額	15,000円	―
目	01	都市計画総務費	決　算　額	5,760円	―
事業の目的		利根川周辺の多様な自然資源や機能を保全・活用して魅力的なまちづくりを推進する。			
事業の概要		未来館周辺の新たな拠点と既存の施設や資源のネットワーク化を図り、利根川流域で行われているまちづくりの取組を一体化することによって、地域の魅力と活力の向上を図る。			

事業の実績・成果

○利根川周辺地域の魅力発信

「利根川かわら版」新春号を発行し、ホームページへの掲載、利根川周辺の公共施設に配架するなど利根川周辺地域の魅力発信に努めた。

○野なか公園付近の道路植栽帯における植栽活動（おおごえ薹の会との協働活動）

実　施　日	内　容	参加人数
令和7年6月14日（土）	マリーゴールド植栽	8名
令和7年11月24日（月・祝）	パンジー植栽	13名

事業名		都市計画事務事業			5211-01
担当課		都市計画課		現　年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	2,839,000 円	―
項	04	都市計画費	最終予算額	2,241,000 円	―
目	01	都市計画総務費	決　算　額	1,178,011 円	―
事業の目的		地域の特性を活かし、秩序ある整備と発展を目指すため、計画的な土地利用と市街地の整備を推進する。			
事業の概要		・都市計画法に基づく各種都市計画制度（開発許可事務を除く）を運用する。 ・基礎的な地図資料となる都市計画基本図を作成し、都市計画情報を併せた行政資料を提供する。 ・政策的な課題について都市計画の観点から検討、解決する。			

事業の実績・成果

まちづくりの基礎となる各種都市計画の推進

都市計画関係法令や市条例等に基づく、土地利用規制等の運用について、庁内関係課及び総合支所関係課と協議・調整を図り、必要に応じて都市計画審議会を開催するなど、都市計画決定手続等が円滑に進められた。

○都市計画図及び全図等の提供

・都市計画図、全図、都市計画基本図を販売した。
都市計画図等の売払枚数（令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで）（単位：枚）

本　庁	総合支所			合　計
	騎　西	北川辺	大利根	
62	1	1	1	65

・庁内各課の公共施設の計画・設計等で使用する基盤地図として、都市計画基本図の電子データを提供し、業務の効率化を推進した。

○統合型・公開型 GIS の導入

・各課が個別 GIS 等を導入して地図を作成・管理することによる重複投資や紙地図による非効率な作業が行われている現状を解消するため、全庁的に地理情報の多面的、かつ効率的な利活用が期待される統合型・公開型 GIS を DX 推進課等と連携して導入し、令和 8 年 3 月 2 日に本格稼働を開始した。

○都市計画審議会の開催

	開催日	内　容
第 26 回	令和 7 年 4 月 28 日（月）	・「加須市都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例」第 6 条第 1 項第 1 号の規定に基づく区域の指定について ・加須市都市計画マスタープランの策定に向けた取組について
第 27 回	令和 7 年 11 月 17 日（月）	・加須都市計画地区計画の変更について
第 28 回	令和 8 年 1 月 29 日（木）	・加須市都市計画マスタープランの素案について
第 29 回	令和 8 年 3 月 17 日（火）	・加須市都市計画マスタープランの策定について

事業名		加須駅周辺まちづくり推進事業			5211-04
担当課		スーパーシティ推進課		現　年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	610,000 円	―
項	04	都市計画費	最終予算額	231,000 円	―
目	01	都市計画総務費	決　算　額	27,082 円	―
事業の目的		「病院を核とした加須駅周辺の新たなまちづくり構想」に基づき、本市の顔となるような魅力のある新しいまちづくりを推進する。			
事業の概要		構想に掲げるまちづくりのコンセプトの実現に向けて、ウェルネス、スマート、レジリエンスの 3 つの要素を取り入れ、様々な都市機能の集積を図る事業化の取組を行政と民間との適切な役割分担のもと進める。			

事業の実績・成果

・優先的まちづくりゾーン

第 2 次加須市総合振興計画のもと、「病院を核とした加須駅周辺の新たなまちづくり構想」における取組を推進する中、令和 7 年 2 月に加須市議会の主要会派から構想の見直しが必要となる具体的な提案と要望の提出を受け、その実現可能性を精査するため課題の整理や必要な取組案などの検討を行った。

会派が開催する勉強会において、優先的まちづくりゾーン基本計画の事業化想定区域で整備予定の道路及び公園について、令和 7 年度予算で実施する業務委託の概要などを説明するとともに、相違点など意見交換をすることにより共通理解を図ることができた。

道路及び公園整備に関する業務委託契約を締結し、引き続き実施するため令和 7 年度から令和 8 年度へ予算を繰越しした。

○勉強会での意見交換

全 4 回（令和 7 年 5 月～12 月）

○道路及び公園整備に関する予算を繰越し（道路公園課所管事業）

優先的まちづくりゾーン道路整備事業　18,942,000 円

優先的まちづくりゾーン公園整備事業　15,004,000 円

・まちなかにぎわい創出ゾーン

加須駅及び駅周辺商店等について、利用実態や傾向を把握するとともに、駅前の景色をどのように変えていきたいかなど潜在的なニーズを明らかにするためアンケート調査を実施した結果、にぎわい創出の取組に向けた基礎データを得ることができた。

また、エントリーしている埼玉版スーパー・シティプロジェクトにおいて、埼玉県主催の説明会や研修等に参加し県や民間事業者との連携を深めることで、次の段階である地域まちづくり計画の策定に向け参考とした。

○加須駅・駅周辺利用者アンケート調査の実施

実施期間　　令和 7 年 12 月 15 日～令和 8 年 1 月 31 日

回答者数　　1,033 人

結果公表　　市ホームページ（令和 8 年 3 月 18 日）

○埼玉版スーパー・シティプロジェクト推進に係る説明会及び研修等への参加

参加回数　　17 回

主な内容　　市町村と企業等の交流会、共創チャレンジピッチほか

事業名		土地開発基金事業			5211-06
担当課		財政課		現　年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	822,000円	―
項	04	都市計画費	最終予算額	1,722,000円	―
目	01	都市計画総務費	決　算　額	1,700,306円	―
事業の目的		公用若しくは公共用に供する土地又は公共の利益のため、あらかじめ土地を取得することにより、事業の円滑な執行を図る。			
事業の概要		・必要に応じ土地取得の財源とする。 ・基金の運用収益から生じる歳入歳出を管理する。			

事業の実績・成果

・土地開発基金の運用から生じた収益（利子）について、同基金へ積み立てた。
　また、同基金の周知を図り、各事業が円滑に遂行されるよう事業用地の取得に活用する。

【年度末基金残高の推移】　（単位：円）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
取り崩し額	0	0	0	0	0
積み立て額	0	0	0	0	0
利　　子	4,500	8,729	11,122	73,368	1,700,306
年度末残高	485,702,522	485,711,251	485,722,373	485,795,741	487,496,047
うち現金	438,670,645	438,679,374	422,677,084	418,100,452	412,359,022
うち債権	12,700,000	12,700,000	28,439,402	33,089,402	39,659,793
うち土地	34,331,877	34,331,877	35,127,191	34,605,887	35,477,232

【令和7年度の債権に関する明細】　（単位：円）

種　　別	金額
北下新井・琴寄地内 市道123号線用地の移転補償金	39,659,793

【令和7年度の土地に関する明細】　（単位：㎡）

用地の名称	面積	所在地	種別
騎西地区内保有地	989.00	下崎930-1	田
田ケ谷地区内保有地	5,085.00	内田ケ谷34-1、41-1、43-1	畑
北川辺地区内保有地	499.00	柏戸字丁張1691	田
北下新井地区内保有地	123.89	北下新井334-11、334-12、400-7、401-6	宅地
合　　計	6,696.89		

事業名		都市計画マスタープラン策定事業			5211-07
担当課		都市計画課		現　年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	15,342,000 円	―
項	04	都市計画費	最終予算額	15,342,000 円	―
目	01	都市計画総務費	決　算　額	15,320,873 円	―
事業の目的		都市計画法第 18 条の 2 に基づき、加須市総合振興計画、県が決定する都市計画区域の整備、開発及び保全の方針に即した都市の将来像を示すため、都市計画マスタープランを策定する。			
事業の概要		住民の意見を反映し、都市の将来像を示す都市計画マスタープランを策定する。			

事業の実績・成果

加須市都市計画マスタープランの策定（令和 8 年 3 月末）に向けて、以下の取組を令和 7 年度に実施した。

1　委託契約の概要

○契 約 日　令和 6 年 9 月 30 日
○委 託 料　29,480,000 円（令和 7 年度分の委託料支払額：15,312,000 円）
○受 注 者　株式会社パスコ　さいたま支店
○履行期間　令和 6 年 9 月 30 日から令和 8 年 3 月 31 日まで

2　オープンハウス（パネル展示）の開催

○目　　的　都市計画マスタープラン策定及び素案について、市民意見(パブリックコメント)の募集に関する周知のため、直接対話での意見交換により、都市計画マスタープラン策定の参考とする。
○展示内容　都市計画マスタープラン(素案)の説明、計画素案の説明動画の上映、都市計画について説明するマンガの配布、市民からのパブリックコメント募集など
○開催日等

開催日	開催会場	対象地域	参加者数
令和 8 年 2 月　1 日（日）	騎西文化・学習センター キャッスルきさい	騎西	106 人
令和 8 年 2 月　7 日（土）	大利根文化・学習センター アスタホール	大利根	22 人
令和 8 年 2 月 14 日（土）	北川辺文化・学習センター みのり	北川辺	27 人
令和 8 年 2 月 21 日（土）	加須文化・学習センター パストラルかぞ	加須	78 人
		合計	233 人

3　パブリックコメントの募集

○実施期間　令和 8 年 2 月 1 日から 3 月 2 日まで
○募集方法　市ホームページのほか、LINE、オープンハウスにより周知
　　都市計画課窓口、市ホームページにより素案閲覧
　　電子申請サービス、メール、FAX、郵送、持参により受付
○意見総数　個人 2 名から 7 件（うち 2 件の一部を反映）

4　庁内検討委員会の開催

	開催日	主な内容
第 3 回	令和 7 年 6 月 6 日（金）	・都市計画マスタープラン(1～3 章)の事務局提案について
第 4 回	令和 7 年 7 月 29 日(火)	・都市計画マスタープラン(4 章)の事務局提案について
第 5 回	令和 7 年 11 月 7 日(金)	・都市計画マスタープラン(5、6 章)の事務局提案について

5　庁内検討委員会分科会の開催

○第1回

分科会名	開催日	関係課
都市居住環境部会	令和7年 5月27日(火)	・将来都市像（都市づくりのテーマ案）について ・都市づくり関連の業務における課題について ・地域別構想の区割り検討について ・都市計画マスタープラン第1章～第4章までの内容について
都市インフラ部会	令和7年 5月28日(水)	
都市魅力向上部会	令和7年 5月28日(水)	
都市安心安全部会	令和7年 5月29日(木)	

○第2回

分科会名	開催日	関係課
都市居住環境部会	令和7年 9月30日(火)	・都市計画マスタープラン第5章の内容について
都市インフラ部会	令和7年 9月29日(月)	
都市魅力向上部会	令和7年 9月30日(火)	
都市安心安全部会	令和7年 9月29日(月)	

6　都市計画審議会への報告

	開催日	主な内容
第26回	令和7年4月28日（月）	・都市計画マスタープラン策定スケジュールについて ・市民参画の手法について
第28回	令和8年1月29日（木）	・都市計画マスタープランの素案について
第29回	令和8年3月17日（火）	・都市計画マスタープランの策定について

事業名		加須駅前会議室等管理事業			5211-09
担当課		スーパーシティ推進課		現　年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	1,124,000円	―
項	04	都市計画費	最終予算額	1,124,000円	―
目	01	都市計画総務費	決　算　額	735,370円	―
事業の目的		旧医療診断センターの活用の方向性が決まるまでの間、建物の劣化の進行を抑えるため、暫定的に会議室等として有効活用するとともに、適切に維持管理する。			
事業の概要		暫定的に庁内向けの会議室や事務作業スペース等として利用するとともに、館内清掃や除草・剪定など、適切に維持管理する。			

事業の実績・成果

主に会議や打合せ、事務作業で使用するとともに、清掃や除草の業務委託等により施設の維持管理を適切に行った。

なお、旧医療診断センターは、北埼玉医師会立准看護学校を移転し活用することで協議が進められている。

＜利用回数＞　　12回

事業名		優先的まちづくりゾーン道路整備事業 （新設）			5211-10
担当課		道路公園課		現　年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	18,942,000 円	―
項	04	都市計画費	最終予算額	18,942,000 円	―
目	01	都市計画総務費	決　算　額	0 円	―
事業の目的		「病院を核とした加須駅周辺の新たなまちづくり構想」に基づき、本市の顔となるような魅力ある新しいまちづくりを推進するための道路整備を進める。			
事業の概要		「病院を核とした加須駅周辺の新たなまちづくり構想」のうち、先行して進めることとした「優先的まちづくりゾーン」において、都市機能の集積を具現化するために必要な区域の骨格となる新たな道路整備を進める。			

事業の実績・成果

優先的まちづくりゾーンの骨格となる幹線道路の概略設計及び現地測量に着手し、事業促進を図った。

【翌年度への繰越事業（繰越明許)】 繰越明許費計 18,942,000 円

○令和 7 年度から令和 8 年度へ繰越す理由

・加須地域 （繰越明許費 18,942,000 円）
　優先的まちづくりゾーン幹線道路は、当初予算において計上したが、事業に関する調整に期間を要し、年度内の完了が困難になり委託費の繰越しを行った。

事業名		優先的まちづくりゾーン公園整備事業 （新設）			5211-11
担当課		道路公園課		現　年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	15,004,000 円	―
項	04	都市計画費	最終予算額	15,004,000 円	―
目	01	都市計画総務費	決　算　額	0 円	―
事業の目的		「病院を核とした加須駅周辺の新たなまちづくり構想」に基づき、埼玉県済生会加須病院の立地を起爆剤とした加須駅周辺の新たなまちづくりを推進する。			
事業の概要		事業化想定区域に位置する「優先的まちづくりゾーン」内の「水と緑ゾーン」に整備予定の都市公園について、計画策定を進める。			

事業の実績・成果

優先的まちづくりゾーンに整備予定の都市公園の公園基本構想策定及び公園整備計画策定に着手し、事業促進を図った。

【翌年度への繰越事業（繰越明許)】 繰越明許費計 15,004,000 円

○令和 7 年度から令和 8 年度へ繰越す理由

・加須地域 （繰越明許費 15,004,000 円）
　優先的まちづくりゾーン公園整備事業は、当初予算において計上したが、事業に関する調整に期間を要し、年度内の完了が困難になり委託費の繰越しを行った。

事業名		開発許可等事務事業			5212-01
担当課		建築開発課		現　年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	771,000円	―
項	04	都市計画費	最終予算額	771,000円	―
目	01	都市計画総務費	決　算　額	687,823円	―
事業の目的		地域住民や開発事業者等の理解や協力の下、計画的で良好な住環境の形成を推進する。			
事業の概要		・都市計画法に基づく開発許可申請等について、適正な審査を行う。 ・加須市住みよいまちづくり指導要綱に基づく事前協議について、適正な指導を行う。			

事業の実績・成果

都市計画法及び加須市住みよいまちづくり指導要綱に基づき、適正な指導及び審査を行い、住みよいまちづくりの推進を図った。

1　開発許可等申請件数の推移　（単位：件）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
開発行為許可	167	165	153	144	116
開発行為変更許可	70	94	79	49	51
予定建築物等以外の建築等許可	7	9	9	6	9
建築行為許可	12	15	10	4	9
地位承継	5	3	2	1	1
適合証明	443	418	434	406	411
開発登録簿写し	265	246	272	254	269
合　　計	969	950	959	864	866

2　開発許可件数の推移　（単位：件）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
専用住宅	121	132	133	116	102
共同住宅等	17	16	11	19	4
併用住宅	1	1	0	3	0
店舗	5	4	3	2	1
その他の建築物	15	11	8	5	7
合　　計	159	164	155	145	114

3　市街化調整区域の開発許可件数の推移　（単位：件）

許可件数のうち法第34条該当号別	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
第　1号【日常生活に必要な店舗等】	1	1	2	1	0
第　4号【農林漁業用施設】	0	0	0	0	0
第　7号【既存工場の関連施設】	0	0	0	0	0
第　9号【沿道サービス】	2	2	0	0	1
第10号【地区計画の区域】	0	0	0	0	0
第11号【集落区域の指定】	110	126	120	119	80
第12号【既存集落区域の指定等】	30	18	20	12	22
第14号【開発審査会】	0	0	0	0	0
合　　計	143	147	142	132	103

4　令和7年度の開発許可状況

（1）区域別　・市街化区域内：11件　・市街化調整区域内：103件　・非線引区域：0件

（2）住宅戸数　・市街化区域：38戸（内、分譲37戸）

・市街化調整区域：226戸［第11号：207戸、第12号：19戸］（内、分譲157戸）

事業名		駅前広場維持管理事業			5226-05
担当課		道路公園課		現年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	18,362,000円	―
項	04	都市計画費	最終予算額	18,230,000円	―
目	02	街路事業費	決算額	17,057,256円	―
事業の目的		駅前広場を安全かつ快適に利用できるように管理し、環境の維持、向上を図る。			
事業の概要		駅前広場内にある各施設（歩車道、植栽、公衆トイレ、照明灯等）を適正に管理する。 ・対象となる駅前広場 5 箇所（加須駅北口、加須駅南口、花崎駅北口、花崎駅南口、新古河駅西口） ・水銀ランプ照明灯を計画的（計画期間 5 か年：令和 4 年度から令和 8 年度）にＬＥＤ照明灯に交換する。対象の駅前広場：加須駅北口、花崎駅北口、南口			

事業の実績・成果

加須駅、花崎駅及び新古河駅（西口）駅前広場利用者の安全性及び快適性を確保するため、駅前広場施設の修繕や駅前公衆トイレの清掃等の維持管理を行った。

施設に起因する事故はゼロで清潔な環境を維持できた。

1　駅前広場の概要

・加須駅北口駅前広場　4,217㎡　・加須駅南口駅前広場　4,300㎡
・花崎駅北口駅前広場　4,000㎡　・花崎駅南口駅前広場　2,200㎡
・新古河駅西口駅前広場　2,535㎡

2　駅前公衆トイレの概要

・加須駅北口駅前公衆トイレ　床面積 20.89㎡（女子用 1、男子用大 1・小 2、障がい者用 1）
・花崎駅南口駅前公衆トイレ　床面積 20.25㎡（女子用 1、男子用大 1・小 1、障がい者用 1）

3　主な維持管理費

（1）委託料　11,631,950円

・加須駅北口、花崎駅南口駅前広場公衆トイレ清掃委託
・加須駅北口、花崎駅南口公衆トイレ
・加須駅、花崎駅駅前広場　清掃委託特別清掃
・加須駅、花崎駅駅前広場　除草委託
・加須駅花崎駅駅前広場樹木維持管理委託
・花崎駅北口南口駅前広場除雪及び融雪剤散布委託
・加須駅北口駅前広場サクラ新植委託
・新古河駅西口駅前広場内スズメバチ駆除委託
・新古河駅西口駅前広場維持管理（高木軽剪定）業務委託

（2）工事請負費　2,904,000円

・加須駅南口駅前広場バス停留所舗装改修工事

（3）修繕料　1,152,800円

・花崎駅北口駅前広場屋外照明灯ＬＥＤ交換修繕
・加須駅北口駅前広場トイレ照明修繕
・新古河駅西口駅前広場街路灯塗装修繕

（4）光熱水費　1,281,497円

・電気料　1,197,043円
・水道料　84,454円

（5）その他の管理費　　41,036 円
・火災保険料（駅前広場公衆トイレ）　5,036 円
・街路事業促進協議会負担金　　36,000 円

（5）下水道使用料　　40,529 円

（6）旅　費　　5,444 円

4　維持管理費の推移　　（単位：円）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
維持管理費	13,491,130	13,922,098	13,492,746	13,194,534	17,057,256

事業名		市の木サクラ普及事業			5133-11
担当課		道路公園課		現年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	22,000 円	―
項	04	都市計画費	最終予算額	22,000 円	―
目	03	公園費	決　算　額	22,000 円	―
事業の目的		市の木「サクラ」が市民生活と結びつき、加須市の象徴として市民に末永く愛され、親しまれる木として市内全域の普及に努め、併せて市民と行政との協働によるまちづくりの推進を図る。			
事業の概要		・市の木の市内における見どころを関係課等と連携して整備、紹介する。 ・関係課等と連携して、公共施設へ市民との協働により市の木の植樹を推進する。			

事業の実績・成果

市内各所の開花状況を市ＨＰに掲載する「桜」見所マップで周知を図るとともに、植樹の要望があった団体（花崎北第二区町内会）に苗木を配布し、市民と行政の協働により事業の普及、推進を図った。

1　植樹の概況
植樹を実施した場所　　花崎北公園
苗植樹を実施した団体　　花崎北第二区町内会

消耗品
・（添木、培養土など含む）　　22,000 円

2　市のホームページ（開花状況など）を更新した回数　　1 回

3　市公共施設に植樹されている桜の本数　　4,594 本（令和 8 年 3 月 31 日現在）

事業名		公園整備事業			5231-01
担当課		道路公園課		現年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	85,827,000円	―
項	04	都市計画費	最終予算額	77,616,000円	―
目	03	公園費	決算額	69,164,244円	―
事業の目的		公園ごとの魅力や特色を活かした公園を整備し、利用の促進を図る。			
事業の概要		・市民との協働により、利用者のニーズに即した4つの形態（①スポーツ・健康づくり型、②遊び型、③自然・文化・歴史型、④コミュニティ・広場型）に分類した公園を、それぞれの機能に応じた整備を進める。 ・令和3年度に策定した「加須市公園維持管理計画」について、計画期間の満了に伴い、公園の利用状況や今後のあり方を把握するためアンケート調査を実施し、地域環境や利用ニーズの変化を踏まえて見直しを行う。 ・老朽化している遊具等、公園施設の点検結果などを踏まえ撤去・設置・修繕等を行う。			

事業の実績・成果

市民の憩いの場、レクリエーションの場として、市民が快適に利用できるよう公園内の老朽化した遊具の撤去・設置工事を行った。公園内の安全を維持した結果、施設に起因する事故はゼロであった。

また、公園の利用状況や今後のあり方を把握するためのアンケート調査を実施し、「加須市公園維持管理計画」の改訂を行った。

1　土地借上（1件）　　143,644円
・市民運動公園用地借上面積　　1,015㎡

2　委託(2件)　　10,615,000円
・公園台帳補正業務委託
・星子沼公園改修工事設計業務委託

3　工事(5件)　　58,405,600円
・花崎愛宕公園遊具設置工事
・川口北・岡公園内トイレ公共下水道切替工事
・騎西総合公園木製デッキ撤去等工事
・星子沼公園改修工事
・開琴亭公園あずまやB撤去工事

4　都市公園の現況調書

	都市公園数	公園面積（ha）	増減の理由
令和3年度	374	167.1	公園の再編
令和4年度	346	169.8	公園の新設・変更・廃止
令和5年度	350	170.0	公園の新設・変更
令和6年度	354	170.2	公園の新設・変更
令和7年度	354	170.2	公園の変更

※　各年度4月1日現在
※　県営キサイフーズはなさきふれあいパーク（加須はなさき公園）を含む

事業名		公園維持管理事業			5232-01
担当課		道路公園課		現年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	273,360,000円	―
項	04	都市計画費	最終予算額	271,799,000円	―
目	03	公園費	決　算　額	259,029,791円	―
事業の目的		地域のニーズに即して再編した公園の適切な維持管理を図る。			
事業の概要		・公園内やトイレの清掃、樹木剪定、除草等を実施する。 ・職員や専門業者による遊具点検を実施する。 ・公園内の危険箇所や不良箇所を修繕する。 ・水銀ランプ照明灯を計画的（計画期間5か年：令和4年度から令和8年度）にＬＥＤ照明灯に交換する。			

事業の実績・成果

都市公園やその他公園内の安全性及び快適性を確保するため、遊具施設等の修繕、樹木の剪定・薬剤散布、トイレ施設の清掃等の維持管理を行った。事故はゼロで安全・清潔な環境を維持できた。

1　光熱水費等　10,454,072円
- 電気料　6,659,806円
- 水道料　3,062,745円
- 下水道使用料　604,371円
- 農業集落排水施設使用料　127,150円

2　修繕料（遊具・トイレ・水飲み場・ベンチ等の修繕、照明灯ランプの交換等）　19,685,954円

3　都市公園緑地等公共施設の維持管理業務委託　209,062,548円
- 清掃、除草、薬剤散布等業務委託
- 樹木維持管理、緊急伐採等業務委託
- スズメバチ駆除業務委託
- 遊具点検業務委託
- 開発公園等維持管理委託
- 施設等維持管理業務委託

4　その他の維持管理費（消耗品、燃料、火災保険、浄化槽汲取り等）　19,827,217円

○管理施設（公園、その他公園）の内訳の見込み（令和8年3月31日現在）　（単位：施設）

	加須地域	騎西地域	北川辺地域	大利根地域	合　計
都市公園	212	44	50	45	351
県立公園	1	0	0	0	1
合　計	213	44	50	45	352

※　県立公園については、キサイフーズはなさきふれあいパーク（加須はなさき公園）多目的グラウンド内の簡易トイレを管理。

※　公園の数は、例年4月1日の告示を以て、確定しています。

○委託料の推移（令和8年3月31日現在）　（単位：円）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
委託料	142,793,483	141,722,833	156,129,312	163,337,855	209,062,548

事業名		公園等サポーター推進事業			5233-01
担当課		道路公園課		現年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	102,000円	―
項	04	都市計画費	最終予算額	102,000円	―
目	04	緑化対策費	決　算　額	68,169円	―
事業の目的		市民の身近な緑の保全・創出・活用を図る。			
事業の概要		自治協力団体など、様々な担い手で構成する花植えや除草など公園管理をボランティア活動で行っていただく「公園サポーター」の維持管理を促進し、また小規模公園等の利用の活性化を図り、協働による維持管理を推進する。			

事業の実績・成果

野なか公園等の花壇に草花の植栽を行い、訪れる市民の皆様に潤いや安らぎを提供した。

○草花の植栽実績

種　類	マリーゴールド（株）	パンジー（株）
数　量	１３４	１４０

事業名		憩いの場整備事業			5231-03
担当課		都市計画課		現　年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	15,000円	―
項	04	都市計画費	最終予算額	15,000円	―
目	04	緑化対策費	決　算　額	0円	―
事業の目的		子どもからお年寄りまで誰もが憩える場を提供することにより、市民間の交流を深めるとともに、環境保全意識の向上を図る。			
事業の概要		空地や公共スペースの一部などを有効活用し、地元住民と協働により身近な憩いの場として整備を行う。また、整備後の維持管理についても協働で行えるよう誘導する。			

事業の実績・成果

・地元住民との協働で整備した「憩いの場」の維持管理を行うため、清掃や除草、草花等の植栽活動を実施した。
・余剰品を活用し、新たに消耗品等（作業用品等）の支出を要しなかったため予算執行なし。

○下高柳憩いの場（水深地区環境美化推進クラブ）
・除草作業等の維持管理活動（令和７年９月２日）

○川口憩いの場（川口環境保全協力会）
・葛西用水路土地改良区の管理用地の一部をあじさい等の植栽により「憩いの場」として使用するための協定書を締結（葛西用水路土地改良区と協議の上、令和７年度以降は自動更新）。
・除草作業等の維持管理活動（通年）

事業名		野中土地区画整理事業特別会計繰出事業			5212-04
担当課		農政建設課（大利根）		現　年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	189,857,000円	―
項	04	都市計画費	最終予算額	184,857,000円	―
目	05	土地区画整理費	決　算　額	183,213,250円	―
事業の目的		住み良い快適な居住環境の創造と、宅地の利用増進を図る。			
事業の概要		国庫支出金や保留地処分金等による区画整理事業の事業費の不足分を補うため、特別会計に資金を繰り出す。 また、水道管布設工事の一部を一般会計で負担するとともに、県用地（島中幹線用水路）の一部を取得する。			

事業の実績・成果

・　野中土地区画整理事業の推進を図るため、道路等の整備、公債費（土木費）の償還、除草業務に係る経費等について、一般会計から野中土地区画整理事業特別会計へ繰り出した。

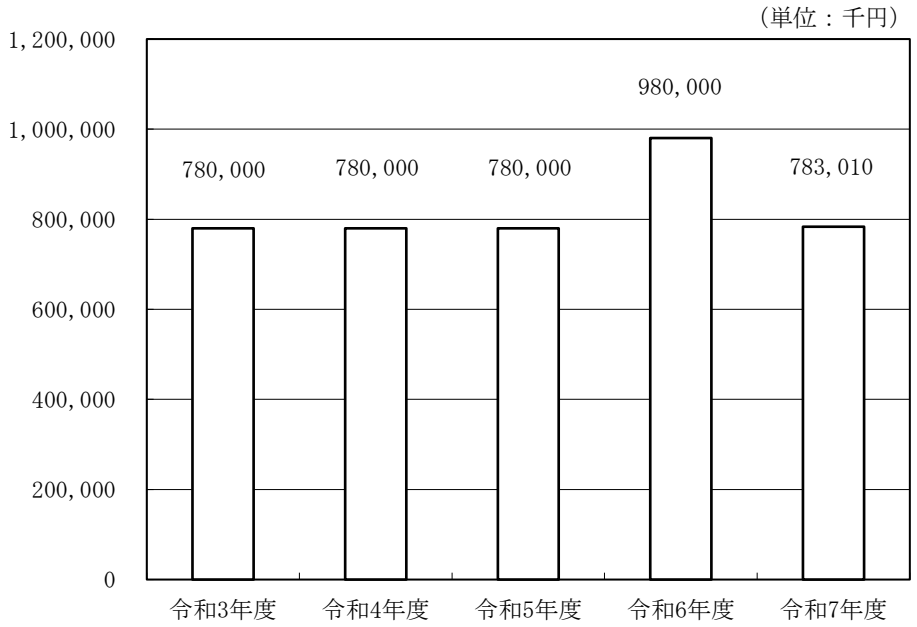
　また、土地区画整理事業の工事施工にあわせて市水道課が施工した、水道管敷設工事費の一部を負担した。

事業名		公共下水道事業繰出事業			4421-12
担当課		下水道課		現　年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	783,010,000円	―
項	04	都市計画費	最終予算額	783,010,000円	―
目	06	公共下水道費	決　算　額	783,010,000円	―
事業の目的		公共下水道事業経営に必要な資金を措置し、事業運営の安定化を図ることにより、下水道サービスを持続的に提供する。			
事業の概要		第３次加須市公共下水道事業中期経営計画（経営戦略）により試算した収支計画に基づき、適正な繰出金を措置する。			

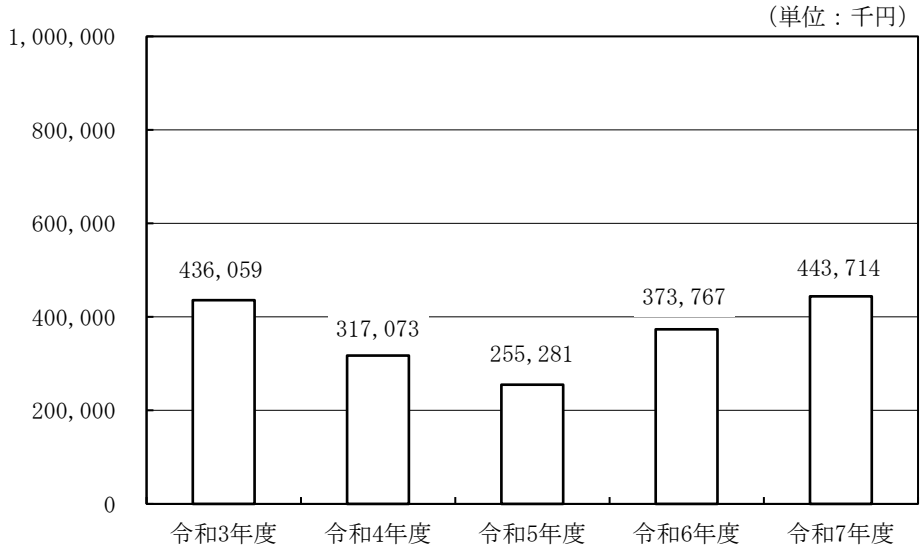
事業の実績・成果

1　下水道事業会計（公共下水道事業）繰出金の推移

第 3 次加須市公共下水道事業中期経営計画（経営戦略）に基づいた繰出金により、事業経営の健全化及び下水道サービスの持続的な提供が図られた。



2　下水道事業会計（公共下水道事業）における内部留保資金の推移



※内部留保資金：減価償却費など現金の支出が伴わない経費により蓄積された資金や積立金などの利益剰余金であり、企業内部に留保されている資金のこと。

事業名		雨水排水対策事業			1217-01
担当課		治水課		現　年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	56,000,000円	―
項	04	都市計画費	最終予算額	49,000,000円	―
目	07	都市下水路費	決　算　額	36,830,246円	―
事業の目的		溢水や浸水被害を防止するため、溢水箇所などの流域を含めた広域的な視点による整備に努める。			
事業の概要		溢水対策計画に基づき、溢水被害箇所の水系ごとに、排水路の改修や道路冠水箇所の道路嵩上げ、排水ポンプ等の設置を行う。			

事業の実績・成果

・溢水対策計画に基づく水路改修や道路嵩上げなどの対策工事を実施するための進捗が図られた。

実施場所

加須地域　　北小浜地区において物件補償及び工事を実施した。
　　中央1丁目地区、久下4丁目外地区、下高柳地区、南篠崎地区の測量設計を実施した。

大利根地域　北下新井地区、新川通地区において調査測量を実施した。

（単位：円）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
委託料	0	489,500	0	4,268,000	17,039,000

（単位：円）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
工事費	7,029,000	0	11,935,000	12,870,000	4,900,000

※令和7年度北小浜地内雨水排水対策工事は繰越したため前払金を計上。

補償費　北小浜地内の工事に係る物件補償を実施した。（14,891,246円）

【翌年度への繰越事業（繰越明許）】9,000,000円

・翌年度への繰越事業の内容及び令和7年度から令和8年度へ繰り越す理由

加須地域

令和7年度　北小浜地内雨水排水対策工事（9,000,000円）

・物件補償において、関係地権者との調整に期間を要したため。

事業名		市街地排水路維持管理事業			1217-07
担当課		治水課		現　年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	42,192,000 円	―
項	04	都市計画費	最終予算額	42,192,000 円	―
目	07	都市下水路費	決　算　額	37,282,348 円	―
事業の目的		市街地における集中豪雨等による浸水被害の解消を図る。			
事業の概要		排水機場の計画的なポンプ設備の修繕や保守点検。 市街化区域内を流れる市管理水路の維持管理（雑草刈払、浚渫、転落防止柵）			

事業の実績・成果

排水路の維持管理（雑草刈払、浚渫、転落防止柵改修）により、雨水の水路機能が向上し、溢水被害の改善が図られた。

（単位：円）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
委託料	14,715,076	16,863,275	18,954,492	21,954,900	29,750,633

（単位：円）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
工事費	0	495,000	495,000	0	572,000

事業名		溢水時緊急対策事業			1217-13
担当課		治水課		現　年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	1,323,000 円	―
項	04	都市計画費	最終予算額	663,000 円	―
目	07	都市下水路費	決　算　額	509,250 円	―
事業の目的		市民との協働により溢水に伴う被害の軽減を図る。			
事業の概要		加須市溢水対策計画に基づき、集中豪雨や台風等において、溢水被害を最小限にとどめるため、水防用土のうの作成、運搬をおこなう。また、水防情報システム（水防協力員）によりバリケード等を設置するため地元の協力者へ依頼している。			

事業の実績・成果

・集中豪雨や台風による溢水が発生した場合に、正確な情報を早期に把握することが大切という観点から、道路冠水や家屋の浸水被害が多発している14地区について、35名の周辺住民の協働の連絡体制（平成21年度から継続）を構築し、溢水被害の軽減を図った。

水防協力員配置地区（自治協力団体）：　大桑第1区、久下1丁目、礼羽第1区、大桑第3区、土手町内会、花崎1丁目、下高柳地区、三俣第3区、三俣第4区、中央1丁目、正能2区、小野袋地区、北下新井上地区、新川通下地区

事業名	調整池維持管理事業（調整池維持管理事業（市街化区域）、調整池維持管理事業（市街化調整区域）、事業統合のうえ新設）			1217-18
担当課	治水課		現　年	前年度からの繰越
款 08	土木費	当初予算額	40,941,000 円	―
項 04	都市計画費	最終予算額	40,941,000 円	―
目 08	環境整備費	決　算　額	30,592,187 円	―
事業の目的	調整池の維持管理を適正に行い、排水区域の水害を防止する。			
事業の概要	溢水被害の発生を抑えるため施設の保守点検・計画的な機器修繕及び調整池内の雑草刈払を実施する。			

事業の実績・成果

調整池の排水機場保守、雑草刈払い、修繕等を実施し、調整池の貯留、排水機能を保持した。

・維持管理費の内訳

加須地域

加須流通業務団地調整池	2,439,011 円
下高柳工業団地調整池（北・南側）	2,882,973 円
川口調整池	4,002,223 円
花崎北調整池	4,730,000 円
三俣調整池	1,030,840 円
加須大利根工業団地調整池	495,000 円
開発行為調整池（不動岡、北小浜、水深、下高柳 1、下高柳 2）	2,791,827 円
志多見ミニ工業団地調整池	495,000 円

騎西地域

藤の台工業団地調整池	4,102,691 円
新道上調整池	241,185 円
騎西調整池	24,688 円
あじさい調整池	171,134 円
騎西城南産業団地調整池	1,766,565 円
騎西総合公園多目的広場調整池	181,179 円
上崎調整池	18,269 円
種足野通川調整池	498,327 円

大利根地域

大利根ハイツ調整池	82,672 円
星子沼調整池	1,177,000 円
新利根調整池	1,870,000 円
加須ＩＣ東地区産業団地調整池	1,591,603 円

事業名		市営住宅管理運営事業			5212-06
担当課		建築開発課		現　年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	34,224,000 円	―
項	05	住宅費	最終予算額	34,224,000 円	―
目	01	住宅管理費	決　算　額	34,176,708 円	―
事業の目的		低額所得者（市内在住・在勤者）に低廉な家賃で住宅を供給する。 市営住宅（161 戸）の適切な維持管理を行う。			
事業の概要		・市営住宅 161 戸(秋葉団地:58 戸、三俣団地:28 戸、下崎住宅:8 戸、天沼団地:57 戸、北川辺住宅 10 戸)の入居管理、施設維持管理を埼玉県住宅供給公社への管理代行委託により行う。 ・北川辺住宅、下崎住宅については、耐用年数を経過し老朽化していることから全戸退居後、解体を予定している。			

事業の実績・成果

低額所得者（市内在住・在勤者）にセーフティーネットとして住宅を供給するとともに、市営住宅の良好な居住環境を維持し、低額所得者の住生活の安定を図った。

1　建築物概要（令和 7 年度末現在）

区　分	構造規模	棟数	管理戸数	築年数	耐用年数※	所在地
秋葉団地	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 4 階建 (一部 3 階建)	5	58	33 年（2 棟） 32 年（3 棟）	70	馬内 502 番地 2
三俣団地	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 3 階建	2	28	29 年	70	北小浜 805 番地
天沼団地	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 3 階建	3	57	25 年（1 棟） 22 年（2 棟）	70	道地 1380 番地
下崎住宅	木造 2 階建	4	8	38 年	30	下崎 699 番地 1
北川辺住宅	木造平屋建	2	10	57 年	30	向古河 2391 番地

（管理戸数の合計：161 戸）　　※公営住宅法による耐用年限による

2　定期公募：2 回（6 月募集：2 戸募集 0 戸入居、12 月募集 6 戸募集 1 戸入居）

3　随時募集：定期公募で入居がなかった住戸を対象に随時募集（延べ 19 戸のうち 4 戸入居）

4　入居状況（令和 7 年度末現在）　　（単位：戸）

区　分	入居戸数	令和 7 年度入居	令和 7 年度中退去	備　考
秋葉団地	43	2	6	空き　15 戸
三俣団地	25	2	2	空き　3 戸
天沼団地	52	1	5	空き　5 戸
下崎住宅	6	―	0	政策空家　2 戸
北川辺住宅	3	―	0	政策空家　7 戸
合　計	129	5	13	空き　23 戸 政策空家　9 戸

（下崎住宅と北川辺住宅は耐用年数を経過して老朽化しているため、新規募集を行っていない。）

※市営住宅の家賃、駐車場使用料は、市営住宅使用料収納対策事業（ゼロ予算事業）に掲載。

事業名		小集落改良住宅管理運営事業			5212-08
担当課		建築開発課		現　年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	1,159,000 円	―
項	05	住宅費	最終予算額	1,159,000 円	―
目	02	小集落改良住宅管理費	決　算　額	592,462 円	―
事業の目的		歴史的、社会的理由から整備が遅れた地域の住環境を整備する。			
事業の概要		小集落改良住宅 28 戸の入居管理、施設維持管理を行う。また、家賃収納業務を行う。			

事業の実績・成果

歴史的、社会的理由から整備が遅れた地域の小集落改良住宅の入退居管理・施設維持管理を行い、当該地域の住生活の安定を図った。

1　建築物概要（令和 7 年度末現在）

区　分	構 造 規模	棟数	管理戸数	築 年 数	耐用年数	所 在 地
小集落改良住宅	簡易耐火構造 2 階建 (1 棟 2 戸建)	14	28	53 年（5 棟） 52 年（9 棟）	45	志多見字林の中地内

※改良住宅等管理要領（建設省住宅局通知）による償却の期間による

2　入居状況（令和 7 年度末現在）　（単位：戸）

区　分	入居戸数	令和 7 年度中入居	令和 7 年度中退去	備　考
小集落改良住宅	18	―	1	政策空家 10 戸

（耐用年数を経過して老朽化しているため、新規募集を行っていない。）

3　家賃収納状況　（単位：円）

区　分		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
調定額	現年度	684,000	684,000	684,000	684,000	660,580
	過年度	1,407,000	613,000	519,000	426,000	378,000
	計	2,091,000	1,297,000	1,203,000	1,110,000	1,038,580
収納額	現年度	657,000	684,000	684,000	684,000	660,580
	過年度	821,000	94,000	93,000	48,000	24,000
	計	1,478,000	778,000	777,000	732,000	684,580
収納率（%）	現年度	96.05	100.00	100.00	100.00	100.00
	過年度	58.35	15.33	17.91	11.26	6.34
	計	70.68	59.98	64.58	65.94	65.91

事業名		埼玉東部消防組合運営事業			1331-01
担当課		危機管理防災課		現　年	前年度からの繰越
款	09	消防費	当初予算額	1,552,347,000 円	―
項	01	消防費	最終予算額	1,552,347,000 円	―
目	01	常備消防費	決　算　額	1,552,347,000 円	―
事業の目的		埼玉東部消防組合の消防・救急活動により、災害や事故から住民の生命、身体及び財産を守る。			
事業の概要		加須市、久喜市、幸手市、白岡市、宮代町及び杉戸町の消防に関する事務を共同処理するため、埼玉東部消防組合を運営する。【埼玉東部消防組合実施】			

事業の実績・成果

埼玉東部消防組合運営等に係る加須市分の負担金を支出した。

○埼玉東部消防組合運営負担金（常備分）：1,551,615,000 円
　埼玉東部消防組合運営費（共通経費分）に係る負担金
○埼玉東部消防組合負担金（非常備分）：732,000 円
　加須市女性防火クラブ負担金、加須市危険物防火安全協会負担金

【火災・救急】埼玉東部消防組合加須市内出動件数（1 月 1 日～12 月 31 日）　（単位：件）

	令和 3 年中	令和 4 年中	令和 5 年中	令和 6 年中	令和 7 年中
火災件数	40	47	77	55	85
救急件数	4,737	5,911	6,230	6,231	6,240

資料提供：埼玉東部消防組合

【火災件数の内訳】（1 月 1 日～12 月 31 日）　（単位：件）

	令和 3 年中	令和 4 年中	令和 5 年中	令和 6 年中	令和 7 年中
建　物	13	19	32	26	42
車　両	4	4	7	5	12
その他	23	24	38	24	31
合　計	40	47	77	55	85

資料提供：埼玉東部消防組合

事業名		消防団活動事業			1333-01
担当課		危機管理防災課		現　年	前年度からの繰越
款	09	消防費	当初予算額	94,135,000円	―
項	01	消防費	最終予算額	91,604,000円	―
目	02	非常備消防費	決　算　額	80,684,569円	―
事業の目的		地域における消防防災のリーダーとして地域に密着し、市民の生命財産の保護及び安全安心なまちづくりを推進する。			
事業の概要		消防・自主防災訓練や警戒等による消防防災活動に対する支援、機材・器具等の保守及び更新を行う。 消防団活動のＰＲを行う。 円滑な消防団活動が行えるよう消防署との連携を図る。 総務省消防庁から配置された救助資機材搭載車両の活用を図る。			

事業の実績・成果

加須市消防団員の資質向上に努め、火災防ぎょ・防火啓発活動、警戒活動など市民の安全安心の確保のために活動した。

1　消防団員数の推移（3月31日時点）　（単位：人）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
消防団員数	420	416	400	388	385
（女性消防団員数）	(11)	(11)	(9)	(8)	(6)
（機能別団員数）	(19)	(18)	(19)	(15)	(17)

2　消防団活動状況

(1)火災訓練等出動人員の状況　（単位：人）

	令和3年中	令和4年中	令和5年中	令和6年中	令和7年中
火災・風水害	970	902	1,584	1,324	1,817
演習・訓練等	5,745	6,551	6,308	5,050	5,494
広報・指導	1,246	1,227	1,190	1,418	619
特別警戒	368	457	516	730	1,346
その他	331	357	378	699	668
合計	8,660	9,494	9,976	9,221	9,944

(2)機能別団員活動状況

日程	事業名	参加者
令和7年5月3日	市民平和祭警戒	2名
令和7年10月16日	機能別団員辞令交付式	3名
令和7年11月16日	消防特別点検	1名
令和8年1月5日	消防出初式	1名
令和8年3月2日	春の火災予防運動啓発活動	3名
計		10名

3　消防団第3分団空調設備更新工事　1,265,000円

第3分団（不動岡地区）詰所のエアコンの更新工事を実施した。

事業名		消防団特別活動事業			1333-02
担当課		危機管理防災課		現　年	前年度からの繰越
款	09	消防費	当初予算額	1,918,000 円	―
項	01	消防費	最終予算額	1,918,000 円	―
目	02	非常備消防費	決　算　額	1,432,484 円	―
事業の目的		市民の生命、身体及び財産を災害から守るため。旺盛なる消防精神と厳粛なる規律を図り、消防団員の技能の熟達と士気を高める。			
事業の概要		消防特別点検や消防出初式において、消防団員の礼式や、ポンプ操法等を実施し、日ごろの成果を市長が点検し、有事に対し万全な体制を整える。 また、加須市民平和祭の雑踏警戒などに参加し啓発を図る。			

事業の実績・成果

火災期を迎え団員の技能の熟達と士気を高めるため、加須市消防特別点検を加須市民運動公園において実施した。

また、新春初頭の恒例行事として消防出初式を実施し、全地域の自治協力団体代表、市議会議員、県議会議員、各団体の代表等を招待し、加須市全体としての防災意識の高揚を図った。

1　消防特別点検

(1)　実 施 日　　令和 7 年 11 月 16 日（日）
(2)　実施場所　　加須市民運動公園
(3)　参加機関　　消防団・機能別団員・女性防火クラブ・埼玉東部消防組合消防音楽隊
(4)　点検事項　　服装規律の点検及び部隊訓練
　　分列行進（徒歩・車両）
　　機械器具の点検
　　ポンプ車操法

2　消防出初式

(1)　実 施 日　　令和 8 年 1 月 5 日（月）
(2)　実施場所　　加須文化・学習センター「パストラルかぞ」駐車場
(3)　参加機関　　埼玉東部消防組合加須消防署・埼玉東部消防組合消防音楽隊・
　　消防団・機能別団員・女性防火クラブ・加須鳶組合・埼玉県防災航空隊
(4)　参加車両　　消防署車両　 8 台
　　消防団車両　22 台【救助資機材搭載型車両含む】
(5)　実施内容　　消防署による放水訓練
　　鳶組合による纏振り
　　市長巡閲
　　車両の観閲

事業名		消防団車両整備事業			1333-03
担当課		危機管理防災課		現　年	前年度からの繰越
款	09	消防費	当初予算額	25,812,000 円	―
項	01	消防費	最終予算額	25,012,000 円	―
目	02	非常備消防費	決　算　額	24,982,531 円	―
事業の目的		消防団活動に必要なポンプ自動車を各分団に配備し、災害等の非常時に対応できる安心安全なまちづくりを推進する。			
事業の概要		車両の老朽化に伴い更新計画に基づき更新する。			

事業の実績・成果

消防団第 11 分団（田ケ谷地区）の消防ポンプ自動車について、計画に基づき普通自動車免許にて運転が可能となる車両（3.5t 未満）にて更新と車両交付式（令和 7 年 12 月 2 日）を実施した。

〇消防ポンプ自動車（3.5t 未満）購入費：24,915,000 円

事業名		消防団詰所整備事業			1333-04
担当課		危機管理防災課		現　年	前年度からの繰越
款	09	消防費	当初予算額	87,148,000 円	―
項	01	消防費	最終予算額	84,148,000 円	―
目	02	非常備消防費	決　算　額	83,964,226 円	―
事業の目的		消防団活動の拠点となる詰所を整備し、災害等の非常時に対応できる安心安全なまちづくりを推進する。			
事業の概要		詰所の老朽化に伴い、更新計画に基づき更新する。			

事業の実績・成果

1　加須市消防団第 1 分団（加須地区）詰所新築工事を実施した。

〇新築工事費：82,500,000 円

2　加須市消防団第 1 分団（加須地区）詰所落成式を実施した。

日時　令和 8 年 3 月 7 日（土）　午後 3 時 00 分～
場所　加須市消防団第 1 分団（加須地区）詰所

事業名		消防水利事業			1332-01
担当課		危機管理防災課		現　年	前年度からの繰越
款	09	消防費	当初予算額	58,196,000 円	―
項	01	消防費	最終予算額	57,946,000 円	―
目	03	消防施設費	決　算　額	57,835,200 円	―
事業の目的		火災による被害の軽減を図るため、消防活動に有効な場所に消防水利を整備する。			
事業の概要		【消火栓】 ・埼玉東部消防組合で設置箇所を検討、水道課で事業執行。消火栓（開発等により民間から移譲された物も含む）の保守管理も水道課が実施。 【防火水槽】 ・埼玉東部消防組合により有蓋化箇所を市関係課と調整・検討し、有蓋化工事を実施。 ・防火水槽の維持管理も埼玉東部消防組合が実施。			

事業の実績・成果

1　市内の防火水槽の維持管理、修繕等に関する埼玉東部消防組合への負担金を支出した。

〇埼玉東部消防組合負担金（非常備分）：17,199,000 円
　防火水槽有蓋化：5 基

2　市内の公設消火栓等水利施設の維持管理、修繕、新設工事に関する加須市水道事業への負担金を支出した。

〇消火栓維持管理負担金：6,918,000 円
〇消火栓新設工事負担金：4,710,000 円
〇消火栓修繕負担金：　21,790,000 円

【年度別整備状況（公設・私設水利）】埼玉東部消防組合加須消防署管内　（単位：箇所）

種別／年度	消火栓	防火水槽	プール	池水	河川	計
令和 3 年度	2,283	1,072	36	16	89	3,496
令和 4 年度	2,294	1,101	36	18	89	3,538
令和 5 年度	2,306	1,104	36	18	89	3,553
令和 6 年度	2,335	1,094	36	18	89	3,572
令和 7 年度	2,338	1,098	36	18	89	3,579

資料提供：埼玉東部消防組合

3　埼玉東部消防組合の維持管理対象外の防火水槽について、撤去工事を実施した。

〇撤去工事費：4,664,000 円
〇撤去工事に伴う費家屋調査：2,554,200 円

事業名		消防施設管理事業			1332-02
担当課		危機管理防災課		現　年	前年度からの繰越
款	09	消防費	当初予算額	15,550,000 円	―
項	01	消防費	最終予算額	15,419,000 円	―
目	03	消防施設費	決　算　額	15,394,000 円	―
事業の目的		消防施設の適正な管理及び改善への調査や審議を行い、消防・防災体制を整える。			
事業の概要		消防施設の改善その他消防に関し必要な審議を行うための加須市消防審議会の設置、埼玉東部消防組合の改修工事の負担金を支出する。			

事業の実績・成果

1　北川辺・大利根分署耐震補強を目的とした大規模改修工事実施に係る事業債元利償還金を支出した。

○埼玉東部消防組合特別負担金
・大規模改修工事実施に係る事業債元利償還金：14,349,000 円

2　老朽化した火の見櫓（町屋新田）を、安全確保のため撤去工事を実施した。
○火の見櫓撤去工事：1,045,000 円

事業名		消防施設整備基金事業			1332-05
担当課		危機管理防災課		現　年	前年度からの繰越
款	09	消防費	当初予算額	1,000 円	―
項	01	消防費	最終予算額	4,000 円	―
目	03	消防施設費	決　算　額	3,008 円	―
事業の目的		消防・救急力の強化を図るため、消防施設・車両の整備を目的とした基金の管理・運用を行う。			
事業の概要		消防施設の整備等を目的とした経費に充てる財源のための基金へ積み立てる。 加須市消防車両整備費等の協力寄附金取扱要綱に基づく寄附金を受け入れる。 （中高層建築物の地上 5 階以上又は高さ 15m 以上の階の床面積の合計に 1 ㎡当たり 1,000 円を乗じて得た額を基準）			

事業の実績・成果

消防施設整備等を目的とした経費に充てる財源のための利子を積み立てた。

（単位：円）

		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
前年度末残高		1,515,109	1,515,122	1,515,136	1,515,150	1,515,968
決算年度中増減高		13	14	14	818	3,008
内訳	寄附金	0	0	0	0	0
	利子	13	14	14	818	3,008
	繰入金	0	0	0	0	0
決算年度末現在高		1,515,122	1,515,136	1,515,150	1,515,968	1,518,976

事業名		利根川（右岸・左岸）及び渡良瀬川右岸の堤防強化対策事業			1211-01
担当課		治水課		現　年	前年度からの繰越
款	09	消防費	当初予算額	11,000 円	―
項	01	消防費	最終予算額	11,000 円	―
目	04	防災費	決　算　額	11,000 円	―
事業の目的		利根川及び渡良瀬川の堤防の決壊による洪水被害を防ぎ、市民の安全･安心を確保する。			
事業の概要		国交省が実施している首都圏氾濫区域堤防強化対策、利根川左岸や渡良瀬川右岸の整備を促進するために、地域との連絡調整や進捗説明など、国と連携して実施する。			

事業の実績・成果

○首都圏氾濫区域堤防強化対策の推進
・関係機関との事業に係る各種協議・調整を実施

○利根川左岸並びに渡良瀬川右岸の堤防強化対策の推進
・地域協議会の開催（令和 7 年 11 月 13 日）

○渡良瀬遊水地の治水事業促進に関する要望活動
・栃木市の主催により、渡良瀬遊水地に面する 4 市 2 町の首長が連名で、令和 7 年 9 月 30 日に利根川上流河川事務所（関東地方整備局）、国土交通省並びに治水議員連盟議員に要望した。

＜参考＞
○首都圏氾濫区域堤防強化対策における加須市区間進捗率（令和 8 年 3 月末時点）
用地取得進捗率 約 98%、堤防強化延長進捗率 約 99%

○利根川左岸並びに渡良瀬川右岸の堤防整備の進捗（令和 8 年 3 月末時点）
利根川左岸堤防整備（嵩上げ）整備延長 約 5,810m、渡良瀬川右岸堤防整備延長 約 1,720m

事業名		災害対策情報収集室運営事業			1212-01
担当課		治水課		現　年	前年度からの繰越
款	09	消防費	当初予算額	10,000 円	―
項	01	消防費	最終予算額	10,000 円	―
目	04	防災費	決　算　額	7,737 円	―
事業の目的		利根川・渡良瀬川・荒川の洪水の危険性が高まった場合、災害対策情報収集室で適時・的確に情報を収集し、防災ラジオなどにより市民に正確な情報提供を行い、逃げ遅れゼロを目指す。			
事業の概要		広域避難に重点を置いた、避難情報の発令のための気象、河川水位等情報取集を行う施設の設置、運営			

事業の実績・成果

【災害対策情報収集室運営実績】
・令和 7 年 6 月 15 日に災害対策情報収集室立上げ訓練を実施。
・台風が関東地方へ接近する 5 日前より災害対策情報収集室の運営を開始し、台風に関する情報を収集した。
・避難情報発令の円滑化を図るため、令和 7 年 4 月 22 日に熊谷地方気象台を訪問し、情報共有の依頼と意見交換を行った。
・熊谷地方気象台の「気象台オンライン解説」に Web 会議にて出席した。
・熊谷地方気象台が開催した「新たな防災気象情報について」に Web 説明会にて出席した。

【消耗品費】災害対策情報収集室で使用する文房具を購入した。　　7,737 円

事業名		加須市・羽生市水防事務組合運営事業			1213-01
担当課		治水課		現　年	前年度からの繰越
款	09	消防費	当初予算額	2,896,000 円	―
項	01	消防費	最終予算額	2,896,000 円	―
目	04	防災費	決　算　額	2,792,000 円	―
事業の目的		利根川及び渡良瀬川の洪水等による被害の軽減を図る。			
事業の概要		加須市・羽生市水防事務組合の運営。 利根川・渡良瀬川の非常時を想定した水防計画の策定、水防工法訓練の実施、重要水防箇所の堤防巡視を実施。 ※加須市・羽生市水防事務組合議員数：17 名			

事業の実績・成果

加須市・羽生市水防事務組合が計画する水防計画の見直しや、水防団員による堤防警戒等の水防活動を行い、利根川及び渡良瀬川の水防に万全を期した。

また、水防工法訓練を令和 7 年 6 月 7 日に加須市新川通地先　利根川右岸（新川通地区河川防災ステーション内）において開催し、229 名の水防団員による水防工法技術の習得と作業能力の向上を図った。

・加須市・羽生市水防事務組合負担金　　2,688,000 円
（事務局　加須市）
・専任水防団員報酬　　104,000 円（年額　5,200 円／人　専任水防団員数　20 名）

その他の事業

令和 7 年 5 月 15 日　堤防巡視（川俣出張所管内）を実施

令和 7 年 6 月 20 日　堤防巡視（大利根・渡良瀬遊水地出張所管内）を実施

令和 7 年 7 月 28 日　加須市・羽生市水防協議会を開催

令和 7 年 7 月 28 日　令和 7 年第 2 回加須市・羽生市水防事務組合議会を開催

令和 8 年 3 月 26 日　令和 8 年第 1 回加須市・羽生市水防事務組合議会を開催

事業名		水防センター等管理運営事業			1213-02
担当課		治水課		現　年	前年度からの繰越
款	09	消防費	当初予算額	3,763,000 円	―
項	01	消防費	最終予算額	3,755,000 円	―
目	04	防災費	決　算　額	2,797,819 円	―
事業の目的		利根川及び渡良瀬川の洪水等による被害の軽減を図るため、地域水防団等の待機場所、国や市の現地対策本部として、迅速な水防活動の拠点施設を担う水防センターの適切な維持管理を行う。			
事業の概要		大利根水防センター及び合の川水防センターの維持管理を実施し、有事の際に備える。大利根水防センターの管理は大利根総合支所地域振興課、合の川水防センター管理は北川辺総合支所地域振興課で行っている。			

事業の実績・成果

【合の川水防センター】

洪水時の水防活動拠点である「合の川水防センター」の適切な管理を行い、市民の安心、安全な生活の確保に努めた。

・合の川水防センター負担金　284,481 円

※国土交通省利根川上流河川事務所との細目協定書に基づき支出。

【内訳】

・電気料　219,279 円
・水道料　14,127 円
・消防設備等点検　22,157 円
・浄化槽点検　28,918 円

【大利根水防センター】

国土交通省関東地方整備局との共有管理部分であるトイレ、廊下、風除室の清掃を行うことで常に清潔な状態が保たれた。トイレ付帯施設の浄化槽点検清掃を行い適切な管理が図られた。

・大利根水防センター施設管理負担　250,635 円

※国土交通省利根川上流河川事務所との細目協定書に基づき支出。

【内訳】

・電気料　243,098 円
・水道料　7,111 円
・目的外排水　426 円

・浄化槽検査・保守点検等に係る手数料　443,100 円
・消耗品　11,546 円
・パートタイム会計年度任用職員報酬　460,557 円

【北川辺栄水防拠点外】

・栄水防拠点除草業務委託　1,188,000 円
・伊賀袋水防拠点除草業務委託　159,500 円

事業名		大規模水害広域避難対策事業			1214-01
担当課		危機管理防災課		現　年	前年度からの繰越
款	09	消防費	当初予算額	2,533,000 円	―
項	01	消防費	最終予算額	1,823,000 円	―
目	04	防災費	決　算　額	1,748,600 円	―
事業の目的		大規模水害に対応するために、広域避難や緊急避難対策も含めた総合的な避難体制を構築する。			
事業の概要		地域防災計画に基づき、早めの広域避難対策を実施し、水害に備える。 また、広域避難の実効性を高めるとともに、市民へ避難方法等の普及を図り、避難情報発令の際に、迅速に行動ができるように日頃から備える。			

事業の実績・成果

1　総合水害広域避難訓練の実施

近年、日本各地で台風や集中豪雨による被害が多発しており、令和元年東日本台風（台風第19号）においても、利根川の水位が氾濫危険水位を上回り、避難指示を発令する事態となったことを受け、大型台風の接近・上陸を想定し、避難情報の発令、広域避難対象地域・地区の住民の方の広域避難及び水害時避難場所の開設・運営等を総合的に訓練する「総合水害広域避難訓練」を実施し、市民の防災・減災への意識の高揚とともに防災力の向上を図る。

(1)総合水害広域避難訓練（広域避難・避難場所開設等）

日程	時間	対象	訓練種目・内容
6月15日(日)	8:30 ～ 10:30	自治協力団体、民生委員・児童委員、防災士、加須警察署、水害時避難場所運営班、施設管理者	市民参加による広域避難訓練、水害時避難場所開設・運営訓練、交通誘導訓練、災害時応援協定連携訓練

対象：避難場所34箇所、バス発着所9箇所

参加人数：1,201人

2　地区別の広域避難啓発チラシの配布

水害時避難行動等啓発チラシを対象地区の自主防災訓練、出前講座で配布した。

事業名		地域防災計画管理事業			1222-03
担当課		危機管理防災課		現　年	前年度からの繰越
款	09	消防費	当初予算額	6,673,000 円	―
項	01	消防費	最終予算額	3,138,000 円	―
目	04	防災費	決　算　額	2,923,570 円	―
事業の目的		災害から市民の生命及び財産を守るために、加須市地域防災計画を適正に管理するとともに周知を図る。			
事業の概要		・地域防災計画見直しに係る庁内会議の開催 ・防災会議の開催 ・地域防災計画の周知			

事業の実績・成果

1　加須市業務継続計画 BCP（震災対策編・風水害対策編）の改訂

加須市地域防災計画（震災対策編・風水害対策編）の令和 7 年 3 月の改訂に伴い、全面的に改訂した。

(1) 主な改訂内容

・地域防災計画（震災対策編・風水害対策編）の災害対策本部の各班の分掌事務と整合を図った。
・各課における優先度の高い通常業務の見直し
・参考資料として対応事業一覧を作成

(2) 改訂の経過

月日	会議等
令和 7 年 12 月 4 日	意見照会（1 回目）
令和 8 年 1 月 13 日	意見照会（2 回目）
令和 8 年 2 月 19 日	改訂（決裁）
令和 8 年 3 月 30 日	議会報告　計画書データ配付

2　加須市災害時受援計画（震災対策編・風水害対策編）の改訂

加須市地域防災計画（震災対策編・風水害対策編）の改訂に伴い、全面的に改訂した。

(1) 主な改訂内容

・地域防災計画（震災対策編・風水害対策編）の災害対策本部の各班の分掌事務と整合を図った。
・組織名称及び役職等の修正
・資料集の更新（災害時応援協定一覧等）

(2) 改訂の経過

月日	会議等
令和 8 年 2 月 4 日	意見照会（1 回目）
令和 8 年 2 月 24 日	意見照会（2 回目）
令和 8 年 3 月 23 日	改訂（決裁）
令和 8 年 3 月 30 日	議会報告　計画書データ配布

事業名		国民保護計画管理事業			1222-04
担当課		危機管理防災課		現　年	前年度からの繰越
款	09	消防費	当初予算額	71,000円	―
項	01	消防費	最終予算額	71,000円	―
目	04	防災費	決　算　額	0円	―
事業の目的		我が国に対する武力攻撃事態等から、市民の生命、身体、財産を保護するために、加須市国民保護計画を適正管理するとともに周知を図る。			
事業の概要		・国民保護協議会及び庁内会議を開催する。 ・当該計画を周知する。 ・初動体制の確保を行う。			

事業の実績・成果

1　Ｊアラート及びＥｍ－Ｎｅｔ等を利用した情報伝達訓練

国や県と連携し、武力攻撃事態等に対処するにあたり、迅速・的確に市民に防災行政無線を用いて情報を伝達するためのＪアラート（全国瞬時警報システム）や、国民保護事案及び自然災害・事故災害における安否情報の収集（安否情報システム）、職場に大量の情報を電子メールで送るＥｍ－Ｎｅｔ（緊急情報ネットワークシステム）等を用い、速やかに情報収集・伝達が行えるように備えるとともに、平時からシステムの点検や情報伝達訓練を実施している。

(1)Ｊアラートによる情報伝達訓練
　気象情報（緊急地震速報）2回
　国民保護情報（即時音声合成情報）4回

(2)安否確認情報伝達訓練　2回

(3)Ｅｍ－Ｎｅｔによる情報伝達訓練　12回（毎月）

事業名		防災啓発事業			1124-01
担当課		危機管理防災課		現　年	前年度からの繰越
款	09	消防費	当初予算額	3,181,000 円	―
項	01	消防費	最終予算額	3,181,000 円	―
目	04	防災費	決　算　額	2,659,711 円	―
事業の目的		市民の防災意識の高揚と地域防災力の向上を図るために、防災に対する啓発活動を行う。			
事業の概要		・防災講演会を実施し、防災に関する啓発を行う。 ・防災出前講座等を行い防災に関する啓発を行う。 ・防災啓発物の作成・購入・配布を行う。			

事業の実績・成果

1　防災出前講座等啓発活動の実施

市民の防災意識の高揚と地域防災力向上のために、防災出前講座等の啓発活動を行った。

（単位：人）

内　容	令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
防災出前講座	14	299	23	750	23	539	30	1,155	30	1,042
避難行動説明会	20	800	5	569	19	831	19	376	4	606
合　計	34	1,099	28	1,319	42	1,370	49	1,531	34	1,648

※令和 7 年度の北川辺地域避難者行動説明会については、令和 6 年度まで自治会ごとに開催していたものを 3 地区に分けての開催とした。

2　防災講演会の実施（令和 7 年度は降雪のため参加者の安全を考慮し中止）

3　水害時の避難行動マップ増刷

避難場所の解除による地図面及び情報面の修正をし、住民への周知啓発を行った。

4　災害時における中学生ボランティアリーダー研修会への協力

中学生を対象とした「中学生ボランティアリーダー」において、カリキュラムの企画や講師として協力するとともに、防災士養成講座を受講した中学生防災士にアドバイザーとして活躍してもらい、防災啓発に寄与する取り組みを行った。

5　外国人のための防災講座

外国人を対象とした防災対策として、日本語教室等に参加している外国人を対象にハザードマップを活用し、避難場所や避難方法等の防災啓発を行った。

講座実施回数：2 回
講座参加人数：計 48 人

事業名		震災対策訓練事業			1222-06
担当課		危機管理防災課		現　年	前年度からの繰越
款	09	消防費	当初予算額	953,000 円	―
項	01	消防費	最終予算額	953,000 円	―
目	04	防災費	決　算　額	772,909 円	―
事業の目的		震災を想定した防災訓練を実施することにより、市民の防災意識の高揚と地域防災力の向上を図る。			
事業の概要		【震災対策総合防災訓練】警察、消防、自衛隊等の関係機関相互の連携強化実動訓練 【地区防災訓練】地区住民参加による避難訓練、避難場所設営訓練等、実践的な市民参加型実動訓練			

事業の実績・成果

警察、消防及び応援協定締結先等と連携を強化する震災対策総合防災訓練は、6 年ぶりの実施となった。また、地域ごとに実践的な訓練を行う地区防災訓練については5地区で実施した。

また、Ｊアラートによる緊急地震速報に合わせたシェイクアウト行動の訓練を実施し、防災に関する知識と意識の向上を図ることができた。

1　地区防災訓練【地震想定】

各地域で避難誘導、避難場所開設、避難場所運営、初期消火、応急救護訓練等を行う地区防災訓練を実施した。

地　域	地　区	開催日	会場	参加人数
加須	水深	令和7年5月24日（土）	水深小学校	227 人
加須	志多見	令和7年12月13日（土）	志多見小学校	194 人
騎西	鴻茎	令和7年10月25日（土）	鴻茎小学校	207 人
北川辺	北川辺中	令和7年11月30日（日）	北川辺中学校	150 人
大利根	元和	令和7年10月4日（土）	元和小学校	136 人

2　緊急地震速報に合わせたシェイクアウト行動の訓練

実 施 日　令和7年6月18日（水）10時
実施場所　市内の各公共施設、市立の各小中学校等
参加実績　全69施設、7,295人

3　シェイクアウト埼玉（県内一斉防災訓練）への参加

実 施 日　令和7年8月30日（土）～令和7年9月5日（金）
実施場所　市内の各公共施設、市立の各小中学校等
参加実績　全96施設、9,880人

4　震災対策総合防災訓練の実施

実 施 日　令和7年8月30日(土)
実施場所　加須市民運動公園
参加実績　278人

事業名		地域防災力充実・強化事業			1222-07
担当課		危機管理防災課		現　年	前年度からの繰越
款	09	消防費	当初予算額	5,827,000 円	―
項	01	消防費	最終予算額	5,827,000 円	―
目	04	防災費	決　算　額	4,926,800 円	―
事業の目的		自主防災組織の新規設立と既存組織の活動を促進し、自助・共助による地域防災力の向上を図る。 地域防災活動を担う人材の育成を目的とし、防災士資格取得の推進及び防災士連絡会を運営する。			
事業の概要		・防災士養成講座を開催し、防災士の資格取得を支援する。 ・自主防災組織における経費補助を行い、設立・活動の支援を図る。 ・出前講座や説明会等の実施により、自主防災組織の設立促進を図る。			

事業の実績・成果

地域住民が連携して自分たちの地域の安全確保や被害を最小限にとどめるための活動を行う、自主防災組織の設立を促進した。

資機材購入や設立に要する経費等について補助金による支援により、自主防災組織の強化及び訓練実施促進が図られた。

1　自主防災組織設立状況

【自主防災組織数の推移】　（単位：団体）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
組織数	158	158	160	163	163

【自主防災組織の組織率】

自主防災組織を設立した自治協力団体数／自治協力団体数×100　（単位：%）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
組織率	92.7 (90.0)	92.7 (90.0)	93.9 (92.0)	94.5 (92.4)	94.5 (94.8)

※(　)内は、加入世帯数／全世帯数×100

2　自主防災訓練実施状況

（単位：上段 回 下段 団体）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
訓練回数	8	13	13	24	22
訓練組織	8	15	15	27	23

3　防災訓練及び防災思想の経費に要する経費補助　【27団体】

4　防災用資機材等の購入に要する経費補助　【6団体】

5　加須市防災士養成講座の実施

地域防災力を充実・強化するため、自己負担なく市内会場で防災士の資格取得可能な「防災士養成講座」を開催し、地域防災活動を行う人の人材育成を行い、市内の自主防災組織・自治協力団体（181団体）と同数以上の防災士を配置することを目的とする。

(1)日　程：令和7年7月26日（土）、8月3日（日）、8月9日（土）午前9時30分～午後5時30分
(2)場　所：加須市市民総合会館（市民プラザかぞ）3階　多目的ホール
(3)受講者：106人
(4)防災士名簿登録者：260人
（うち令和5年度防災士養成講座受講者：61人、令和6年度防災士養成講座受講者：79人、令和7年度防災士養成講座受講者：100人含む）

事業名		防災情報機器管理運営事業			1222-08
担当課		危機管理防災課		現　年	前年度からの繰越
款	09	消防費	当初予算額	71,352,000円	－円
項	01	消防費	最終予算額	71,352,000円	－円
目	04	防災費	決　算　額	68,147,926円	－円
事業の目的		迅速かつ正確な防災情報を入手するとともに、市民に適時的確に伝達する。			
事業の概要		防災情報機器（防災行政無線、防災ラジオ、防災アプリ、Ｊアラート、埼玉県防災行政無線、雨量計システム、災害時優先電話等）の管理を行うとともに、機器を活用し、防災情報の入手・伝達を行う。 被災者支援システムを運用し避難場所運営を円滑にできるよう管理する。			

事業の実績・成果

1　防災行政無線通信設備保守管理業務
災害時に円滑に放送するため、防災行政無線設備の機能維持に必要な保守点検等を行った。

2　放送内容・回数
(1) 定時放送（機器の点検を目的とした試験放送）
平和の鐘、児童の声による見守り放送、メロディーを定時に放送している。
(2) 行政放送　（単位：回）

放送内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
交通安全啓発	34	29	15	9	19
防犯啓発	50	78	143	153	149
危機管理・防災	33	33	46	37	68
火災発生	6	5	14	10	11
光化学スモッグ	0	0	1	1	1
熱中症予防	33	23	57	66	81
イベント広報	8	24	21	21	22
未帰宅者発見依頼	35	37	25	41	23
選挙啓発	11	35	12	3	6
動物	5	2	23	24	27
新型コロナウイルス感染症予防	44	10			
その他	21	15	2	1	1
合計	280	291	359	366	408

3　屋外拡声子局可とう電線管プリカチューブ交換修繕
屋外拡声子局に使用している可とう電線管プリカチューブの亀裂や破損をしているものを交換し、断裂等を防止するための交換修繕を行った。(4か所)

4　屋外拡声子局設備移設工事（1か所）
防災行政無線屋外拡声子局用地所有者及び地元自治会からの要望により移設。

5　雨量計システムの整備管理
(1) 設置箇所：本庁舎、騎西総合支所、北川辺総合支所、大利根総合支所
(2) 警報メール：加須市地域防災計画上の参集基準である1時間20mm以上又は3時間40mm以上の降雨量を測定した場合、迅速に参集できるように担当職員に警報メールが送信される。

（単位：回）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
警報メール回数	3	11	18	18	11

6　避難所入退管理アプリ研修

災害時の避難場所の管理・運営業務において、マイナンバーカードを活用した避難者の円滑な受け入れ及び入退所状況の一元管理を行うことができる避難所入退管理アプリの操作研修を実施した。

研修日：令和7年6月9日（月）・10日（火）の2日間

対象者：情報系ネットワークへの接続環境がある避難場所へ配置された職員
震災時避難場所（23か所）水害時避難場所（30か所）

事業名		避難場所整備事業			1222-09
担当課		危機管理防災課		現　年	前年度からの繰越
款	09	消防費	当初予算額	3,580,000 円	―
項	01	消防費	最終予算額	2,822,000 円	―
目	04	防災費	決　算　額	2,309,472 円	―
事業の目的		災害時に備え、市内の避難場所において適切な避難場所運営ができるよう、避難場所環境の整備・充実を図る。			
事業の概要		・避難場所の環境整備や維持管理等を行う。 ・非常災害用井戸（加須地域小学校のみ）等の維持管理を行う。 ・避難場所の看板整備を行う。			

事業の実績・成果

・ 避難場所で基本的な生活を確保するための環境整備・維持管理を行った。

1　保守・管理

・非常災害用井戸（加須地域小学校）　発電機装置保安管理業務　11 か所
・非常災害用井戸（加須地域小学校）　水質検査　11 か所

2　避難場所看板整備

・避難場所看板新設：2 か所
・避難場所看板板面修正：10 か所

3　震災・水害時別避難場所数

（単位：箇所）

		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
震災時避難場所		89	96	85	92	92
水害時避難場所	水害時避難場所	43	44	42	42	41
	水害時【緊急】避難場所	7	7	7	7	7
	市外広域避難場所	4	4	4	4	4
	合　計	54	55	53	53	52

事業名		災害用物資確保事業			1222-10
担当課		危機管理防災課		現　年	前年度からの繰越
款	09	消防費	当初予算額	17,424,000 円	―
項	01	消防費	最終予算額	17,424,000 円	―
目	04	防災費	決　算　額	16,542,279 円	―
事業の目的		災害時において避難場所等で必要となる飲料水や非常用食糧、生活必需品などの災害用備蓄品の備蓄・整備を計画的に図る。			
事業の概要		・災害時に応じた食糧、生活必需品等の備蓄及び民間機関等との協定により総合的な備蓄体制を確立し、災害用物資を確保する。 ・備蓄食糧の更新などの適正管理と主たる避難場所への分散配置を図る。 ・生活必需品等(食糧、生活用品、衛生用品、毛布、消耗品)の備蓄 ・避難場所運営に伴う資機(器)材等の整備			

事業の実績・成果

災害発生時に備え非常用食料等を迅速かつ的確に配給するため、防災倉庫等に食料品及び生活用品の分散配置を行った。

【備蓄品の購入数状況】

備蓄品	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
非常用備蓄食料品（食）	11,740	14,340	9,170	7,530	10,100
飲料水(500ml ペットボトル)（本）	960	936	2,016	5,496	15,888
災害用備蓄毛布（枚）	500	500	500	500	160
避難所用マット（枚）	1,020	1,020	1,020	1,020	
避難所用間仕切り（張）	20	20	30	30	30
電気式簡易トイレ（基）	7				

※ その他、トイレセット・粉ミルク・使い捨て哺乳瓶・弾性ストッキング・生理用品等も備えた。

【備蓄食料・飲料数（年度末現在)】　（単位：食）

備蓄食料品	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
ビスケット	15,480	15,480	15,480	15,480	12,720
ビスケット（アレルギー対応用）	240	240	240	240	240
クラッカー	15,750	15,890	15,890	15,890	14,700
アルファ米田舎ごはん	20,100	20,700	20,700	20,700	24,100
おかゆ	1,100	1,100	1,100	1,100	2,800
パン	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200
合計	54,870	55,610	55,610	55,610	56,760

※ 保存期間5年

（単位：本）

保存水(500㎖ペットボトル)	16,608	16,608	16,608	16,608	25,296

※令和3年度から令和5年度に購入したもの　保存期間5年
　令和6年度、令和7年度に購入したもの　保存期間7年

事業名		防災管理事業			1222-11
担当課		危機管理防災課		現　年	前年度からの繰越
款	09	消防費	当初予算額	2,692,000円	―
項	01	消防費	最終予算額	2,849,000円	―
目	04	防災費	決　算　額	2,050,927円	―
事業の目的		災害発生時に被害を最小限に抑えるため、防災管理体制の整備を図る。			
事業の概要		災害の発生に備え、市の初動体制等の組織整備を行う。 また、災害時応援協定締結を推進するとともに、協定先との連携強化を図る。			

事業の実績・成果

1　災害に備える協定の締結

災害に備え、各種協定を締結した。

（単位：件）

区分	締結数	うち新規	新規締結先
自治体間の相互応援協定	10	0	
物資の供給に関する協定	26	1	UDリテール(株)
輸送に関する協定	9	1	佐川急便(株)　北関東支店
災害復旧に関する協定	11	0	
救急救護に関する協定	4	0	
放送に関する協定	5	0	
報道に関する協定	2	0	
郵便局との協定	1	0	
避難場所として使用する協定	39	0	
復旧その他に関する協定	17	0	
計	124	2	

2　防災職員全体研修会要領

災害対応についての職員の役割の確認、併せて、防災気象情報等について、理解を深めるため職員研修会を開催した。

(1)日　程　　令和7年5月22日（木）

第1部　午前 10時00分から午前 11時30分

第2部　午後　1時15分から午後　2時45分

第3部　午後　3時00分から午後　4時30分

(2)場　所　　加須文化・学習センター（パストラルかぞ）小ホール

(3)内　容　①職員の役割（地震・水害）について

②総合水害広域避難訓練について

事業名		防災倉庫管理事業			1222-12
担当課		危機管理防災課		現　年	前年度からの繰越
款	09	消防費	当初予算額	277,000円	―
項	01	消防費	最終予算額	277,000円	―
目	04	防災費	決　算　額	118,873円	―
事業の目的		災害時に必要な備蓄品や資機材等を保管・分配するために、防災倉庫を確保し、迅速・的確な災害対策に資する。			
事業の概要		・防災倉庫の施設管理 ・備蓄物資・資機材等保管			

事業の実績・成果

災害時に必要な備蓄品や資機材等を保管するために、倉庫管理を行った。

1　維持管理

○下高柳防災倉庫シャッター保守点検

事業名		災害情報伝達手段整備事業 （新設）			1222-16
担当課		危機管理防災課		現　年	前年度からの繰越
款	09	消防費	当初予算額	18,359,000 円	－
項	01	消防費	最終予算額	14,570,000 円	－
目	04	防災費	決　算　額	14,570,000 円	－
事業の目的		防災情報を入手し、市民に適時的確に伝達するための、新たな災害情報伝達手段の整備をする。			
事業の概要		新たな災害情報伝達手段の整備をし、防災情報の入手、伝達を行う。			

事業の実績・成果

・ 現在加須市が防災行政無線として運用している 800MHz 帯デジタル MCA 無線サービスが、令和 11 年（2029 年）5 月 31 日を以ってサービスが終了するため、令和 10 年度末までに、新たな防災行政無線の整備を完了させる必要が生じたため、新規事業「災害情報伝達手段整備事業」を立ち上げた。

・ 令和 6 年度より整備方式の検討を継続して行い、新たな災害情報伝達手段の整備方式の調査検討結果に加え、消防庁が主催した「災害情報伝達アドバイザー会議」においてアドバイザーからの助言を得て、廃止になるデジタル MCA を除く 8 種類の災害情報伝達手段の中から、

① 自営網で災害時に輻輳がない。【耐災害性】
② 全国で最も普及しているため、将来にわたり安定供給が期待できる。【信頼性】
③ SNS（LINE）、HP 等、現行補完システムも活用できる。【流用性】

などといった理由から、令和 7 年 4 月に、60 ㎒市町村防災行政無線を同報系無線として採用することを決定した。

・令和 7 年度に基本設計委託を実施した。委託契約に先立って、公募型プロポーザルを実施し、多重化の組み合わせや、事業費の節減方法(導入額をどのように圧縮していくのか)等に関して技術提案を募り、提案内容、プレゼンテーションや、企業の実績･能力等を含めた評価を行い、事業者を選定した。

【整備計画案の概要】
・基本設計によって作成した整備計画案は以下のとおり
①令和 8 年度に実施設計、令和 9、10 年度に整備を行うが、実施設計が完了次第、前倒しで整備に着手する必要がある。
②高性能化スピーカーの導入により、現行の屋外拡声子局を 332 局から 220 局に削減し、かつ音達（スピーカーの音声が届く範囲）を向上させる。加えて警戒レベルの高い悪天候でも聞こえるモーターサイレンを利根川沿川地域に設置する。


従来型スピーカー


高性能化スピーカー


モーターサイレン

※イメージ

③屋外拡声子局の削減に加え、状態の良好な既存の子局の柱を再利用し、建柱工数を削減して大幅な事業費圧縮を実現させる。
④安価で良質なデジタル簡易無線機を導入し、被災後の通信途絶状態における、避難場所や関係機関、その他拠点との通信体制を維持する。（従来の移動系 MCA 無線機も、同報系無線と同様に令和 11 年 5 月 31 日を以て供用期間が終了するため）
⑤現在運用している防災ラジオ（60 ㎒アナログ地域振興波を使用）は、当面の間使用できるよう総務省に取り計らうが、防災アプリ等への移行を推奨し、段階的に廃止していく。

【前年度からの繰越事業（繰越明許）】　2,200,000 円
・ 加須市新たな災害情報伝達手段の整備方式検討委託　（2,200,000 円）

事業名		救命機器管理事業			1332-03
担当課		危機管理防災課		現　年	前年度からの繰越
款	09	消防費	当初予算額	4,972,000 円	―
項	01	消防費	最終予算額	4,972,000 円	―
目	04	防災費	決　算　額	4,080,428 円	―

事業の目的	市内の公共施設等に AED を効果的に設置し、多くの市民の大切な命を救える体制を整備する。
事業の概要	・AED の適切な維持管理 ・貸出し用 AED の利用を促進する。 【貸出し対象・条件】 ①市が後援する行事等，②市民が 10 名以上集まる行事等,③医療従事者、救急救命士、または救命講習修了者を配置する。

事業の実績・成果

市民への人命救助の思想を普及するとともに、心肺停止者の救命率の向上を図った。
また、使用期限をむかえる本体及び消耗品（パッド、バッテリー）の交換を行った。

1　買取機器の部品等更新

AED 設置台数：136 台　公共施設設置台数+貸出用 7 台+コンビニエンスストア設置数

区　　分	使用期限	更新・交換数量
成人用パッド交換	2 年	20 個
バッテリー交換	4 年	3 個

2　貸出実績

貸出用：7 台

加須市民体育館（2 台)、危機管理防災課(2 台)、騎西総合支所地域振興課、北川辺総合支所地域振興課、大利根総合支所地域振興課（各 1 台）

《実績》

区分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	備　　考
貸出	40 回	61 回	61 回	59 回	53 回	スポーツ大会、市民まつり、小学校持久走大会等

3　救命講習会

心肺蘇生や AED の使い方、けがの手当など、応急手当を習得することを目的として、AED 設置施設の職員を対象とした救命講習を実施した。

《実績》

日　付	11 月 17 日	11 月 20 日	11 月 21 日
参加人数	31 人	22 人	18 人

事業名		教育委員会運営事業			2211-28
担当課		教育総務課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	4,377,000 円	―
項	01	教育総務費	最終予算額	4,377,000 円	―
目	01	教育委員会費	決　算　額	3,972,574 円	―
事業の目的		・社会や地域の教育課題に柔軟かつ的確に対応し、かつ市民に開かれた教育委員会を運営するため、教育委員会の充実を図る。			
事業の概要		・教育委員会の会議を開催する。 ・総合教育会議へ参加する。 ・教育委員の施設等訪問を実施する。 ・各種総会、研修会へ参加し、教育の諸問題に関する知識を深める。			

事業の実績・成果

委員報酬　2,970,000 円
費用弁償　226,662 円

・教育委員会定例会開催回数 12 回、臨時会開催回数 3 回
　議案の議決　40 件
　規則の公布　 5 件
　報告事項　 132 件
・教育委員教育関連施設等訪問
　小学校 3 校、中学校 1 校、幼稚園 1 園ほか 8 施設（5 日間）
・関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会（開催月 5 月）
・埼玉県市町村教育委員会連合会総会（開催月 5 月）
・東部地区教育委員会連合会総会（開催月 4 月）
・埼玉県市町村教育委員会教育委員研究協議会（開催月 7 月）
・市町村教育委員会研究協議会（開催月 6,1,2 月）
・東部地区教育委員会連合会研修会（開催月 11 月）

教育委員会交際費

　教育委員会交際費について、「加須市教育委員会交際費の支出及び公開に関する基準」に基づいた交際費の支出及びホームページでの公開により、適正な支出と透明性の確保に努めた。

教育委員会交際費の推移　（単位:円）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
予算額	450,000	450,000	420,000	420,000	420,000
決算額	60,450	106,750	68,650	191,100	198,550

事業名		教育委員会事務局管理事業			2211-29
担当課		教育総務課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	1,502,000 円	―
項	01	教育総務費	最終予算額	1,502,000 円	―
目	02	事務局費	決　算　額	1,114,144 円	―
事業の目的		・社会や地域の教育課題に柔軟かつ的確に対応し、かつ市民に開かれた教育委員会を運営するため、教育委員会事務局の適正な管理運営を行う。			
事業の概要		・教育委員会事務局の管理運営を行う。 ・加須市の教育を広く周知するため、「加須市の教育」を刊行する。 ・加須市の教育、学術及び文化の振興に寄与し、功績が顕著である個人や団体に対し、教育功労者表彰を行う。			

事業の実績・成果

・刊行物「加須市の教育」160 部発行　　172,128 円
・教育功労者表彰　表彰者 12 名
・全国都市教育長協議会定期総会（開催月 5 月）
・関東地区都市教育長協議会総会（開催月 5 月）
・埼玉県都市教育長協議会総会（開催月 4 月）
・埼玉県都市教育長協議会定例協議会（開催月 7,10,11,1 月）
・東部地区教育長協議会総会（開催月 4 月）
・東部地区教育長会議（開催月 4,5,7,9,11,1,2,3 月）
・埼玉県市町村教育委員会教育長研究協議会（開催月 4,11 月）

事業名		学校教育管理事業			2214-03
担当課		学校教育課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	59,488,000円	―
項	01	教育総務費	最終予算額	59,520,000円	―
目	02	事務局費	決　算　額	46,751,835円	―
事業の目的		学校教育課の事業を円滑に進めるために必要な経費を措置する。			
事業の概要		課の運営に係る諸経費（主に人権関係予算と負担金等）の適正な管理執行に努める。 県費の教職員を補う会計年度任用職員を配置する。			

事業の実績・成果

事業を円滑に進めるにあたり、必要経費を適切に支出することができた。

・欠員対応非常勤講師

県費の臨時的任用教員が配置されるまでの間、市費による非常勤講師の配置を行い、学校における教職員の欠員状態がなくなり、指導の連続性を確保することができた。

〈配置校〉

礼羽小	1人	大桑小	1人	水深小	2人	樋遣川小	1人
高柳小	1人	鴻茎小	1人	元和小	2人	昭和中	1人
加須東中	1人						

9校　11人

・特定教科専門指導非常勤講師

小規模の中学校であるため、教職員配当基準等により、免許状を有する教員が配置されない教科のある中学校に配置した。非常勤講師を配置することができたため、免許をもたない教員に免許外の教科担当をさせることを回避できた。また、専門性を有する講師を配置したため、充実した教科指導を実施することができた。

〈配置校〉

加須北中：美術科・技術科・家庭科
北川辺中：美術科・技術科

2校　4人（兼務1人）

・複式学級対応非常勤講師

複式学級の教科指導において、異教科指導や同教科異単元の指導を回避し、学年別に指導を図ることができた。

〈配置校〉

大越小　　2人

・スクール・サポート・スタッフ

すべての小学校に、スクール・サポート・スタッフを配置し、教職員の業務負担の軽減を図るとともに教職員が児童生徒へよりよい教育の提供に注力できるよう努めた。

〈配置校〉

小学校22校　22人

事業名	小中学校適正規模・適正配置推進事業 （教育委員会事務局管理事業より事業分割のうえ新設）		2214-34

担当課	魅力ある学校づくり推進室		現　年	前年度からの繰越
款 10	教育費	当初予算額	13,967,000円	―
項 01	教育総務費	最終予算額	13,967,000円	―
目 02	事務局費	決　算　額	12,910,100円	―

事業の目的	こどもたちにとってよりよい教育環境の実現のため、魅力ある学校づくりに向けた取組を総合的かつ計画的に推進する。
事業の概要	こどもたちにとってよりよい教育環境の整備を最優先に、保護者や地域住民との十分な合意形成を図りながら、全市的視野に立って、魅力ある学校づくりに向けた学校再編の取組を推進する。

事業の実績・成果

児童生徒アンケート調査や基本方針（案）への意見募集により把握した声を踏まえ、持続可能な魅力ある学校づくりの指針となる基本方針を策定した。

策定した基本方針に基づき、再編の対象となる学校や実施時期、学校形態など、学校再編の具体を示す基本計画について、令和8年度中の策定を目途に計画づくりに着手した。

○「加須市魅力ある学校づくり基本方針」の策定

・基本方針の策定に当たっては、①児童生徒アンケート調査や②基本方針（案）への意見募集を実施し、これにより把握した声を基本方針に反映した。

①対象者：市立小中学校の全児童生徒（約7,500人）

②対象者：学校の校長・教員、学校運営協議会委員、自治協力団体代表者、児童生徒の保護者

・令和7年8月、教育委員会において基本方針を策定した。

・策定した基本方針の概要や今後の進め方の周知を目的として、学校運営協議会の会議や授業参観が行われる機会を利用し、学校からの求めに応じて出張説明を実施した。

実施回数…延べ21回　参加者総数…288人

○「加須市魅力ある学校づくり基本計画」の策定に向けた取組

・民間のノウハウを活用するため、令和7年9月に基本計画策定支援業務に係る委託契約を締結した。

契約期間…令和7年9月～令和9年3月

委託料　…18,040,000円（うち、令和7年度　12,650,000円）

・教育委員会の諮問機関となる審議会を新たに設置。4回の審議の経過は以下のとおり。
なお、第2回審議会以降は、全ての委員の発言の機会を確保するため、グループワークの手法を取り入れたこともあり、会を重ねるにつれて活発な議論が行われるようになった。

	開催日	主な議題等
第1回	令和7年11月17日（月）	委嘱状交付、諮問、これまでの主な経過と基本方針の概要、基本計画策定スケジュールについて
第2回	令和7年12月18日（木）	本市が目指す「魅力ある学校像」のイメージの具体化について（グループ協議）
第3回	令和8年1月15日（木）	こどもたちにとってよりよい教育環境となる学級・学校規模について（グループ協議）
第4回	令和8年3月18日（水）	市域のブロック分け（検討単位）について（グループ協議）

事業名		準要保護世帯入学支援事業			2122-16
担当課		学校教育課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	0円	―
項	01	教育総務費	最終予算額	2,991,000円	―
目	03	教育振興費	決　算　額	0円	―
事業の目的		物価高騰の影響を受けている家計における教育費を支援し、経済的な負担の軽減を図るため、令和8年4月に小・中学校に入学する児童生徒がいる準要保護世帯に対し、「ちょこっとおたすけ絆サポート券」を配布する。			
事業の概要		加須市商工会が発行するちょこっとおたすけ絆サポート券を準要保護世帯に配布する。 対象者：令和8年4月に小・中学校に入学する児童生徒がいる準要保護世帯の世帯主 配布額：小学校10,000円分、中学校20,000円分 配布方法：簡易書留郵便 利用期間：4月1日から9月30日まで 取扱店舗：ちょこっとおたすけ絆サポート券取扱店			

事業の実績・成果

・ 物価高騰に係る対応を実施した（巻末参照）。

【翌年度への繰越事業（繰越明許）】　2,991,000円

・ 翌年度への繰越事業の内容

令和7年度就学援助受給者のうち、令和8年4月に小学校または中学校に入学する児童生徒がいる世帯に対して、小学校10,000円分、中学校20,000円分のちょこっとおたすけ絆サポート券を支給。

・ 令和7年度から令和8年度へ繰り越す理由

ちょこっとおたすけ絆サポート券の配布及び換金期間が令和8年度となるため。

事業名		少人数学級等推進事業			2211-05
担当課		学校教育課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	70,063,000円	―
項	01	教育総務費	最終予算額	70,063,000円	―
目	03	教育振興費	決　算　額	47,247,173円	―
事業の目的		児童生徒の学力を向上させるために、非常勤講師の配置による学習形態の工夫を図り、児童生徒一人一人の実態に応じたきめ細かな学習指導の実現を目指す。			
事業の概要		一学級の人数が多くなる学年に非常勤講師を配置し、チームティーチングや少人数指導による授業を展開することで、個に応じたきめ細かな学習指導、生活指導を行い、学力向上や心の教育の充実を図る。			

事業の実績・成果

・教育活動補助員

小学校は、1学級あたり31人以上の学級がある学校に配置した。中学校は、1学級あたり39人以上の学級がある学校に配置した。

各学級において、チームティーチング（担任と教育活動補助員の2人で1学級の授業を担当する）による学習指導を行い、児童生徒へのきめ細やかな授業を展開することにより、学力の向上、生活指導の充実に大きな成果を上げた。また、学校教育課の指導主事が配置校を訪問し、教育活動補助員の授業及び学習支援についての指導を行うことにより指導力の向上を図った。

〈配置校〉

加須小	2人	三俣小	3人	大桑小	2人	水深小	4人
花崎北小	1人	加須南小	1人	騎西小	2人	大利根東小	3人
昭和中	3人	北川辺中	1人	大利根中	2人		

なお、令和8年度の任用に向けて、学習指導の他に不登校対応ができるように配置要綱を改めた。

事業名		学習指導改善研究事業			2211-07
担当課		学校教育課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	4,870,000円	―
項	01	教育総務費	最終予算額	4,870,000円	―
目	03	教育振興費	決　算　額	4,171,819円	―
事業の目的		こどもたちに知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育成するために、市立幼稚園及び小・中学校の充実した教育活動の実践を目指す。			
事業の概要		充実した教育活動の実践を図るために市立幼稚園及び小・中学校に公開保育の指定や研究委嘱を行う。また、各教科等の充実を図るための支援を行うとともに、教育課程検討委員会を設置し、教育活動全体の改善を図る。			

事業の実績・成果

1　事業の成果

幼児、児童生徒の「生きる力」の育成を図るため、基礎的・基本的な内容や技能を確実に定着させる指導方法の工夫改善を推進した。

（1）授業での取組（授業研究会、学校訪問等）

（2）授業外での取組（加須市チャレンジシートの活用、加須市チャレンジテスト（CBT）の実施）

（3）学習指導の充実に向けた取組（各小・中学校における学力調査分析シートの作成等）

2　研究委嘱発表校（加須市教育委員会・加須市教育研究会委嘱）

○　令和6・7年度

小学校	志多見小、大利根東小、花崎北小
中学校	騎西中、昭和中

○　令和7・8年度

小学校	三俣小、種足小、樋遣川小、原道小
中学校	加須平成中

研究授業や研究紀要の作成を行い、学習指導の改善を図った。

3　公開保育指定園（加須市教育委員会・加須市教育研究会指定）

○　令和6年度

幼稚園	水深幼

○　令和7年度

幼稚園	三俣幼

○　令和8年度

幼稚園	騎西中央幼稚園

4　補助金

（1）加須市教育研究会

＜目的＞市立幼稚園及び小・中学校の教育活動の促進と相互の連携を密にし、学校教育の振興を図る。

＜成果＞参集型の研修会を中心としながら、オンラインによる研修会の充実を図った。

（2）加須市小・中学校児童生徒体力向上推進委員会

＜目的＞児童生徒の体力向上を図るための事業の実施や研究を進める。

＜成果＞加須市なわとび月間を設定し、各校の創意工夫のもと、体力向上を図った。

事業名		学校訪問指導事業			2211-08
担当課		学校教育課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	39,000 円	―
項	01	教育総務費	最終予算額	39,000 円	―
目	03	教育振興費	決　算　額	27,543 円	―
事業の目的		幼児、児童生徒に生きる力を育むために、市立幼稚園及び小・中学校への訪問指導を行い、教職員の指導力の向上、学校の教育力の向上を目指す。			
事業の概要		市立幼稚園及び小・中学校への計画訪問及び要請訪問を行い、教員の指導力向上を図るために指導助言や示範授業を行う。			

事業の実績・成果

1　加須市教育委員会・加須市教育研究会研究委嘱

令和 6・7 年度委嘱の小・中学校は、令和 7 年度に 5 校が研究発表した。また、幼稚園は 1 園が公開保育を行った。研究発表を通して、研究内容を教職員に広げることができた。

小学校：志多見小学校、花崎北小学校、大利根東小学校

中学校：昭和中学校、騎西中学校

幼稚園：三俣幼稚園

2　加須市教育委員会、東部教育事務所教育支援担当・学力向上推進担当学校訪問（計画訪問）

公開授業（保育）、研究授業・協議等を通して、指導の改善及び指導力の向上を図ることができた。

幼稚園 3 園　小学校 22 校　中学校 8 校　各 1 回の訪問　合計 33 回

3　加須市教育委員会要請訪問

学校（園）の目的に応じた訪問指導により、研究授業・校内研究等の具体的な指導を直接行うことができた。

訪問 62 回

4　加須市教育委員会学校人権教育計画訪問

計画的な学校人権教育の訪問指導の実施により、実施した幼稚園及び小・中学校における学校人権教育の推進を図ることができた。

訪問 10 回

5　初任者に係る指導主事の計画訪問

新規採用教員への計画的な訪問により、授業改善や教員の資質向上を図ることができた。

訪問 35 回

6　2 年次教員に係る指導主事の計画訪問

2 年次教員への訪問を実施し、授業改善や教員の資質向上を図ることができた。

訪問 27 回

事業名		学校ＩＣＴ教育活用事業			2211-09
担当課		学校教育課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	189,611,000 円	―
項	01	教育総務費	最終予算額	131,161,000 円	―
目	03	教育振興費	決　算　額	125,852,733 円	―
事業の目的		児童生徒の確かな学力の向上と情報活用能力の育成のために、情報教育環境を活用し、わかる・楽しい授業の実現を目指す。			
事業の概要		児童生徒の確かな学力の向上と情報活用能力の育成のために、教育ソフトの活用に関する研究や情報教育環境活用のための教員研修を行う。 校務系コンピュータの配備により、教員の校務支援を行う。 教育系コンピュータをセンターサーバに接続し、一括管理する。 校務系コンピュータによる情報の一括管理を行う。			

事業の実績・成果

・学習用タブレット端末の更新

埼玉県域における共同調達により、児童生徒や教職員が授業等で使用する学習用タブレット端末の更新を行った。8,604 台を賃貸借契約し、同時にフィルタリングソフトも更新した。

・校務系コンピュータの更新

令和 7 年 10 月末での賃貸借契約満了に伴い、新たに校務系コンピュータ 400 台の更新を行った。

・　ＩＣＴ活用推進校の指定

昨年度のＩＣＴ活用推進校（種足小、水深小、加須南小、加須平成中）に加え、新たに 4 校（礼羽小、高柳小、豊野小、加須北中）を指定した。学習用タブレット端末の授業における効果的な活用や、校務での活用などを進め、実践事例を市内小・中学校へ発信した。

・　学力調査をＣＢＴで実施するための環境整備

全国学力・学習状況調査、埼玉県学力・学習状況調査のＣＢＴによる実施に向けた環境を整備した。児童生徒が学習用タブレット端末による調査をスムーズに受けられるよう、「加須市チャレンジテスト」をＣＢＴで行った。

・第 2 次加須市学校ＩＣＴ活用推進計画の策定

令和 8 年度から令和 12 年度を計画年度とする、新たな計画を策定した。

事業名		学力アップ事業			2211-11
担当課		学校教育課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	4,004,000円	―
項	01	教育総務費	最終予算額	4,004,000円	―
目	03	教育振興費	決　算　額	2,853,072円	―
事業の目的		児童生徒の学力向上を図るため、児童生徒の実態に応じたきめ細かな学習指導の展開を目指す。			
事業の概要		中学生を対象に、土日を活用した中学生学力アップ教室「加須まなびTime」を実施し、学力の向上を図る。			

事業の実績・成果

・中学生学力アップ教室「加須まなびTime」

土曜日、日曜日にコミュニティセンター等を活用し、6会場で、週1回2時間の学習機会を提供した(6～2月に実施)。

学習支援活動の総合的な調整や生徒への個別支援を行う学習コーディネーターと、生徒の個別指導を行う学習サポーターをそれぞれ配置し、生徒の学力向上だけでなく、土曜日、日曜日を有効に活用したことにより、学習習慣も身に付けさせることができた。

（単位：人）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
参加生徒数	67	116	143	132	205

事業名		小学校英語教育推進事業			2211-12
担当課		学校教育課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	28,470,000円	―
項	01	教育総務費	最終予算額	28,470,000円	―
目	03	教育振興費	決　算　額	24,598,140円	―
事業の目的		外国語による見方・考え方を働かせ、外国語による言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成する。			
事業の概要		全ての市立小学校に外国語活動指導助手を配置する。 英語教育研究員が、全ての市立小学校を計画的に訪問し、担任や外国語指導助手の授業支援や指導を行う。 小学校と中学校の連携のための研修会や授業力向上のための研修会を行う。			

事業の実績・成果

担任と外国語活動指導助手とのティーム・ティーチングの充実により、児童が楽しんで授業に参加することができ、児童の外国語によるコミュニケーション能力の向上を図った。

1　外国語活動指導助手（ＡＦＴ）の主な活動内容

・小学校における「外国語科」や「外国語活動」をはじめとする国際理解教育に係る授業の補助
・小学校における国際理解教育に係る教材開発の補助
・外国の文化や言語等の紹介

2　外国語活動指導助手（ＡＦＴ）配置校

加須小	1人	不動岡小	1人	三俣小	2人	礼羽小	1人	大桑小	1人
水深小	2人	樋遣川小	1人	志多見小	1人	大越小	1人	花崎北小	1人
加須南小	1人	騎西小	1人	田ケ谷小	1人	種足小	1人	鴻茎小	1人
高柳小	1人	北川辺西小	1人	北川辺東小	1人	大利根東小	1人	原道小	1人
豊野小	1人	元和小	1人						

22校　15人(2校兼務　9人　1校勤務　6人)

事業名		中学校英語教育推進事業			2211-13
担当課		学校教育課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	30,273,000円	―
項	01	教育総務費	最終予算額	30,273,000円	―
目	03	教育振興費	決　算　額	27,815,012円	―
事業の目的		外国語について、言語や文化に対する理解を深め、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。			
事業の概要		生徒の英語能力の基礎を養うため、全ての市立中学校に、外国語指導助手を配置する。 英語教育研究員が、全ての市立中学校を計画的に訪問し、英語教員や外国語指導助手の授業支援や指導を行う。 外国語指導助手の授業力向上のための研修会を定期的に行う。 小学校と中学校の連携のための研修会や授業力向上のための研修会を行う。			

事業の実績・成果

英語教育研究員の計画的な訪問と授業支援により、英語教員と外国語指導助手の授業の改善が図られ、英語能力の基礎を養うことで、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなど、コミュニケーション能力の向上を図ることができた。

1　外国語指導助手（ＡＬＴ）の主な活動

- 中学校外国語科における英語教員とのティーム・ティーチングの実施
- イングリッシュサマーキャンプにおける外国の生活や文化等の紹介
- 教材や指導計画作成への協力及びスピーチコンテスト等への協力
- 英検2次対策オンライン講座の実施

2　外国語指導助手（ＡＬＴ）配置校

昭和中　1人　　加須西中　1人　　加須東中　1人　　騎西中　1人
加須平成中＋加須北中　1人　　北川辺中＋大利根中　1人

8校　6人（2校兼務　2人）

事業名		特別支援教育推進事業			2211-14
担当課		学校教育課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	149,213,000 円	―
項	01	教育総務費	最終予算額	149,631,000 円	―
目	03	教育振興費	決　算　額	136,493,614 円	―
事業の目的		児童生徒の教育的ニーズに対応するため、介助を必要とする児童生徒の就学支援体制の充実を図る。			
事業の概要		特別支援学級や通常学級で学ぶ児童生徒の教育活動を支援する障がい児介助員を配置する。難聴・言語障害通級指導教室（ことばの教室）を運営する。発達障害・情緒障害通級指導教室を運営する。			

事業の実績・成果

・障がい児介助員の配置

学校生活において個別の支援の必要な児童・生徒が在籍する学校に、障がい児介助員を配置し、教育環境の充実を図った。その結果、障がいのある児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズに対応した指導・支援を行うことができた。また、関係学校のみならず、関係諸機関との連携に意を用いた。

○　障がい児介助員数の推移　（単位：人）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
配置人数	小学校 53 中学校 8	小学校 53 中学校 10	小学校 50 中学校 13	小学校 50 中学校 13	小学校 50 中学校 14
合　計	61	63	63	63	64

・特別支援学級等の開設、運営

特別な支援を必要とする児童生徒の指導・支援のため、計画的に特別支援学級や通級指導教室を開設するとともに、その適切な運営に努めた。

○　令和 7 年度に特別支援学級を開設した学校　30 校

既設	30 校
新設※	7 校（三俣小、水深小、花崎北小、大利根東小、昭和中、騎西中、大利根中）
増設※	1 校（昭和中）

※　新設：今まであった障害種の他に、新たな障害種の学級を設置したもの。

※　増設：特別支援学級に在籍する人数が増え、クラス数が増えたもの。

○　令和 7 年度に通級指導教室を開設した学校　7 校

既設	7 校（加須小、三俣小、騎西小、鴻茎小、大利根東小、原道小、加須平成中）
新設※	なし

※　新設：新たに教室を設置したもの。

事業名		教師用教科書・指導書措置事業			2211-15
担当課		学校教育課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	20,089,000円	―
項	01	教育総務費	最終予算額	20,089,000円	―
目	03	教育振興費	決　算　額	19,281,868円	―
事業の目的		小・中学校の公教育としての水準の維持を図るために、教科書、指導書を措置し、児童生徒の基礎学力の確実な定着を目指す。			
事業の概要		小学校に全教科の教師用指導書セットを各学年に1セットを措置するとともに、小学校の全学級に、教師用教科書及び朱書指導書を措置し教員の指導力向上を図る。			

事業の実績・成果

新たに採択された中学校の教師用指導書を各中学校へ措置した。

学級増分の教師用教科書を措置した。

学習指導要領に沿った授業展開が図られ、教育の水準維持とともに児童生徒の基礎学力の定着につながった。

事業名		社会科副読本資料作成事業			2211-16
担当課		学校教育課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	2,837,000 円	―
項	01	教育総務費	最終予算額	2,837,000 円	―
目	03	教育振興費	決　算　額	2,830,410 円	―
事業の目的		郷土「加須市」を理解し、地域社会の一員としての自覚をもつとともに、郷土「加須市」を愛する児童の育成を目指す。			
事業の概要		3 年に一度の周期で小学校第 3・4 学年用社会科副読本の改訂を行う。また、改訂後は、指導の手引き、評価テスト、ワークプリントを作成し、市立各小学校へ配布して、その活用を図る。			

事業の実績・成果

・令和７年度は改訂を行う年度であり、社会科副読本編集委員会を５回開催し、社会科副読本の改訂を行った。完成した社会科副読本を２６００冊印刷し、市立全小学校に配布した。

1.改訂した主な内容(章別)

まちと仕事	第1章	・写真や地図を、現状に合わせて変更する。
	第2章 ①	・スーパーマーケットを取材し、加須マインの写真を差し替える。 ・セルフレジ、タブレット端末発注、インターネット販売等、現代的な販売方法を追加。
	第2章 ②	・北川辺地域の農家を取材し、ドローンや新しい型の農機具の写真に差し替える。農家の工夫について内容を変更する。 ・農作物の収穫量の推移を、北川辺地域だけのグラフから、加須全体に変更する。
くらし	第3章	・加須消防署を取材し、消防車などの写真を更新する。 ・全体的にイラストが古いため、新しく用意する。
	第4章 第5章	・地図や航空写真を比較しやすいよう、大きさや配置などのレイアウトを変更する。 ・交通利用、土地利用、人口の観点で加須市の移り変わりを整理し、児童が考察しやすいようにする。
	第6章	・利根川の流れについて、地図帳で調べる学習を追加する。 ・家や学校に水が届くまでの流れの絵地図をより見やすくする。 ・ごみの量等のデータを最新のものにする。
自然と伝統	第7章	・防災ノートと関連させ、防災ノートを併用してほしい箇所には「こいのぼりマン」マークを入れる。 ・市政についての話し合いの写真を大橋市長から角田市長へ変更
	第8章	・全体的に学習指導要領に沿って構成を変更した。 ① 加須市の伝統や文化財 ② 秩父夜祭 ③ 下總皖一 ④ 埼玉県・加須市の偉人
	第9章	・埼玉県の地図に、名所や特産品を追加した。 ・内容を整理し、横瀬町の豊かな自然と観光の特色を際立たせる。 ・横瀬町と連携し、横瀬町のデータと写真を全体的に入れ替えた。

・各学校において評価テストを実施し、結果をまとめた。８０点以上の児童の割合は４９．８％であった。

事業名		防災教育推進事業			2211-17
担当課		学校教育課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	126,000 円	―
項	01	教育総務費	最終予算額	126,000 円	―
目	03	教育振興費	決　算　額	65,848 円	―
事業の目的		東日本大震災を受け、本市独自の防災教育を推進し、災害発生時に的確な判断の下に、安全な行動によって生命の確保ができる子どもたちの育成を目指す。			
事業の概要		拠点避難場所や地域で活躍できる中学生ボランティアリーダーを育成するための研修会を実施する。また、防災教育研修の開催や従来の訓練の方法を見直した引き渡し訓練及び避難訓練などの実施、加須市防災ノート、防災教育指導資料の活用を図る。			

事業の実績・成果

・加須市防災ノートの活用

（1）実績

「加須市防災ノート」を各学校で活用し、「自分の命は自分で守る」ことができる子供たちの育成を図った。子供たちにとって「わかりやすく」、先生方にとって「使いやすい」、実際に不測の事態の際に使える教材として活用した。

（2）成果

学校の教育活動で活用し、「自分の命は自分で守る」ことができる子供たちの育成に向けた取組の充実に資することができた。避難訓練時の事前学習や事後学習の際に防災ノートを活用することで、防災意識を高めることにつながった。

また、防災ノートを家庭に持ち帰り、災害発生時の避難行動について家族で話し合うなど、児童生徒ばかりでなく、家族の防災意識の向上を図ることができた。

・中学生ボランティアリーダー育成研修会

令和 7 年 7 月 25 日（金）に実施した。各中学校から、合計 34 名の生徒が参加した。拠点避難所でのボランティア活動体験や、炊き出し訓練、負傷者の応急処置、心肺蘇生法の習得などを経験した。災害時の行動についての実践的な研修を実施し、主体的に避難したり、積極的にボランティア活動をしたりすることのできる「中学生ボランティアリーダー」を育成した。また、研修会に中学生防災士 6 人がサポートとして参加することで、中学生防災士の実践力を高めることができた。

事業名		サイエンススクール事業			2211-20
担当課		学校教育課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	1,540,000 円	―
項	01	教育総務費	最終予算額	1,540,000 円	―
目	03	教育振興費	決　算　額	1,443,200 円	―
事業の目的		児童の科学や理科への興味・関心を高めるため、加須未来館を活用した理科学習の充実を目指す。			
事業の概要		小学校第 4 学年の全児童を対象に、加須未来館においてプラネタリウムや望遠鏡等を活用した理科学習を実施する。 加須未来館での学習を実施するために、児童が移動するためのバスを措置する。			

事業の実績・成果

小学校 4 年生児童を対象に、加須未来館においてプラネタリウムや望遠鏡等を活用した理科学習を実施した。

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
対象　（学級）	30	32	32	31	35
（人）	894	848	803	843	824
バス借上料（円）	0	1,060,400	1,064,800	1,438,800	1,443,200
バス台数　（台）	0	11	11	10	10

※　令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業中止。

事業名		いじめ・不登校対策事業			2212-01
担当課		学校教育課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	26,475,000 円	－
項	01	教育総務費	最終予算額	28,226,000 円	－
目	03	教育振興費	決　算　額	26,115,788 円	－
事業の目的		すべての児童生徒が楽しく、安心して学校に通えるよう、市立小・中学校におけるいじめの問題を根絶し、併せて不登校問題の解消を目指す。			
事業の概要		各学校において、いじめ・不登校の未然防止のための校内指導体制を充実させる。また、家庭や地域と連携し、いじめ・不登校の問題の克服を図る。 不登校問題対策委員会を定期的に開催し情報交換及び具体的な対応策を検討する。 学校や教育センターにさわやか相談員やスクールカウンセラー等を配置し、教育相談体制を充実させる。			

事業の実績・成果

1　不登校の未然防止と不登校の改善を図る取組

全ての市立中学校にさわやか相談員 8 人を配置し、スクールカウンセラーとともに個別教育相談や家庭訪問を行うなど、教育支援を行った。

全ての市立中学校に設置してあるスペシャルサポートルームを活用し、教室に入ることが難しい生徒に居場所を提供し、オンラインで教室とつないで授業に参加したり、自分に合った課題に取り組んだりするなど活用した。

また、教育センターに巡回スクールカウンセラー1 人、スクールカウンセラー2 人、スクールソーシャルワーカー2 人を配置し、教育相談を実施するとともに、学びサポート「ピア」を設置し、運営の充実を図り、不登校の解消に取り組んだ。オンラインでの学習支援を行うリンク「ピア」、フリースクール型のステップ「ピア」、不登校を考える保護者の会「ハート・ピア」などの幅広い支援を実施した。教育相談体制の充実や家庭訪問等による児童生徒、保護者一人一人への支援により、児童生徒個々の状況に改善が見られた。

2　加須市小中学校不登校問題対策委員会の開催

加須市小中学校不登校問題対策委員会は、3 回(6,8,2 月)開催した。

3　不登校児童生徒数の推移

(1) 小学校　（単位：人）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
不登校児童数	28	40	54	56	66

(2) 中学校　（単位：人）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
不登校生徒数	111	165	209	197	218

4　いじめ防止等のための取組

(1) 全ての市立小・中学校において「学校いじめ防止基本方針」を作成し、計画的、組織的な対応をすることにより、いじめの未然防止、早期発見、早期解消を図った。また、各学校において、小さなトラブルも、いじめの可能性を考えて適切に対応しているため、重大な事態に陥ることはなかった。3 学期に起きたいじめについては、解消としていない。(解消とは、いじめの行為が止んで 3 ヶ月経過した状態である。)

(2) 年間 3 回の「いじめ撲滅期間」を設定して集中的にいじめの防止等のための取組を実施することにより、児童生徒、保護者、地域住民への啓発を図った。全市的ないじめ防止への意識の高揚につながった。

5　令和 7 年度の小･中学校におけるいじめの認知件数及び解消件数　（単位：件）

	認知件数	解消件数		認知件数	解消件数
小学校	78	57	中学校	27	20

※　解消には 3 ヶ月以上見守る必要がある。2 月以降に認知したいじめについて現在見守りをしている。

6　いじめ防止等のための組織

加須市いじめ問題対策連絡協議会を令和 7 年 7 月に実施した。

事業名		教育センター運営事業			2212-02
担当課		学校教育課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	34,731,000 円	－
項	01	教育総務費	最終予算額	36,212,000 円	－
目	03	教育振興費	決　算　額	32,429,635 円	－
事業の目的		不登校児童生徒の学校復帰による不登校の解消を図るため、教育相談を充実させるとともに、児童生徒の生きる力を育成するため、教職員の資質向上に向けた研修の充実を図る。			
事業の概要		不登校児童生徒の生活改善を図り、学校復帰を目指すため、加須学びサポート『ピア』、加須学びリンク『ピア』を運営し、対象児童生徒を指導する。 教育相談室の運営や教育相談活動の充実を図る。 教育センターの企画立案のもとに、各種研修会を実施する。			

事業の実績・成果

・加須学びサポート『ピア』
加須市に在籍する児童生徒の自立と学校生活への適応に関わる指導を行い、学校復帰を目指した。
生活指導、教育相談、学習支援のほか、スポーツ活動、ボランティア活動、栽培活動、幼稚園ふれあい体験、お別れ会などの体験活動を実施した。また、「わくわくスクール」では、遠足や野外体験活動を4回実施した。

（単位：人）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
通級者	21	22	23	32	28

・加須学びリンク『ピア』
1名の児童生徒に対してオンライン上で学習内容の開設などの学習支援を行った。

・加須ステップ『ピア』
フリースクール型の支援を実施した。教育相談員兼指導員が作品制作や調理実習、スポーツなどのプログラムを行い、登録者であればいつでも事前申込みなく参加できるようにした。学びサポート『ピア』の通級に結びついた児童生徒もいた。

（単位：人）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
参加者数(延べ)	10	115	97

※令和6年1月から開始

・不登校を考える親の会　『ハート・ピア』
不登校及び不登校傾向の児童生徒の保護者を対象に年4回開催し、同じ悩みを共有し合うことで、心の負担軽減を目指した。

（単位：人）

	令和6年度	令和7年度
参加者数(延べ)	37	51

※令和6年度から開始

・巡回スクールカウンセラー1人、スクールカウンセラー2人、スクールソーシャルワーカー2人、教育相談員兼指導員8人、日本語指導員1人を設置し、不登校の解消に努めた。

（単位：件）

相談件数	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
来所・電話	858	699	335	236	161
訪問	97	104	112	97	63
合計	955	803	467	333	224

・「一人一人を伸ばす教育」の実現のために学び続ける教職員の育成をテーマに、教職員研修を14回開催し、372人の教職員の参加を得ることができた。

事業名		学校いきいきステーション事業			2215-01
担当課		学校教育課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	3,834,000 円	―
項	01	教育総務費	最終予算額	3,834,000 円	―
目	03	教育振興費	決　算　額	3,704,095 円	―
事業の目的		公立学校（園）の一層の活性化と家庭や地域の教育力の向上のため、学校及び公立幼稚園・家庭・地域が一体となって子どもの健全育成を目指す。			
事業の概要		すべての公立学校（園）に、学校（園）と家庭・地域社会の橋渡しとなる「ふれあい推進長（学校応援コーディネーター）」を委嘱し、ボランティアからなる「学校（幼稚園）応援団」を組織する。「学校（幼稚園）応援団」を活用しながら学校（園）・家庭・地域が一体となって様々な活動を展開することで、子どもの健全育成に取り組む。			

事業の実績・成果

全ての市立幼稚園及び小･中学校で「学校（幼稚園）応援団」を組織し、学校と地域とが協働しながら諸活動を進めることができた。具体的には、学習支援、学校の環境整備、登下校における安全の確保、学校・家庭・地域の交流活動等を、各学校の実態に応じて実施した。

登下校時における変質者や痴漢等による被害から、児童生徒の安全を確保するため、地域社会や警察署との連携を図り、児童生徒が一時的に避難できる場所としての「子ども 110 番の家」を各小学校から委託した。児童生徒の安全を地域で一丸となって守る取組として継続的に行っている。

【学校応援団の登録者数の推移】　（単位：人）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
合　　計	3,888	3,410	2,917	2,703	2,695

（「子ども 110 番の家」を含む）

※　合併前の旧加須市では、平成 17 年度から県のモデル事業として取組を開始した。また、旧騎西町、北川辺町、大利根町では、県の事業化を受けて平成 20 年度から取組を開始した。合併後の平成 22 年度から「学校いきいきステーション事業」として、全市的に学校応援団の活動を展開している。

以降、全ての市立小学校（22 校）に、学校と地域の橋渡し役を果たす「ふれあい推進長（学校応援コーディネーター）」を委嘱し、教育活動を支援する「学校応援団」を組織して、活動を推進してきた。平成 23 年度からは、市立中学校（8 校）全てにおいても学校応援団活動がスタートし、これにより市立全小・中学校（30 校）で学校応援団の活動が展開されるようになった。

事業名		保・幼・小中一貫教育事業			2215-03
担当課		学校教育課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	4,258,000 円	―
項	01	教育総務費	最終予算額	4,258,000 円	―
目	03	教育振興費	決　算　額	2,838,937 円	―
事業の目的		学校不適応児童生徒の解消のために、保育所(園)、幼稚園、小・中学校相互の滑らかな接続をめざし、教育指導・内容の充実を図る。			
事業の概要		幼児、児童生徒間の異年齢集団による交流活動を通して、豊かな人間性や社会性をはぐくむ。 また、教職員が校（園等）種を越えて交流し、互いの指導内容や指導方法等を理解し合うことで、教員としての指導力や人間性を高める。			

事業の実績・成果

1　保育所（園）・幼稚園・小学校・中学校等の交流実績と主な事例

交流園・校	主な交流内容	回数
小学校→幼稚園	幼稚園行事への参加、児童による読み聞かせの実施、体験活動への参加	40
小学校→保育所(園)	保育行事への参加、体験活動への参加	10
小学校→中学校	児童の中学校見学、生徒指導での情報提供等	48
中学校→幼稚園	手作りおもちゃを使った活動、生徒の保育実習実施	42
中学校→保育所(園)	生徒の保育実習実施	19
中学校→小学校	中学校教員による授業の実施、学校紹介	163
幼稚園→保育所(園)	５歳児同士の交流、行事を通した交流	9
幼稚園→小学校	学校行事への参加、合同の体験活動、授業の参観、研究会への参加	123
その他	保育所と１年生の交流、特別支援学校との交流等	44
リンクミーティング	各園校の実態及び課題把握、教科学習の交流（外国語活動、英語）	259

2　事業の成果

・異年齢の幼児、児童生徒の縦の交流により、相手を敬ったり思いやったりする等の豊かな心をはぐくむことができた。
・市内全中学校区において、リンクミーティングが実施され、校種間の連携が深くなった。市立小・中学校においては、学力向上や生徒指導での連携を目指す取組もあった。
・本市の特色である、市立幼稚園を含め、保・幼・小中の日常的な連携が進んでいる。また、同じ中学校区の小規模校同士で修学旅行、林間学校、社会科見学の合同校外行事を実施するなど、小小連携が進んでおり、中一ギャップの解消の一助となっている。令和７年度は騎西中学校区５校の６年生が一同に会して交流を深めたり、中学生から中学校生活について話を聞いたりした。
・保育園から中学校まで、地域で目指すこども像を共有し、発達段階に応じた指導を行うことができた。

事業名		あいさつふれあい推進事業			2215-06
担当課		学校教育課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	431,000円	―
項	01	教育総務費	最終予算額	418,000円	―
目	03	教育振興費	決　算　額	241,854円	―
事業の目的		心のふれあうまちづくりのために、あいさつを通して、児童生徒の心の教育の推進や地域の防犯意識の高揚を目指す。			
事業の概要		教育機関、地域、行政機関等が一体となった市を挙げた「加須市あいさつ運動～あいさつ　さわやか　かぞのまち～」を推進する。 年間を通した継続的な取組及び5月と10月に強化期間を設定しての取組を実施する。			

事業の実績・成果

1　地域と連携したあいさつ運動（加須市あいさつ運動）の主な活動

（1）　年間の取組

市立幼稚園、小・中学校が学校や地域の実態に応じて、効果的なあいさつ運動を展開した。

（2）　あいさつ強化期間の取組

① 市民平和祭及び市民まつりにおいて、青少年育成加須市民会議の方々と協力し、あいさつ運動を実施した。
② 加須駅、花崎駅、柳生駅、栗橋駅、新古河駅において、青少年育成加須市民会議の方々と協力し、「駅キャンペーン」を実施した。
③ 市役所・総合支所においては、あいさつ啓発ポスターを掲示し、来庁者に啓発の為のポケットティッシュの配布を行った。
④ 各小・中学校及び幼稚園に依頼し、期間中のあいさつ運動を実施した。

【参考】

令和７年度埼玉県学力・学習状況調査　（単位：%）

＼	(小)自分からあいさつをすることができている児童の割合 (中)進んであいさつをすることができている生徒の割合				
選択肢	よくできる	だいたいできる	あまりできない	できない	その他
小学6年生	50.3	37.3	9.6	2.3	0.5(無回答)
	87.6		11.9		
中学3年生	43.5	42.9	11.3	1.7	0.7(無回答)
	86.4		13		

事業名		通学路安全対策事業			2215-08
担当課		学校教育課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	40,500,000 円	―
項	01	教育総務費	最終予算額	40,500,000 円	―
目	03	教育振興費	決　算　額	39,033,500 円	―
事業の目的		市内のこどもたちの安心・安全の確保のため、登下校において、事故やけがなどによる負傷を避け、安全に登下校できるよう、速やかな対応による通学路環境の改善を目指す。			
事業の概要		各学校による通学路の安全点検の結果報告をもとに現地調査を行い、関係課や関係機関と協議の上、対策案を立案し、安全対策を講じる。			

事業の実績・成果

・令和 7 年度は、通学路安全対策事業費で 25 箇所の改善を行った。（単位：上段　箇所、下段　円）

年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
工事等対応箇所数	20	12	11	13	25
事業費	7,482,200	3,847,594	19,832,835	34,291,400	39,033,500

・令和 7 年度に改善を行った 25 箇所の内容

No.	学校名	報告箇所	対応内容
1	加須小学校	東栄 1 丁目 4 番地	ロープ補強
2	水深小学校	大室 58-4	カーブミラー設置
3	水深小学校	大室 40 番地	雑草伐採
4	志多見小学校	KAZO ビレッジ通り交差点付近	交差点整備、路面標示の新設
5	樋遣川小学校	下樋遣川 427 番地	雑草伐採
6	種足小学校	中種足 715 番地	路面標示の修繕
7	鴻茎小学校	鴻茎 1586 番地	雑草伐採
8	北川辺東小学校	向古河 281-2	ガードレール保護カバー修繕
9	豊野小学校	杓子木 123 番地	学童注意の塗り直し
10	昭和中学校	北小浜 1205 番地	カーブミラー設置
11	加須東中学校	花崎 2 丁目 25 番地	路面標示の修繕
12	加須東中学校	環境浄化センター付近	路面標示の新設
13	北川辺中学校	柏戸 2132-5 番地	道路舗装
14	大利根中学校	細間 438	路面標示の修繕
15	大利根中学校	道目	路面標示の修繕
16	大利根中学校	琴寄 1013	路面標示の修繕、交差点マーク
17	大利根中学校	道目	路肩の土砂撤去
18	大利根中学校	阿佐間 770 番地付近	路面標示の新設
19	大利根中学校	旗井 1 丁目 31 番地	穴の補修
20	騎西小学校	騎西 528	区画線引き直し
21	原道小学校	弥兵衛 402	標識位置変更
22	原道小学校	細間 159	標識位置変更
23	三俣小学校	学校正門付近	止まれの標示張り替え
24	大利根中学校	北下新井	止まれ標示書き直し
25	水深小学校	大室	止まれ標示書き直し

令和 4 年度から令和 7 年度にかけて行った工事

満期	大利根東小学校	市道 116 号線	歩道整備

【対応課】

・交通防犯課 6 箇所
・道路公園課 0 箇所
・騎西総合支所地域振興課 2 箇所
・北川辺総合支所農政建設課 1 箇所
・大利根総合支所地域振興課 6 箇所
・大利根総合支所農政建設課 4 箇所

【成果】

通学路安全点検の結果をもとに改善が必要と判断した箇所に優先順位をつけ、関係課や関係機関と協議して対応することにより、通学路における児童生徒の安全な環境が維持できた。

事業名		小学校健康推進事業			2213-02
担当課		学校教育課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	28,450,000円	―
項	02	小学校費	最終予算額	28,450,000円	―
目	01	学校管理費	決　算　額	26,969,163円	―
事業の目的		学校保健安全法に基づき小学校児童及び教職員の健康管理をすることで、教育環境の充実を図る。			
事業の概要		学校保健安全法に基づく児童の健康診断（内科健診、歯科検診、尿検査、心電図検査、脊柱側彎症検査、結核検診精密検査）を実施する。 フッ素塗布、歯磨き指導を実施する。 教職員の健康診断、胃がん、大腸がん検診及びストレスチェックを実施する。 学校環境衛生検査を実施する。 食物アレルギーに関する職員研修を充実する。			

事業の実績・成果

1　学校医・学校歯科医・学校薬剤師の執務内容

学校医　　：内科健診、就学時健診、学校保健委員会講師、研修等
学校歯科医　：歯科検診、就学時歯科検診、臨時歯科検診、学校保健委員会講師等
学校薬剤師　：飲料水水質検査及び結果指導、学校環境検査、研修等

2　学校歯科保健事業における歯科衛生士の派遣

フッ素塗布　：延べ44回派遣

3　児童及び教職員健康診断の受診の推移　（単位：人）

年度	児童健康診断					教職員健康診断		
合計	尿検査一次	尿検査二次	心臓検診	脊柱側彎検査	結核	健康診断	胃	大腸
令和3年度 7,524	5,239	216	828	971	7	200	16	47
令和4年度 7,342	5,121	273	815	880	15	193	10	35
令和5年度 7,224	4,999	329	828	813	11	198	12	34
令和6年度 6,939	4,891	239	771	793	13	199	5	28
令和7年度 6,924	4,813	257	747	827	19	210	8	43

4　教職員ストレスチェック

該当教職員　418人　受検者数　408人　受検率97.6%　高ストレス者数　43人

5　養護教諭B型肝炎予防接種（接種規定回数1人3回）

接種者　0人　延べ接種回数0回

事業名		小学校管理運営事業			2214-01
担当課		教育総務課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	384,960,000円	―
項	02	小学校費	最終予算額	369,699,000円	―
目	01	学校管理費	決　算　額	343,316,625円	―
事業の目的		・明るく豊かで活力に満ちた児童の健全な育成を目指し、小学校における教育環境の整備を図る。			
事業の概要		・小学校22校について、必要な予算を配分し、管理運営を行う。 ・学校プール共同利用のため民間バス借上げを行う。 ・水泳授業支援民間委託を行う。 ・施設の緊急修繕や高木等の剪定、伐採を行う。			

事業の実績・成果

1．小学校の管理運営を行うに当たり、必要諸経費を適切に支出することができた。

・【諸経費過去5年間の推移と対前年比】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
電気料（円）	45,975,451	69,778,619	93,023,808	78,480,753	69,134,062
対前年比（%）	108.88	151.77	133.31	84.37	88.09

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
水道料（円）	13,057,260	14,644,637	12,636,267	12,511,461	12,275,540
対前年比（%）	101.58	112.16	86.29	99.01	98.11

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
修繕料（円）	27,452,347	30,243,113	32,500,829	35,720,662	34,082,043
対前年比（%）	110.97	110.17	107.47	109.91	95.41

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
電話料（円）	5,899,505	5,774,964	5,925,712	5,727,891	5,140,662
対前年比（%）	97.41	97.89	102.61	96.66	89.75

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
委託料（円）	17,167,599	18,533,910	21,680,176	31,217,980	52,054,069
対前年比（%）	112.92	107.96	116.98	143.99	166.74

なお、委託料のうち民間スイミングスクールプール利用のための委託料は次のとおりである。

民間スイミングスクールプール利用のため委託料　26,604,160円

実施校	実施日数
樋遣川・大越小学校	8日間（ 5～ 7月）　※4回/学年
種足・鴻茎小学校	12日間（ 5～ 7月）　※4回/学年
志多見小学校	8日間（ 6,7,9月）　※4回/学年
田ケ谷小学校	8日間（ 9,10月）　※4回/学年
高柳小学校	12日間（10～ 2月）　※4回/学年
礼羽小学校	12日間（10,11,1,2月）　※4回/学年
不動岡小学校	12日間（10～ 2月）　※4回/学年
加須南小学校	8日間（ 5～ 7月）　※4回/学年
原道・豊野小学校	8日間（ 5～ 7月）　※4回/学年
大利根東小学校	8日間（ 9～11月）　※4回/学年
元和小学校	16日間（ 9,10,11,1,2月）　※4回/学年

・プール共同利用のためのバス借上料907,830円

利用校	拠点校	バス台数	バス運行日数
北川辺東小学校	北川辺西小学校	大型1台、マイクロ1台	6日間（6,7月）

・音楽会に係る会場借上料　126,200円

・各種大会に参加するためのバス借上料　4,062,300円

大会名	会　場	バス利用参加人数	バス台数
市内陸上競技会 （開催日）10/21	加須市民運動公園	21校、760人	大型8台 中型1台 マイクロ5台
市内音楽会 （開催日）11/12	パストラルかぞ	21校、531人	大型4台 中型2台 マイクロ6台
東部・北地区音楽会 （開催日）11/19	パストラルかぞ	6校、141人	大型3台 ※中学校と1台併用

・小・小連携のためのバス等借上料　428,144円

事業名		小学校施設整備事業			2214-04
担当課		教育総務課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	1,813,603,000 円	7,854,000 円
項	02	小学校費	最終予算額	3,014,803,000 円	7,854,000 円
目	01	学校管理費	決　算　額	1,505,213,313 円	7,854,000 円
事業の目的		・学校施設の整備・充実を図り、安全で快適な教育環境を確保する。			
事業の概要		・小学校 22 校について、環境改善を要する施設を把握し、優先度を判断して計画的に修繕、工事や施設備品の購入等を行う。			

事業の実績・成果

1．老朽化した学校施設の設備等の修繕や備品購入等を行った。
32,877,145 円
漏水調査業務委託（大桑小学校）
体育館舞台装置修繕（加須小学校ほか 12 校）
救助袋交換工事（騎西小学校、種足小学校、鴻茎小学校）
加須南小学校職員室非常放送設備更新工事
豊野小学校校舎屋根笠木改修工事
志多見小学校教室ロッカー改修工事
原道小学校低鉄棒更新工事及び職員女子トイレ洋式化工事
普通教室カーテン購入（加須南小学校、志多見小学校）
特別支援学級備品購入（三俣小学校、水深小学校）
元和小学校配膳室ブラインド購入

2．老朽化が進む学校施設の長寿命化を図るため、設計・工事等を実施した。
1,472,336,168 円
礼羽小学校校舎長寿命化改良工事及び工事監理業務委託、備品・カーテン購入
高柳小学校校舎長寿命化改良工事設計業務委託及びアスベスト含有建材分析調査業務委託

【前年度からの繰越事業（繰越明許）】　7,854,000 円
・前年度からの繰越事業の内容
学級数増加に伴う整備を実施した。
空調設備等整備工事（高柳小学校）
備品購入（不動岡小学校、礼羽小学校、水深小学校、花崎北小学校、高柳小学校、大利根東小学校）

・令和 6 年度から令和 7 年度へ繰り越した理由
令和 6 年 12 月議会及び令和 7 年 3 月議会において補正予算を計上したものであり、工事の完成及び備品の納入に期間を要したため。

【翌年度への繰越事業（繰越明許）】　1,504,215,000 円
・翌年度への繰越事業の内容
高柳小学校校舎長寿命化改良工事及び工事監理業務委託

・令和 7 年度から令和 8 年度へ繰り越す理由
令和 8 年 3 月議会において補正予算を計上したものであり、工事の完成に期間を要するため。

事業名		小学校就学援助事業			2211-21
担当課		学校教育課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	34,102,000円	―
項	02	小学校費	最終予算額	34,102,000円	―
目	02	教育振興費	決　算　額	25,855,232円	―
事業の目的		小学校６年間の普通教育を保障し、義務教育の円滑な実施のため、経済的理由によって就学が困難と認められる児童の保護者に、必要な援助をし、経済的負担の軽減を目指す。			
事業の概要		要保護児童の保護者に対して、修学旅行費及び医療費の就学援助費を支給する。 準要保護児童の保護者に学用品費、新入学学用品費、修学旅行費、校外活動費、給食費、医療費、ＰＴＡ会費、児童会費等の就学援助費を支給する。 認定基準は、生活保護最低生活費認定基準の見直しによる影響がないように基準を設定する。			

事業の実績・成果

経済的な理由によって、就学が困難と認められる児童の保護者に対して、給食費、学用品費、校外活動費等の必要な援助を行った。また、保護者に対し、就学援助制度の案内を行い制度の周知に努めた。

援助を必要とする時期に速やかな支給が行えるよう「新入学児童生徒学用品費」の入学前支給を行った。

1　就学援助者数の推移　（単位：人）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
就学援助者数	545	554	533	518	444

2　援助費額の推移　（単位：円）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
支給額	34,510,809	26,306,236	30,244,711	31,047,828	25,723,104

3　児童数に対する就学援助者の割合　（単位：%）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
割合	10.4	10.7	10.5	10.5	9.2

事業名		小学校特別支援教育就学奨励事業			2211-25
担当課		学校教育課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	5,378,000円	―
項	02	小学校費	最終予算額	5,378,000円	―
目	02	教育振興費	決　算　額	4,830,224円	―
事業の目的		特別支援学級に在籍する児童及び学校教育法施行令第２２条の３に規定する障害の程度に該当する児童の保護者のために、通学に係る費用について必要な補助をし、経済的負担の軽減を目指す。			
事業の概要		特別支援学級へ在籍する児童及び学校教育法施行令第２２条の３に規定する障害の程度に該当する児童の保護者に対し、所得に応じて、学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費等を国の基準により支給する。			

事業の実績・成果

教育の機会均等の趣旨にのっとり、特別支援学級に就学する児童の保護者に対して、学用品費等を支給し、経済的な負担の軽減を図る。

保護者に対し、制度の案内及び周知に努め、利用可能な世帯に対して補助額の多い就学援助制度の案内を図った。

1　特別支援教育就学奨励費支給者数の推移　（単位：人）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
支給者数	163	183	188	205	223

2　支給額の推移　（単位：円）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
支給額	4,157,631	3,137,421	3,864,649	4,243,881	4,702,914

事業名		小学校教材用備品整備事業			2211-30
担当課		教育総務課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	4,010,000円	―
項	02	小学校費	最終予算額	4,010,000円	―
目	02	教育振興費	決　算　額	3,909,917円	―
事業の目的		・理科教育に必要な備品を整備し、理科教育の充実を図る。			
事業の概要		・各校の理科備品の整備状況を踏まえ、理科教育設備の充実に必要な備品を整備する。			

事業の実績・成果

国庫補助金を活用し、各校の理科設備備品を購入し、理科教育の振興を図った。

● 理科設備備品購入　(21校)　決算額　3,909,917円

● 理科教育設備整備率

各学校の理科教育設備の整備率

＝　各学校総計の年度末現有額　÷　理科教育振興費国庫補助金交付要綱に定める基準額

（単位：%）

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
理科教育設備整備率	76.6	75.8	74.6	73.5	71.9

事業名		中学生夢創造チャレンジ事業			2211-18
担当課		学校教育課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	524,000 円	―
項	03	中学校費	最終予算額	524,000 円	―
目	01	学校管理費	決　算　額	373,410 円	―
事業の目的		生徒の将来の夢や希望を育むため、進路意識の啓発、高揚を図り、中学生が望ましい職業観や働くことの意義、生き方等を学ぶ機会の充実を目指す。			
事業の概要		中学生が人とのふれあいを通して「働くことの意義」や「生き方」について学ぶ、市立各中学校が企画する職場体験学習に必要な消耗品費や保菌検査、損害保険加入等を支援する。地域の方等から生き方や職業についての話を聞く「ふれあい講演会」の支援を行う。			

事業の実績・成果

・ふれあい講演会

埼玉県の事業などを活用し、市内 8 つの中学校においてふれあい講演会を実施することができた。講師には、学校金融教育家や ICT 企業秘書、三味線奏者などを招き、多彩な講演が展開された。この学びの機会を通して、生徒一人一人が、進路決定における視野を広げることができた。

・職場体験学習

延べ 252 事業所に協力をいただき、892 名の生徒が 2 日または 3 日間の職場体験学習に参加した。飲食業で体験する生徒については、全員の保菌検査を実施し、安全の確保を図った。活動を通し、望ましい職業観や勤労観の形成を図ることができ、多くの人々とのふれあいは、社会性等を養うことにつながった。

※ 職場体験学習事業所

職業分類	事業所（順不同）
農業	宮内バラ園、(株) サンリツファーム、田島農園　など
製造業	ブリヂストンフローテック埼玉工場、(株)大川緑地開発、(株)平井板金、湖池屋関東工場、(株)アプロンアパレル、デンソーワイパシステムズ、(株)いずみ寿司、中央化学、グローリー(株)、(株)ラスコ　など
販売	トータルリビングあかさか、スーパーケンゾー、(株)カサモ関口商店、コナカ加須店、イオンモール羽生店、とりせん加須浜町店、道の駅おおとね、道の駅かぞわたらせ、スーパービバホーム加須店、ドン・キホーテ UNY 大桑店、ホームプラザナフコ北加須店、カインズホーム大利根店、カスミ花崎店、ヤオコー加須店　など
飲食業	パサルキッチン、たかのチェーン、とんでん加須店、すき家加須諏訪店、フライングガーデン加須店、デニーズ加須店、ロッテリア、魚がし、うなぎの荒川、おおぎやフーズ、北海道ラーメン、割烹かたやま　など
電気・建設業	(株)輝夢、大利根造園、小林土建工業(株)、大塚工務店　など
理容・美容	ａｒａｉ、真弓　など
学校・幼稚園	市内幼稚園、小学校
公共施設	はなさき水上公園、市役所、図書館、加須消防署、いなほの湯、加須げんきプラザなど
社会福祉施設	市内保育所、あけぼの園、ケア・ビレッジ　シャローム、みずほの里、ふれ愛の郷、加須清輝苑　など
その他	中田病院、済生会加須病院、埼玉りそな銀行加須支店、埼玉縣信用金庫加須支店、埼北自動車学校、中村動物病院、(株)むさしの村、タイムトラベル　など

事業名		生徒派遣援助事業			2211-32
担当課		教育総務課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	800,000円	―
項	03	中学校費	最終予算額	800,000円	―
目	01	学校管理費	決　算　額	379,946円	―
事業の目的		・明るく豊かで活力に満ちた生徒の健全な育成を目指すために、中学校における各種スポーツ及び文化活動の振興を図る。			
事業の概要		・全国大会等に出場する選手の派遣を支援する。			

事業の実績・成果

・令和7年度全国及び関東中学校体育連盟主催の競技大会等への生徒派遣費補助金
379,946円

令和7年度実績　5件(18人)　　(単位：円)

	学校名	学年	競技種目	出場種目	大会期日	大会会場	市補助金	県中体連補助金	補助合計
関東大会	昭和中学校	1～3	テニス	女子団体	8月6日～8月8日	栃木県総合運動公園 （栃木県宇都宮市）	4,000	26,000	30,000
	昭和中学校	1～3	水泳	4×100mメドレーリレー（女子） 100mバタフライ（女子） 200mバタフライ(女子) 100m平泳ぎ（男子）	8月7日～8月9日	千葉県国際総合水泳場 （千葉県習志野市）	174,358	10,000	184,358
	加須東中学校	1	水泳	100m背泳ぎ（女子）	8月7日～8月9日	千葉県国際総合水泳場 （千葉県習志野市）	24,258	2,000	26,258
全国	騎西中学校	3	陸上	110mハードル（男子）	8月17日～8月20日	沖縄県総合運動公園 （沖縄県沖縄市）	141,330	14,820	156,150
	大利根中学校	3	剣道	中学生の部（女子）	9月14日	おおきにアリーナ舞洲 （大阪府大阪市）	36,000	―	36,000

事業名		中学校健康推進事業			2213-03
担当課		学校教育課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	14,351,000円	―
項	03	中学校費	最終予算額	14,351,000円	―
目	01	学校管理費	決　算　額	13,353,751円	―
事業の目的		学校保健安全法に基づき中学校生徒及び教職員の健康を管理することで、教育環境の充実を図る。			
事業の概要		学校保健安全法に基づく生徒の健康診断等（内科健診、歯科検診、尿検査、心電図検査、貧血検査、脊柱側彎症検査、結核検診精密検査）を実施する。 教職員の健康診断、胃がん、大腸がん検診及びストレスチェックを実施する。 生徒に歯科指導を実施する。 学校環境衛生検査を実施する。 食物アレルギーに関する職員研修を充実する。			

事業の実績・成果

1　学校医・学校歯科医・学校薬剤師の執務内容

学校医　　内科健診等
学校歯科医　歯科検診、臨時歯科検診等
学校薬剤師　飲料水水質検査及び結果指導、学校環境検査、研修等

2　生徒及び教職員の健康診断受診の推移　（単位：人）

年度 合計	生徒健康診断						教職員健康診断		
	尿検査 一次	尿検査 二次	貧血 検査	心臓検診	脊柱側 彎検査	結核	健康 診断	胃	大腸
令和3年度 5,900	2,801	208	928	922	919	0	90	7	25
令和4年度 5,764	2,759	239	888	891	876	2	83	8	18
令和5年度 5,905	2,767	282	848	944	925	3	103	11	22
令和6年度 5,700	2,700	213	911	869	869	4	108	11	15
令和7年度 5,468	2,621	230	865	809	784	8	112	13	26

3　教職員ストレスチェック

該当教職員　211人　受検者数　210人　受検率99.5%　高ストレス者数　25人

4　養護教諭B型肝炎予防接種（接種規定回数1人3回）

接種者　0人　延べ接種回数　　0回物価高騰に係る対応を実施した（巻末参照）。

事業名		中学校管理運営事業			2214-02
担当課		教育総務課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	196,972,000 円	－
項	03	中学校費	最終予算額	196,972,000 円	－
目	01	学校管理費	決　算　額	173,612,045 円	－
事業の目的		・明るく豊かで活力に満ちた生徒の健全な育成を目指し、中学校における教育環境の整備を図る。			
事業の概要		・中学校 8 校について、必要な予算を配分し、管理運営を行う。 ・施設の緊急修繕や高木等の剪定、伐採を行う。			

事業の実績・成果

1．中学校の管理運営を行うに当たり、必要諸経費を適切に支出することができた。

・【諸経費過去 5 年間の推移と対前年比】

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
電気料（円）	22,610,020	31,733,950	41,621,977	36,711,060	33,405,473
対前年比（%）	112.67	140.35	131.16	88.20	91.00

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
水道料（円）	7,122,003	6,609,167	5,681,374	5,516,468	5,246,729
対前年比（%）	108.20	92.80	85.96	97.10	95.11

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
修繕料（円）	15,676,571	17,409,643	21,311,625	20,530,965	17,345,736
対前年比（%）	130.23	111.10	122.41	96.34	84.49

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
電話料（円）	2,858,405	3,045,350	3,174,154	3,073,192	2,864,831
対前年比（%）	107.85	106.54	104.23	96.82	93.22

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
委託料（円）	9,459,860	10,749,540	11,842,329	17,708,580	15,961,697
対前年比（%）	102.47	113.63	110.17	149.54	90.14

・部活動の大会に参加するためのバス借上料　19,650,066 円

・音楽会に参加するためのバス借上料　770,000 円

大会名	会　場	バス利用参加人数	バス台数
市内音楽会 （開催日）11/12	パストラルかぞ	8 校、304 人	大型 4 台
東部・北地区音楽会 （開催日）11/19	パストラルかぞ	3 校、119 人	大型 2 台 ※小学校と 1 台併用

事業名		中学校施設整備事業			2214-05
担当課		教育総務課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	128,981,000 円	18,177,500 円
項	03	中学校費	最終予算額	1,565,451,000 円	18,177,500 円
目	01	学校管理費	決　算　額	102,427,497 円	18,177,500 円
事業の目的		・学校施設の整備・充実を図り、安全で快適な教育環境を確保する。			
事業の概要		・中学校 8 校について、環境改善を要する施設を把握し、優先度を判断して計画的に修繕、工事や施設備品の購入等を行う。			

事業の実績・成果

1．老朽化した学校施設の設備等の修繕や備品購入等を行った。
24,019,497 円
体育館舞台装置修繕（昭和中学校、加須西中学校、騎西中学校）
騎西中学校昇降機改修工事及び救助袋交換工事
加須西中学校放送室放送設備更新工事

2．老朽化が進む学校施設の長寿命化を図るため、構造体の劣化状況の把握調査を実施した。
1,518,000 円
加須西中学校校舎構造躯体劣化状況等調査業務委託

3．教育環境の更なる向上及び防災機能の強化を図るため、体育館等へ空調設備等を整備するための設計を実施した。
76,890,000 円
中学校体育館空調設備設置等工事設計業務委託

【前年度からの繰越事業（繰越明許）】　18,177,500 円
・前年度からの繰越事業の内容
学級数増加に伴う整備を実施した。
空調設備等整備工事（加須東中学校、大利根中学校）
情報通信ネットワーク環境整備工事（加須東中学校、大利根中学校）
備品購入（昭和中学校、加須東中学校、騎西中学校、大利根中学校）

・令和 6 年度から令和 7 年度へ繰り越した理由
令和 7 年 3 月議会において補正予算を計上したものであり、工事の完成及び備品の納入に期間を要したため。

【翌年度への繰越事業（繰越明許）】　1,438,762,600 円
・翌年度への繰越事業の内容
教育環境の更なる向上及び防災機能の強化を図るため、中学校 8 校の体育館等へ空調設備の整備に着手した。
中学校体育館空調設備設置等工事及び工事監理業務委託

・令和 7 年度から令和 8 年度へ繰り越す理由
令和 7 年 12 月議会において補正予算を計上したものであり、工事の完成に期間を要するため。

事業名		中学校就学援助事業			2211-23
担当課		学校教育課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	42,337,000円	―
項	03	中学校費	最終予算額	42,337,000円	―
目	02	教育振興費	決　算　額	35,939,925円	―
事業の目的		中学校３年間の普通教育を保障し、義務教育の円滑な実施のため、経済的理由によって就学が困難と認められる生徒の保護者に、必要な援助をし、経済的負担の軽減を目指す。			
事業の概要		要保護生徒の保護者に対して、修学旅行費、医療費の就学援助費を支給する。 準要保護生徒の保護者に学用品費、新入学学用品費、修学旅行費、校外活動費、給食費、医療費、ＰＴＡ会費､生徒会費等の就学援助費を支給する。 認定基準は、生活保護最低生活費認定基準の見直しによる影響がないように基準を設定する。			

事業の実績・成果

経済的な理由によって、就学が困難と認められる生徒の保護者に対して、給食費、学用品費、校外活動費等の必要な援助を行った。また、保護者に対し、就学援助制度の案内を行い制度の周知に努めた。

援助を必要とする時期に速やかな支給が行えるよう「新入学児童生徒学用品費」の入学前支給を行った。

１　就学援助者数の推移　（単位：人）

	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
就学援助者数	376	356	345	355	357

２　援助費額の推移　（単位：円）

	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
支給額	33,142,199	31,901,194	35,086,156	35,444,447	35,939,925

３　生徒数に対する就学援助者の割合　（単位：％）

	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
割合	13.3	12.7	12.3	12.9	13.4

事業名		中学校特別支援教育就学奨励事業			2211-26
担当課		学校教育課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	6,239,000 円	―
項	03	中学校費	最終予算額	6,239,000 円	―
目	02	教育振興費	決　算　額	4,069,458 円	―
事業の目的		特別支援学級に在籍する生徒及び学校教育法施行令第２２条の３に規定する障害の程度に該当する生徒の保護者のために、通学に係る費用について必要な補助をし、経済的負担の軽減を目指す。			
事業の概要		特別支援学級へ在籍する生徒及び学校教育法施行令第２２条の３に規定する障害の程度に該当する生徒の保護者に対し、所得に応じて、学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費等を国の基準により支給する。			

事業の実績・成果

教育の機会均等の趣旨にのっとり、特別支援学級に就学する生徒の保護者に対して、学用品費等を支給し、経済的な負担の軽減を図る。

保護者に対し、制度の案内及び周知に努め、利用可能な世帯に対して補助額の多い就学援助制度の案内を図った。

1　特別支援教育就学奨励費支給者数の推移　（単位：人）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
支給者数	56	64	88	112	115

2　支給額の推移　（単位：円）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
支給額	1,532,120	2,038,038	2,738,648	3,344,769	4,069,458

事業名		中学校教材用備品整備事業			2211-31
担当課		教育総務課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	2,036,000 円	―
項	03	中学校費	最終予算額	2,036,000 円	―
目	02	教育振興費	決　算　額	1,825,989 円	―
事業の目的		・理科教育に必要な備品を整備し、理科教育の充実を図る。			
事業の概要		・各校の理科備品の整備状況を踏まえ、理科教育設備の充実に必要な備品を整備する。			

事業の実績・成果

国庫補助金を活用し、各校の理科設備備品を購入し、理科教育の振興を図った。

- 理科設備備品購入（8校）決算額　　1,825,989 円
- 理科教育設備整備率

各学校の理科教育設備の整備率

＝　各学校総計の年度末現有額　÷　理科教育振興費国庫補助金交付要綱に定める基準額

（単位：%）

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
理科教育設備整備率	83.4	82.8	81.6	80.5	78.5

事業名		幼稚園預かり保育事業			2131-16
担当課		こども保育課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	13,529,000円	―
項	04	幼稚園費	最終予算額	13,995,000円	―
目	01	幼稚園費	決　算　額	11,561,523円	―
事業の目的		仕事など家庭の事情により、保育の延長が必要な幼児に対して、公立幼稚園で預かり保育を実施することにより、子育てを支援する。			
事業の概要		保護者の就労・入通院や家族の看護・介護等により、通常の保育終了から最大16時30分まで、定期的、または一時・緊急時に保育を必要とする幼児を対象に保育を行う。 また、長期休業日は8時30分から最大16時30分まで、保育を必要とする幼児を対象に保育を行う。 無償化の認定を申請し、承認されると、預かり保育料は無償になる。			

事業の実績・成果

1　保護者の利用希望のあった8園で預かり保育を実施し、子育て支援を行った。

2　実施形態

(1) 定期利用　年間又は3か月以上を通じて継続的な利用者

(2) 一時・緊急時利用　短期間の継続的利用者又は断続的な利用者及び緊急時の一時的利用者

3　預かり保育利用者延べ人数　（単位：人）

幼稚園名	令和7年度		
		うち定期利用者	うち一時・緊急時利用者
加須幼稚園	1,198	808	390
三俣幼稚園	1,629	829	800
礼羽幼稚園	1,474	1,015	459
大桑幼稚園	832	514	318
水深幼稚園	1,213	714	499
花崎北幼稚園	886	691	195
騎西中央幼稚園	1,473	1,045	392
北川辺幼稚園	1,112	776	336
合　計	9,781	6,392	3,389

4　長期休業日中の預かり保育利用者延べ人数

実施場所は、加須市立花崎北幼稚園とし、加須市の公立幼稚園に通う幼児はどなたでも利用できる。　（単位：人）

幼稚園名	合計	内訳		
		①8:30～12:00	②8:30～15:00	③8:30～16:30
加須幼稚園	89	2	37	50
三俣幼稚園	12	4	1	7
礼羽幼稚園	67	11	25	31
大桑幼稚園	51	0	33	18
水深幼稚園	158	22	89	47
花崎北幼稚園	96	18	15	63
騎西中央幼稚園	47	0	42	5
北川辺幼稚園	5	0	5	0
計	525	57	247	221

※　子育てのための施設等利用給付の認定を受けると、預かり保育料は無償となる。

事業名		公立幼稚園管理運営事業			2141-01
担当課		こども保育課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	159,322,000円	―
項	04	幼稚園費	最終予算額	163,943,000円	―
目	01	幼稚園費	決　算　額	125,446,126円	―
事業の目的		公立幼稚園（13園）の適正な管理運営を行う。			
事業の概要		・公立幼稚園13園について、必要な消耗品費、印刷製本費、光熱水費、修繕費、委託料、土地借上料、備品購入費などを適正に管理し、管理運営を行う。 ・幼児、教職員の健康診断等を実施する。 ・幼稚園の環境衛生検査を実施する。 ・産休代替、欠員補充職員を配置する。 ・幼稚園業務補助員を配置する。			

事業の実績・成果

令和7年度は公立幼稚園13園のうち、8園体制で運営した。適正な職員配置に努め、公立幼稚園の待機児童数ゼロを維持した。

諸経費過去5年間の推移　（単位：円）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
電気料	9,008,101	10,514,677	9,162,553	7,894,945	7,933,536
水道料	1,333,647	1,322,909	1,245,067	1,124,955	1,059,173
修繕料	4,251,253	4,478,132	3,899,205	3,154,127	3,598,980
電話料	1,156,360	999,698	930,986	720,368	722,094
委託料	4,704,808	4,532,505	4,317,611	4,769,352	4,557,272

機械警備の委託、消防設備、給食用リフトの点検及び施設の修繕を行い、防犯・防火・安全対策の機能維持並びに浄化槽及び受水槽の維持管理を行い、環境・衛生の保全に努めた。

公立幼稚園園児数の推移（各年5月1日現在）　（単位：人）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
園　児　数	636	550	488	428	422

事業名		公立幼稚園施設整備事業			2142-01
担当課		こども保育課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	4,059,000円	―
項	04	幼稚園費	最終予算額	4,059,000円	―
目	01	幼稚園費	決　算　額	3,531,000円	―
事業の目的		公立幼稚園の施設整備を行い、教育環境の充実を図る。			
事業の概要		第２期加須市子ども・子育て支援計画及び加須市学校施設長寿命化計画に基づき、計画的に施設の改修、改築等を行う。			

事業の実績・成果

花崎北幼稚園の職員及び来賓用のトイレは、これまで和式便器のみ設置されていたが、利用者の利便性向上及び衛生環境の改善を図るため、和式便器から洋式便器への改修工事を実施した。

また、公立幼稚園については、耐震化率が 100%になったが、地震時に園児の安全を確保するためには、非構造部材の耐震対策も重要であることから、点検を実施したうえで必要な安全対策を行った。

（単位：円）

施設名	内容	工事金額
花崎北幼稚園	トイレ洋式化等工事	1,848,000
加須・礼羽・騎西中央幼稚園	施設の非構造部材の耐震化対策	1,683,000

事業名		家庭の学びと地域の絆推進事業			2215-05
担当課		生涯学習課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	109,000 円	―
項	05	社会教育費	最終予算額	109,000 円	―
目	01	社会教育総務費	決　算　額	62,000 円	―
事業の目的		家族・地域の絆づくりの一層の推進のため、「家庭の教育力」と「地域の教育力」の向上を図る。			
事業の概要		・家族や地域の絆を深めるために「就学前子育て講座、親の学習講座、家庭教育学級」を子育て中の保護者を対象に開催するなど、子どもと親の育ちを応援する学びの機会を充実する。 ・関係団体と連携して絆づくり啓発品を配付しながらあいさつ運動を継続する。			

事業の実績・成果

1　加須地域

○「世代間の交流」、「子育て講座」、「人権教育」等をテーマに心豊かな人間形成を育むための講座などを開催した。

開催内容

実施コミセン：加須地域4コミセン（不動岡、礼羽、水深、大越）

延べ実施回数：7回

延べ参加者数：409人

○子育てワンポイントセミナー

市民ボランティア「子育て支援“ひだまり”」と連携を図りながら、未就学児を持つ保護者に対し、居場所や交流場所、学習機会を提供した。

開催内容

志多見小学校：10回　31人　毎月第3火曜日開催

市民プラザかぞ：　9回　42人　毎月第4月曜日開催

2　騎西地域

○就学時健康診断の機会を捉え、保護者を対象にした「子育て講座」を開催し、学校や家庭での児童に対する保護者の悩みや不安の解消を図った。

開催内容

騎西地内5小学校：各校において各1回開催

延べ参加者数：112人

3　北川辺地域

○就学時健康診断の機会を捉え、その保護者を対象にした「家庭教育学級（親の学習講座）」を開催し、学校や家庭での児童に対する保護者の悩みや不安の解消を図った。

開催内容

北川辺地内2小学校：各校において各1回開催

延べ参加者数：35人

4　大利根地域

○就学時健康診断の機会を捉え、その保護者を対象にした「家庭教育学級」を開催し、学校や家庭での児童に対する保護者の悩みや不安の解消を図った。

開催内容

大利根地域内4小学校：各校において各1回開催

延べ参加者数：123人

※　家庭の学びと地域の絆推進事業は各地域で実施されており、各地域の実情を周知するため、地域毎の実績を報告している。

事業名		青少年健全育成事業			2215-07
担当課		生涯学習課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	3,007,000 円	―
項	05	社会教育費	最終予算額	3,007,000 円	―
目	01	社会教育総務費	決　算　額	2,658,711 円	―
事業の目的		青少年の健全な発達を促し、自主性・社会性や正義感・倫理観を持った豊かな人間性を育むため、地域と一体となった青少年関係団体の活動の充実を図る。			
事業の概要		・青少年の健全な発達および地域の教育力の向上のため、青少年関係団体の活動を支援したり、青少年関係団体と連携し協働で事業を行う。			

事業の実績・成果

社会教育関係団体、青少年健全育成団体への活動支援や助成等を行い、社会教育の振興を図りつつ、団体としての自主的な活動と自立を促した。

1　社会教育団体、青少年健全育成団体への助成

・加須市ＰＴＡ連合会
・加須市青少年相談員協議会
・加須市青少年育成市民会議

○加須地域
・ボーイスカウト加須第一団
・ガールスカウト埼玉県第 22 団

○騎西地域
・加須市騎西子ども会育成連絡協議会

○北川辺地域
・加須市北川辺子ども会育成連絡協議会

○大利根地域
・加須市大利根子ども会育成連絡協議会

2　社会教育団体、青少年健全育成団体等活動内容

○加須市ＰＴＡ連合会
・市長と語るタウンミーティング、教育座談会、役員等研修会、広報紙Ｐ連だより発行
・役員会議(4 回)

○加須市青少年相談員協議会
・合同事業(バスツアー)
・加須支部：定例会議、少年教室、二十歳の集い協力、加須地域市民まつり協力
・北川辺支部：定例会議・商工会サマーフェスタ協力、子ども会アドベンチャースクール協力
　子ども会アドベンチャーツアー協力
・大利根支部：定例会議、加須支部事業・北川辺支部事業協力参加

○加須市青少年育成市民会議
・第 13 回加須市郷土かるた大会、加須市少年の主張大会

○青少年育成加須市民会議
・青少年非行防止パトロール、あいさつ運動、広報紙「スマイル」発行
・加須地域市民まつり参加、非行防止特別強調月間街頭キャンペーン、親子ふれあい事業（クリスマスの集い)、お雛祭り・お茶会、節分会、防犯キャンペーン

○青少年育成加須市騎西市民会議
・定例会議、青少年非行防止パトロール、各支部活動助成

○加須地域
・ボーイスカウト加須第一団　（規律訓練、宿泊訓練、野営訓練）
・ガールスカウト埼玉県第 22 団　（駅清掃、募金活動、花植え込み）

○騎西地域
・加須市騎西子ども会育成連絡協議会
　役員会議、加須市郷土かるた大会、夏祭り協力（バルーンアート)、お楽しみ会

○北川辺地域

・加須市北川辺子ども会育成連絡協議会

役員会議、商工会サマーフェスタ、アドベンチャースクール、アドベンチャーツアー、イルミネーション大作戦、加須市郷土かるた大会、彩の国21世紀郷土かるた県大会

○大利根地域

・加須市大利根子ども会育成連絡協議会

おおとね郷土かるた大会、加須市郷土かるた大会、福祉ふれあい広場協力、彩の国21世紀郷土かるた大利根大会、同県大会、お楽しみ会

3　令和7年度加須市少年の主張大会

開催日時：令和8年2月8日（土）　9時30分から15時30分

開催場所：加須文化・学習センター（パストラルかぞ小ホール）

○参加児童生徒30名（市内市立小・中学校代表各1名）

○観覧者数の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
観覧者数	－	201人	280人	330人	398人

※　家庭の学びと地域の絆推進事業は各地域で実施されており、各地域の実情を周知するため、地域毎の実績を報告している。

事業名		かぞ子ども大学事業			2215-16
担当課		子育て支援課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	279,000円	―
項	05	社会教育費	最終予算額	279,000円	―
目	01	社会教育総務費	決　算　額	152,182円	―
事業の目的		地域でこどもを育てるしくみをつくり、地域の教育力の向上を図る。			
事業の概要		子ども大学かぞ実行委員会に参画し、入学・修了式のほかに年間5回程度の講義を行い、「はてな学」、「ふるさと学」、「生き方学」の3つのテーマを学習する。また、子ども実行委員として、子ども大学かぞのOB・OGである中学生の参画を得てイベントの計画や運営を行う。			

事業の実績・成果

平成国際大学や加須青年会議所、埼玉県と協働して、平成26年度から「子ども大学かぞ」を実施し、こどもの学ぶ力及び地域の教育力の向上を図ることができた。

また、「子ども大学かぞ」のOB・OGである中学生10名が、子ども実行委員としてイベントの計画や運営に携わった。

1　対象者　市内在住の小学4年生～6年生

2　学習回数及び参加者数

（単位：回、人）

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学習回数	0	6	5	5	4
参加者数	0	27	36	36	20

※　令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止とした。

事業名		二十歳の集い開催事業			2215-17
担当課		生涯学習課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	1,814,000 円	―
項	05	社会教育費	最終予算額	1,814,000 円	―
目	01	社会教育総務費	決　算　額	1,058,638 円	―
事業の目的		青少年の健全育成のため、二十歳を迎えた若者を祝い、励まし、二十歳としての意識の高揚と自覚を促す。			
事業の概要		二十歳の集い実行委員会の協議・運営により、二十歳の集い式典およびアトラクションを行う。			

事業の実績・成果

二十歳を迎えた若者の門出を祝福し、自らの行動に自覚と責任を持ち、地域の伝統や文化、歴史などを大切にし、家族や仲間、地域との絆を深めることを目的として、二十歳の集いを開催した。

1　開催内容

○式典・アトラクション終了後、出身中学校区ごとに集合記念写真を撮影

開　催　日	令和 8 年 1 月 11 日(日)
開催場所	加須文化・学習センター(パストラルかぞ)　大ホール
式典内容	式典・アトラクション・記念写真撮影
該当者数	950 人
出席者数	697 人
出　席　率	73.4%
記　念　品	こいのぼり手ぬぐい

2　実施形態

○実行委員会方式により実施

○市内中学校出身者による実行委員会を組織し、実行委員が企画段階から積極的に関わり、当日の運営も主体的に行った

3　参加者数等の推移

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
該当者数(人)	1,014	994	991	938	950
出席者数(人)	760	707	760	724	697
出席率（%）	75.0	71.1	76.7	77.2	73.4

※　市内に住所を有している該当者及び出席したい旨の連絡を受けた方に、11 月に「二十歳の集い」の案内状を送付した。

事業名		生涯学習推進計画策定事業			2311-01
担当課		生涯学習課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	5,000 円	―
項	05	社会教育費	最終予算額	5,000 円	―
目	01	社会教育総務費	決　算　額	0 円	―
事業の目的		学習機会の充実や学習情報の提供、学習相談の充実、自主学習活動の支援など、市民の学習活動を支援する環境整備を推進するため生涯学習推進計画を、策定する。			
事業の概要		策定に向けた市民の意向調査を行い、令和 8 年度から令和 12 年度までの 5 カ年計画期間とし、計画を策定する。			

事業の実績・成果

○　第4次加須市生涯学習推進計画の策定

「第4次加須市生涯学習推進計画」については、これまで取り組んできた施策を評価し、その成果を活かしながら、社会環境の変化や個人の価値観・学習ニーズの多様化を踏まえ、生涯学習に関する施策を計画的に推進するため策定した。

○策定の経過

実　施　日	概　　要
令和 6 年 10 月～11 月	「加須市の生涯学習活動に関する調査」実施 ・住民基本台帳からの無作為抽出　男女 500 人ずつの 1,000 人 ・回答率 35.5%
令和 6 年 12 月～ 令和 7 年 2 月	「加須市の生涯学習活動に関する調査」回答とりまとめ
令和 7 年 4 月～12 月	第 4 次加須市生涯学習推進計画（素案）の作成 ・事業担当各課へ確認依頼
令和 7 年 7 月 24 日	令和 7 年度第 1 回加須市生涯学習推進会議を開催 ・第 4 次加須市生涯学習推進計画（案）について説明及び意見聴取
令和 7 年 11 月 10 日	令和 7 年第 11 回教育委員会定例会 ・第 4 次加須市生涯学習推進計画の策定方針及び概要（案）を説明
令和 7 年 12 月 15 日	令和 7 年第 12 回教育委員会定例会 ・第 4 次加須市生涯学習推進計画（素案）について説明
令和 8 年 1 月 16 日	令和 7 年度第 2 回加須市生涯学習推進会議 ・第 4 次加須市生涯学習推進計画（素案）について説明及び意見聴取
令和 8 年 1 月 26 日	令和 8 年第 1 回教育委員会定例会にて説明及び協議
令和 8 年 2 月 18 日	令和 8 年第 2 回教育委員会定例会にて意見聴取
令和 8 年 1 月～2 月	ホームページにて、第 4 次加須市生涯学習推進計画（案）について市民意見募集（パブリックコメント）を実施
令和 8 年 3 月 25 日	令和 8 年第 3 回教育委員会定例会 ・第 4 次加須市生涯学習推進計画を議決

事業名		生涯学習推進計画進行管理事業			2311-02
担当課		生涯学習課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	200,000 円	―
項	05	社会教育費	最終予算額	200,000 円	―
目	01	社会教育総務費	決　算　額	110,900 円	―
事業の目的		市民の生涯学習活動の充実を図るため、学習機会の拡充や学習情報の提供、学習相談の充実、自主学習活動の支援など、市民の学習活動を支援する環境整備を計画的に推進する。			
事業の概要		計画の進捗状況の把握及び点検、評価を実施するとともに、推進会議や市民等からの助言や意見等を踏まえ、適切な進行管理を行う。			

事業の実績・成果

社会教育委員会議と一元化した生涯学習推進会議を開催し令和 6 年度における、第 3 次加須市生涯学習推進計画の事務事業の点検・評価やその他議事に関して説明を行い、各委員から意見をいただき、事務事業の改善を図った。また、第 4 次加須市生涯学習推進計画策定について説明及び意見聴取を行った。

1　会議の開催

〇加須市生涯学習推進会議開催回数：2 回

・第 1 回加須市生涯学習推進会議　　令和 7 年 7 月 24 日（木）

・第 2 回加須市生涯学習推進会議　　令和 8 年 1 月 16 日（金）

2　「第 3 次加須市生涯学習推進計画」に位置付けられた事業の取組結果

〇「第 3 次加須市生涯学習推進計画」の点検・評価を行った。

令和 6 年度　取組状況　　（単位：事務事業数）

基本目標	目標を達成	概ね達成	やや遅れている	大幅に遅れている	未着手	計
1 生涯学習活動の推進	4	7	3	2	0	16
2 芸術文化の振興	1	0	1	3	0	5
3 文化財の保存継承による郷土愛の醸成	5	4	0	0	0	9
4 読書活動の推進	1	2	1	1	0	5
5 家庭や地域で健やかな子どもを育む取組の推進	1	1	2	5	0	9
事業数計	12	14	7	11	0	44
割合	27%	32%	16%	25%	0%	

事業名		生涯学習きっかけづくり支援事業			2311-03
担当課		生涯学習課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	4,549,000 円	―
項	05	社会教育費	最終予算額	4,549,000 円	―
目	01	社会教育総務費	決　算　額	3,615,820 円	―
事業の目的		市民の学習参加のきっかけづくりとなる事業を展開し、生涯学習活動及び地域活動の促進を図る。			
事業の概要		・最新トレンドや社会問題、地域性を活かしたセミナー（講座）をコミュニティセンター等が企画開催 ・セミナー（講座）情報やサークル情報を掲載した情報紙の発行 ・生涯学習に係る人材のデータベース化			

事業の実績・成果

1　コミュニティセンター講座

子どもから高齢者まで、心の豊かさや生きがいのための学習機会を提供し、一人ひとりの学習意欲を高め、生活を充実させ学習成果を生かせる生涯学習活動の一層の推進を図るため、地域のコミュニティセンター講座を開設した。

○講座受講者数の推移

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
講座延べ実施回数（回）	合　計	243	390	426	466	435
	加須地域（9施設）	232	359	394	431	401
	北川辺地域（1施設）	11	31	32	35	34
講座受講者延べ人数（人）	合　計	2,816	4,550	5,812	6,471	6,066
	加須地域（9施設）	2,677	4,032	5,401	5,943	5,591
	北川辺地域（1施設）	139	518	411	528	475

2　生涯学習情報の提供

○さまざまな生涯学習情報を提供することにより、セミナー（講座）や学習活動への参加を促した。

・生涯学習情報紙「やってみませんか」を発行し、毎月、市内に全戸配布した。

・市広報紙及びホームページ等による情報提供を行った。

・騎西、北川辺、大利根各文化・学習センターでは、行政区回覧時に講座案内を作成し、地域内へ配布した。

事業名		市民学習カレッジ事業			2311-04
担当課		生涯学習課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	3,078,000 円	―
項	05	社会教育費	最終予算額	3,078,000 円	―
目	01	社会教育総務費	決　算　額	1,949,623 円	―
事業の目的		市民一人ひとりの生涯学習を通じた学習参加のきっかけづくりと学習活動を支援するため、市全体を対象として生涯学習の広がりと深まりを求めた学習機会を提供する。			
事業の概要		・市内の公共施設と連携を図り、市民講師や市内講師、市内全域の会場を活用し、趣味的教養的セミナーや現代的、社会的課題を取り入れた総合的な幅広いセミナーを実施。 ・全市民対象のセミナーを毎年度4月に概ね60セミナーを募集、開講。 ・生涯学習を循環させるための、生涯学習フェスティバルなどのイベント等を開催する。			

事業の実績・成果

1　市民学習カレッジセミナーの実施

市民一人ひとりの学習活動を支援するため、セミナーの企画・運営をサポートするボランティア「生涯学習市民企画委員」と協働し、様々なテーマで市民学習カレッジセミナーを実施した。受講希望が多いセミナーは実施回数を増やし、なるべく多くの市民が受講できるようにした。

○生涯学習市民企画委員数（4月現在）　（単位：人）

年　度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
人　数	13	12	11	15	15

○市民学習カレッジセミナー

【募集セミナー数】 54 セミナー

【実施セミナー数】 51セミナー

【受講者延べ人数】 1,961人

2　加須市ミドルアップ大学の実施

平成国際大学と連携し、令和6年度に新設したミドル世代向けの講座を令和7年度も開講した。

対象：市内在住・在勤・在学の30代～50代

講師：平成国際大学教授等

会場：平成国際大学

学部：法学部（3回、受講者数 延べ34人）、スポーツ健康学部（3回、受講者数 延べ36人）

3　生涯学習フェスティバルの開催

「新たな学びとの出会い」や、サークル・団体の学習成果発表の場を提供することを目的として、生涯学習フェスティバルを開催した。また、令和6年度まで、同日別開催としていた市民音楽祭を生涯学習フェスティバルに統合し、観覧者増を図った。

○かぞ生涯学習フェスティバル2025

日時：令和7年12月13日（土）　午前10時00分～午後2時30分

場所：加須文化・学習センター（パストラルかぞ）

内容：舞台発表、サークルＰＲ、チャレンジセミナー、マーケット、企業展示

○かぞ生涯学習フェスティバル　延べ参加者数の推移　（単位：人）

年　度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
人　数	―	1,004	2,978	3,047	2,588

4　生涯学習情報の提供

各種情報を提供することにより、セミナー（講座）や学習活動への意欲増加を図ることができた。

○ライフステージ（セミナー募集号）（令和7年4月1日発行）

令和7年度に実施予定の市民学習カレッジセミナー・シニアいきいき大学受講生の募集、生涯学習市民企画委員会の活動紹介、グループやイベント情報等を掲載し、ホームページ、全戸配布、公共施設等に配置し周知した。

事業名		シニアいきいき大学事業			2311-05
担当課		生涯学習課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	769,000円	―
項	05	社会教育費	最終予算額	769,000円	―
目	01	社会教育総務費	決　算　額	765,823円	―
事業の目的		高齢社会を明るく活力に満ちたものとしていくため、60歳以上の市民が健康で主体的に学習に参加し、自発的な学習活動を促進する機会を平成国際大学と連携して提供し、高齢者の力を社会に活かしていく。			
事業の概要		・60歳以上の加須市在住者対象。 ・平成国際大学と連携して実施。 ・受講生に専門的な学習の場を提供し、学習活動の促進及びまちづくりへの参画を促進する。 ・人文科学部、自然科学部、社会科学部（1学部2年間実施）。 ・卒業生のグループ化を図り、グループ結成後は、その活動の支援を行う。			

事業の実績・成果

平成国際大学と連携し加須市シニアいきいき大学を開校することで、60歳以上の市民に学習の機会を提供した。

1　各学部共通事項

学習期間：2年間
対　　象：市内在住の60歳以上
講　　師：平成国際大学教授等
会　　場：平成国際大学
学習単位：年10単位
開催期間：令和6年7月～令和7年2月

2　学部コースの内容

○自然科学部・健康科学コース
・テーマ『シニアの健康』
・高齢期を心身共に健やかに過ごすための知識や技能を修得する。
・受講者数：51名

○人文科学部・人間文化コース
・テーマ 『世界で活躍した日本人』
・幕末にペリーの来航をきっかけとして世界に門戸を開いた日本は、急速な近代化を遂げていくが、同時に、多くの日本人が世界に目を向け、世界を舞台に人生を過ごすようになっていく。「世界で活躍した日本人」をテーマに近代以後の日本人の人生を学ぶ。
・受講者数：66名

3　受講状況

○各学部とも年間で10講義実施した。

受講延べ人数　（単位：人）

学　部	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
自然科学部・健康科学コース	56	207	―	463	417
社会科学部・現代社会コース	―	625	570	―	528
人文科学部・人間文化コース	104	―	565	487	―

※　大学側の施設都合や、シニアいきいき大学の講義内容によって、募集定員の増減有り

事業名		生涯学習管理事業			2311-06
担当課		生涯学習課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	1,968,000円	―
項	05	社会教育費	最終予算額	1,968,000円	―
目	01	社会教育総務費	決　算　額	953,996円	―
事業の目的		豊かな心を育む生涯学習によるいきがいづくりを行うために、生涯学習における予算の適正な管理運営を行う。			
事業の概要		生涯学習課における管理運営に係る事務経費を執行する。 社会教育委員による各種総会、研修会への参加。 継続的に社会教育主事講習の受講。			

事業の実績・成果

埼玉県等の社会教育委員及び職員に係る関係機関等の総会・研修会に参加することで、社会教育委員の資質の向上を図った。

○埼玉県市町村社会教育委員連絡協議会総会　（令和8年3月）
○埼玉県市町村社会教育委員連絡協議会理事会　（令和7年9月、令和8年2月）
○北埼玉地区社会教育委員協議会総会　（令和7年5月）
○東部地区社会教育関係委員・職員研修会　（令和8年1月）

事業名		文化・学習センター管理運営事業			2311-09
担当課		生涯学習課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	309,525,000 円	18,700,000 円
項	05	社会教育費	最終予算額	309,525,000 円	18,700,000 円
目	01	社会教育総務費	決　算　額	290,494,167 円	18,700,000 円
事業の目的		市民の芸術文化活動や生涯学習活動の拠点施設として、より多くの市民が安全かつ快適に利用できるよう施設の整備・充実を図る。			
事業の概要		センターの適正な管理運営と計画的な施設修繕を実施するため、運営方法の適時改善及び維持管理の効率化、設備の点検・改修を実施する。			

事業の実績・成果

市内4カ所の文化・学習センターの適正な管理運営を行うとともに、適宜施設修繕を実施することで、市民の芸術文化の振興及び生涯学習の拠点施設として、多くの方に良好な環境を提供することができた。

1　加須文化・学習センター（パストラルかぞ）

市民の芸術文化・生涯学習の拠点となる加須文化・学習センターは、建築後31年が経過する中で、維持管理を実施し、利用者が安心・快適に芸術文化・生涯学習活動に取り組める環境を提供することができた。

○利用者等の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数（人）	54,716	96,317	114,721	116,965	110,879
利用件数（件）	2,861	3,838	4,126	3,951	4,183
使用料（円）	14,382,790	22,455,400	21,327,250	20,714,900	20,938,450

○各室稼働日率の推移　（稼働日／開館日）　（単位：%）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
大ホール	25.3	35.5	39.0	30.6	32.4
小ホール	30.1	52.5	52.2	56.0	55.2
リハーサル室1	36.6	39.3	36.6	43.4	63.4
リハーサル室2	37.3	47.9	44.8	30.7	35.6
展示室	56.2	69.7	74.7	75.2	74.7
多目的室	72.9	79.8	82.8	80.8	72.0
練習室1	58.5	65.0	72.6	61.8	76.6
練習室2	50.3	67.4	76.6	66.8	73.7
和室1	24.2	27.4	25.3	25.4	32.6
和室2	9.2	14.3	12.7	15.3	17.1
和室3	12.1	20.5	20.1	21.2	20.7
会議室	8.5	15.9	26.0	25.1	26.6
研修室1	26.8	25.1	33.8	38.4	35.9
研修室2	44.8	53.1	55.8	47.2	52.6
実習室1	24.2	28.7	28.3	29.6	30.9
実習室2	51.1	52.1	52.6	50.5	47.7

○主な修繕（1,752,410円）

・ 吸収冷温水器マイコン盤交換修繕　1,067,000円ほか6件

○前年度からの繰越事業（繰越明許）18,700,000円

・中央監視システム更新委託　　18,700,000円

・令和6年度から令和7年度へ繰り越した理由

令和7年第1回定例会において補正予算の議決後に契約し、令和6年度内に施工完了できなかったため

2　騎西文化・学習センター（キャッスルきさい）

騎西地域の生涯学習の拠点となる騎西文化・学習センターは、建築後22年が経過する中で、維持管理を計画的に実施し、利用者が安心・快適に生涯学習活動に取り組める環境を提供することができた。

○利用者等の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数（人）	17,787	21,899	21,021	22,729	24,856
利用件数（件）	2,152	2,240	2,225	2,378	2,346
使用料（円）	1,636,600	1,704,000	1,506,810	1,754,400	1,712,750

○各室稼働日率の推移　（稼働日／開館日）　（単位：%）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
多目的室	83.1	82.6	87.1	89.6	86.0
展示室	0.7	8.6	5.8	9.4	1.0
研修室	74.6	74.0	83.8	86.0	77.3
パソコン研修室	35.5	35.9	37.2	34.5	25.3
音楽室	98.7	98.7	99.4	99.3	93.5
陶工芸室	43.0	43.8	44.7	49.8	43.2
陶芸窯	14.7	20.4	7.4	9.1	5.5
料理研修室	5.2	5.6	19.7	25.7	21.8
視聴覚室	63.8	63.5	63.1	70.0	60.7
ボランティア室	6.2	6.6	13.6	5.2	5.5

○主な修繕（3,892,440円）
・屋内消火栓設備修繕 979,000円ほか18件
※公共施設優先駐車場区画線修繕及び看板設置 836,000円
　障がい者福祉課予算より配当替を受けて実施

3　北川辺文化・学習センター（みのり）

北川辺地域の生涯学習の拠点となる北川辺文化・学習センターは、建築後21年が経過する中で、維持管理を実施し、利用者が安心・快適に生涯学習活動に取り組める環境を提供することができた。

○利用者等の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数（人）	18,759	24,634	23,442	18,809	21,548
利用件数（件）	1,672	2,021	1,866	1,670	1,979
使用料（円）	1,672,200	1,900,100	1,721,350	1,855,100	2,035,750

○各室稼働日率の推移　（稼働日／開館日）　（単位：%）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
多目的ホール	44.8	48.1	42.9	42.0	40.3
音楽室	74.0	72.4	79.4	85.0	95.8
工芸室	35.7	43.2	41.3	38.4	42.2
研修室	64.9	75.0	67.7	57.7	61.4
和室	25.0	52.3	51.3	46.6	39.0

○主な修繕（1,843,380円）
・湧水ポンプ交換修繕682,000円 ほか6件
※公共施設優先駐車場区画線修繕及び看板設置 1,155,000円
　障がい者福祉課予算より配当替を受けて実施
○主な工事（3,072,300円）
・PAS・高圧ケーブル更新工事 1,778,700円ほか2件

4　大利根文化・学習センター（アスタホール）

大利根地域の生涯学習の拠点となる大利根文化・学習センターは、建築後26年が経過する中で、維持管理を実施し、利用者が安心・快適に生涯学習活動に取り組める環境を提供することができた。

○利用者等の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数（人）	12,559	16,610	18,883	22,736	26,319
利用件数（件）	1,383	1,628	1,772	1,817	2,107
使用料（円）	1,480,400	1,550,800	1,736,600	1,764,400	1,886,500

○各室稼働日率の推移（稼働日／開館日）　（単位：%）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
多目的ホール	62.4	69.1	68.9	74.7	76.9
和室1	64.3	65.2	60.6	66.3	78.3
和室2	54.6	59.9	49.7	53.5	60.7
会議室	63.0	80.8	73.9	83.0	90.8
調理室	13.6	20.9	19.4	27.0	29.5

○主な修繕(1,012,198円)

自動ドア修繕 418,000円ほか6件

○主な工事（368,500円）

搬入口階段修繕及び舗装工事 368,500円

事業名		地域文化振興事業			2312-01
担当課		生涯学習課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	5,713,000円	―
項	05	社会教育費	最終予算額	5,713,000円	―
目	01	社会教育総務費	決　算　額	5,330,395円	―
事業の目的		市民が多くの優れた文化・芸術に触れることにより教養を高め、また自ら参加することにより創造性の育成と芸術文化の振興を図る。			
事業の概要		市内文化団体の活動支援と文化祭や美術展といった活動発表の機会をつくる。			

事業の実績・成果

1　4地域文化祭の開催

○加須地域文化祭
期　間　令和7年11月1日(土)～令和7年11月3日(月・祝)
場　所　加須文化・学習センター（パストラルかぞ）、市民プラザかぞ多目的ホール
内　容　【発表部門】民謡民舞、コーラス、合奏、演劇、歌謡、ダンスなど
【展示部門】絵画、書、写真、俳句、短歌、彫刻、工芸、華道など
【文化講演会】テーマ「この土地に根ざして～新たな舞台芸術 ミュージカルを故郷に～」
講　師　阿瀬見　貴光 氏
（オペラ歌手、舞台プロデューサー、NPO法人ミュージカルかぞ総監督）
主　催　加須地域文化祭実行委員会

○騎西地域文化祭
期　間　【芸能部門】令和7年10月26日(日)
【展示部門】令和7年11月1日(土)～令和7年11月3日(月・祝)
場　所　騎西文化・学習センター（キャッスルきさい）
内　容　【芸能部門】日本舞踊、新舞踊、ダンス、大正琴、謡曲、ギターなど
【展示部門】絵画、盆栽、華道、俳句、陶芸、幼稚園・保育所作品、小・中学校作品など
主　催　騎西文化祭実行委員会

○北川辺地域文化祭
期　間　【展示・体験学習の部】令和7年10月25日(土)～令和7年10月26日(日)
【芸能・音楽の部】11月3日(月・祝)
場　所　北川辺文化・学習センター（みのり）
内　容　【展示・体験学習の部】絵画、書、写真、俳句、絵手紙、工芸、茶道ほか
【芸能・音楽の部】ダンス、コーラス、オカリナ
主　催　北川辺いきいき文化祭実行委員会

○大利根地域文化祭
期　間　令和7年10月24日(金)～令和7年11月3日(月・祝)
場　所　大利根文化・学習センター（アスタホール）
内　容　【展示・体験の部】絵画、書、写真、俳句、絵手紙、手芸、陶芸、工芸など
【芸能・音楽の部】ミュージックフェスタ（コーラス、器楽演奏、フォークダンス等）
主　催　大利根地域文化祭実行委員会

○観覧者数の推移　（単位：人）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
合　計	－	14,000	14,500	12,742	15,840
加須地域	－	6,330	7,000	6,252	8,190
騎西地域	－	5,000	4,800	3,860	4,100
北川辺地域	－	1,470	1,300	1,050	1,950
大利根地域	－	1,200	1,400	1,580	1,600

2　「第73回県展」かぞの開催

加須文化・学習センター（パストラルかぞ）展示室を会場に、第73回埼玉県美術展覧会（県展）の入選者及び招待者、委嘱者、審査員で、加須市に在住及び市内を拠点として活動する方の作品を展示した。

〇期　　間　令和7年7月3日（木）～令和7年7月6日（日）

〇展示内容　日本画3点、洋画14点、彫刻2点、工芸1点、書7点、写真10点、合計37点

〇入場者及び展示作品数の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
入場者（人）	－	219	391	286	457
展示作品（点）	－	38	33	27	37

3　第65回加須市美術展の開催

加須市美術連盟と加須市教育委員会の共催で開催した。日ごろの会員の美術活動の発表の場を設けるとともに、加須市美術連盟の会員と一般応募者との交流を促すことで、加須市の芸術文化の向上を図ることができた。

〇期　　間　令和8年2月13日（金）～15日（日）

〇場　　所　市民プラザかぞ多目的ホール

〇展示内容　絵画・彫刻・書・写真・陶芸合計　142点

4　つるし飾り展の開催

コミュニティセンターや文化・学習センターで活動している団体の作品を展示することで、日本独自の文化や和細工の継承はもとより、市民の芸術に対する意識を高めるため開催した。

〇期　　間　令和8年3月19日（木）～令和8年3月22日（日）

〇場　　所　加須文化・学習センター（パストラルかぞ）多目的室

〇協力団体　「あきざくら会」「玉手箱」「ものの実会」

5　芸術文化団体への助成

〇加須市文化団体連合会

文化講演会や文化祭、研修会、文連だよりの刊行などの事業及び運営のための補助である。同団体の積極的かつ主体的な活動は、加須市の芸術文化振興の発展に寄与している。

〇加須市美術連盟

加須市美術展の開催や研修会などの事業及び運営のための補助である。同団体の積極的な活動は、会員個々の技術向上と、市民に多様な美術作品に親しむ場を提供することにより、市の美術文化の振興に寄与している。

〇加須市騎西文化連合会

騎西地域の文化振興に寄与するとともに、芸能文化に資するための補助である。当文化連合会では、会員間の相互交流・融和を図るための研修会の実施や、騎西文化祭等への協力を行っており、これらの積極的な活動は騎西地域の芸術文化振興の発展に寄与している。

〇騎西文化祭実行委員会

騎西文化祭の中心的な活動を行っており、この積極的な活動は生涯学習活動発表の機会をつくり、騎西地域の芸術文化振興の発展に寄与している。

〇加須市北川辺文化協会

いきいき文化祭や研修会、広報紙「せせらぎ」の刊行など事業及び運営のための補助である。これらの積極的な活動は北川辺地域の芸術文化振興の発展に寄与している。

〇加須市大利根文化協会

研修会の開催や、広報紙「文化おおとね」の刊行などの事業及び運営のための補助である。これらの積極的な活動は大利根地域の芸術文化振興の発展に寄与している。

〇加須市大利根文化展

大利根文化展の開催のための補助である。これらの積極的な活動は大利根地域の芸術文化振興の発展に寄与している。

事業名		地区文化祭振興事業			2312-02
担当課		生涯学習課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	855,000 円	―
項	05	社会教育費	最終予算額	855,000 円	―
目	01	社会教育総務費	決　算　額	834,268 円	―
事業の目的		講座やクラブなどの学習及び活動成果を発表し、展示することにより地域住民の学習意欲を高め、生涯学習の振興を図る。			
事業の概要		・各コミュニティセンターにおいて文化祭実行委員会を組織し、地区文化祭を開催。 ・コミュニティセンター利用者及びコミュニティセンターで開催する講座の受講生等による学習成果の発表や作品の展示などを通じ、地域の学習拠点として、来館者が地域と交流を含め、学習への興味・意欲へ繋げる。			

事業の実績・成果

加須地域の各コミュニティセンターにて、地域住民の交流と学習活動の成果発表の場として地区文化祭を開催している。講座の受講生や利用団体、地元学校等による作品の展示や活動発表等を行い、学習意欲の向上と地域住民の相互の交流及び地域の絆を深めることができた。

1　地区文化祭・作品展示会の状況

加須 コミュニティ センター	令和7年 10月25日 （土） 令和7年 10月26日 （日）	作品展示（親子生け花、フラワーデザイン、油絵、水彩画、写真、パッチワーク、パンフラワー、クラフト手芸、川柳、陶芸、ステンドグラス、食生活パネル、切り絵、折り紙、ミニ盆栽、木の実や枝、ポンポンマスコット、香り絵、折り句、加須小・加須南小・昭和中・第一保育所・加須幼稚園の園児児童生徒作品、一般応募作品）、武州加須囃子（加須小・加須南小）、発表・体験（輪投げ、着付け、太極拳、箏曲演奏、アンサンブル演奏、マジック、演劇、落語、囲碁、健康マージャン）、模擬店（加須女性会：お花の販売・バザー ガールスカウト：手打ちうどん・おしるこ ハッピーバード：新鮮野菜 こども食堂：牛丼の販売 加須地区民児協：わたあめ）、地元企業協賛商品配布
不動岡 コミュニティ センター	令和7年 10月25日 （土） 令和7年 10月26日 （日）	作品展示（洋裁、和裁、絵画、墨絵、ぬり絵、絵手紙、トールペイント、書、ステンドグラス、ベネチアンガラス、生け花、寄せ植え、スノードーム、不動岡小学校・不動岡保育園の児童園児作品、医療法人藍生会作品、一般個人作品等）、迎え太鼓（不動岡太鼓連）、不動岡おはやしクラブ演奏、琴演奏、南京玉すだれ、音楽サークル発表会（バイオリン、クラシックギター、コーラス、フラダンス等）模擬店・バザー（手打ちそば、地元野菜、花卉、菓子、焼きそばほか）
三俣 コミュニティ センター	令和7年 10月25日 （土） 令和7年 10月26日 （日）	作品展示《三俣手芸クラブ、玉手箱、手織りサークル、切り絵の会、絵手紙サークル、ベネチアンガラス、カゴカゴクラフト、講座関係、三俣保・幼園・小学校、昭和中、一般個人等参加》　演技《(郷土芸能・昭和中）　模擬店《カレーライス他食品、花・野菜等バザー》　活動発表《詩歌、ハーモニカ、太極拳、健康体操、マジック、ギター、オカリナ、居合ほか》
礼羽 コミュニティ センター	令和7年 10月25日 （土） 令和7年 10月26日 （日）	作品展示《書道・絵手紙・ぬり絵・ちぎり絵・活け花、講座受講生（切り絵・トルコモザイクガラス・折紙・苔玉・フラワーデザイン）、礼羽小、一般作品》、模擬店《地元野菜等、あかまつ販売会（加須西中）、焼きそば・お菓子・草花、花苗、観葉植物》、餅つき（礼羽幼稚園園庭）、民踊、グラウンドゴルフ大会（いなほの湯健康広場）、折り紙教室、音楽祭（4団体）
大桑 コミュニティ センター	令和7年 10月25日 （土）	作品展示：団体（陶芸品、写真、竹工芸品、パッチワーク手芸品、和紙ちぎり絵、トールペイント、絵手紙）小・中学校、幼稚園（大桑小、花崎北小、加須平成中、大桑幼稚園）、講座受講生（フラワーア

	令和7年 10月26日 （日）	レンジメント、ステンドグラス、陶芸、手作り小物入れ）、活動発表（アンサンブル・たんぽぽ：コーラス、くわの実体操クラブ：健康体操、福田　英夫氏：大道芸、加須市観光大使　大宮　恵 氏：創作舞踊）、屋外体験コーナー（雨天中止）、模擬店（生そば麺の販売）
水深 コミュニティ センター	令和7年 10月25日 （土）	作品展示（アートステンシル、陶芸、粘土工芸、ステンドグラス、生け花、絵手紙、コミセンで遊ぼう児童作品、女性学級作品、一般作品、福寿会（老人クラブ）作品、水深幼稚園・水深小学校・東中学校・第四保育所の児童生徒作品、水深小太鼓クラブ、屋内活動発表会（二胡クラブ、フラダンス）、屋内高座（伝統芸能、落語）、模擬店（水深まんじゅう）、災害伝承碑（水害）紹介コーナー
	令和7年 10月26日 （日）	グラウンドゴルフ大会（水深小学校校庭）【雨天中止】
樋遣川 コミュニティ センター	令和7年 10月25日 （土）	作品展示（ステンドグラス、俳句、オカリナ、ミニ盆栽、ハーバリウム、押し花、篆刻、書道、大人の塗り絵、絵手紙、絵画、写真、樋遣川小・加須北中・戸川保育園の園児児童生徒作品）、斎藤与里パネル展示、菊花展示、消防団活動紹介、模擬店（花卉等販売、バザー、果物・海産物販売、カレーライス販売、生うどん販売、手打ちそば販売、焼きそば販売、ホールインワン、わなげ）、缶バッジ配布、わたあめ配布、何キロクイズ、スポーツ吹矢体験
	令和7年 10月26日 （日）	
志多見 コミュニティ センター	令和7年 10月25日 （土）	作品展示（生け花、書道、わら細工、折り紙、俳句、絵手紙、ちぎり絵、陶芸、編み物、フラワーデザイン、集会所学習生作品、志多見保育園児作品、志多見小児童作品、加須西中生徒作品、みずほの里入居者作品、一般作品）、志多見土地改良区紹介、模擬店（花卉販売、野菜販売、金魚すくい、メダカ販売、パン販売、焼きそば・フランクフルト・コーヒー無料配布）、ワークショップ（クリスマス飾り立て）、子ども体験教室（竹馬乗り、水鉄砲遊び）、地元企業協賛商品配布
	令和7年 10月26日 （日）	
大越 コミュニティ センター	令和7年 10月25日 （土）	作品展示（書道、つるし雛飾り、竹細工、ハーバリウム、絵手紙、ステンドグラス、絵画、仏画、篆刻、押し花、大人の塗り絵、陶芸、大越小学校児童作品、個人出展作品）、利用サークル発表会（大正琴、ハーモニカ、紙芝居）、模擬店（うどん、焼きそば、ピザ）、女性防火クラブ活動紹介、食農教育活動紹介、青色防犯パトロール活動紹介
	令和7年 10月26日 （日）	

2　参加者数

・来場者数：5,486人

・参加団体数（個人出展含む）：415団体

・参加者数等の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
来場者数（人）	－	2,800	5,126	5,021	5,486
参加団体数（団体）	－	125	409	314	415

事業名		文化・学習センター芸術文化振興事業			2312-03
担当課		生涯学習課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	2,974,000円	―
項	05	社会教育費	最終予算額	2,974,000円	―
目	01	社会教育総務費	決　算　額	1,961,200円	―
事業の目的		市民が優れた文化・芸術に触れることにより、教養や人間性を高め、また自ら参加することにより創造性の育成を図る。併せて芸術文化の振興を図る。			
事業の概要		・自主公演事業の企画・運営 ・共催型事業の活用 ・市内外の各種団体によるホール公演開催の促進			

事業の実績・成果

各種コンサート等を開催した。生の音楽等の芸術に触れる機会を提供することで、市民文化の向上と芸術文化の振興を行った。

1　加須文化・学習センター

○自主公演事業

公演日	公演名	ジャンル	会　場	入場者数（人）
令和7年4月5日（土）	春風亭小朝独演会2025	落語	小ホール	208
令和7年6月13日（金）	よしもとお笑いライブ in 加須2025	お笑い	大ホール	586
令和7年7月5日（土）	令和7年度重要無形文化財「組踊」特別鑑賞会	伝統芸能	大ホール	800
令和7年9月6日（土）・7日（日）	2025かぞフェス	コンサート	大ホール	410
令和7年9月15日（月・祝）	イルカコンサート～あいのたね♥まこう！～	コンサート	大ホール	651
令和7年11月15日（土）	令和7年度下總皖一音楽賞受賞者コンサート	コンサート	大ホール	650
令和8年1月12日（月・祝）	0歳からのはじめてのオーケストラ	コンサート	生涯学習棟	214
令和8年3月1日（日）	杉山清貴　acoustic　solo tour　2026	コンサート	大ホール	593
合　　計				4,112

○公演数及び入場者数の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
公演数（回）	3	7	4	4	8
入場者数（人）	1,265	3,841	1,952	2,500	4,112

2　北川辺文化・学習センター

○ 映画鑑賞会　上映回数・入場者数推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
上映回数（回）	0	2	2	1	1
入場者数（人）	0	140	174	174	256

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年度は未実施

3　大利根文化・学習センター

○ 映画鑑賞会　上映回数・入場者数推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
上映回数（回）				1	1
入場者数（人）				99	165

※ 令和6年度から、映画観賞会を北川辺及び大利根文化・学習センターで各1回ずつ実施

事業名		偉人顕彰事業			2312-04
担当課		生涯学習課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	6,942,000 円	―
項	05	社会教育費	最終予算額	6,942,000 円	―
目	01	社会教育総務費	決　算　額	5,762,998 円	―
事業の目的		郷土の偉人を顕彰することによって、郷土愛の醸成と芸術・文化の向上を図る。			
事業の概要		・偉人を紹介するためのパネル展や現存する資料の整理、展示を行う。 ・各地域の偉人顕彰団体の活動を支援する。 ・偉人生没年節目においては記念事業を開催する。			

事業の実績・成果

1　偉人パネル展等の実施

〇郷土の偉人7人、斎藤与里、河野省三、田中正造、下總皖一、若林甜蔵、谷山豊、田口和美の功績をたたえる「加須の偉人」パネル展を開催した。

・令和7年7月3日（木）～6日（日）　県展かぞ
・令和7年10月5日（日）　渡良瀬遊水地まつり
・令和7年11月1日（土）～3日（月・祝）　加須地域文化祭
・令和7年12月13日（土）　生涯学習フェスティバル
・令和8年3月19日（木）～22日（日）　斎藤与里展
（埼玉県立近代美術館学芸員によるギャラリートーク、
クラシックギタークラブによる下総皖一「野菊」等の演奏）

〇その他

・令和7年4月1日（火）　パストラルかぞ常設展示
・令和7年11月1日（土）～3日（月・祝）　斎藤与里作品実物大写真パネル展示
・令和7年11月15日（土）　下總皖一音楽賞受賞者コンサート2025
・令和8年1月27日（火）　下總皖一音楽賞令和7年度表彰式

2　補助金の交付

〇地域で活動する偉人顕彰団体への支援

・下總皖一を偲ぶ会　　・田中正造翁顕彰会

3　斎藤与里作品の修復　　1,485,000 円

〇斎藤与里の絵画作品等のために頂いた寄付を充当し、3絵画を修復した。


【 花見 】


【 台湾風景 】


【 花 】

事業名		文化財の保存と活用による地域活性化事業			2313-01
担当課		生涯学習課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	20,488,000 円	―
項	05	社会教育費	最終予算額	20,488,000 円	―
目	01	社会教育総務費	決　算　額	16,136,493 円	―
事業の目的		市内の文化財を保存・活用することにより、後世へ継承し、市民の文化財愛護に関する意識の高揚と地域活性化を図る。			
事業の概要		・市内文化財の調査・保護・啓発を行い、市民への文化財普及活動に努める。 ・開発に先立つ試掘調査を実施し、必要に応じ発掘調査を実施する。 ・発掘調査報告書を刊行する。 ・文化財の理解を深め、文化財愛護精神を培かう為、文化財啓発活動を推進する。			

事業の実績・成果

埋蔵文化財保護・管理に関する事業を行った。

1　埋蔵文化財保護

○開発に伴う埋蔵文化財の調査

工事等に伴う埋蔵文化財包蔵地(遺跡)保護のための試掘調査　（単位：件）

年 度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
試掘調査数	13	16	15	16	14

○埋蔵文化財調査の報告書の刊行・配布

発掘調査による出土品の遺物整理・実測図作成を行い、騎西城跡についての発掘調査報告書を刊行し(加須市埋蔵文化財調査報告書第 19 集・500 部)、開発により滅失する遺跡の記録保存事業が完了した。県内外の市町村や図書館等に配布し、騎西城跡に関する調査成果を発信した。

○埋蔵文化財出土品の保存

騎西城跡から出土した木製品（桶の側板 3 点）について、資料として保存・活用できるように保存処理を実施した。

2　文化財管理

○文化財保護審議会の開催（令和 7 年 5 月 26 日、令和 7 年 11 月 25 日・研修、令和 8 年 3 月 26 日）

文化財保護審議会を開催し、文化財保護事業についての研修及び審議を行った。

○文化財の保護・管理

・指定文化財管理者に対し謝金（1 件につき 3,000 円）を支払い、文化財の保護・啓発を促した。
・騎西城土塁跡等の除草を適切に行い、指定文化財の保全を図った。

3　文化財関係団体への助成

○加須郷土史研究会

郷土史研究会が行う郷土の歴史や文化の啓発事業に対する補助であり、同研究会の積極的な活動は、郷土の歴史や文化の啓発に貢献している。

4　文化財の普及と啓発

○令和 7 年度　重要無形文化財「組踊」特別鑑賞会

パストラルかぞにおいて、沖縄の伝統芸能であり、国指定重要無形文化財・ユネスコ無形文化遺産「組踊」の特別鑑賞会を開催した。市民に伝統文化と重要無形文化財に触れる機会を設けた。

事業名		加須インターネット博物館管理運営事業			2313-02
担当課		生涯学習課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	1,020,000円	―
項	05	社会教育費	最終予算額	1,020,000円	―
目	01	社会教育総務費	決　算　額	1,019,700円	―
事業の目的		市民が郷土の歴史・文化に親しみ、郷土への理解を深めるため、インターネット上に構築した博物館に、文化財や歴史資料を公開し広く発信する。			
事業の概要		・加須インターネット博物館には、原始古代から現代までの郷土の歴史を網羅した総合博物館としての機能をもたせる。 ・指定文化財をはじめとする収蔵資料・郷土の偉人等をインターネットをとおして市内外に情報発信する。			

事業の実績・成果

1　加須インターネット博物館の管理運営を行った。

加須市における歴史資料や美術資料、人物資料等について、一元化した博物館をインターネット上に構築することで、誰もがいつでも気軽に歴史情報を閲覧・見学できる環境を整備している。それにより、郷土の貴重な文化遺産を、こどもから大人まで、ともに楽しみながら学習し、郷土への愛着と理解を深めることができた。

○令和7年度

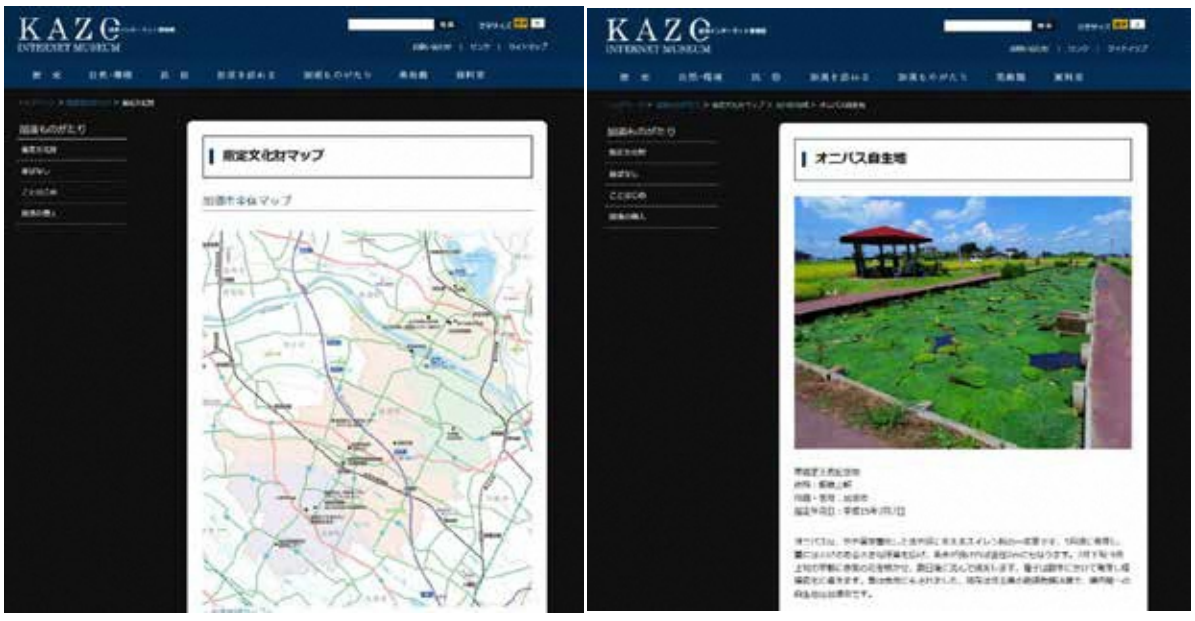
・デジタル文化財マップを公開し、指定文化財の情報を地図情報と写真で発信した。

・無形民俗文化財の実演日等のリアルタイムな情報発信をし、市内外に広く情報提供した。

・市民が郷土の歴史・文化の情報を気軽に得ることができ、郷土への理解を深めることができる場として整備した。

2　加須インターネット博物館アクセス件数　（単位：件）

年　度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
件　数	15,490	19,377	21,000	21,014	17,565



加須インターネット博物館　文化財マップ

事業名		伝統文化継承支援事業			2313-03
担当課		生涯学習課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	1,133,000 円	―
項	05	社会教育費	最終予算額	1,133,000 円	―
目	01	社会教育総務費	決　算　額	997,401 円	―
事業の目的		市内の特色ある伝統文化を伝承していくため、地域における伝統文化の継承活動を支援する。			
事業の概要		・伝統文化を継承する保存団体への支援を行う。 ・加須市郷土かるたを活用し広く市民に伝統文化を啓発する。			

事業の実績・成果

1　補助金の交付

○武州加須囃子保存会補助金

加須囃子の各地区での継続的な練習や、普及に関する事業や運営のための補助を行った。これらの活動は、武州加須囃子の普及や後継者育成に寄与している。

○加須市獅子舞保存会連合会補助金

各地区での獅子舞行事や練習など、獅子舞の普及に関する事業及び運営のための補助である。これらの活動は、伝統芸能としての獅子舞を保存・活用する意識向上に寄与している。

○玉敷神社神楽保存会

継続的な練習や神楽奉納及び運営のための補助である。これらの活動は、会員相互の資質向上及び後継者育成に寄与している。

2　第13回加須市郷土かるた大会の開催

市民と協働でつくりあげた加須市郷土かるたを日常生活の中で活用していただき、地域の伝統文化や歴史に触れ、郷土への愛情と誇りを深めるとともに、地域における絆づくりによる一体感の醸成と郷土加須を愛する子どもたちの健全な育成を図るため、第13回加須市郷土かるた大会を開催した。

大会運営ボランティアへのさらなる負担軽減を図るため、自由参加方式をＰＲし、集計方法を見直すなど運営面の見直しを行った。

○開催概要

開催日時　令和7年11月15日（土）8時30分～13時30分
開催場所　騎西総合体育館（ふじアリーナ）
参 加 者　低学年の部（市内小学生1年生から3年生）
　　高学年の部（市内小学生4年生から6年生）
　　ファミリーの部

事業名		騎西・北川辺郷土資料館管理運営事業			2313-04
担当課		生涯学習課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	4,131,000円	―
項	05	社会教育費	最終予算額	4,309,000円	―
目	01	社会教育総務費	決　算　額	4,185,106円	―
事業の目的		郷土に対する理解や愛着を深めるよう郷土史の学習機会を提供する。			
事業の概要		【北川辺郷土資料館】 郷土の歴史、考古及び民俗等に関する資料の保存、展示を行う。その運営のため施設の適正な管理を行う。 【騎西郷土史料展示室】 民俗資料や騎西城跡出土品等の考古資料を展示する。藤まつりや文化祭の時期にあわせて特別公開する。その運営のため施設の適正な管理を行う。			

事業の実績・成果

1　郷土資料館等の管理・公開を行った。

○郷土資料館等の管理

・騎西郷土史料展示室及び北川辺郷土資料館の展示施設と資料の適正な保護・管理のため、警備及び清掃を委託した。
・北川辺郷土資料館について、環境調査(文化財害虫・カビ菌類の調査)を実施し、収蔵資料保存に適切な環境を整備した。

○　騎西郷土史料展示室(騎西城)

・通年での土曜日、日曜日、祝日の開館を実施した。
・市内小学校社会科見学を受け入れ、騎西の歴史について理解を深める機会を提供した。
・民俗資料の整理及び展示入れ替えを実施した。

○　北川辺郷土資料館

・北川辺地域の生活及び歴史を紹介し、市内小学校社会科見学を受け入れ、郷土に対する理解や愛着を深める機会を提供した。
・加須の地域性を象徴する「水塚」を中心とした「水辺のくらし」というテーマについてＰＲを行った。北川辺地域の水塚の説明のほか、水害当時の実体験をパネル展示するなど、郷土の先人たちのくらし等を広く理解する内容としている。

○　騎西郷土史料展示室・北川辺郷土資料館の入館者数の推移　　(単位：人)

年度/入館者数	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
騎西郷土史料展示室	601	2,899	5,382	8,564	9,375
北川辺郷土資料館	577	396	592	238	439

事業名		人権教育推進事業			2511-04
担当課		生涯学習課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	9,567,000 円	―
項	05	社会教育費	最終予算額	8,841,000 円	―
目	01	社会教育総務費	決　算　額	6,756,618 円	―
事業の目的		豊かな人権感覚を身につけ、人権問題についての正しい理解と認識を深め、人権が尊重される共生共存の社会の実現を図る。			
事業の概要		市民が豊かな人権感覚を身につけ、さまざまな人権問題の解決に資することができるように、各種研修会や講演会を実施する。			

事業の実績・成果

1　人権問題研修会及び講演会等の開催

人権問題指導者研修会や人権問題講演会等を開催し、同和問題をはじめとする様々な差別の解消に向けて、参加者の各人権課題に対する正しい理解と人権意識の高揚を図った。

○人権問題指導者研修会の開催（共催：人権・男女共同参画課、産業振興課）

開 催 日　下記のとおり
時　　間　13 時 30 分～15 時
会　　場　パストラルかぞ小ホール

（単位：人）

開 催 日	講　師	テーマ	参加人数
第 1 回 9 月 25 日（木）	木内 恭子	原爆被害者と平和について （様々な人権問題）	150
第 2 回 10 月 9 日（木）	森本　剛 加藤　典子	認知症の人と家族の支援について （高齢者問題）	152
第 3 回 10 月 20 日(月)	吉田 勉	入門/部落問題・人権問題 －歴史・現状、そして未来へ－ （同和問題）	122
第 4 回 10 月 29 日(水)	早瀬　憲太郎	聴覚障がいの方への理解について （障がい者問題）	141
第 5 回 11 月 27 日(木)	黒須　さち子	災害、防災と男女共同参画について －避難所運営における課題－ （男女共同参画推進）	116
合　　計			681

参加人数の推移

（単位：人）

年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
参加人数	412	414	845	739	681

○人権問題講演会

開 催 日　下記のとおり
時　　間　14 時～15 時 45 分
会　　場　パストラルかぞ大ホール

（単位：人）

開催日	講　師	テーマ	参加人数
2 月 4 日（水）	江川　紹子	混迷の時代を生きる “命の重さ” （人権全般）	500

参加人数の推移

（単位：人）

年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
参加人数	619	350	760	479	500

○人権問題地域別研修会

開催日等　下記のとおり

会　　場　各地域文化・学習センター　（単位：人）

開催日	地　域	講　師	テーマ	参加人数
11月29日（土） 14:00～15:40	騎　西	入船亭　扇蔵	「落語から考える人権」 ～こどもの権利条例について～	83
1月15日（木） 13:00～15:00	北川辺	新井　貴久治	日常から非日常へ放り出された人々が人間らしく生きられるのか？	46
3月4日（水） 13:45～15:50	大利根	大谷　貴子	生きてるってシアワセ！	119
合　　計				248

参加人数の推移　（単位：人）

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
参加人数	472	111	108	183	248

2　人権啓発展の開催（共催：人権・男女共同参画課）

○人権啓発パネルや市内小中学生による人権に関する標語を展示し、市民の各人権課題の理解と認識を深めることに貢献した。

期　　間　令和7年12月4日（木）～22日（月）

会　　場　各文化・学習センター、田ケ谷総合センター

3　加須市人権教育推進協議会への補助金交付

人権教育の推進を図り、同和問題をはじめとする人権問題の解決に寄与し、明るい地域社会をつくることを目的に、市人権教育推進協議会の活動に対して補助金を交付した。

4　集会所事業及びコミュニティセンター人権教育講座の実施

地域住民の教養の向上、健康の増進、児童・生徒の学力の向上と仲間づくりの場となるよう、集会所において学習会や交流事業を実施した。

○小学生学級：人権学習、国語、算数、理科、図工、体育、習字、家庭科、体験学習
延べ参加者数911人（加須539人、騎西321人、大利根51人）

○中学生学級：人権学習、国語、数学、英語、理科、社会、体育、家庭科、体験学習
延べ参加者数784人（加須87人、騎西318人、大利根379人）

○成人学級：健康体操、わら細工、料理、手芸、音楽、生花、民踊
延べ参加者数　1,120人（加須1,120人）

○ふれあい演劇鑑賞会
開催日　令和7年8月23日（土）
会　場　パストラルかぞ大ホール
演　劇　「クリスマス･キャロル」
観覧者　386人

○移動学習会
開催日　令和7年10月6日（月）、令和7年10月21日（火）
訪問先　笠間市、ひたちなか市
合　計　48人

○コミュニティセンター人権教育講座
市内コミュニティセンター10館
合　計　317人

○ヒューマンフェスティバル北埼玉2025（主催：人権・男女共同参画課）
開催日　令和7年10月18日（土）
会　場　羽生市産業文化ホール・大ホール

事業名		集会所管理運営事業			2513-03
担当課		生涯学習課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	7,776,000 円	―
項	05	社会教育費	最終予算額	7,469,000 円	―
目	01	社会教育総務費	決　算　額	6,931,010 円	―
事業の目的		集会所での諸活動を通して、人権感覚を高め、人権問題の解決を図る。			
事業の概要		・人権教育推進員による、小中学生学級や成人学級の指導、支援 ・集会所管理人の配置 ・集会所運営委員会の開催 ・集会所の維持管理、修繕の実施			

事業の実績・成果

1　人権教育推進員への委託

人権教育推進員 1 名による、小中学生学級、成人学級の指導及び支援を行った。

2　集会所管理人の配置

集会所の管理を、管理人 6 名及び鍵管理人 1 名に委託し、適正な管理を行った。

3　集会所運営委員会の開催

各集会所において運営委員会を開催し、学習内容や年間事業計画等について協議した。

4　集会所の維持管理、修繕の実施

各集会所を地域住民が安全かつ快適に利用できるよう施設の維持管理を行った。

・消防用設備、浄化槽保守点検業務の実施

・各種修繕の実施

5　集会所年間利用者数（7 集会所）

阿良川 493 人、志多見 477 人、川口 5 人、串作 720 人、礼羽西 52 人、下戸塚 9 人、大利根 1,802 人

合　計　3,558 人

利用者数の推移　（単位：人）

集会所名	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
阿良川	176	309	697	701	493
志多見	124	316	310	371	477
川口	0	16	26	5	5
串作	380	913	1,093	876	720
礼羽西	80	14	213	119	52
下戸塚	0	9	9	9	9
大利根	1,998	2,256	2,376	1,897	1,802
合　　計	2,758	3,833	4,724	3,978	3,558

事業名		絵本との親子ふれあい事業			2314-03
担当課		図書館課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	1,313,000 円	―
項	05	社会教育費	最終予算額	1,313,000 円	―
目	02	図書館費	決　算　額	953,300 円	―
事業の目的		親子が絵本をとおしてふれあう時間をもつとともに、親子で本に親しみ、こどもが本の楽しさを知るきっかけをつくることでこどもの読書活動を推進する。			
事業の概要		9～10 か月児健診時に乳児とその保護者に知育絵本チケットや絵本リスト等をプレゼントし、併せて図書館職員とボランティアによる読み聞かせを行う。(絵本チケットから保護者がこどもの名前等を入力して完成させる) また、親子を対象としたわらべうた講座を開催するほか、ボランティア育成のための研修会を行う。			

事業の実績・成果

9～10 か月児健診時に、受診した親子に対して絵本のプレゼントなどを行い、絵本をとおした乳児の健やかな心の成長を支援した。

令和 5 年度までは、「ブックスタート」として既製の絵本を配布していたが、令和 6 年度及び令和 7 年度は、「世界に 1 つだけのオリジナルパーソナル知育絵本」(登場する主人公の名前が、こどもの名前になり、命名の由来やメッセージも入る世界に 1 つだけのオリジナル絵本) を配布した。

また、フォローアップとして、こどもと保護者を対象とした講座を実施し、継続的な読書活動の支援に努めた。

1　健診時の活動

・保護者に対して、図書館課職員が 3 種類のオリジナルパーソナル知育絵本を紹介し、保護者が選択した絵本と引き換えるチケットを配布
・乳幼児に読んでもらいたい絵本のリスト及び読書ノート等を配布
・図書館の利用方法やおはなし会開催日等についての案内を配布

(1) 絵本の配布実績

令和 5 年度まではブックスタートとして絵本を配布、令和 6 年度及び令和 7 年度は、オリジナルパーソナル知育絵本と引き換えるチケットを配布

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
健診受診予定者数（人）	623	638	571	595	571
健診受診者数（人）	570	593	523	534	538
ブックスタート絵本配布数（冊） ※後日配布数（健診未受診者）含む	577	600	530	―	―
知育絵本引換チケット配布数（枚） ※後日配布数（健診未受診者）含む	―	―	―	538	540
知育絵本配布数（冊） ※知育絵本引換チケットからの申込数	―	―	―	389	392

2　「絵本とわらべうたであそぼう♪」講座

実施日：令和 7 年 8 月 8 日（金）
場　所：加須図書館　集会室
参加者：8 人（親子 4 組）
講　師：吉田　優子氏（地域文庫主宰・浦和子どもの本連絡会）

事業名		ブックトーク・おはなし会開催事業			2314-04
担当課		図書館課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	104,000円	―
項	05	社会教育費	最終予算額	104,000円	―
目	02	図書館費	決　算　額	87,850円	―
事業の目的		こどもが物語や本に親しみながら本の楽しさを知るとともに、読書のきっかけづくりや読書活動の習慣化を図り、自主的な読書活動を推進する。			
事業の概要		小中学校等から依頼を受け、職員やボランティアが出向いて、ブックトーク、絵本の読み聞かせ、ストーリーテリングなどを行う。 図書館では、ボランティアや職員が参加者の年齢にあわせ、絵本の読み聞かせ、手遊び、わらべうた、紙芝居、ストーリーテリングなどを行うおはなし会を定期的に開催する。			

事業の実績・成果

図書館職員が各学校に出向いて、テーマに沿いながら本の紹介などを行う「ブックトーク」を行った。

訪問時には、参考となる図書を多数持参し、展示・貸出に供し、こどもが直接、物語や本に触れて読書に親しむ機会をつくり、こどもの読書活動を推進することができた。

図書館の児童室を活用し、おはなし会ボランティア等が来館者に対しておはなし会を行うことで、気軽におはなしを楽しむ居場所づくりに貢献した。

1　ブックトークの実施状況

区分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
小学校	17	424	31	705	51	1,220	42	991	38	877
中学校	0	0	0	0	4	144	0	0	0	0
計	17	424	31	705	55	1,364	42	991	38	877

2　定例おはなし会の開催

乳幼児とその保護者に絵本の読み聞かせや手遊びなどを楽しむ機会を提供するため、ボランティアとの協働により定例おはなし会を開催した。

図書館名	団体数（団体）	開催数（回）	参加者数（延べ人数）
加須図書館	2	69	799
騎西図書館	3	31	205
北川辺図書館	2	52	323
おおとね図書館	2	28	516
計	9	180	1,843

3　ボランティアの育成、活性化のための研修等

絵本の読み聞かせ等を行うボランティアの資質向上とボランティア活動の活性化を図るため、研修会を実施した。

(1) おとなのためのおはなし会

開催日：令和7年10月6日（月）
場　所：市民プラザかぞ　302会議室
参加者：54人
講　師：甲斐　智子氏（県立久喜図書館おはなしボランティアグループ「トムの会」）

(2) 絵本読み聞かせ講座

開催日：令和7年9月26日（金）、令和7年10月10日（金）
場　所：童謡のふる里おおとね図書館
参加者：延べ19人
講　師：五十嵐　静江氏（元公共図書館職員）

事業名		図書資料整備充実事業			2314-05
担当課		図書館課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	20,968,000 円	―
項	05	社会教育費	最終予算額	20,968,000 円	―
目	02	図書館費	決　算　額	20,884,978 円	―
事業の目的		高度化・多様化する市民ニーズに応え、市民の教育と文化の発展に寄与する。			
事業の概要		加須市立図書館資料収集要綱及び収集基準に基づき、新刊案内情報誌や貸出傾向等を参考に、利用者からリクエストのあった図書、基本図書など多様な資料を購入し、地域行政資料も積極的に受入整備することで蔵書の充実を図り、市民ニーズに対応できる魅力ある図書館づくりを図る。			

事業の実績・成果

加須市立図書館資料収集要綱等に基づき、基本図書をはじめ、利用者からのリクエストのあった本などを幅広く購入することで、市民ニーズに応え、蔵書の充実を図り、魅力ある図書館づくりに努めた。

1　図書資料の購入

(1)令和7年度実績

種　別	点　数	購入額（円）	税込平均単価（円）
一般書	4,344	10,389,780	2,391
児童書	1,976	4,253,806	2,152
雑　誌	4,192	3,701,555	883
Ｃ　Ｄ	10	32,976	3,297
ＤＶＤ	10	137,851	13,785
計	10,532	18,515,968	―

(2)図書資料購入額の推移　（単位：円）

種　別	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
図書資料（一般書・児童書・雑誌）	18,484,868	18,363,772	18,276,997	18,313,153	18,345,141
視聴覚資料（ＣＤ・ＤＶＤ）	175,173	173,292	179,105	198,044	170,827
計	18,660,041	18,537,064	18,456,102	18,511,197	18,515,968

2　蔵書数と貸出数

※一般書には、郷土資料、参考図書、録音、点字及び童謡を含み、貸出数及び利用者数の加須図書館分には、インターネットでの貸出延長処理数を含む。

(1)分類別蔵書数（令和8年3月31日現在）　（単位：点）

種　別	総　数	内　訳			
		加須図書館	騎西図書館	北川辺図書館	おおとね図書館
一般書	408,658	178,434	87,881	56,286	86,057
児童書	172,293	74,512	35,201	27,902	34,678
雑　誌	22,281	7,284	5,260	4,813	4,924
Ｃ　Ｄ	6,712	1,224	2,312	1,307	1,869
ＤＶＤ	4,653	1,292	1,597	845	919
ビデオ	1,685	556	440	224	465
計	616,282	263,302	132,691	91,377	128,912

(2)蔵書数の推移　※4館全体　（単位：点）

種　別	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
図書資料 （一般書・児童書・雑誌）	609,032	608,471	606,392	604,064	603,232
視聴覚資料 （CD・DVD・ビデオ）	13,091	13,080	13,071	13,065	13,050
計	622,123	621,551	619,463	617,129	616,282

(3)分類別貸出数（個人利用）（令和8年3月31日現在）　（単位：点）

種　別	総　数	内　訳			
		加須図書館	騎西図書館	北川辺図書館	おおとね図書館
一般書	222,142	98,458	45,508	26,086	52,090
児童書	145,010	54,741	35,955	12,298	42,016
雑　誌	33,991	13,943	6,959	3,990	9,099
C　D	6,161	1,942	1,558	1,239	1,422
DVD	6,675	2,432	2,056	1,015	1,172
ビデオ	75	46	0	14	15
計	414,054	171,562	92,036	44,642	105,814

(4)利用別貸出数の推移（個人利用・団体貸出・相互貸出）　※4館全体　（単位：点）

種　別	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
個人利用	482,728	469,731	455,142	429,308	414,054
団体貸出	20,028	30,109	37,532	33,644	38,239
相互貸出	1,063	2,387	2,438	2,844	2,876
計	503,819	502,227	495,112	465,796	455,169

3　来館者数及び利用者数

(1)令和7年度実績　（単位：人）

	総　数	内　訳			
		加須図書館	騎西図書館	北川辺図書館	おおとね図書館
来館者数（延べ）	330,592	143,510	81,810	50,769	54,503
来館者/日	1,140	495	282	175	188
利用者数（延べ）	135,658	75,796	23,213	12,182	24,467
利用者/日	467	261	80	42	84

(2)来館者数及び利用者数の推移　※4館全体　（単位：人）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
来館者数（延べ）	283,024	316,399	341,063	323,658	330,592
来館者/日	975	1,091	1,166	1,140	1,140
利用者数（延べ）	142,621	144,809	143,245	137,898	135,658
利用者/日	491	500	490	486	467

4　障がい者サービスの取組み

　誰もが読書を楽しめるように、知的障がいのある人や母語を異にする人など読むことが苦手な人のために、読みやすいように工夫して作られた本「ＬＬブック」や「点字付きさわる絵本」等の図書を購入し、蔵書の充実を図った。

・令和７年度新規購入数　　（単位：冊）

	ＬＬブック	点字付きさわる絵本
一般書	5	0
児童書	11	1
合計	16	1

事業名		図書館管理運営事業			2314-06
担当課		図書館課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	115,271,000 円	―
	05	社会教育費	最終予算額	121,008,000 円	―
目	02	図書館費	決　算　額	116,225,848 円	―
事業の目的		市民に資料を提供して、調査研究及びレクリエーションに資するために、利用し易い環境を整備する。			
事業の概要		図書館を適正に管理運営して図書館サービスの充実に努める。 図書館情報システムを活用した貸出、返却、予約処理及び返却の督促等を効率的に行う。 時節ごとの展示等を行い、親しみやすい図書館づくりに努める。			

事業の実績・成果

図書の貸出、返却等の図書館業務全般を円滑に行うため、図書館情報システムや設備の維持管理を適正に行い、市民が快適に図書館を利用できるよう環境を整備した。

1　展示等

(1) 全館共通テーマを設定した共通展示のほか、各館ごとに工夫を凝らした企画展示を実施した。

・共通展示 172 回、PR 展示 68 回、企画展示 197 回、計 437 回

令和 7 年度の主な展示	実施館	内　容
こいのぼり	全　館	加須市民平和祭（5 月 3 日）のジャンボこいのぼりを PR するため、こいのぼりに関連する本を 98 点展示（4～5 月）
ブックリーフレット大賞	全　館	学校教育課と連携で実施している、加須市ブックリーフレット大賞の題材となった本を 53 点展示(2 月)
昭和レトロ	加須図書館	昭和時代の文化に関する本を 67 点展示（5～6 月）
ピンクリボン運動	騎西図書館	乳がんに関する本を 20 点展示（10 月）
進路	北川辺図書館	中高生の進路に関する本を 12 点展示（8～11 月）
映画文化と銀幕スタア	おおとね図書館	映画文化・俳優に関する本を 78 点展示（12 月）

(2) 図書館資料等を活用した行政情報の PR 25 件

ポスターその他掲示物及び関連する図書館資料の展示や、図書館資料を貸し出す際に発行する貸出票への掲載、図書館 Web サイトでの広報により各課の PR を行い、加須市の行政情報への関心を深めた。

【図書館内展示風景】



「男女共同参画週間」の周知
（人権・男女共同参画課）

【貸出票での PR 例】



「平和を考える写真展」の周知（総務課）

2　学校連携等

(1)学校への貸出実績

区分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	利用回数	貸出冊数	利用回数	貸出冊数	利用回数	貸出冊数	利用回数	貸出冊数	利用回数	貸出冊数
保育園 幼稚園	106	2,112	128	3,502	171	4,226	252	4,925	614	6,843
小学校 中学校	623	12,670	947	20,690	1,113	26,148	946	22,104	1,242	23,962
計	729	14,782	1,075	24,192	1,284	30,374	1,198	27,029	1,856	30,805

(2)図書館見学の受入れ

小人数単位で館内整理日（休館日）に調整を行い実施した。

区分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
小学校	9	326	9	309	9	347	10	401	9	321
保育園 幼稚園	1	29	1	24	1	31	1	28	2	48
計	10	355	10	333	10	378	11	429	11	369

(3)出張図書館見学の実施

図書館見学の実施日（館内整理日）の日程が調整できない学校や、遠方のため図書館に来館できない学校に職員が出向き、スライド等により図書館の利用方法や施設等の説明を実施した。

区分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
小学校	2	55	1	20	4	91	4	103	0	0

(4)ビブリオバトル支援

実施方法の説明や模擬バトルを実施した。

区分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
小学校	0	0	0	0	10	259	2	35	4	213
中学校	2	143	2	133	0	0	0	0	0	0
計	2	143	2	133	10	259	2	35	4	213

3　「こども司書」の育成・活動

(1)こども司書講座

児童・生徒が図書館業務を経験することで社会性を身につけるほか、図書館の利用を促し、読書活動の推進を図ることを目的として開催した。

内容：図書館について（座学）、図書館見学、カウンター業務体験　等

	令和6年度（第1期）	令和7年度（第2期）
受講者数	10人（小学生5人、中学生5人）	5人（小学生5人、中学生0人）
会場	加須図書館	騎西図書館
日程	7/31、8/1、8/8	7/31、8/6



こども司書によるおはなし会

(2)こども司書連絡会議

今後の活動内容について協議し、継続的な読書推進活動に繋げることを目的として開催した。

開催日：3月14日（土）

会　場：おおとね図書館

参加者：9人（第1期生：5人、第2期生：4人）

4　ブックリスト

「こどもたちが出会う本が素敵な本であってほしい」、「親子のコミュニケーションを深めながら、楽しい経験をしてほしい」との願いから、加須市立図書館で所蔵している本の中から、おすすめの本をまとめたブックリストを作成し、配布した。



ブックリスト　4種

(1) ブックリストの種類

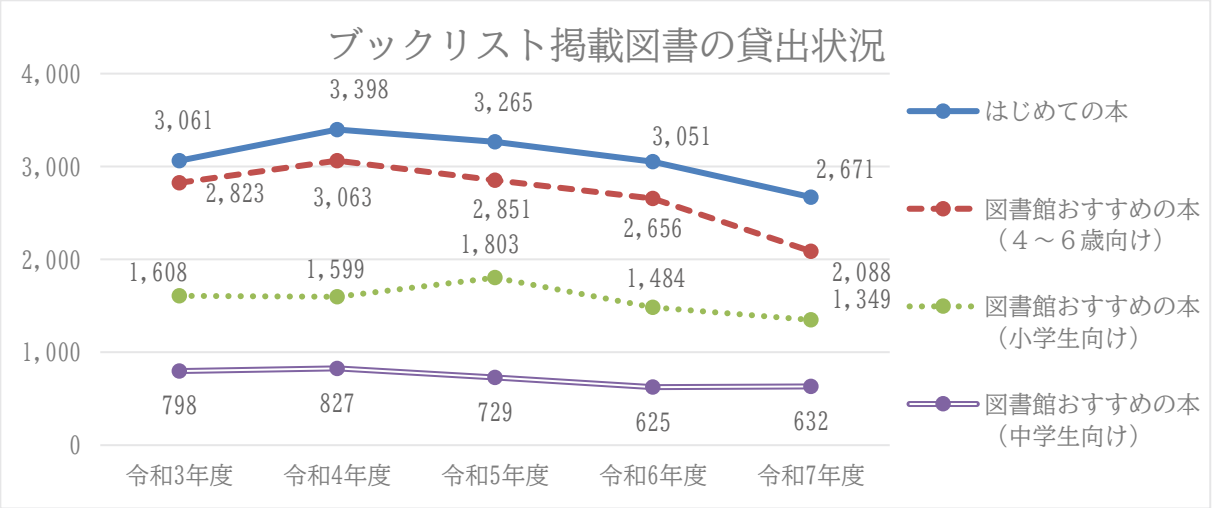
タイトル	対象年齢	内　　容	配布場所	発　行
はじめての本	0～3歳	何度でも絵本を楽しめるようにおすすめの絵本とわらべうたの本　計54冊掲載	図書館 保健センター	平成24年7月
図書館おすすめの本（4～6歳向け）	4～6歳	ブックスタートで絵本を読み成長したこどもが、引き続き親子で本に親しむため　年齢ごとに18冊　計54冊掲載	図書館 保育所 幼稚園 子育て支援センター	平成29年6月
図書館おすすめの本（小学生向け）	小学生	小学生を対象に読みたい本を見つけるきっかけをつくるため　低学年･中学年･高学年ごとに18冊　計54冊掲載	図書館 小学校	令和3年3月
図書館おすすめの本（中学生向け）	中学生	図書館が中学生におすすめする本をノンフィクション15冊、小説・絵本等30冊　計45冊掲載	図書館 中学校	令和5年3月

(2) 配布実績　　(単位：冊)

タイトル	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
はじめての本	630	596	559	572	587
図書館おすすめの本（4～6歳向け）	864	829	881	961	615
図書館おすすめの本（小学生向け）	5,450	839	1,218	931	905
図書館おすすめの本（中学生向け）	－	－	3,138	933	952

(3) 貸出実績　　(単位：冊)

タイトル	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
はじめての本	3,061	3,398	3,265	3,051	2,671
図書館おすすめの本（4～6歳向け）	2,823	3,063	2,851	2,656	2,088
図書館おすすめの本（小学生向け）	1,608	1,599	1,803	1,484	1,349
図書館おすすめの本（中学生向け）	798	827	729	625	632



5　読書ノートの配布

読書活動の推進のため、5種類の読書ノートを作成・配布し、図書館ホームページ等でＰＲに努めた。

（単位：冊）

読書ノートの名称	対　象	配布数				
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
＿＿＿に読んであげた本	乳　児	612	677	554	500	600
ぼくのわたしの読んだ本	小学校低学年	166	144	166	144	89
	小学校高学年	74	78	74	84	53
My Reading Record	中学生	41	48	56	54	38
私の読書全記録	一　般	128	121	175	112	88
計		1,021	1,068	1,025	894	868

6　マイナンバーカードでの貸出利用状況

令和元年度の図書館情報システムの入替え時より、マイナンバーカードの利用を開始。法改正により図書館情報システムの整備と利用者の再登録が必要となったため、令和6年度のシステムの入替え時に利用環境を整え、再開した。（登録者数累計は法改正対応後の数値）

登録者数　（人）		利用人数（人）	貸出冊数（冊）
累計	令和7年度		
90	59	374	1,335

事業名	加須未来館管理運営事業			2311-13
担当課	生涯学習課		現　年	前年度からの繰越
款 10	教育費	当初予算額	77,846,000 円	550,000 円
項 05	社会教育費	最終予算額	66,881,000 円	550,000 円
目 03	加須未来館費	決　算　額	62,145,610 円	550,000 円
事業の目的	市民の宇宙や科学に関する関心を高めるため、宇宙・天体や科学について楽しく学ぶことができる教育施設としての機能の充実を図る。			
事業の概要	宇宙・科学を始め、様々なことに興味・関心を抱き、何事にもチャレンジしていく好奇心を養うため、プラネタリウム投影や少年少女発明クラブ、フリー・トライデー、天体学習会等を開催する。			

事業の実績・成果

家庭や学校では体験できないような観察等の機会の提供や、科学的体験学習を行える環境を整備し、適切な管理運営を行った。広報紙やホームページ・ＳＮＳ等で情報発信を図るとともに、加須未来館ファン投票及びクラウドファンディングを実施し、物品購入等を行い、施設の充実を図った。

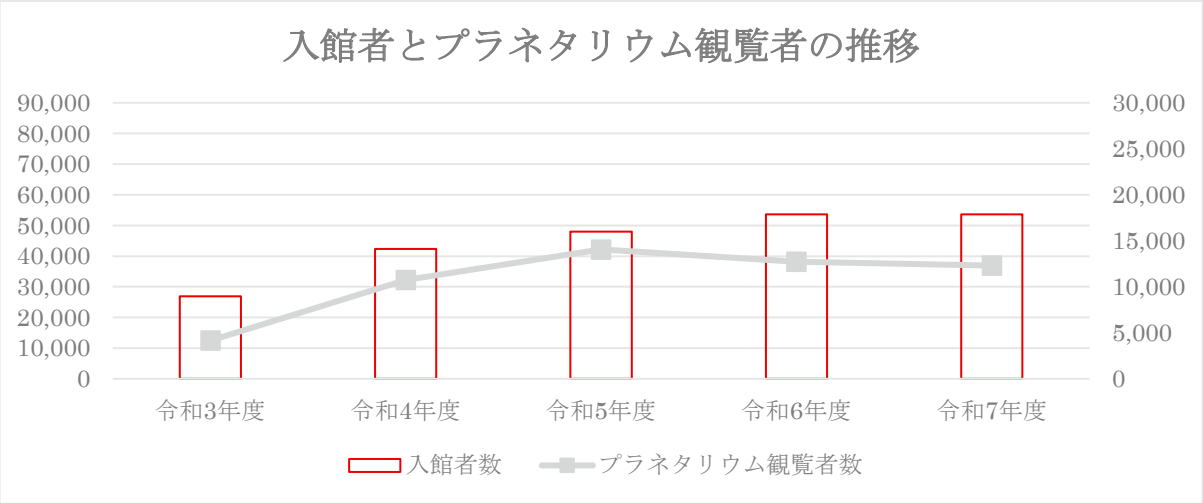
1　主な事業の実施状況

・プラネタリウム一般及び学習投影　269 日（12,292 人）
・フリートライデー（工作教室）　67 回（1,539 人）
・夜間天体観望会　29 回（347 人）
・特別天体イベント　1 回（4 人）
・親子星空教室（おやこでほしをみよう）　8 回（51 人）
・天体写真教室（星の写真を撮ろう）　1 回（3 人）
・少年少女発明クラブ　24 回（延べ 370 人参加）

2　来館者数及びプラネタリウム観覧者数の推移　（単位：人）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
入館者数	26,908	42,337	47,947	53,651	53,599
プラネタリウム観覧者数	4,153 (407)	10,753 (866)	14,062 (780)	12,732 (872)	12,292 (835)

※　プラネタリウム観覧者数のうち、（　）内は学習投影



3 プラネタリウムの利活用

・プラネタリウム内でのコンサート（オカリナ、ギター等）や、H3 ロケット打上ライブビューイングを実施するなど、施設の多角化を図った。
・魅力的な映像作品を投影し、幅広い年齢層に来館してもらえるよう努めた。また、市内の小中学校児童生徒に無料招待券付きチラシを配布し、観覧者増加を図った。

4　加須未来館ファン投票・クラウドファンディング

○　実施期間

ファン投票　　令和7年4月25日（金）～令和7年9月28日（日）

クラウドファンディング　令和7年7月 1日（火）～令和7年9月28日（日）

○　ファン投票の結果　　（単位：票）

展 示 品 候 補	順　位	投票数
(1) 宇宙服顔出しパネルの作成（237千円）	5位	36
(2) 宇宙船内活動着未来館モデル着用体験（660千円）	3位	53
(3) JAXA備品展示（330千円）	4位	46
(4) デジタル地球儀導入（2,056千円）	2位	89
(5) フーコー振子模型導入（951千円）	6位	30
(6) フライトシミュレータ改修（2,541千円）	1位	149
(7) 大型モニター入替（6,225千円）	7位	18
(8) その他（ロボット、遊び場など）	－	77
合　　計		498

※（ ）内は予算額

○　クラウドファンディング結果　最終寄附額　1,458,957円（目標13,000,000円）

寄 附 内 訳		件　数（件）	金　額（円）
クラウドファンディング	個人	50	838,000
	団体	6	420,957
小　　計		56	1,258,957
企業版ふるさと納税		2	200,000
合　　計		58	1,458,957

○　クラウドファンディング寄附使い道

・未来館オリジナル宇宙船内活動着購入

・ＪＡＸＡ展示用備品借用

・ＡＩコミュニケーションロボット購入

5　前年度からの繰越事業（繰越明許）　550,000円

○　加須未来館昇降機修繕

・令和6年度から令和7年度へ繰り越した理由

修繕用資材（部品）の確保が難航し、令和6年度内に完了できなかったため。

事業名		スポーツ・レクリエーション推進計画策定事業			2411-01
担当課		スポーツ振興課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	3,000,000円	―
項	06	健康スポーツ費	最終予算額	3,000,000円	―
目	01	スポーツ総務費	決　算　額	2,092,000円	―
事業の目的		市民がスポーツやレクリエーションを取り入れた豊かなスポーツライフを実現する。			
事業の概要		第2次加須市スポーツレクリエーション推進計画策定の後継となる、新たな「加須市スポーツ・レクリエーション推進計画」策定に向けた実態調査等を実施し、令和7年度に計画を策定する。			

事業の実績・成果

スポーツ基本法第10条第1項に定める地方スポーツ推進計画で、市がスポーツを推進していく上での目標や取組を示すものです。

「第2次加須市スポーツ・レクリエーション推進計画」が令和7年度で終了年度を迎えることから、現行計画の進捗状況等の現状分析・評価・課題等の整理をおこなうとともに、国の「スポーツ基本計画」や県の「埼玉県スポーツ推進計画」を踏まえて、新たな「加須市スポーツ・レクリエーション推進計画」を策定した。

1　委託契約の概要

契 約 日：令和7年3月3日
委 託 料：2,092,000円
受 注 者：地域計画株式会社
履行期間：令和7年4月1日から令和8年3月20日まで

2　基本理念

スポーツを通じて「はつらつ」と元気に暮らし続けることができるまち　加須

事業名		スポーツ・レクリエーション推進計画進行管理事業			2411-02
担当課		スポーツ振興課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	167,000 円	―
項	06	健康スポーツ費	最終予算額	167,000 円	―
目	01	スポーツ総務費	決　算　額	77,600 円	―
事業の目的		スポーツ・レクリエーションの振興を総合的かつ計画的に推進する。			
事業の概要		スポーツ推進審議会を開催し、意見を聴き、スポーツ・レクリエーションを推進する。 【計画期間：令和 3 年度～令和 7 年度】			

事業の実績・成果

スポーツ・レクリエーション推進計画に基づく施策の進捗状況について実績を取りまとめ、スポーツ推進審議会を開催し、各種施策の事業実施状況について進行管理を行った。

○スポーツ推進審議会の開催

令和 7 年 11 月 7 日（金）、令和 8 年 1 月 29 日（木）

○加須市スポーツ推進計画の令和 6 年度の進行管理及び評価

【達成度評価】　（単位：件）

基本目標（施策）	基本目標達成度評価	数値目標達成度評価			
		1 目標を達成	2 概ね達成	3 やや遅れている	4 大幅に遅れている
1 スポーツを楽しむ元気な市民	③やや達成できなかった	5	2	7	3
2 スポーツで元気な加須市	③やや達成できなかった	4	2	3	0

（基本目標評価基準）

①計画どおり達成できた　全ての事業（取組）において達成度評価が「1 目標を達成」又は「2 概ね達成」

②概ね達成できた　達成度評価が「1 目標を達成」又は「2 概ね達成」となった事業数の割合が 80%以上

③やや達成できなかった　達成度評価が「1 目標を達成」又は「2 概ね達成」となった事業数の割合が 80%未満

④達成できなかった　達成度評価が「1 目標を達成」又は「2 概ね達成」となった事業数の割合が 50%未満

（数値目標評価基準）

1　目標を達成　当該年度に実施すべき取組を予定通り、計画的に行い、事業実施による効果が表れた。
（成果指標の実績値がいずれも目標値の 100%以上に達し、当該年度の目標を達成）

2　概ね達成　当該年度に実施すべき取組を円滑に行い、事業実施による効果が概ね表れた。
（成果指標の実績値がいずれも目標値の 80%以上）

3　やや遅れている　当該年度に実施すべき取組を行ったものの、事業実施による効果が小さかった。
（成果指標の実績値が目標値の 80%未満）

4　大幅に遅れている　何らかの課題があり、事務事業が滞ってしまっており、事業実施による効果が表れなかった。
（成果指標の実績値がいずれも目標値の 50%未満）

事業名		スポーツ普及推進事業			2411-03
担当課		スポーツ振興課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	17,455,000円	―
項	06	健康スポーツ費	最終予算額	20,649,000円	―
目	01	スポーツ総務費	決　算　額	20,110,429円	―
事業の目的		スポーツ関係団体との連携協働により、市民スポーツの普及を図る。			
事業の概要		市民スポーツを推進するため、関係団体の支援や加入促進を図る。			

事業の実績・成果

スポーツ協会、スポーツ少年団、レクリエーション協会の事業などへの支援として補助金を交付した。各団体で事業計画に基づき事業が実施され、市民の健康増進に寄与した。

1.補助金・会員数の推移

(1)スポーツ協会

①補助金額の推移　（単位：円）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
補助金	7,991,118	10,288,000	10,288,000	10,288,000	10,288,000

②会員数の推移(基準：毎年4月1日)　（単位：世帯）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
全　域	48,715	49,842	50,783	51,468	51,326

(2)スポーツ少年団

①補助金額の推移　（単位：円）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
補助金	1,732,494	2,410,000	2,410,000	2,410,000	2,410,000

②会員数の推移（指導者会員を除く）　（単位：人）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
会員数	622	569	556	578	596

(3)レクリエーション協会

①補助金額の推移　（単位：円）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
補助金	844,803	1,148,000	1,148,000	1,148,000	1,148,000

②会員数の推移　（単位：人）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
会員数	610	613	602	559	513

(4)その他

第98回選抜高校野球大会に出場した花咲徳栄高等学校へ補助金を交付した。

補助金交付額　3,000,000円

結果　3月21日(土)　VS東洋大姫路（兵庫県）　3－2　勝利

25日(水)　VS日本文理　（新潟県）　17－0　勝利

27日(金)　VS智弁学園　（奈良県）　8－12　敗退（ベスト8）

事業名		市民体育祭支援事業			2411-04
担当課		スポーツ振興課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	2,526,000円	―
項	06	健康スポーツ費	最終予算額	2,526,000円	―
目	01	スポーツ総務費	決　算　額	2,012,191円	―
事業の目的		地域住民が交流し絆を深めることのできる市民体育祭を通して、健康で活気のある地域づくりを図る。			
事業の概要		地域スポーツ協会等との協働により、市内の４地域で開催される市民体育祭を開催する。			

事業の実績・成果

スポーツ・レクリエーションを通して市民の健康増進と参加者相互の交流を図るため、地域ごとに開催された体育祭へ補助金を交付し支援した。

各地域で、熱中症対策等による半日開催や、これまでの対抗戦を中心とした内容から自由参加型のスポーツフェスティバルに変更して開催するなど工夫を凝らして開催をした。

１．開催日及び参加者数　（単位：人）

	加須地域体育祭	騎西スポレクカーニバル	北川辺スポーツまつり	童謡のふる里おおとねスポーツフェスティバル
開催日（令和7年）	11月9日(日)	10月19日(日)	11月8日(土)	10月19日(日)
参加者数	雨天中止	約1,000人	約800人	約400人

事業名		スポーツ支援人材育成・活用事業			2411-13
担当課		スポーツ振興課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	5,233,000円	―
項	06	健康スポーツ費	最終予算額	5,233,000円	―
目	01	スポーツ総務費	決　算　額	3,850,061円	―
事業の目的		スポーツ推進委員事業を推進するとともに、スポーツボランティアの活用を推進する。			
事業の概要		スポーツ推進委員によるスポーツ教室等の充実を図るとともに指導者としての資質向上を図る。また、各種大会にボランティアとして市民の協力をいただけるよう人材育成や活用を推進する。			

事業の実績・成果

・ スポーツ推進委員協議会によるニュースポーツ普及などの各事業が行われ、地域のスポーツ振興を図った。

○スポーツ推進委員協議会
任期：2年　　定員：56人

① 定員等　（単位：人）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
会員数	52	51	50	51	50

②主な事業

加須市健康づくりウォーク、加須市ボッチャ交流大会、全体会、体験研修会、ニュースポーツ体験会、みんなでスポーツ！なんでもアリーナ、ＤｏＹｏｕ！スポーツミックス、スポーツ協会及び市主催スポーツ大会などへの協力。

スポーツ推進委員だよりを令和8年3月に発行した。

事業名		総合型地域スポーツクラブ育成事業			2411-15
担当課		スポーツ振興課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	4,582,000円	―
項	06	健康スポーツ費	最終予算額	4,582,000円	―
目	01	スポーツ総務費	決　算　額	3,467,550円	―
事業の目的		多世代にわたる多くの市民が地域で多様なスポーツを自由な時間に楽しめる生涯スポーツの振興を図る。			
事業の概要		既存のクラブへの支援のほか、新たなクラブの設立に向けた支援を行う。			

事業の実績・成果

市内にある総合型地域スポーツクラブに対して情報提供や助言などを行った。クラブチームの活動により、健康・体力の増進、技術向上と地域コミュニティづくりが促進された。

令和7年4月より、新たに平成国際スポーツクラブが設立され、スポーツ振興くじを活用した財政支援など運営支援を行った。

○現在、活動している総合型地域スポーツクラブ（2団体）

【埼玉ＫＡＺＯスポーツクラブ】

定 例 活 動：サッカー、フットサル、

その他活動 ：障がい児スポーツ、バスケットボール、ソフトテニス、コミュニケーションスポーツ
バドミントン

会員数推移 ：　（単位：人）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
埼玉ＫＡＺＯ スポーツクラブ	350	350	350	300	280

【平成国際スポーツクラブ】※令和7年4月設立

定 例 活 動：スポーツ教室開催（筋トレ・健康体操・ボッチャ・ダンス・バスケットボール）、
バスケットボール体験会開催、各種スポーツ行事への参加・協力

会　員　数 ：77人（令和7年度）

事業名		民間・県施設活用事業			2411-19
担当課		スポーツ振興課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	15,000円	―
項	06	健康スポーツ費	最終予算額	15,000円	―
目	01	スポーツ総務費	決　算　額	0円	―
事業の目的		様々なスポーツを広く行えるよう民間・県施設の活用を推進する。			
事業の概要		彩の国ＫＡＺＯヴィレッジのほか、県施設や高校・大学・民間施設の利用促進を図る。			

事業の実績・成果

ホームページや市のスポーツ協会加盟団体等に施設利用等に関する案内を行うとともに、彩の国ＫＡＺＯヴィレッジにおいて加須市民の日無料事業としてグラウンド・ゴルフ大会を開催した。

【彩の国ＫＡＺＯヴィレッジ】

彩の国ＫＡＺＯヴィレッジ利用状況

利用団体数	1,472団体
うち市内団体	230団体

彩の国ＫＡＺＯ貸出施設

・グラウンド（Ａ／Ｂ）、トレーニング室、剣道場、卓球場、柔道場、体育室、教室

【加須はなさき公園多目的グラウンド】

スポーツ団体の活動の支援及び生涯スポーツの推進を図ることを目的に、加須はなさき公園多目的グラウンドで大会を主催する市内のスポーツ団体に対し、補助金を交付している。

加須はなさき公園多目的グラウンド使用料補助

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
申請件数	1件	1件	3件	2件	0件
補助額	3,360円	3,360円	5,040円	3,360円	－
内容	ソフトボール	ソフトボール	ソフトボール	ソフトボール	－

※令和7年度、加須はなさき公園多目的グラウンドは、夏季期間中、プール来場者のための臨時駐車場となったため、開催ができなかった。

事業名		こいのぼりマラソン大会開催事業			2412-04
担当課		スポーツ振興課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	29,164,000円	―
項	06	健康スポーツ費	最終予算額	29,164,000円	―
目	01	スポーツ総務費	決　算　額	24,316,533円	―
事業の目的		市民の健康増進や体力向上を図るとともに、健康で生きがいのある暮らしづくりに寄与するとともに、市のイメージアップを図る。			
事業の概要		市内スポーツ団体等との協働により、全国から参加する加須こいのぼりマラソン大会を開催する。			

事業の実績・成果

市民の健康増進と生涯スポーツの振興を図ることを目的とした第 30 回記念 加須こいのぼりマラソン大会が開催され、市内外から参加した 4,116 人の選手は、加須市の市街地や自然に親しむコースを堪能した。

30 回の節目を迎えた本大会では、1 回目から連続出場している 13 名のランナーに記念表彰を行った。今回も 10ｋｍのほか、大好評の親子部門やファンラン、プロキングなど、年齢や経験を問わず楽しめる種目を設け、各種団体に御協力いただき、市民との協働で賑わいのある記念大会となった。

1 開催内容

(1)開催日　　令和 7 年 12 月 7 日（日）

(2)申込者数　　4,116人（組）

※学校申込…不動岡高等学校、開智未来中学・高等学校、花咲徳栄高等学校野球部、騎西中学校陸上部

(3)種目別

種目	ｽﾀｰﾄ時間	令和 7 年度	定員
10km	9:00	1,899 人	2,500 人
5km	8:55	1,104 人	1,000 人
3km	9:00	380 人	500 人
1km	8:45	182 人	800 人
1km 親子	8:40	331 組	350 組
ファンラン	10:15	120 人	500 人
プロギング	9:00	100 人	100 人
合計		4,116 人	
うち市内（学校含む）		2,716 人	



原画提供：不動岡高等学校美術部 1 学年

(4)協賛金総額　　1,160,000 円（45 社）

(5)表彰　　各部門 10 位まで表彰（1～6 位：賞状及び賞品、7～10 位：賞状）

(6)特別表彰　　遠来賞、最高齢賞、仮装賞、記念表彰（1 回目から連続出場賞）

(7)その他　　参加賞にて手打うどん券 330 円分配布

2.参加人数の推移　　（単位：人）

	令和元年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
一般参加者	5,907	2,975	3,449	3,931	4,053
うち市内参加者割合（団体・ゲストランナーは除く）	47.70%	68.84%	59.64%	58.78%	67.01%
ゲストランナー等	30	25	30	67	63
合　計	5,937	3,000	3,479	3,998	4,116

※令和 2・3 年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

事業名		加須ふじの里駅伝大会支援事業			2412-05
担当課		スポーツ振興課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	1,332,000 円	―
項	06	健康スポーツ費	最終予算額	1,332,000 円	―
目	01	スポーツ総務費	決　算　額	1,332,000 円	―
事業の目的		市民の健康増進や体力向上を推進すること、並びに生きがいづくりや人と人との交流を通じた絆づくりに寄与する。			
事業の概要		多くの駅伝愛好者を募り、市内のスポーツ団体が主体となり、騎西総合体育館周辺道路を周回する 1.5 ㎞×5 人及び 3.0 ㎞×5 人のふじの里駅伝大会の開催を支援する。			

事業の実績・成果

第 13 回加須ふじの里駅伝大会参加者（市民）の健康増進及び体力向上に寄与するとともに、ゲストランナーとして花咲徳栄高等学校の駅伝部に参加いただき、大会を通じて人と人との交流を深めることができた。

1　補 助 金　　加須ふじの里駅伝大会加須市補助金　　1,332,000 円

2　開催内容

(1)主　催　　加須市スポーツ協会/加須市陸上競技連盟/加須ふじの里駅伝大会実行委員会

(2)開催日　　令和 8 年 3 月 8 日(日)

(3)参加費総額　1,191,215 円　(6,000 円×210 チーム ※ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ申込取扱手数料▲68,785 円
ｹﾞｽﾄﾗﾝﾅｰ 4 チーム)

(4)申込チーム　214 チーム・1,277 人(市内 65 チーム・394 人)

小学生男子	68 チーム・410 人（市内 26 ﾁｰﾑ・163 人）
小学生女子	41 チーム・243 人（市内 10 ﾁｰﾑ・ 59 人）
中学生男子	42 チーム・246 人（市内 3 ﾁｰﾑ・ 17 人）
中学生女子	18 チーム・104 人（市内 2 ﾁｰﾑ・ 12 人）
一般男子	42 チーム・254 人（市内 22 ﾁｰﾑ・130 人）
一般女子	3 チーム・ 20 人（市内 2 ﾁｰﾑ・ 13 人）

(5)種　　目　6 部門　　1.5km×5 人　小学生（男子・女子）
3.0km×5 人　中学生（男子・女子）、一般（男子・女子）

(6)コ　ー　ス　騎西総合体育館周辺コース

(7)協賛金総額　315,000 円（32 事業所）

3　参加チーム数の推移　　（単位：チーム）

	令和元年度（第 7 回）	令和 4 年度（第 10 回）	令和 5 年度（第 11 回）	令和 6 年度（第 12 回）	令和 7 年度（第 13 回）
参加チーム数	278	180	181	179	204
県内	133	109	97	126	141
うち市内	51	34	29	48	59
県外	145	71	84	53	63

※令和元年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、申込受付後、中止

※令和 2 年度（第 8 回大会）及び令和 3 年度（第 9 回大会）は、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

事業名		スポーツ教室等開催事業			2411-01
担当課		スポーツ振興課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	1,244,000円	―
項	06	健康スポーツ費	最終予算額	1,244,000円	―
目	02	スポーツ振興費	決　算　額	569,274円	―
事業の目的		スポーツへの関心を高め、スポーツ参加機会の拡充を図る。			
事業の概要		子どもから高齢者まで幅広い年齢層の方が参加できる教室を開催する。また、障がいの有無に関わらず参加できる教室を開催する。 ・ヨガピラティス教室　・硬式テニス教室　・カヌー&ヨット教室　・ニュースポーツ教室			

事業の実績・成果

・各競技の底辺拡大をはじめ、市民の健康づくり、コミュニティづくり、スポーツの振興、普及を図るため各種スポーツ教室を開催した。

○開催内容
開　催　日　令和7年6月～令和8年3月
教　室　数　17教室
参加人数　　1,356人（詳細は以下の表参照）

（単位：人）

教室名	開催場所	参加人数
みんなでスポーツ！なんでもアリーナ	騎西総合体育館	97
Do You！スポーツミックス	大利根文化体育館	106
小学生硬式テニス教室	大利根市民運動公園	8
ニュースポーツ教室	北川辺体育館	7
健康アップ講座 （スポーツ教室：骨粗しょう症予防・糖尿病予防・高血圧予防）	騎西総合体育館	延べ126
小学生スキー・スノーボード教室	群馬県片品村スノーパーク尾瀬戸倉	50
ニュースポーツ体験会	南篠崎体育館	40
ウォータースポーツ教室（カヌー&ヨット体験会）	渡良瀬遊水地	155
SOMPOボールゲームフェスタin加須	加須市民体育館・加須市民運動公園	131
スポーツフェスタ in KAZO（B5、女子野球、ｽｹﾎﾞｰ、ﾎﾞｯﾁｬ、健康測定、ダンス、レク民謡）	加須市民運動公園・パストラルかぞ 他	386
スポーツクライミング	加須市民運動公園・南篠崎体育館	250

教室数と参加者数の推移　（単位：人）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
教室数	11	12	15	13	17
参加者数	210	289	387	944	1,356

事業名		グラウンドゴルフ推進事業			2411-01
担当課		スポーツ振興課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	300,000円	―
項	06	健康スポーツ費	最終予算額	300,000円	―
目	02	スポーツ振興費	決　算　額	300,000円	―
事業の目的		グラウンド・ゴルフを通して高齢者の仲間づくりや健康づくりを推進する。			
事業の概要		グラウンド・ゴルフ協会等と連携し、市民等の愛好者が交流を図れる大会を支援する。 ・さわやかグラウンド・ゴルフ大会 （実行委員会への補助金交付） ・加須市長杯 ・宮崎義重杯 ・ふじの里グラウンド・ゴルフ大会 ・加須市老人クラブ連合会GG大会 ・市民グラウンド・ゴルフ大会			

事業の実績・成果

市民の健康の保持や体力の維持向上を図るとともに、生きがいづくりや交流により人と人との絆を深める。

1. 加須市さわやかグラウンド・ゴルフ大会

（1）補助金額の推移　（単位：円）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
さわやかグラウンド・ゴルフ大会補助金	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000

（2）参加者数の推移　（単位：人）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
さわやかグラウンド・ゴルフ	660	686	807	701	736

※関東1都6県及び県内全域から参加できる大会であるが、令和3・4年度は県内の参加者とした。

2.その他の主な大会

大　会　名	開催日（令和7年）	参加人数
加須市春季グラウンド・ゴルフ大会	4月15日（火）	228人
加須市レディスグラウンド・ゴルフ大会	5月30日（金）	208人
加須市長杯グラウンド・ゴルフ大会	6月23日（月）	488人
加須市きずな夏季グラウンド・ゴルフ大会	7月10日（木）	212人
ふじの里グラウンド・ゴルフ大会	6月14日（土）	140人
宮崎義重杯グラウンド・ゴルフ大会	9月21日（日）	661人
加須市老人クラブ連合会グラウンド・ゴルフ大会	11月27日（木）	316人
加須市秋季グラウンド・ゴルフ大会	10月9日（木）	197人
加須市グラウンド・ゴルフ協会会長杯	10月30日（木）	210人
ねんりんピックリハーサル大会	11月6日（木）	432人
加須市郵便局長杯	11月12日（水）	300人
加須市スポーツ協会会長杯　ペア大会	12月10日(水)	150組　300人

事業名		健康スポーツ推進事業			2411-07
担当課		スポーツ振興課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	142,000円	―
項	06	健康スポーツ費	最終予算額	142,000円	―
目	02	スポーツ振興費	決　算　額	121,503円	―
事業の目的		ウォーキング、ニュースポーツを通して市民の健康づくりや仲間づくりを推進する。			
事業の概要		市民がウォーキングに取り組むためのきっかけづくりとして「ウォーキング大会」の各地区での開催を促進するとともに、ニュースポーツ大会を開催する。			

事業の実績・成果

加須市スポーツ協会では、個人でもできるウォーキング事業として、ウォーキング等の記録を記入できる記録表を全戸に配布し、「健康チャレンジ2025」を開催した。積極的にウォーキング等の健康づくりを行い、市民の健康の保持増進や体力の維持向上を図ることができた。

また、各地域・地区スポーツ協会が主催となりウォーキング大会が開催された。

【開催したウォーキング事業の内容】

○「健康チャレンジ2025」

主　　催　　加須市スポーツ協会

期　　間　　令和7年10月1日（水）～令和7年12月31日（水）

参加方法　　各自が期限内に目標の歩数や距離（300,000歩以上・216ｋｍ以上等）をウォーキング・ランニングのほか、サイクリング・ラジオ体操（消費カロリーから歩数換算）し、チェックシートに記入する。

達成者数　　825人（加須401人、騎西193人、北川辺66人、大利根165人）

○市主催及び各地域・各地区スポーツ協会のウォーキング事業

大　会　名（参加者）	主催団体	日　程
健康づくりウォーキング大会（30人）	北川辺第2支部スポーツ協会	令和7年11月9日（日）
加須市健康づくりウォーク(246人)	加須市・加須市スポーツ推進委員協議会	令和7年11月15日（土）
ふじの里ウォーク ※雨天中止	騎西地域スポーツ協会	令和7年12月14日（日）
菜の花ウォーク(92人)	大利根地域スポーツ協会	令和8年3月15日（日）
不動岡地区歩け歩け大会（100人）	不動岡地区スポーツ協会	令和8年1月18日（日）
三俣地区歩け歩け大会(121名)	三俣地区スポーツ協会	令和8年3月15日（日）
礼羽地区歩け歩け大会(200名)	礼羽地区スポーツ協会	令和8年2月1日（日）
水深地区歩け歩け大会※雨天中止	水深地区スポーツ協会	令和8年2月11日（火）
地区民歩け歩け運動大会（120人）	樋遣川地区スポーツ協会	令和8年1月3日（土）
大越地区歩け歩け大会(50人)	大越地区スポーツ協会	令和8年1月30日（金）

事業名		女子硬式野球振興事業			2412-01
担当課		スポーツ振興課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	3,079,000 円	―
項	06	健康スポーツ費	最終予算額	3,079,000 円	―
目	02	スポーツ振興費	決　算　額	2,082,586 円	―
事業の目的		女子野球のさらなる推進と「女子野球の聖地」の定着を図る。			
事業の概要		全国高等学校女子硬式野球選抜大会等を推進する。 全日本女子野球連盟や埼玉西武ライオンズ・レディースと連携し、女子野球の推進と地域活性化を図る。			

事業の実績・成果

○第 27 回全国高等学校女子硬式野球選抜大会

1 大会概要　　第 16 回（平成 27 年）から加須市で開催。

大会期間	令和 8 年 3 月 20 日（祝・金）～3 月 27 日（金）　予備日：3 月 31 日まで 決勝：令和 8 年 4 月 4 日（土）		
会　　場	加須きずなスタジアム、田ケ谷サン・スポーツランド野球場、 エイジェックさくら球場、宇都宮清原球場、東京ドーム（決勝戦）		
主　　催	一般社団法人全日本女子野球連盟		
主　　管	全国高等学校女子硬式野球連盟、 全国高等学校女子硬式野球選抜大会加須市実行委員会		
特別後援	読売巨人軍、読売新聞社		
後　　援	加須市、栃木市、宇都宮市、加須市教育委員会、 栃木市教育委員会、宇都宮市教育委員会		
特別協力	東京ドーム		
参加数	56 校（チーム）	観客者数	28,500 人（内、東京ドーム 4,200 人）



2 参加チーム数の推移

年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
参加校（チーム）数	38	45	54	55	56

○埼玉西武ライオンズ・レディース

令和 2 年 7 月に連携協定を締結し、加須市を拠点に活動開始。土・日・祝日を中心に市内で練習や試合を実施。また、市内中学生を対象に野球教室を行っているほか、日本野球機構（NPB）の「笑顔のキャッチボールプロジェクト」において、市内保育所・幼稚園（34 回）で、未就学児を対象に、野球を通して、体を動かすことの大切さを教えている。

○女子野球タウンイベント

令和 2 年 11 月に全日本女子野球連盟から「女子野球タウン」認定を受け、女子野球の推進と女性の活躍を推進。令和 7 年度は幼児から高校生までを対象にベースボール体験会を加須きずなスタジアムで開催

○ＫＡＺＯきずなカップ

女子野球タウン 5 周年を記念し、令和 7 年 5 月にＫＡＺＯきずなカップを開催（観客者数 360 人）

○宮本慎也杯　女子中学軟式野球大会

令和 4 年 8 月から女子中学生軟式野球の全国大会を毎年開催

○ＮＰＢガールズトーナメント全日本女子学童軟式野球大会埼玉県予選会

令和 2 年 6 月から女子小学生軟式野球の埼玉県大会を毎年開催

○関東ヴィーナスリーグ

世界最大規模の女子野球リーグ戦が市内球場をメインに行われ、令和 7 年度は上述試合と併せて女子野球の公式試合が、市内で 287 試合開催

○ベースボール５

市内小学校（10 校）での体験授業や、令和 6 年度からは自治体初開催となるベースボール 5 大会の開催（R7:580 人参加）

事業名		クライミング普及事業			2412-01
担当課		スポーツ振興課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	3,607,000 円	―
項	06	健康スポーツ費	最終予算額	3,607,000 円	―
目	02	スポーツ振興費	決　算　額	3,606,670 円	―
事業の目的		スポーツクライミングのさらなる推進とクライミングのまちの定着を図る。			
事業の概要		・KAZO カップ、体験会、認定会等を（一社）埼玉県山岳・スポーツクライミング協会及び加須市山岳連盟と連携して開催する。 ・（公社）日本山岳・スポーツクライミング協会主催の全国高等学校選抜クライミング選手権大会の支援を行う。			

事業の実績・成果

1　第 26 回リード KAZO クライミングカップ 2025 大会
- ・主　　催　　加須市山岳連盟、（一社)埼玉県山岳・スポーツクライミング協会育委員会
- ・共　　催　　埼玉県、埼玉県教育委員会、（公財）埼玉県スポーツ協会
- ・後　　援　　加須市、加須市スポーツ協会
- ・開 催 日　　令和 7 年 5 月 25 日（日）
- ・会　　場　　加須市民体育館（加須こいのぼりクライミングウォール）
- ・参加者数　　77 人

2　コバトンリードクライミングカップ 2025/第 11 回関東小中学生選抜 SC 選手権大会　2025 埼玉県代表選考対象大会
- ・主　　催　　（一社）埼玉県山岳・スポーツクライミング協会、
  埼玉県高等学校体育連盟登山専門部
- ・共　　催　　埼玉県、埼玉県教育委員会、（公財）埼玉県スポーツ協会
- ・主　　管　　(一社)埼玉県山岳・スポーツクライミング協会競技部（競技委員会）
- ・運営協力　　加須市山岳連盟
- ・開 催 日　　令和 7 年 9 月 21 日（日）
- ・会　　場　　加須市民体育館（加須こいのぼりクライミングウォール）
- ・参加者数　　64 人

3　第 16 回全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会
- ・主　　催　　(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会
- ・主　　管　　(一社)埼玉県山岳・スポーツクライミング協会
  (公財)全国高等学校体育連盟登山専門部
- ・共　　催　　(公財)全国高等学校体育連盟
- ・後　　援　　スポーツ庁、（公財）日本スポーツ協会、埼玉県教育委員会、
  （公財)埼玉県スポーツ協会、加須市、加須市スポーツ協会、毎日新聞社
- ・協　　力　　加須市山岳連盟
- ・開 催 日　　令和 7 年 12 月 20 日（土）～21 日（日）
- ・会　　場　　加須市民体育館（加須こいのぼりクライミングウォール）
- ・参加者数　　210 人





4　体験会（全 4 回）
- ・参加者数　232 人

5　クライミングウォール利用認定会（全 3 回）
- ・参加者数　34 人

6　教室（全 10 回）
- ・参加者　一般：8 人、ジュニア：30 人

事業名		スポーツ施設整備事業			2411-16
担当課		スポーツ振興課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	5,863,000円	―
項	06	健康スポーツ費	最終予算額	5,863,000円	―
目	03	スポーツ施設費	決　算　額	5,676,000円	―
事業の目的		市内スポーツ施設の環境整備を図る。			
事業の概要		市内スポーツ施設の修繕・改修の実施、市内スポーツ施設の今後のスポーツ施設のあり方を検討し、市民の主体的な健康・スポーツ活動を支える環境を整備するための基本的な方針を策定する。			

事業の実績・成果

市内スポーツ施設の効率的・効果的な管理運営や利用者サービスの向上を図るとともに、老朽化の進行や利用状況、将来の財政の見通し、市民ニーズ等様々な面を踏まえ、今後のスポーツ施設のあり方を検討し、市民の主体的な健康・スポーツ活動を支える環境を整備するための基本的な方針として「加須市スポーツ施設整備計画」を策定した。

委託契約の概要

契 約 日：令和6年9月25日
委 託 料：9,438,000円（令和6年度分3,762,000円、令和7年度分5,676,000円）
受 注 者：㈱パスコ　さいたま支店
履行期間：令和6年9月25日～令和8年3月19日

事業名	スポーツ施設管理運営事業			2411-01
担当課	スポーツ振興課		現　年	前年度からの繰越
款 10	教育費	当初予算額	176,140,000 円	3,520,000
項 06	健康スポーツ費	最終予算額	180,085,000 円	3,520,000
目 03	スポーツ施設費	決　算　額	162,748,398 円	3,520,000
事業の目的	スポーツ施設を安全かつ円滑に利用できる環境を実現する。			
事業の概要	体育施設の適正な運営と維持管理を行い、スポーツ活動を促進する。 ・体育館 5 館 ・公園施設 16 ヶ所、30 施設			

事業の実績・成果

・安全・安心なスポーツ施設として市民に利用していただけるよう、適切な施設の維持管理を行った。

○市立体育館概要

施設名	加須市民体育館	南篠崎体育館	騎西総合体育館	北川辺体育館	大利根文化体育館
建築年	昭和 50 年	昭和 56 年	平成 11 年	昭和 53 年	昭和 55 年
延床面積(㎡)	4,165	1,238	4,938	1,982	2,831
アリーナ面積(㎡)	1,292	952	2,088	1,050	1,300
施設概要	アリーナ 可動式クライミングウォール ボルダー壁 卓球室 柔道場 剣道場 研修室 談話室 保育室	アリーナ クライミングウォール 談話室	メインアリーナ サブアリーナ トレーニング室 武道場 ランニングコース 会議室 幼児室 談話コーナー	アリーナ	アリーナ 挌技室 集会室
利用者数(人)	66,646	32,466	123,015	19,946	40,261
対前年度比(人)	△1,308	△1,893	39,270	△160	△4,112
使用料(円)	2,050,400	1,792,370	10,986,750	1,191,346	1,296,710
対前年度比(円)	△91,605	△24,370	350,310	△2,448	△376,225

○屋外体育施設概要

地域名 （施設名）	加須地域 （加須市民運動公園、鎮守前公園）	騎西地域 （騎西総合公園、騎西中央公園他）	北川辺地域 （渡良瀬総合グラウンド他）	大利根地域 （大利根運動公園、星子沼公園他）
利用者数(人)	88,294	85,270	16,741	76,206
対前年度比(人)	2,618	5,460	706	8,003
使用料(円)	1,239,725	632,800	370,800	851,600
対前年度比(円)	87,475	△80,900	△18,350	△39,000

事業名		学校体育施設開放管理運営事業			2411-18
担当課		スポーツ振興課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	4,081,000円	―
項	06	健康スポーツ費	最終予算額	4,081,000円	―
目	03	スポーツ施設費	決　算　額	3,059,623円	―
事業の目的		地域のスポーツレクリエーションの場を確保し、生涯スポーツの振興を図る。			
事業の概要		学校教育に支障のない範囲でスポーツを楽しむ団体等へ学校体育施設の貸出を行ないスポーツ活動を促進する。			

事業の実績・成果

・スポーツの普及振興を図るため、学校教育に支障のない範囲で市内小中学校の体育施設等を市民に開放した。

○学校体育施設利用状況　（単位：人）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
小中別（校数）	小学校（22校）	114,509	184,409	154,397	216,301	166,988
	中学校（5校）	11,578	9,276	14,740	20,123	15,809
合　計	（27校）	126,087	193,685	169,137	236,424	182,797

※中学校は加須東、加須平成、加須北、騎西、北川辺中の5つを使用

○学校体育施設修繕

主な工事・修繕箇所　（単位：円）

件　名	金　額
北川辺東小学校体育館床修繕	69,630
樋遣川小学校屋外トイレ鍵交換修繕	37,400
北川辺東小学校体育館コンセント修繕	8,800
北川辺西小学校体育館床修繕	79,420
礼羽小学校夜間照明設備修繕	755,920

事業名		給食センター管理運営事業			2213-01
担当課		学校給食課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	901,819,000 円	－
項	07	学校給食費	最終予算額	959,968,000 円	－
目	01	学校給食費	決　算　額	946,040,546 円	－
事業の目的		児童生徒の心身の健全な発達に資するため、学校給食センターを適正に管理運営し、栄養バランスに優れた安全安心な学校給食を提供する。			
事業の概要		各給食センターの施設を最大限に活用し栄養バランスに優れた安全安心でおいしい給食を継続的に提供する。 各給食センターの維持管理及び衛生管理の徹底を図る。また必要に応じて修繕を行う。 地場産野菜等の使用の拡大を図る。			

事業の実績・成果

・2 センターとも衛生管理を徹底した結果、事故等による給食停止日は発生せず、安全安心な給食を提供することができた。

1　給食の年間実施日数と提供食数　（日，食）

年度	令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度	
施設名	日数	提供食数	日数	提供食数	日数	提供食数	日数	提供食数	日数	提供食数
加須学校給食センター	183	1,067,965	188	1,080,074	190	1,100,151	191	1,085,036	191	1,062,379
騎西学校給食センター	183	491,205	188	489,182	190	531,414	191	568,434	191	553,120
北川辺学校給食センター	183	125,375	188	120,791	66	42,430				
計		1,684,545		1,690,047		1,673,995		1,653,470		1,615,499

【各センター別配送先】

加須学校給食センター:加須北地域の小･中学校、幼稚園、北川辺地域の小･中学校、幼稚園
大利根地域の小･中学校

騎西学校給食センター:騎西地域の小･中学校、幼稚園、加須南地域の小･中学校、幼稚園

2　一食あたりの経費の状況

区分	経費(円)	総給食数(食)	平均単価(円)	経費率(%)
賄材料費	536,520,907	1,615,499	332.11	56.71
賄材料費以外	409,519,639		253.49	43.29
計	946,040,546		585.60	100.00

3　地元農産物の使用率の推移

品目	使用量	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
白米	全体使用量(kg)	104,109	109,727	109,499	105,832	91,426
	地元農産物使用量(kg)	104,109	109,727	109,499	105,832	91,426
	地元農産物使用率(%)	100	100	100	100	100
野菜	全体使用量(kg)	120,432	111,770	108,886	112,909	121,182
	地元農産物使用量(kg)	24,041	23,590	17,213	17,837	20,906
	地元農産物使用率(%)	20.0	21.1	15.8	15.8	17.3

物価高騰に係る対応を実施した（巻末参照）。

事業名		給食を喫食していない児童･生徒の保護者へのちょこっとおたすけ絆サポート券配布事業			2213-07
担当課		学校給食課		現　年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	2,878,000 円	1,555,840 円
項	07	学校給食費	最終予算額	2,878,000 円	1,555,840 円
目	01	学校給食費	決　算　額	1,696,200 円	1,250,750 円
事業の目的		学校給食費の抜本的負担軽減のため、市立学校給食センターから提供される給食を喫食できなかった児童生徒の保護者を支援するとともに、地域経済の活性化を図るため、対象となる児童生徒の保護者に対し、「ちょこっとおたすけ絆サポート券」を配布する。			
事業の概要		【配布対象者】令和 7 年 9 月 1 日現在、加須市に住民登録がある次の児童生徒 ・平成 22 年 4 月 2 日～平成 31 年 4 月 1 日生まれ(令和 7 年 4 月から 9 月までの加須市立小中学校給食費一時免除の対象となる児童生徒を除く) 【配布物】絆サポート券 1 万円分 【対象者】約 200 人			

事業の実績・成果

・物価高騰の影響を大きく受けている子育て世帯のうち、市立学校給食センターから提供される給食を喫食しなかった児童生徒の保護者を支援するとともに、地域経済の活性化を図るため、加須市商工会が発行する「ちょこっとおたすけ絆サポート券」(児童生徒一人につき 1 万円分)を配布した。

また、配布事業の円滑な実施を図るため、ちょこっとおたすけ絆サポート券の発行等を行う加須市商工会に対し補助金を交付した。

配布状況
配布対象者数　　179 人
絆サポート券利用期間
令和 7 年 12 月 1 日から令和 8 年 5 月 31 日

物価高騰に係る対応を実施した（巻末参照）。

【前年度からの繰越事業（繰越明許）】 1,250,750 円
・前年度からの繰越事業の内容
ちょこっとおたすけ絆サポート券配布に係る事業補助金（371,250 円）、事業交付金（879,500 円）

・令和 6 年度から令和 7 年度へ繰り越した理由
絆サポート券の利用期間（令和 6 年 12 月～令和 7 年 5 月）に対応する加須市商工会の換金作業等が、令和 7 年 4 月以降となり、事業完了予定日が令和 7 年 9 月 30 日までのため。

【翌年度への繰越事業（繰越明許）】 970,940 円
・翌年度への繰越事業の内容
ちょこっとおたすけ絆サポート券配布に係る郵便料（32,884 円）、事業補助金（452,556 円）、事業交付金（485,500 円）

・令和 7 年度から令和 8 年度へ繰り越す理由
絆サポート券の利用期間（令和 7 年 12 月～令和 8 年 5 月）に対応する加須市商工会の換金作業等が、令和 8 年 4 月以降となり、事業完了予定日が令和 8 年 9 月 30 日までのため。

事業名		市債元金償還事業			5311-08
担当課		財政課		現　年	前年度からの繰越
款	11	公債費	当初予算額	3,089,449,000円	―
項	01	公債費	最終予算額	3,089,418,000円	―
目	01	元金	決　算　額	3,085,325,543円	―
事業の目的		市債に係る元金について、管理、償還する。			
事業の概要		・市債元金の償還			
事業の実績・成果					
・ 市債の元金を3,085,325,543円償還した。					

事業名		市債利子支払事業			5311-09
担当課		財政課		現　年	前年度からの繰越
款	11	公債費	当初予算額	57,706,000円	―
項	01	公債費	最終予算額	57,737,000円	―
目	02	利子	決　算　額	57,730,444円	―
事業の目的		市債に係る利子について、管理、支払いを行う。			
事業の概要		・市債利子の支払い			
事業の実績・成果					
・市債の利子を 57,730,444円支払った。					

事業名		予備費			5311-28
担当課		財政課		現　年	前年度からの繰越
款	12	予備費	当初予算額	50,000,000円	―
項	01	予備費	最終予算額	50,000,000円	―
目	01	予備費	決　算　額	※各充当先にて計上	―
事業の目的		予算外の支出又は予算超過の支出に充てるため、歳入歳出予算に計上する。			
事業の概要		・不測の事態が生じた場合、予備費充用により対応する。			

事業の実績・成果

款-項-目	事業名称	課名	充用額（円）	摘要
02-01-01	法務相談事業	総務課	772,000	住民票職権消除の申立に対する事務手続に関する損害賠償請求訴訟の弁護士費用に対応
02-01-01	法務相談事業	総務課	443,000	農地転用の不許可処分に関する取消請求訴訟の弁護士費用に対応
02-01-01	法務相談事業	総務課	110,000	旧騎西コミュニティセンター藤棚の損壊事故に関する損害賠償請求事件の示談交渉に係る弁護士費用に対応
02-01-05	庁舎維持管理事業	総務課	2,360,000	北川辺健康福祉センター空調設備更新工事に対応
02-01-15	コミュニティセンター管理運営事業	市民協働推進課	2,838,000	三俣コミュニティセンター空調設備修繕工事に対応
02-01-15	コミュニティセンター管理運営事業	市民協働推進課	1,947,000	花崎コミュニティセンター空調設備修繕工事に対応
02-01-15	コミュニティセンター管理運営事業	市民協働推進課	813,000	原道コミュニティセンター調理実習室ガス管改修工事に対応
02-01-15	コミュニティセンター管理運営事業	市民協働推進課	644,000	豊野コミュニティセンター駐車場隣接フェンスの損傷に伴う賠償金の支払いに対応
02-01-15	コミュニティセンター整備事業	市民協働推進課	1,353,000	豊野コミュニティセンター駐車場車止め設置工事に対応
03-01-01	中国残留邦人等支援事業	生活福祉課	3,935,000	中国残留邦人等支援事業に係る医療給付費に対応
03-02-03	公立保育所管理運営事業	こども保育課	2,326,000	第四保育所空調設備更新工事に対応
04-02-02	大利根クリーンセンターごみ処理事業	資源リサイクル課	9,570,000	大利根クリーンセンターごみ焼却施設ごみクレーン緊急修繕に対応
10-04-01	公立幼稚園管理運営事業	こども保育課	1,430,000	三俣幼稚園空調設備更新工事に対応
10-06-01	スポーツ普及推進事業	スポーツ振興課	3,000,000	学校法人佐藤栄学園花咲徳栄高等学校 第98回選抜高等学校野球大会出場に伴う補助金に対応
10-07-01	給食センター管理運営事業	学校給食課	1,045,000	加須学校給食センター冷蔵庫更新費用に対応
合計			32,586,000	

Ⅲ　特別会計の状況

国民健康保険事業（特別会計）　国保年金課

【財政の状況】

歳　入

区　分	令和7年度				令和6年度			
	決算額（千円）	構成比（%）	前年比（%）	※被保険者一人当たり額（円）	決算額（千円）	構成比（%）	前年比（%）	※被保険者一人当たり額（円）
国民健康保険税	2,292,665	19.5	3.6	102,562	2,212,353	19.0	0.7	94,488
使用料及び手数料	0	0	0	0	0	0	0	0
国庫支出金	18,799	0.2	259.7	841	5,227	0.0	818.6	223
県支出金	8,045,667	68.4	△2.2	359,921	8,229,652	70.6	△3.7	351,484
繰入金	1,159,467	9.9	5.7	51,868	1,096,441	9.4	13.6	46,828
繰越金	220,275	1.9	160.2	9,854	84,651	0.7	10.9	3,615
諸収入	22,822	0.2	8.5	1,021	21,025	0.2	31.2	898
合計	11,759,696	100.0	0.9	526,067	11,649,348	100.0	△1.3	497,538

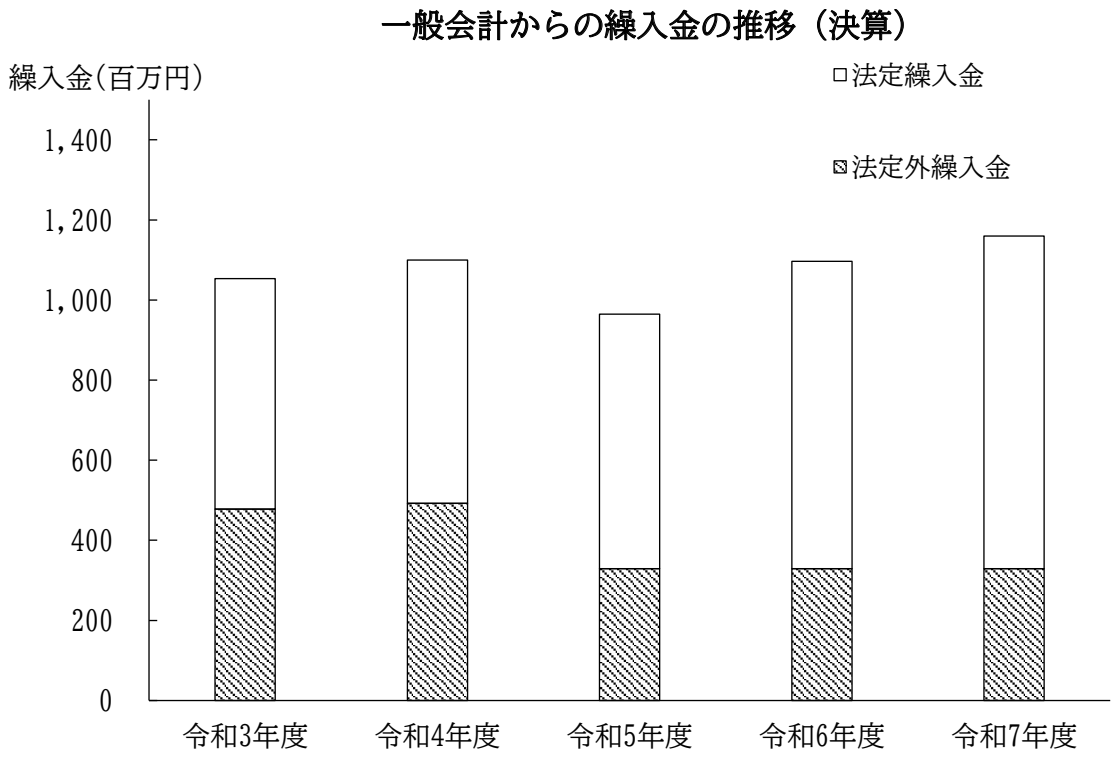
歳　出

区　分	令和7年度				令和6年度			
	決算額（千円）	構成比（%）	前年比（%）	※被保険者一人当たり額（円）	決算額（千円）	構成比（%）	前年比（%）	※被保険者一人当たり額（円）
総務費	153,229	1.4	7.3	6,855	142,800	1.2	2.3	6,099
保険給付費	7,912,048	70.2	△2.2	353,943	8,085,982	70.7	△3.4	345,348
国民健康保険事業費納付金	3,040,523	27.0	0.0	136,017	3,039,152	26.6	0.1	129,801
共同事業拠出金	－	－	－	－	0	0	0	0
財政安定化基金拠出金	0	0	0	0	0	0	0	0
保健事業費	104,927	0.9	△1.8	4,694	106,803	0.9	1.5	4,562
諸支出金	65,155	0.6	19.9	2,915	54,337	0.5	△19.1	2,321
合計	11,275,882	100.0	△1.3	504,423	11,429,073	100.0	△2.5	488,130

※　表示単位未満四捨五入のため、各欄と合計が一致しない場合がある。次頁以降の表も同じ。
※　被保険者一人当たり額は、各年度の年間平均被保険者数により算出
（令和7年度：22,354人・令和6年度：23,414人）

■ 一般会計からの繰入金の推移　　（単位：千円）

		令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
予算	繰入金額	1,326,999	1,277,655	1,140,783	1,240,136	1,164,317
	うち法定外繰入金	755,928	715,386	530,005	527,581	399,259
決算	繰入金額	1,053,293	1,099,323	964,762	1,096,441	1,159,467
	うち法定外繰入金	478,000	492,400	329,500	329,300	329,000



【国民健康保険事業の状況】

1　加入状況（年間平均）

		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
世帯数	総世帯	48,526 世帯	49,247 世帯	50,222 世帯	51,092 世帯	51,815 世帯
	国保世帯	16,736 世帯	16,341 世帯	15,922 世帯	15,482 世帯	15,071 世帯
	加入割合	34.5%	33.2%	31.7%	30.3%	29.1%
人口	総人口	112,323 人	112,116 人	112,171 人	112,018 人	111,840 人
	被保険者数	26,707 人	25,558 人	24,446 人	23,414 人	22,354 人
	加入割合	23.8%	22.8%	21.8%	20.9%	20.0%

2　被保険者の内訳（年間平均）　（単位：人）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
総　数	26,707 人 (100.0%)	25,558 人 (100.0%)	24,446 人 (100.0%)	23,414 人 (100.0%)	22,354 人 (100.0%)
65 歳未満	13,126 人 (49.1%)	12,498 人 (48.9%)	12,034 人 (49.2%)	11,682 人 (49.9%)	11,325 人 (50.7%)
65 歳以上 74 歳以下	13,581 人 (50.9%)	13,060 人 (51.1%)	12,412 人 (50.8%)	11,732 人 (50.1%)	11,028 人 (49.3%)

3　保険税率等の推移

【令和 3 年度】　（単位：円）

	医療給付費分			後期高齢者支援金分			介護納付金分		
	所得割	均等割	限度額	所得割	均等割	限度額	所得割	均等割	限度額
加須市保険税率	7.50%	21,000	630,000	2.30%	9,500	190,000	2.40%	11,000	170,000
市標準保険税率	6.45%	37,918	630,000	2.43%	13,957	190,000	2.60%	18,993	170,000

【令和 4 年度】　（単位：円）

	医療給付費分			後期高齢者支援金分			介護納付金分		
	所得割	均等割	限度額	所得割	均等割	限度額	所得割	均等割	限度額
加須市保険税率	7.50%	23,000	630,000	2.30%	10,500	190,000	2.40%	11,000	170,000
市標準保険税率	6.51%	39,718	650,000	2.39%	14,096	200,000	2.53%	18,365	170,000

【令和 5 年度】　（単位：円）

	医療給付費分			後期高齢者支援金分			介護納付金分		
	所得割	均等割	限度額	所得割	均等割	限度額	所得割	均等割	限度額
加須市保険税率	7.50%	27,700	650,000	2.30%	10,500	200,000	2.40%	11,000	170,000
市標準保険税率	6.24%	37,728	650,000	2.71%	15,857	220,000	2.30%	16,687	170,000

【令和 6 年度】　（単位：円）

	医療給付費分			後期高齢者支援金分			介護納付金分		
	所得割	均等割	限度額	所得割	均等割	限度額	所得割	均等割	限度額
加須市保険税率	7.50%	32,700	650,000	2.30%	10,500	220,000	2.40%	11,000	170,000
市標準保険税率	6.77%	40,188	650,000	2.85%	16,456	240,000	2.32%	16,402	170,000

【令和 7 年度】　（単位：円）

	医療給付費分			後期高齢者支援金分			介護納付金分		
	所得割	均等割	限度額	所得割	均等割	限度額	所得割	均等割	限度額
加須市保険税率	7.50%	40,700	650,000	2.30%	10,500	240,000	2.40%	11,000	170,000
市標準保険税率	6.92%	42,446	660,000	2.73%	16,485	260,000	2.22%	15,993	170,000

4　調定額の推移

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
現年度分（千円）	2,292,481	2,250,225	2,213,701	2,231,337	2,355,741
滞納繰越分（千円）	401,744	375,126	328,110	271,634	247,678
被保険者数（人）	26,707	25,558	24,446	23,414	22,354

5　低所得者軽減の内訳　（単位：円）

区分	種別	均等割	
		世帯数	税額
7 割	医療分	4,924	151,387,071
	後期分	4,924	39,198,976
	介護分	2,010	14,455,896
5 割	医療分	2,339	69,492,270
	後期分	2,338	17,975,399
	介護分	834	4,610,740
2 割	医療分	1,942	23,716,201
	後期分	1,942	6,132,525
	介護分	606	1,320,115
合計	医療分	9,205	244,595,542
	後期分	9,204	63,306,900
	介護分	3,450	20,386,751

※7 割・5 割・2 割…前年所得が一定額以下の世帯について、
　均等割額の軽減が適用されます。

6　保険税収納状況　（単位：円）

種別	調定額 A	収納額 B	不納欠損額 C	未収額 A-B-C	収納率 B／A
現年度分	2,355,740,500	2,221,474,560	31,500	134,234,440	94.3%
医療分	1,695,060,880	1,602,146,256	24,200	92,890,424	94.5%
後期分	496,669,861	469,328,836	7,300	27,333,725	94.5%
介護分	164,009,759	149,999,468	－	14,010,291	91.5%
滞納繰越分	247,677,708	71,190,637	45,221,544	131,265,527	28.7%
医療分	165,863,890	48,137,350	29,683,497	88,043,043	29.0%
後期分	54,320,231	15,357,906	10,173,284	28,789,041	28.3%
介護分	27,493,587	7,695,381	5,364,763	14,433,443	28.0%
計	2,603,418,208	2,292,665,197	45,253,044	265,499,967	88.1%

7　保険税収納率状況（現年度分）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収納率	94.0%	94.3%	94.6%	94.9%	94.3%

8　一人当たり・一世帯当たり保険税収納状況　（単位：円）

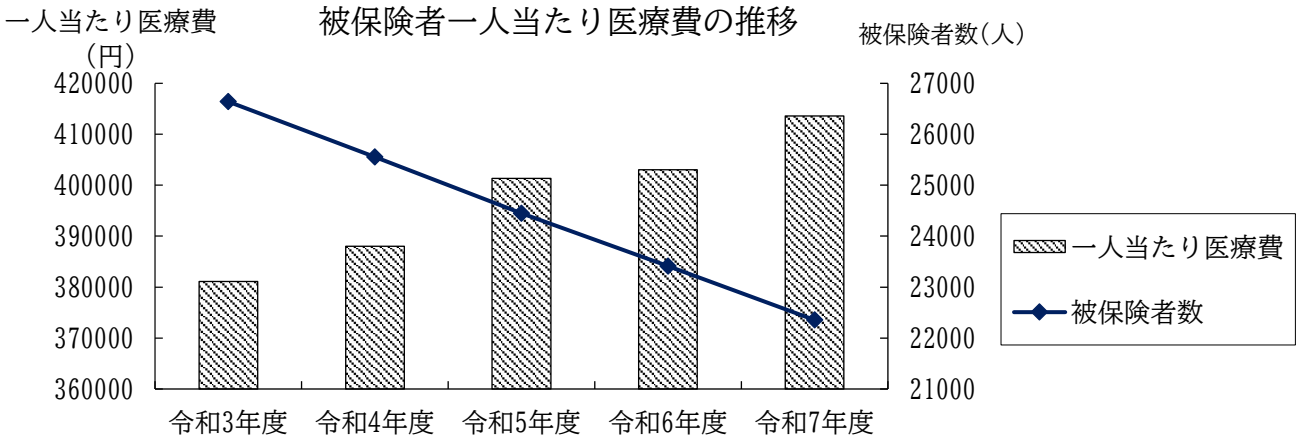
種別	一人当たり		一世帯当たり	
	調定額	収納額	調定額	収納額
現年度分	105,383	99,377	156,310	147,401
医療分	75,828	71,672	112,472	106,307
後期分	22,218	20,995	32,955	31,141
介護分	7,337	6,710	10,882	9,953
滞納繰越分	11,080	3,185	16,434	4,724
医療分	7,420	2,153	11,005	3,194
後期分	2,430	687	3,604	1,019
介護分	1,230	344	1,824	511
計	116,463	102,562	172,744	152,124

9　医療給付の状況　（単位：円）

	件数	費用額①+②+③	保険者負担分①	一部負担金②	他法負担分③
療養の給付	378,982件	9,179,585,618	6,753,734,777	2,310,353,096	115,497,745
療養費	5,685件	65,551,149	47,706,622	16,771,477	1,073,050
移送費	2件	176,551	154,446	22,105	0
計	384,669件	9,245,313,318	6,801,595,845	2,327,146,678	116,570,795

10　一人当たり医療給付の状況　　（単位：円）

	件　数	費用額①+②+③	保険者負担分①	一部負担金②	他法負担分③
療養の給付	16.95 件	410,646	302,126	103,353	5,167
療　養　費	0.25 件	2,932	2,134	750	48
移　送　費	0.00 件	8	7	1	0
計	17.21 件	413,587	304,268	104,104	5,215



	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
医療費総額（千円）	10,153,786	9,917,341	9,811,787	9,436,200	9,245,313
被保険者数（人）	26,707	25,558	24,446	23,414	22,354
一人当たり医療費（円）	380,192	388,033	401,366	403,015	413,587

11　療養の給付内訳

		件 数(件)	一人当たり件数(件)	日 数（日）	一人当たり日数(日)	費 用 額(円)	一人当たり費用額(円)
診療費	入　院	5,152	0.2	78,246	3.5	3,252,520,392	145,501
	入院外	194,976	8.7	283,038	12.7	3,322,829,776	148,646
	歯　科	48,238	2.2	74,169	3.3	580,057,017	25,949
調　剤		128,821	5.8	－	－	1,699,541,726	76,029
食事療養		－	－	－	－	149,036,687	6,667
訪問看護		1,795	0.1	15,448	0.7	175,600,020	7,855
計		378,982	17.0	450,901	20.2	9,179,585,618	410,646

12　高額療養費支給状況

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
件数（件）	18,148	17,925	18,274	17,519	17,827
支給額（円）	1,105,147,811	1,041,538,501	1,079,028,453	1,070,907,132	1,045,612,817

13　出産育児一時金支給状況

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
件数（件）	70	55	55	50	56
支給額（円）	29,357,730	23,107,820	27,899,010	25,579,990	27,391,630

14　葬祭費支給状況

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
件数（件）	191	254	190	208	179
支給額（円）	9,550,000	12,700,000	9,500,000	10,400,000	8,950,000

15　国民健康保険事業費納付金の状況　（単位：千円）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
事業費納付金　合計	3,179,139	3,204,672	3,035,553	3,039,152	3,040,523
医療給付費分	2,145,331	2,196,492	2,010,567	2,035,380	2,071,016
後期高齢者支援金等分	755,143	742,156	791,568	781,499	753,889
介護納付金分	278,665	266,024	233,417	222,273	215,617
1 人当たり納付金額	119	125	124	130	136

※平成 30 年度からの国民健康保険の県単位化(広域化)に伴い埼玉県に納付

16　保養施設利用助成状況　（単位：人）

		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
延べ利用者数	大　人	188	129	163	160	120
	小　人	0	3	1	0	1
延べ利用者総数		188	132	164	160	121

※助成単価（大人：3,000 円/人・小人：1,500 円/人）

17　人間ドック・脳ドック助成状況

		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
人間ドック	利用者数(人)	723	796	707	679	642
	助成金額(円)	14,460,000	15,911,900	14,131,900	13,566,180	12,795,000
脳ドック	利用者数(人)	58	58	31	34	21
	助成金額(円)	1,160,000	1,160,000	620,000	680,000	420,000
併診ドック	利用者数(人)	－	－	103	171	138
	助成金額(円)	－	－	3,090,000	5,130,000	4,140,000

※令和 5 年度から併診ドックを開始

18　国保健診(特定健康診査)等実施状況　　(特定健康診査等事業)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度※
国保健診(特定健康診査)	対象者数(人)	19,013	16,031	17,158	16,196	15,671
	受診者数(人)	6,781	6,638	6,760	6,534	6,273
	受診率(%)	35.7	41.4	39.4	40.3	40.0
特定保健指導	対象者数(人)	782	762	652	749	716
	実施者数(人)	115	195	203	237	98
	実施率(%)	14.7	25.6	31.1	31.7	13.7

※令和7年度受診率、実施率は暫定値(令和8年4月末現在)、確定は令和8年11月

19　生活習慣病重症化予防対策実施状況　　(糖尿病性腎症重症化予防対策事業)

		令和6年度	令和7年度	事業内容
未受診者等への受診勧奨	対象者数(人)	117	109	糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者や受診中断者に対して受診勧奨通知書を送付し、糖尿病性腎症ハイリスク者を医療につなげ、早期治療を促し重症化を防止した。
糖尿病性腎症で通院する患者への保健指導	対象者数(人)	411	391	糖尿病の重症化リスクの高い者のうち、保健指導プログラムへの参加について、本人及びかかりつけ医の同意があった者に対して保健指導を実施した。
	実施者数(人)	6	16	
	実施率(%)	1.5	4.1	

20　国保運営協議会開催状況

	開催日 出席委員数	協議事項
第1回	7月29日 (11人出席)	1　令和6年度加須市国民健康保険事業特別会計決算(案)について 2　令和6年度加須市国民健康保険直営診療所特別会計決算(案)について 3　加須市国民健康保険データヘルス計画の進捗状況について
第2回	12月22日 (15人出席)	1　令和8年度 国民健康保険事業の賦課方法について
第3回	1月20日 (13人出席)	1　加須市国民健康保険事業の賦課方法(答申案)について 2　加須市国民健康保険税条例の一部を改正する条例(案)について 3　令和8年度加須市国民健康保険事業特別会計予算(案)について 4　令和8年度加須市国民健康保険直営診療所特別会計予算(案)について 5　令和7年度加須市国民健康保険事業特別会計補正予算(案)について

国民健康保険直営診療所（特別会計）　いきいき健康医療課

【財政の状況】

歳　入

区　　分	令和7年度		令和6年度	
	決算額（円）	構成比（%）	決算額（円）	構成比（%）
診療収入	62,328※	0.3	72,446,239	76.5
使用料及び手数料	0	0.0	8,000	0.0
財産収入	38,734	0.2	618	0.0
繰入金	0	0.0	0	0.0
繰越金	19,444,109	99.3	22,184,556	23.4
諸収入	40,335	0.2	65,604	0.1
歳　入　合　計	19,585,506	100.0	94,705,017	100.0

※返戻再請求、医療保険間の振替による収入。

歳　出

区　　分	令和7年度		令和6年度	
	決算額（円）	構成比（%）	決算額（円）	構成比（%）
総務費	3,960,022	87.9	49,820,466	66.2
医業費	505,340	11.2	25,049,214	33.3
施設整備費	0	0.0	390,610	0.5
基金積立金	38,734	0.9	618	0.0
公債費	0	0.0	0	0.0
予備費	0	0.0	0	0.0
歳　出　合　計	4,504,096	100.0	75,260,908	100.0

・医療職職員が令和7年3月31日付けで退職したことに伴い、令和7年4月1日から令和8年3月31日まで休診。

後期高齢者医療（特別会計）　国保年金課

【財政の状況】

歳　入

区　分	令和7年度				令和6年度			
	決算額（千円）	構成比（%）	前年比（%）	被保険者一人当たり額（円）	決算額（千円）	構成比（%）	前年比（%）	被保険者一人当たり額（円）
後期高齢者医療保険料	1,438,126	79.1	10.7	78,015	1,298,663	78.8	16.7	73,612
使用料及び手数料	－	－	－	－	－	－	－	－
寄附金	－	－	－	－	－	－	－	－
繰入金	341,407	18.8	2.6	18,520	332,716	20.2	9.8	18,859
繰越金	16,564	0.9	71.1	899	9,678	0.6	△29.7	549
諸収入	9,282	0.5	36.1	504	6,820	0.4	△85.8	387
国庫支出金	12,155	0.7	-	659	－	－	－	－
合　計	1,817,533	100.0	10.3	98,597	1,647,877	100.0	11.5	93,407

歳　出

区　分	令和7年度				令和6年度			
	決算額（千円）	構成比（%）	前年比（%）	被保険者一人当たり額（円）	決算額（千円）	構成比（%）	前年比（%）	被保険者一人当たり額（円）
総務費	39,083	2.2	90.4	2,120	20,530	1.3	△69.8	1,164
後期高齢者医療広域連合納付金	1,755,238	97.8	9.1	95,217	1,609,531	98.7	15.2	91,233
諸支出金	1,195	0.1	△4.6	65	1,253	0.1	△37.1	71
合　計	1,795,516	100.0	10.1	97,402	1,631,314	100.0	11.1	92,468

※表示単位未満四捨五入のため、各欄と合計が一致しない場合がある。
※被保険者一人当たり額は、各年度の平均被保険者数に基づき算出。
（令和7年度：18,434人　令和6年度：17,642人）

【後期高齢者医療保険事業の状況】

1　加入状況（年間平均）　（単位：人）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
総　数	15,141	15,987	16,772	17,642	18,434
75歳未満	221	222	210	197	183
75歳以上	14,920	15,765	16,562	17,445	18,251

2　保険料率等の推移　（単位：円）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
均等割額	41,700	44,170	44,170	45,930	45,930
所得割率（%）	7.96	8.38	8.38	9.03	9.03
賦課限度額	640,000	660,000	660,000	800,000	800,000

3　保険料収納状況　（単位：円）

種　別	調　定　額	収　納　額	不納欠損額	未　収　額	収納率（%）
現年度分	1,439,741,000	1,434,280,800	0	5,460,200	99.6
特別徴収	755,872,600	757,890,400	0	△2,017,800	100.3
普通徴収	683,868,400	676,390,400	0	7,478,000	98.9
滞納繰越分	13,637,840	3,845,540	3,974,400	5,817,900	28.2
計	1,453,378,840	1,438,126,340	3,974,400	11,278,100	99.0

4　不納欠損状況

【保険料】

賦課年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合　計
人数(人)	43	49	27	86
金額(円)	1,526,800	1,631,100	816,500	3,974,400

※複数年度で欠損になった者がいるため、人数の合計欄が各年度の欠損人数の合計数と一致しない。

【延滞金】

賦課年度	平成28年度から令和4年度
人数(人)	21
金額(円)	85,300

5　一人当たり保険料収納状況　　（単位：円）

種　別	一人当たり	
	調　定　額	収　納　額
現年度	78,102	77,806

6　一人当たり医療費の推移　　（単位：円）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
医 療 費	777,973	805,358	814,402	831,121	822,031

7　一般会計からの繰入金　　（単位：千円）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
繰 入 金	258,771	290,608	302,945	332,716	341,407

8　保養施設利用助成状況　　（単位：人）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
利用者数	144	142	271	291	254

※ 助成単価　3,000 円／泊

9　人間ドック・脳ドック助成状況　　（単位：人）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
人間ドック	127	172	192	232	274
脳ドック	16	22	14	26	14
併診ドック			40	80	66

※ 助成単価　人間ドック及び脳ドック　上限 20,000 円／件、併診ドック　上限 30,000 円／件

介護保険事業（特別会計）　高齢介護課

【財政の状況】

歳　入

区　分	令和7年度				令和6年度			
	決算額（千円）	構成比（%）	前年比（%）	第1号被保険者一人当たり額（円）	決算額（千円）	構成比（%）	前年比（%）	第1号被保険者一人当たり額（円）
保険料	2,623,757	22.9	2.2	74,013	2,566,271	23.4	3.7	72,794
分担金及び負担金	4,011	0.0	-0.2	113	4,018	0.0	3.1	114
使用料及び手数料	0	0.0	-	0	0	0.0	-	0
国庫支出金	2,027,054	17.7	2.8	57,181	1,971,715	18.0	0.1	55,929
支払基金交付金	2,646,383	23.1	4.2	74,651	2,540,704	23.1	2.1	72,069
県支出金	1,618,639	14.1	2.5	45,660	1,578,511	14.4	1.6	44,775
財産収入	2057	0.0	3933.3	58	51	0.0	121.7	1
繰入金	1,887,254	16.5	7.4	53,237	1,756,582	16.0	7.2	49,826
繰越金	625,880	5.5	11.5	17,655	561,371	5.1	△18.2	15,924
諸収入	10,237	0.1	453.4	289	1,850	0.0	0.7	52
合計	11,445,272	100.0	4.2	322,857	10,981,072	100.0	1.5	311,484

歳　出

区　分	令和7年度				令和6年度			
	決算額（千円）	構成比（%）	前年比（%）	第1号被保険者一人当たり額（円）	決算額（千円）	構成比（%）	前年比（%）	第1号被保険者一人当たり額（円）
総務費	123,050	1.1	13.1	3,471	108,832	1.1	3.7	3,087
保険給付費	9,579,573	89.0	3.8	270,228	9,228,700	89.1	2.4	261,777
基金積立金	272,057	2.5	29.5	7,674	210,051	2.0	△28.8	5,958
地域支援事業費	427,838	4.0	△5.9	12,069	454,838	4.4	3.8	12,902
諸支出金	361,768	3.4	2.6	10,205	352,771	3.4	△11.9	10,007
予備費	0	0.0	-	0	0	0.0	-	0
合計	10,764,286	100.0	4.0	303,647	10,355,193	100.0	1.0	293,731

※表示単位未満四捨五入のため、各欄と合計が一致しない場合がある。
※第1号被保険者数　令和8年3月31日35,450人、令和7年3月31日35,254人（介護保険事業状況報告より）

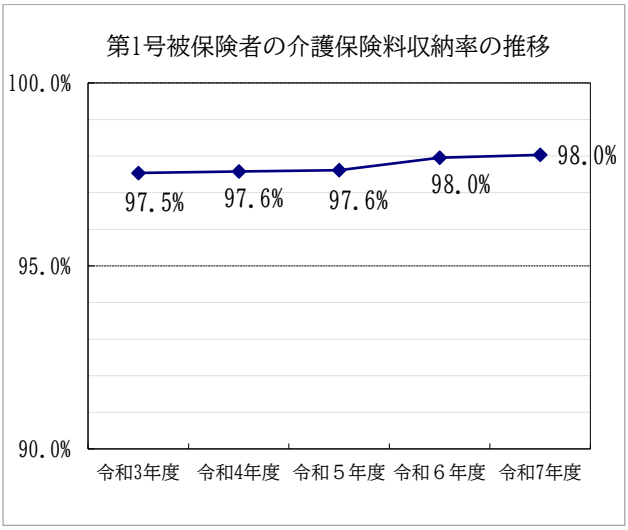
【保険事業】

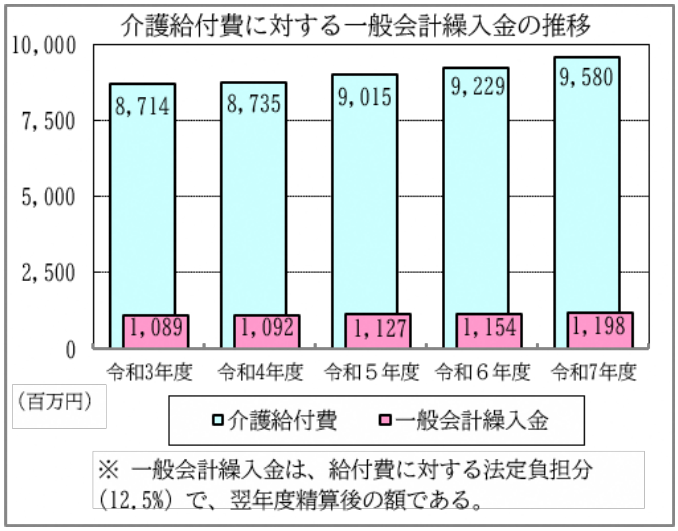
1　第１号被保険者数と要介護（要支援）認定者数　（単位：人）

	令和４年３月末	令和５年３月末	令和６年３月末	令和７年３月末	令和８年３月末
第１号被保険者	34,208	34,580	35,050	35,254	35,450
認定者（合計）	5,256	5,323	5,464	5,663	5,813
要支援１	435	471	435	528	569
要支援２	620	655	620	643	665
要介護１	1,187	1,233	1,187	1,317	1,282
要介護２	960	970	960	1,028	1,027
要介護３	870	846	870	880	936
要介護４	730	743	730	773	821
要介護５	521	546	521	494	513

2　保険給付の状況　（単位：円）

	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
居宅サービス費	3,587,788,450	3,665,944,535	3,928,994,402	4,146,913,077	4,345,079,032
地域密着型サービス費	707,900,599	773,483,945	767,115,034	729,924,495	821,437,538
施設サービス費	3,787,233,267	3,709,975,269	3,732,947,307	3,766,688,751	3,822,106,929
高額介護サービス費	220,612,795	222,602,932	232,061,306	238,121,099	252,268,752
高額医療合算サービス費	29,713,257	29,668,999	28,739,581	31,175,688	32,246,817
特定入所者介護ｻｰﾋﾞｽ費	376,323,991	328,972,810	320,460,119	310,674,113	300,993,208
審査支払費	4,660,000	4,840,440	5,022,320	5,202,880	5,441,320
合　計	8,714,232,359	8,735,488,930	9,015,340,069	9,228,700,103	9,579,573,596





3　第１号被保険者の保険料収納状　（単位：円）

区　分		調定額	収納額	不納欠損額	還付未済額	収入未済額	収納率（%）
現年度	特別徴収	2,390,507,510	2,393,511,910	0	3,004,400	0	100.1
	普通徴収	246,574,800	226,916,180	0	192,020	19,850,640	92.0
滞納繰越	普通徴収	39,290,000	3,329,280	17,121,720	0	18,839,000	8.47
合　計		2,676,372,310	2,623,757,370	17,120,720	3,196,420	38,689,640	98.0

【介護人材確保対策事業】

増加する介護需要への対応として、市内の介護サービス事業所等に従事する介護職員を確保するため、介護に関する基本的な知識や技術を学ぶことを内容とした入門的研修を実施するとともに、新たに介護資格を取得した者に補助金を交付した。

1 介護に関する入門的研修

実施日　令和 7 年 10 月 15､16､20､22､23 日　　参加者数 20 人

2 介護職員資格取得支援補助金

補助金交付者数 5 人（介護支援専門員 0 人、介護福祉士 5 人）

介護人材の不足が懸念される介護施設等を支援するとともに、高齢者が市内の介護施設等で行うボランティア活動を通じて、社会参加や地域貢献することを支援し、本人の健康づくりと介護予防を推進することを目的とし、シニアボランティアポイント事業を実施した。

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
登録者数	－	－	－	－	19

【地域支援事業】

4　地域支援事業費

1-1　介護予防・生活支援サービス事業費

01:介護予防・生活支援サービス等事業

元気あっぷ通所型サービス　（単位:人）

事業名	利用者数	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
元気あっぷ	新規人数	106	129	116	148
通所サービスＳ事業	延べ人数	3,845	3,998	4,159	4,506
元気あっぷ	新規人数	2	4	6	1
通所サービスＡ事業	延べ人数	62	69	132	121
元気あっぷ	実人数	39	40	37	39
通所サービスＣ事業	延べ人数	367	408	372	408

元気あっぷ訪問型サービス　（単位:人）

事業名	利用者数	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
元気あっぷ	新規人数	34	37	34	56
訪問サービスＳ事業	延べ人数	1,528	1,485	1,415	1,560
元気あっぷ	新規人数	2	3	3	0
訪問サービスＡ事業	延べ人数	145	120	100	73
元気あっぷ	実人数	0	0	0	0
訪問サービスＢ事業	延べ人数	0	0	0	0

1-2　介護予防ケアマネジメント事業費

01:介護予防ケアマネジメント事業

適切なアセスメントを行い、高齢者の状況をもとにした目標を設定し、高齢者自身が目標を理解し、目標達成に必要なサービスを主体的に利用できるようケアプランを作成した。

なお、平成 29 年度から介護予防・日常生活支援総合事業を開始したことにより、介護予防ケアマネジメントが 3 種類となった。

（単位:件）

ケアマネジメントの類型	実施件数	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
介護予防ケアマネジメントA	新規件数	127	154	148	161
	延べ件数	3,781	3,863	4,014	3,551
介護予防ケアマネジメントB	実件数	37	38	37	32
	延べ件数	73	77	60	65
介護予防ケアマネジメントC	新規件数	0	0	0	0
	延べ件数	0	0	0	0

2-1　一般介護予防事業費

01:ふれあいサロン事業

身近な場所に仲間との交流の場を提供し、高齢者のおしゃべりや運動の機会を増やすことで、閉じこもりや認知機能の低下を予防するふれあいサロン活動の継続及び立ち上げを支援した。

また、埼玉県地域リハビリテーション・ケアサポートセンターの指定をうける市内医療機関と連携し、リハビリ専門職がふれあいサロンへ巡回しロコモ度テスト（ロコモ２５・立ち上がりテスト・２ステップテスト）及び握力測定や加須転倒無止体操への助言、指導、健康相談を行い、ロコモティブシンドロームの予防や普及啓発を図ることができた。

（単位：箇所）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
ふれあいサロン数	127	135	132	136	142
再掲:新規立ち上げ数	8	11	5	7	10

新規立ち上げ数　（単位：回、人）

サロン名（会場）	回数	参加者（実人数）	サポーター（実人数）
ゆったりヨガ（加須コミュニティセンター）	12	19	2
まったりヨガ（加須コミュニティセンター）	5	14	2
フィーバーズ（花崎コミュニティセンター）	24	8	0
花崎北健康サロン（花崎北集会所）	13	24	2
暮しのカフェ（アローロカフェ）	30	24	2
ほのぼのさあくる（下谷区民会館）	9	14	2
わかめ倶楽部（北川辺健康福祉センター）	8	5	2
なかよしサロン（堀北 1 区集会所）	10	9	1
自然としたしむ会（新川通集会所）	12	11	0
三八会（新川通集会所）	12	8	0

リハビリ専門職によるサロン巡回

	令和 6 年度	令和 7 年度
巡回サロン数	28	27
参加者数	265	270

02:元気はつらつ介護予防事業

「わかめ（わかいのらだをめざそう）倶楽部」では、転倒予防体操や脳のトレーニングを実施し、介護予防に関する普及啓発等を一体的に取り組み、市民の生活機能の維持向上を図ることができた。

さらに、地域において高齢者の介護予防の取組を支援する「介護予防サポーター」の養成講座を開催し、新たに 12 人の介護予防サポーターを養成することができた。

また、認知症講演会を開催し、認知症予防に関する普及啓発を図ることができた。

介護予防教室の開催状況　（単位：回、人）

	令和 3 年度（あたまの健康教室）	令和 4 年度（わかめ倶楽部）	令和 5 年度（わかめ倶楽部）	令和 6 年度（わかめ倶楽部）	令和 7 年度（わかめ倶楽部）
開催回数	72	16	16	16	16
参加者（実人数）	46	54	50	51	58

※令和 3 年度までは、あたまの健康教室の実績を計上。令和 4 年度以降は、あたまの健康教室と元気はつらつ体操教室を統合した介護予防教室「わかめ倶楽部」の実績を計上

介護予防サポーターの登録状況　（単位：人）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
登録者数	105	119	132	146	154

※令和 7 年度 新規登録者 12 人 登録者の内､活動休止の申出者 15 人

介護予防普及啓発講座等の実施状況　（単位：回、人）

	令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
加須･大桑･水深 高齢者相談センター愛泉苑	13	136	3	64	4	61	2	25	7	188
不動岡･礼羽･志多見 高齢者相談センターみずほの里	11	84	3	53	8	257	5	111	4	81
三俣･樋遣川･大越 高齢者相談センター利根いこいの里	21	190	21	132	4	62	5	54	4	62
騎西高齢者 相談センター多賀谷寿光園	2	221	2	59	3	91	3	68	2	39
北川辺 高齢者相談センター加須清輝苑	7	173	7	107	11	133	8	130	8	143
大利根 高齢者相談センターふれ愛の郷	10	128	10	156	2	38	2	16	1	4
合　計	86	932	46	571	32	642	25	404	26	517

※参加者は、延べ人数

※令和 3 年度までは、高齢者相談センターが実施した介護予防普及啓発講座等と市が実施した元気はつらつ体操教室の実績を計上

※令和 4 年度以降は、高齢者相談センターが実施した介護予防普及啓発講座等の実績のみ計上（元気はつらつ体操教室は、あたまの健康教室と統合し、介護予防教室「わかめ倶楽部」として実施したため。

03:筋力アップトレーニング事業

市民の介護予防及び健康寿命の延伸を目的として、体力測定結果に基づいた個別運動プログラムによる筋力トレーニングと有酸素運動を実施し、体力年齢の若返りを図った。また、修了生が自主活動グループの活動を継続できるよう各グループへの巡回支援を実施した。

養成会場年間活動回数・人数

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
年間活動回数（回）		71	47	24	24	24
（人）実人数	40～64歳	10	9	4	8	4
	65～69歳	14	11	7	13	18
	70歳以上	8	9	24	24	27
	計	32	29	35	45	49
延べ人数（人）		611	612	358	488	510

新規養成者数　（単位：人）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実人数	32	29	35	45	49

自主会場・自主トレーニングでの実施者数　（単位：人）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
自主会場	614	566	532	531	504
自宅トレ※	699	758	795	807	830

※転出・死亡者を除く。

自主会場･自主グループ数　（単位：箇所）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
会場数	15	15	15	15	16
グループ数	36	36	36	36	37

3-1　包括的支援事業・任意事業費

01: 高齢者相談センター運営委託事業

(1) 包括的･継続的ケアマネジメント支援の実施　（単位：回、件）

	関係機関との連携･調整	ケア会議等の開催	介護支援専門員への個別支援	事業所連絡会議の開催
加須・大桑・水深 高齢者相談センター愛泉苑	128	39	117	3
不動岡・礼羽・志多見 高齢者相談センターみずほの里	51	41	69	2
三俣・樋遣川・大越 高齢者相談センター利根いこいの里	101	41	64	4
騎西 高齢者相談センター多賀谷寿光園	15	39	27	2
北川辺 高齢者相談センター加須清輝苑	254	35	111	2
大利根 高齢者相談センターふれ愛の郷	99	9	29	0
合　計	648	204	417	13

(2) 指定介護予防支援等の実施

高齢者相談センター職員が、予防給付又は介護予防・日常生活支援総合事業の対象となる要支援認定者又は基本チェックリスト該当者のケアプランを作成し、介護予防サービス事業者等と連絡調整を行うことによって、指定介護予防サービス又は介護予防・生活支援サービスを必要とする人に対し、必要なサービスを提供することができた。

(単位：件)

	高齢者相談センター		合計	(うち新規分)		
				高齢者相談センター		合計
	直営分	委託分		直営分	委託分	
加須・大桑・水深 高齢者相談センター愛泉苑	1,246	771	2,017	68	35	103
不動岡・礼羽・志多見 高齢者相談センターみずほの里	682	781	1,463	19	46	65
三俣・樋遣川・大越 高齢者相談センター利根いこいの里	986	306	1,292	49	13	62
騎西 高齢者相談センター多賀谷寿光園	941	234	1,175	32	11	43
北川辺 高齢者相談センター加須清輝苑	575	287	862	20	14	34
大利根 高齢者相談センターふれ愛の郷	554	880	1,434	22	38	60
合　　計	4,984	3,259	8,243	210	157	367

※「新規分」とは、要支援認定者又は基本チェックリスト該当者に対し、新たにケアプランを作成した件数。

(3) 介護マーク貸与

認知症等の外見的に介護が必要であることが分かりにくい方を外出先で介護する場合、介護中であることを周りに知らせる「介護マーク」を無償で貸与する事業を実施し、家族の介護負担の軽減を図った。

＜介護マーク イメージ＞



(単位：件)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
新規貸与件数	0	3	1	1	0
累計貸与件数	12	15	16	17	17
各年度末利用件数	8	10	9	7	6

02: 高齢者総合相談支援事業

高齢者総合相談件数（延件数）　（単位：件）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
加須・大桑・水深 高齢者相談センター愛泉苑	1,409	1,255	1,937	1,649	1,564
不動岡・礼羽・志多見 高齢者相談センターみずほの里	1,220	883	895	762	677
三俣・樋遣川・大越 高齢者相談センター利根いこいの里	262	465	290	266	491
騎西 高齢者相談センター多賀谷寿光園	469	830	659	665	761
北川辺 高齢者相談センター加須清輝苑	715	661	778	814	732
大利根 高齢者相談センターふれ愛の郷	596	808	856	784	503
合　　計	4,671	4,902	5,415	4,940	4,728

03:権利擁護事業

市長が成年後見等の審判請求を行い、家庭裁判所において成年後見人等を選任された高齢者等のうち成年後見人等に対する報酬の支払いが困難な人に対し、報酬の一部を助成すること等によって、高齢者の権利擁護を図ることができた。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
市長申立件数(件)	2	3	6	2	1
報酬助成件数(件)	7	3	4	4	1
報酬助成決定金額(円)	1,534,000	522,000	678,000	890,000	280,000

成年後見制度相談件数（延べ件数）　（単位：件）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
加須・大桑・水深 高齢者相談センター愛泉苑	30	3	0	14	9
不動岡・礼羽・志多見 高齢者相談センターみずほの里	4	20	7	13	3
三俣・樋遣川・大越 高齢者相談センター利根いこいの里	5	10	25	19	6
騎西 高齢者相談センター多賀谷寿光園	0	3	3	4	4
北川辺 高齢者相談センター加須清輝苑	11	6	9	6	8
大利根 高齢者相談センターふれ愛の郷	36	20	6	16	30
合　　計	86	62	50	72	60

高齢者虐待相談通報件数（実件数）　（単位：件）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
加須・大桑・水深 高齢者相談センター愛泉苑	4	5	7	10	19
不動岡・礼羽・志多見 高齢者相談センターみずほの里	4	3	1	2	5
三俣・樋遣川・大越 高齢者相談センター利根いこいの里	3	4	4	6	2
騎西 高齢者相談センター多賀谷寿光園	8	12	4	9	12
北川辺 高齢者相談センター加須清輝苑	4	10	3	7	6
大利根 高齢者相談センターふれ愛の郷	4	6	3	1	8
合　　計	27	40	22	35	52

04:在宅医療・介護連携推進事業

医療と介護の両方を必要とする人が、住み慣れた地域で医療・介護サービスを受けられるよう、加須市在宅医療・介護連携推進委員会の開催や ICT システム「北彩あんしんリング」の活用により、医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、介護支援専門員等の多職種の医療・介護関係者の情報共有を図るとともに、多職種研修会の開催等により、医療と介護の連携を推進することができた。

(1) 在宅医療･介護連携に関する相談窓口の設置

介護保険法の規定を踏まえ、平成 30 年度から、加須市と羽生市の共同事業として、在宅医療・介護連携に関する相談窓口（北埼玉在宅医療連携室）を設置・運営（委託）

(2) 在宅医療･介護連携推進委員会の開催（対面会議 1 回）

在宅医療・介護連携の推進を図るため、「令和 7 年度在宅医療・介護連携推進事業実績報告」、「令和 7 年度における『人生会議』の普及啓発の実施報告」、「加須市の終活支援制度について」、「認知症初期集中支援チームの活動状況等について」、「がん患者ウェルビーイング支援事業について」、「加須市における在宅医療・介護連携について」の 6 点を議題として開催した。

(3) 多職種研修会等の開催

多職種研修会

配信日：令和 7 年 11 月 25 日（Ｚｏｏｍによるオンライン開催）
テーマ：「人生の最終段階における食支援～食べるを支える、食べられないを支える～」
講　師：菊谷　武氏（日本歯科大学教授、口腔リハビリテーション多摩クリニック院長）
対象者：在宅医療・介護関係者

(4) 市民への普及啓発

講演会の開催を行い、加須市における在宅医療・介護連携の取組の周知を図った。

在宅医療・介護連携推進講演会の開催

開催日：令和 7 年 11 月 27 日
テーマ：人生会議
講　師：武正　寿明氏（武正医院院長）
参加者：市民 43 人

05:認知症総合支援事業

(1) 認知症カフェの設置促進

認知症カフェを運営する団体等への補助金交付による支援等を通じて、認知症の人やその家族等の居場所づくり、交流、相談等の支援により、家族等の介護負担の軽減を図っている。

令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、認知症カフェを運営する団体等に活動の自粛を要請したため、補助金の交付はなかった。

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
認知症カフェの設置箇所数	0	5	9	10	11
補助金交付団体数 (補助金支出額)	0 (0 円)	5 (132,090 円)	8 (436,782 円)	9 (682,107 円)	10 (722,847 円)

(2) 認知症初期集中支援チームによる支援

専門医を交えた全体会議に代えて、チーム員による事例検討会を定期的に実施し、支援手法の共有を図った。また、新たに認知症疾患医療センターの相談員を講師に招いた研修会を開催するなど、チームの支援力向上と関係機関との連携強化に努めた。

(3) 認知症講演会の実施状況:2 回開催　　(単位:人)

実施日	会場	参加者数	内容
令和 7 年 9 月 10 日	パストラルかぞ	55	認知症について
令和 7 年 11 月 13 日	市民プラザかぞ	65	耳の聴こえについて

06:行方不明高齢者等早期発見支援事業

位置探索サービス利用費助成事業の運用や、及び認知症高齢者等早期発見ステッカーを配付した結果、行方不明となった認知症高齢者等の早期発見や認知症の人を介護する家族の負担軽減につながった。

(1) 位置探索サービス

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
貸与人数(人)	11	11	10	0	0
利用実績(円)	38,500	7,700	15,400	0	0

※各年度末時点

※令和 6 年度及び令和 7 年度はサービスの利用希望者がおらず、利用実績はなかった。

(2) 早期発見ステッカー配付

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
配付数(人)	19	18	28	40	12
利用者数(人)	97	86	107	91	68
早期発見(延べ件数)	2	2	1	2	0
実績(円)	0	0	220,000	0	0

※実績額は、ステッカーの作成に要した額。

※早期発見件数は、ステッカーを配付した人のうち一時行方不明となりその後発見された人の数

07:認知症サポーター養成研修事業

（1）認知症サポーター養成講座

認知症サポーター養成講座を開催して、認知症を正しく理解し、自分のできる範囲で認知症の人とその家族の住み慣れた地域での生活を支える認知症サポーターを養成した。

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
開催回数（回）	16	13	25	18	18
受講者数（人）	214	253	503	355	416
サポーター延数（人）	5,239	5,492	5,995	6,350	6,766

（2）チームオレンジの支援

認知症の人とその家族などの日常生活におけるちょっとした困りごとの支援ニーズと、認知症サポーターによる支援とを結びつける「チームオレンジ」について、新たな整備には至らなかったものの、既に整備済みのチームに対する活動支援や情報提供を行った。

令和 7 年度までに整備されたチームオレンジ数　…　4 箇所

08:地域ケア会議推進事業

高齢者相談センターごとに地域ケア会議を開催し、支援困難事案の解決及び地域の支援体制の構築につなげることができた。

また、自立支援型地域ケア会議を開催し、会議における事例検討を通じて、保険者としての介護予防ケアマネジメントの考え方を周知するとともに、多職種（医師、歯科医師、薬剤師、理学療法士、作業療法士及び管理栄養士）の助言を与えることによって、介護支援専門員の介護予防ケアマネジメントの質の向上を図ることができた。

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
高齢者相談センター主催の地域ケア個別会議の開催回数（回）	185	189	194	184	170
高齢者相談センター主催の地域ケア推進会議の開催回数（回）	－	－	－	－	2
市主催の自立支援型地域ケア会議の開催回数（回）	10	12	12	12	12

09:地域ブロンズ会議事業

高齢者の在宅生活を支える活動を行っている団体間のネットワークづくりや、地域で不足しているサービスの担い手の創出等を行う「生活支援コーディネーター」を配置し、各種団体等との意見交換等を行うなどして、地域における支え合いの必要性等について啓発を行った。

また、日常的な生活圏域（概ね中学校区域）ごとに「地域支え合いのしくみづくり」について協議する「地域ブロンズ会議」の設置促進を推進した結果、移動スーパー等、地域で必要とするサービスにつなげることができた。

野中土地区画整理事業（特別会計）　農政建設課（大利根）

【財政の状況】

歳　入　636,414,093 円

（単位：円）

区分	現年度	繰越明許	計
国庫補助金	15,393,000	0	15,393,000
不動産売払収入	0	0	0
一般会計繰入金	182,132,000	0	182,132,000
繰越金	47,414,988	50,500,000	97,914,988
市預金利子	474,105	0	474,105
事業債	340,500,000	0	340,500,000
計	585,914,093	50,500,000	636,414,093

※現 年 度：令和 7 年度決算分
※繰越明許：令和 6 年度から令和 7 年度に繰越されたもの

歳　出　449,288,672 円

（単位：円）

区分	現年度	繰越明許	計
総務費	278,587	0	278,587
建設費	427,965,026	0	427,965,026
公債費	21,045,059	0	21,045,059
計	449,288,672	0	449,288,672

※現 年 度：令和 7 年度決算分
※繰越明許：令和 6 年度から令和 7 年度に繰越されたもの

◎歳出の内訳

1款	総務費	1項	総務管理費	1目	一般管理費	278,587円
2款	建設費	1項	建設費	1目	建設費	427,965,026円

仮換地指定を行った一部箇所について、街区・画地確定杭設置業務や区画街路築造工事、第2調整池整備工事等を実施した。

[建設費の内訳]

○ 需用費　消耗品費　0円

修繕料　0円

○ 委託料　15,510,721円

〔委託料の内訳〕

・物件費的委託料	雑草刈払、樹木伐採	3件	7,531,761円
・投資的委託料	調査・測量・設計	4件	7,978,960円

※令和6年度から令和7年度へ繰越を行った事業

111街区の仮換地使用収益開始に向けて、整地工事に係る設計業務委託を予定し、9月議会において補正予算による業務委託費を計上したが、当該箇所の支障となる物件等移転補償の地権者交渉が難航したことに伴い、整地工事に係る設計業務委託が実施できず、執行できなかった。

○ 賃借料　土地借上料　1,644円

○ 工事請負費　386,960,700円

〔工事請負費の内訳〕

・街路築造等工事	3件	10,215,700円

※令和6年度から令和7年度へ繰越を行った事業

111街区の仮換地使用収益開始に向けて、整地工事を予定し、9月議会において補正予算による工事請負費を計上したが、当該箇所の支障となる物件等移転補償の地権者交渉が難航したことに伴い、整地工事が実施できず、執行できなかった。

・雨水幹線工事	1件	34,320,000円
・整地工事	1件	1,925,000円
・第2調整池整備工事	1件（継続費：1年目/3年間）	340,500,000円

※令和7年度から令和8年度へ繰越を行った理由

・区画街路9－5号線外1路線雨水幹線工事（その2）(国補)は、国の補正予算により新たに予算措置されたが、工事期間が短く、年度内の完了が困難になり工事費（69,680,000円）の繰越を行った。

・第2調整池整備工事については、令和7年度から令和9年度まで3年間の継続費（総額：1,300,000,000円）により整備する計画であり、1年目の令和7年度予算額（継続費：540,000,000円）のうち、決算額（340,500,000円）を除く199,500,000円の逓次繰越を行った。

○　負担金　　配水管工事負担金　　1,081,250 円

○　補償費　　24,410,711 円

〔補償費の内訳〕

・物件移転等補償料　　5 件　　18,486,595 円

※令和 6 年度から令和 7 年度へ繰越を行った事業

111 街区の仮換地使用収益開始に向けて、物件移転補償を予定し、9 月議会において補正予算による物件補償料を計上したが、当該箇所の支障となる物件等移転補償の地権者交渉が難航したことに伴い、執行できなかった。

※令和 7 年度から令和 8 年度へ繰越を行った理由

125 街区の工作物等の移転補償について、令和 8 年 2 月に所有者と物件移転補償契約を締結したが、支障物件の撤去期間が短く、年度内完了が困難なため、令和 8 年度に補償費の残金 3,620,000 円を繰越した。

・支障電柱等移転補償料　　1 件　　1,683,400 円

※令和 7 年度から令和 8 年度へ繰越を行った理由

支障電柱の移転に期間を要し、年度内完了が困難となり、2,000,000 円を繰越した。

・101 条補償料　　4,240,716 円

3 款　公債費　　1 項　公債費　　1 目　元金　　20,376,239 円

2 目　利子　　668,820 円

土木債の償還等を実施した。

河野博士育英事業（特別会計）　学校教育課

【財政の状況】

歳　入					5,903,369円
1款　財産収入	1項	財産運用収入	1目	利子及び配当金	34,657円
2款　寄附金	1項	寄附金	1目	総務費寄附金	300,000円
3款　繰入金	1項	基本繰入金	1目	河野博士育英基金繰入金	5,280,000円
4款　繰越金	1項	繰越金	1目	繰越金	288,002円
5款　諸収入	1項	市預金利子	1目	市預金利子	710円

歳　出					5,614,657円
1款　総務費	1項	総務管理費	1目	財産管理費	334,657円
2款　育英事業費	1項	育英事業費	1目	育英事業費	5,280,000円

※ 令和3年度生1人、令和5年度生15人、令和6年度生13人、令和7年度生15人の合計44人に年額120,000円の奨学金、合計5,280,000円を給付した。

※ 加須市に住所を有する者で経済的理由により就学が困難な者に対し学資金を給与し、有用な人材を育成することを目的とした育英事業である。
昭和51年に旧騎西町において、地元出身の文学博士である河野省三氏の遺徳をたたえ、ご遺族の寄附金により設立された。

Ⅳ　ゼロ予算事業の状況

（実績・成果　部課別）

事 業 名	市長と語るタウンミーティング事業		
担 当 課	秘書課	総合振興計画コード	5121-03
事業の目的	市民の意見や要望を伺い、市民と行政の情報の共有化を図るとともに、市政に対する市民の理解と協力を得ることによって、市民と目標を共有し、協働のまちづくりを推進する。		
事業の概要	市内に在住、在勤又は在学の方10名以上の集会を市長が訪問し、市政についての説明や質疑応答を行う。事前に質問内容等をお預かりし、これに応じた担当部長等が同席する。Web会議にも対応する。		

事業の実績・成果

・令和7年度は8回実施し、173名の方々にご参加いただき、日ごろ市民が感じている問題や課題等についての質疑応答を通して市民と行政の相互理解を深めた。

年　　度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
開催回数（回）	14	12	8	8
延参加人数（人）	325	307	146	173

※この事業は令和4年7月より実施

事 業 名	自転車普及推進事業		
担 当 課	スポーツ振興課	総合振興計画コード	2412-03
事業の目的	新たに「自転車のまち」となるよう自転車を推進する。		
事業の概要	自転車競技やトライアスロン等の全国レベルの大会を共催及び後援し、さらに主催団体、市民との協働により実施する。		

事業の実績・成果

自転車競技やトライアスロンの大会開催を支援することで、市民がスポーツとしての自転車に親しむきっかけづくりを行うことができた。

〇共催・支援した大会

大　会　名	開催日 会　場	参加者数（人）	区分
第63回全日本学生選手権チーム・ロード・タイムトライアル大会	令和7年11月8日（土） 利根川河川敷工事用道路	80	平成22年度～後援
第10回全日本学生選手権ロードタイムトライアル自転車競技大会	令和7年11月9日（日） 利根川河川敷工事用道路	150	平成22年度～後援
2025彩の国トライアスロンin加須大会	令和7年6月1日（日） 渡良瀬遊水地特設コース	469	平成7年度～後援
チームケンズカップ紅葉チャレンジトライアスロン・デュアスロンフェスティバルin加須大会 第16回日本消防トライアスロン東日本大会	令和7年10月19日（日） 渡良瀬遊水地	359	平成16年度～後援

事 業 名	ふるさと融資活用事業		
担 当 課	政策調整課	総合振興計画コード	3231-04
事業の目的	市が民間金融機関と共同で地域振興に資する民間事業活動を支援し、活力と魅力ある地域づくりを推進する。		
事業の概要	（一財）ふるさと財団のふるさと融資を活用し、民間事業者等の設備投資に係る無利子資金の貸付を行う。 ・市が起債し、返済する利子については、75%分が特別交付税で措置される。 ・借入額は、対象事業費の 35%が限度。 ・民間金融機関とのセットでの借入が条件。 ・新規雇用の確保、公益性及び事業採算性の観点から実施されるものが対象。		

事業の実績・成果

地域振興に資する事業を行う民間事業者を支援するため、一般財団法人地域総合整備財団（ふるさと財団）の制度である地域総合整備資金貸付金（ふるさと融資）を活用して、市が民間金融機関と共同して無利子の資金貸付を行うことで、活力と魅力ある地域づくりの推進を図るため、ホームページで制度の周知をした。

また、平成30年度と令和元年度に融資をした医療法人藍生会から、35,398,000円の償還を受けた。

○融資（貸付）事業者　医療法人藍生会
○事業内容　患者の療養環境の改善を図るため、不動ヶ丘病院の病棟の建替等を行う医療法人藍生会に対し、融資（貸付）を行った。
○融資（貸付）額　416,000,000円（平成30年度）、115,000,000円（令和元年度）
※融資（貸付）額は、医療法人藍生会から15年で償還
○その他 市が負担する利子の 75%が特別交付税措置

事 業 名	産・学・官連携推進事業		
担 当 課	政策調整課	総合振興計画コード	5131-13
事業の目的	教育機関や民間企業と行政の協働の推進を図るため、学生や民間企業のアイデアや活力を市政に反映させ、地域に開かれた行政運営を推進する。		
事業の概要	加須市と平成国際大学との包括連携に関する協定に基づき、まちづくりに関する事項等について、市と大学が連携し学生主体による情報収集・実践活動を実施する。 高校や大学と連携して取り組んでいる連携事業について、取組状況を把握する。 包括連携協定締結企業との連携事業について、取組状況を把握する。		

事業の実績・成果

高校や大学、包括連携協定締結企業と幅広い分野において連携事業を展開するなど、協働事業の推進を図った。

○彩北未来プロジェクト会議
・平成国際大学、ものつくり大学及び埼玉純真短期大学と連携事業の実施について協議した。また、各大学の大学祭において設置された市のＰＲコーナーに広報素材を提供した。

○高校や大学と連携した協働事業
・「地方公務員論における講師派遣」「市内中学校へのインターンシップ」「プレコンセプションケアについての協議」などの 21 事業を実施した。

○民間企業との包括連携協定
・包括連携締結企業：5 社（令和 8 年 3 月 31 日時点）
・協定による取組として、「あんしん見守りサポート事業協力」「ＱＯＬ健診」「研修会等への講師派遣」などを実施した。

事業名	窓口サービス改善事業		
担当課	政策調整課	総合振興計画コード	5252-05
事業の目的	多様化する市民ニーズに対応するため、窓口サービスの向上に努め、市民が便利で快適なサービスを実感できる市役所づくりを推進する。		
事業の概要	転出者へのアンケート調査（市民課）及び窓口対応等実態調査（職員課）の結果を基に、接遇向上や事務改善、窓口環境の改善等に取り組む。 また、窓口受付マニュアルの整備活用を推進し、手続時間の短縮に取り組む。		

事業の実績・成果

1　窓口対応等実態調査の実施

市役所の来庁者に“職員の対応”や“庁舎の環境等”についての率直な意見を伺い、その結果を活用して職員の接遇能力の向上と窓口環境の改善を図ることを目的に実施した。（隔年）

【調査の概要】

① 実 施 日：令和7年10月1日（水）～令和7年10月31日（金）
② 実施場所：加須市役所（本庁舎）、各総合支所及びWEBアンケート
③ 協力者数：510人

【調査結果】

Ⅰ　職員の対応　（単位：%）

	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答	満足・やや満足の前回調査からの増減
あいさつ	70.0	12.7	15.7	1.0	0.6	0.0	0.5ポイント
身だしなみ・言葉遣い	71.0	12.4	16.5	0.2	0.0	0.0	▲0.4ポイント
説明の分かりやすさ	72.0	14.9	12.2	0.2	0.4	0.4	2.1ポイント
用件が済むまでの時間	69.0	13.5	14.3	2.7	0.2	0.2	▲1.3ポイント
プライバシー（個人情報保護）への配慮	70.2	12.7	15.3	0.6	0.2	1.0	1.2ポイント

Ⅱ　庁舎の環境等　（単位：%）

	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答	満足・やや満足の前回調査からの増減
案内表示の分かりやすさ	50.6	22.7	22.7	3.9	0.0	0.0	3.1ポイント
記入書類や記入例の分かりやすさ	52.2	20.6	23.3	2.4	0.4	1.2	3.9ポイント
ガイドブックなどの内容・見やすさ	40.6	23.3	30.2	2.2	0.2	3.5	4.3ポイント
待合スペースの過ごしやすさ	46.7	21.8	26.9	2.7	0.2	1.8	3.0ポイント
庁舎総合案内の職員対応	62.3	17.9	19.1	0.7	0.0		1.8ポイント

※各項目のパーセント表記は、小数点第2位で四捨五入しているため、各調査項目の合計が100%にならない場合がある。

2　転出者・転入者へのアンケート調査の実施

今後の行政サービス提供の参考とするため、加須市に対する市民の印象や住みやすさ、転入・転出の理由等の把握を目的として実施した。

(1)　調査対象：加須市から転出又は加須市に転入する方

(2)　調査方法：手続の待ち時間を利用したアンケート

(3)　調査期間：令和8年3月2日～3月27日

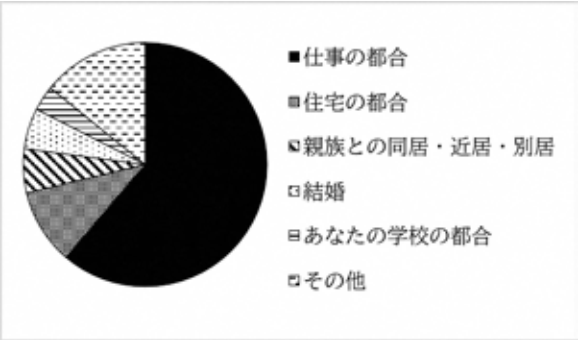
(4)　調査項目：11項目

対象者	届出件数（件）	回収数（件）	回収率（%）
転出者	460	240	52.2
転入者	432	299	69.2

(5)　回答結果（抜粋）

【転出の主な理由】

選択肢	回答数(件)	回答率(%)
仕事の都合	147	61.3
住宅の都合	24	10.0
親族との同居・近居・別居	14	5.8
結婚	13	5.4
あなたの学校の都合	8	3.3
その他	34	14.2
合計	240	100.0



【転入の主な理由】

選択肢	回答数(件)	回答率(%)
仕事の都合	162	54.2
住宅の都合	52	17.4
親族との同居・近居・別居	31	10.4
結婚	19	6.4
あなたの学校の都合	4	1.3
その他	31	10.3
合計	299	100.0



事 業 名	行政評価推進事業		
担 当 課	政策調整課	総合振興計画コード	5311-05
事業の目的	計画的な行政運営を推進し、本市の将来都市像である「絆でつくる　緑あふれる　安心安全・元気な田園都市　加須」を実現するため、加須市独自の自治体マネジメントシステムである「やぐるまマネジメントサイクル」による事業評価を実施する。		
事業の概要	施策ごとの優先度評価や事業管理シートによるＰＤＣＡマネジメントを実施することにより、全施策・事業の見直し・改善を実施する。		

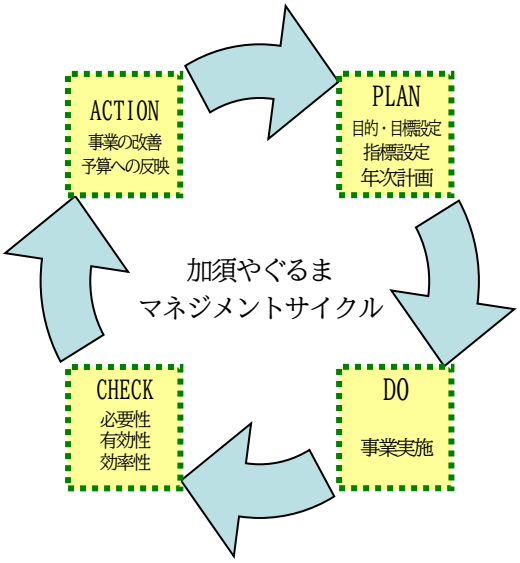
事業の実績・成果

加須市独自の行政評価、“加須やぐるまマネジメントサイクル”による事務事業評価を実施した。

[加須やぐるまマネジメントサイクルの特徴]

■総合振興計画と予算において事業の一元化を図り、ＰＤＣＡマネジメントサイクルによる進行管理を行う。

■目的・目標を明確化
①仕事の意義を認識し、何を優先して考えるのか、改善の方向性が明らかになる。
②いつまでにどうするのか、具体的な到達点を示すことで、より効率的に仕事を進めることができる。



■計画・予算・組織の連携
必要性、有効性、効率性、達成度の４つの角度から評価、改善策を検討し、予算・定員管理などに反映させる。

○事業管理シート（事業評価調書）を更新し、ＰＤＣＡマネジメントサイクルによる事業点検を行った。
事業管理シートの事業数：令和７年４月１日現在　742 事業(再掲除く)

○令和７年 10 月２日　「加須やぐるまマネジメントサイクル」について、令和８年度予算編成説明会の中で研修を実施し、事務の目的や成果に対する意識の向上を図った。

事 業 名	行政組織管理事業		
担 当 課	政策調整課	総合振興計画コード	5313-07
事業の目的	将来にわたって行政サービスを確実に提供し、新たな行政需要等に対して的確に対応していくため、組織体制の見直しを実施する。		
事業の概要	各部課の調査やヒアリングを行い、組織・機構等に関する課題等の把握、改善を図り、必要に応じて組織の見直しを行う。		

事業の実績・成果

全部局等を対象に組織に関する調査、ヒアリングを行ったほか、随時、個別課題等についての検討を行った。

市民ニーズを的確に捉えつつ、安定的かつ一体的な行政サービスの提供が行える組織体制を編成するため、令和 8 年度は現体制を基本にしながら、重要施策の着実な推進や更なる行政サービスの向上、効率的な組織体制に向けた組織を編成した。

部課数等の概要

	令和 7 年度	部課数の増減	令和 8 年度
本庁	14 部局 46 課所室	－	14 部局 46 課所室
総合支所	3 支所 6 課	－	3 支所 6 課
合　計	17 部局支所 52 課所室	増減なし	17 部局支所 52 課所室

○学校教育課内に「学校課題解決担当」を新設

国は、教育現場の喫緊の課題として、教員の長時間勤務を解消し、教育活動に専念できる環境を整える「働き方改革」や、地域との連携により、こどもたちが継続してスポーツ・文化芸術活動に親しめる環境を構築する「部活動の地域展開」を推進する方針を示している。

これらの課題に対し、計画的かつ迅速に対応するとともに、学校が本来担うべき業務に注力できる環境を整え、持続可能な教育体制の構築を目指すため、学校教育課内に「学校課題解決担当」を新設した。

事 業 名	広域行政推進事業		
担 当 課	政策調整課	総合振興計画コード	5315-01
事業の目的	広域行政を推進するため、時代のニーズに応じた広域行政の可能性や効果について検討し、推進する。		
事業の概要	関東どまんなかサミット会議や北埼玉地域「彩の国づくり」連絡協議会に参画し、公共施設の相互利用等を推進する。 また、三県境の PR 事業のための自治体間連携など、新たな広域的な取組を推進する。		

事業の実績・成果

広域的な取組に参画し、公共施設の相互利用等、広域行政の推進を図った。

○北埼玉地域「彩の国づくり」連絡協議会
・公共施設の相互利用：構成市（加須市、行田市、羽生市）の体育施設、図書館等
・広報紙への共同掲載：各市で開催されるイベント情報の提供
・合同研修会の開催：令和 7 年度は実施せず。次回は令和 8 年度に実施予定。

○関東どまんなかサミット会議
・令和 7 年 10 月 6 日　関東どまんなかサミット会議
（会場：古河歴史博物館及び鷹見泉石記念館）

≪主な内容≫
(1)歴史・文化を継ぎ未来に繋げる古河市の取組について
(2)古河歴史博物館視察
(3)鷹見泉石記念館視察

・公共施設の相互利用：構成市町（加須市、茨城県古河市、栃木県栃木市、小山市、野木町、群馬県板倉町）の体育施設、図書館等
・広報紙への共同掲載：各市町で開催されるイベント情報の提供

○久喜市
・公共施設の相互利用：加須市・久喜市の体育施設、図書館等

○三県境の利用促進に係る取組
埼玉県加須市、栃木県栃木市、群馬県板倉町が平成 29 年 5 月 19 日付けで締結した「三県境整備等に関する覚書」に基づき、2 市 1 町が共同し、三県境のＰＲ及び観光資源としての推進を図った。
・三県境 10 周年記念フェア（実施日：令和 8 年 3 月 7 日）
・パンフレット配布(市内公共施設にて三県境をＰＲ)

事 業 名	フィルムコミッション事業		
担 当 課	シティプロモーション課	総合振興計画コード	5112-05
事業の目的	加須市に人や物を呼び込み、観光振興や産業振興につなげるとともに、市民の郷土への誇りや郷土愛の醸成を図るために、フィルムコミッションを活用して本市の魅力を市内外に情報発信する。		
事業の概要	市内のロケーション情報を提供、映画やテレビドラマ等の撮影地として誘致し、撮影に係る支援をする。		

事業の実績・成果

恵まれた自然環境や資源を活かして、テレビドラマ等あらゆるジャンルのロケーション撮影の誘致・支援を行った。

市公式ホームページやＳＮＳを活用し、フィルムコミッションを通じた市の魅力を市内外に向けて広く発信した。

【ロケ誘致等実績】

情報提供件数　28 件

撮影件数　15 件

主な作品　○ドラマ

・緊急取調室
　ロケ地：加須市環境浄化センター
・氷室想介の事件簿３
　ロケ地：水深地内
・ラムネモンキー
　ロケ地：騎西総合公園
・超宇宙刑事ギャバンインフィニティ
　ロケ地：パストラルかぞ

○バラエティ番組

・メシドラ～兼近＆真之介のグルメドライブ～
　ロケ地：キャッスルきさい他
・ＴＨＥ突破ファイル
　ロケ地：ほくさい農協騎西梨撰果所他
・ニッポンわが町うどん MAP8
　ロケ地：市内うどん店

事 業 名	パブリシティ事業		
担 当 課	シティプロモーション課	総合振興計画コード	5112-06
事業の目的	各メディアに報道してもらうことで、市のさまざまな事業等を市内外に広く周知し、加須市のＰＲを図る。		
事業の概要	市のさまざまな事業等について、東部記者クラブをはじめとする報道機関に、タイムリーかつ効果的にパブリシティを行う。		

事業の実績・成果

1　東部記者クラブ等への情報提供

東部記者クラブ等に行政情報やイベント情報等を積極的に提供し、新聞やテレビ等での報道機会を確保し、市のＰＲ向上を図った。

（単位：件）

年　度	情報提供件数	掲載・放映件数（延べ）		
		新　聞	テレビ	合　計
令和3年度	461	569	42	611
令和4年度	524	428	42	470
令和5年度	478	415	70	485
令和6年度	450	499	48	547
令和7年度	446	463	43	506

2　PR TIMESの導入

情報発信の効率化および対象メディアの拡大を図るため、令和7年12月1日から従来の東部記者クラブ等への情報提供体制に加え、「PR TIMES」を導入した。全国のメディアへの同時配信により、市内外に向けた広範かつ効果的な情報発信を図った。

※「災害復旧・復興支援のための情報発信プログラム」の適用により令和9年3月31日まで無償

(1)配信件数：6件　　(2)配信先メディア数：105件

事 業 名	自治協力団体加入促進事業		
担 当 課	市民協働推進課	総合振興計画コード	5131-02
事業の目的	市民と行政の協働によるまちづくりを進めてゆくためには、人の盛り上がりが必要であり、そのために協働のパートナーである自治協力団体への加入率向上を図る。		
事業の概要	自治協力団体加入促進マニュアル及び三者協定等を活用し、自治協力団体、宅建団体及び市の連携により、市民に積極的に加入を働きかけ、意識啓発を図る。		

事業の実績・成果

多角的な啓発・支援を実施し自治会への加入促進を図った。

1. 転入者及び子育て世代への周知

市民課及び各総合支所において、転入者用封筒への加入呼びかけチラシの同封および封筒への加入促進文言の印字を実施した。また、すくすく子育て相談室における母子健康手帳交付時に、加入呼びかけチラシを配布した。

2. 広報等を活用した周知啓発

・広報紙による周知：「広報かぞ」12 月号にて、自治協力団体の役割や具体的な活動内容を特集し、住民の理解促進を図った。
・ホームページによる周知：自治協力団体の活動内容を可視化するため、ホームページ上に役割や活動事例を公開し、疑問や不安の解消に努めた。
・啓発ポスターの掲示：市内公共施設、商業施設、駅等において、加入促進ポスターを継続的に掲示し、周知した。
・行政モニターによる放映：本庁舎及び各総合支所の行政情報・広告放映モニターを活用し、来庁者へ加入を呼びかけた。（掲載：7 回）
・「自治会活動 NEWS！」の掲載：各自治会の日頃の取組やユニークな活動事例をホームページ上で紹介し、自治会活動への理解と関心を高める取り組みを実施した。（掲載：4 自治会・4 件）

3. 加入手続きの円滑化・利便性向上

電子申請による取次：電子申請サービスを活用し、市が自治協力団体への加入取次を行うことで、住民がスムーズに加入できる仕組みを構築した。（実績：27 件）

4. 関係団体・事業者との連携

・業界団体への協力依頼：全日本不動産協会埼玉県本部県北支部及び埼玉県宅地建物取引業協会北埼支部を訪問し、会員に加入促進チラシを配布し周知を依頼した。
・開発事業者への協力要請：「加須市住みよいまちづくり指導要綱」に、開発事業者が自治会への加入促進に協力する旨を明文化し、住環境整備の段階からの連携を強化した。

5. 自治会運営の支援と組織強化

・加入促進研修の実施支援：自治協力団体連合会が実施する自治会役員向けパネルディスカッション形式の研修会を支援し支援の共有を図った。
・加入率が低い地域への重点支援：北川辺地域において、区長会が策定した「自治会運営指針（高齢化に対応した安心で負担にならない自治会へ）」の周知および運営改革を支援した。また、未加入世帯への加入促進通知の作成・発送事務をサポートした。

［自治協力団体への加入状況］ （単位：%）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
加入率	78.3	77.5	75.8	73.8	72.5

事業名	DX推進計画進行管理事業		
担当課	DX推進課	総合振興計画コード	5251-02
事業の目的	デジタルを活用し、新しい時代の流れを力にするまちづくりを推進するため、加須市ＤＸ推進計画（計画期間：令和4年度～令和8年度）に定める事項の着実な実行を目指す。		
事業の概要	加須市ＤＸ推進計画の各取組項目における実施状況の進捗を的確に管理するため、加須市情報化推進委員会等の情報化推進体制による協議等を行い、多様な視点からの意見等を受け、評価や見直しを行う。		

事業の実績・成果

1　令和6年度取組の評価

令和5年1月に策定した加須市ＤＸ（デジタル・トランスフォーメーション）推進計画（計画期間：令和4年度から令和8年度まで）について、各施策に掲げる重要業績評価指標（KPI）全23項目のうち、評価対象外を除く21項目の令和6年度評価結果、及び全69取組項目における目標年度（令和8年度）に向けた進捗状況を加須市情報化推進委員会等へ報告するとともに、進捗の遅れ等の見られる項目の取組を推進した。

令和6年度の各施策における重要業績評価指標（KPI）については、評価対象21項目中、19項目（90.5%）が「目標を達成・概ね達成」となり、総合的には「相当程度成果があった」と評価された。

[令和6年度 KPI評価結果]

区　分	項目数（件）	割合（%）	
1　目標を達成	15	71.4	90.5
2　概ね達成	4	19.0	
3　やや遅れている	0	0.0	9.5
4　大幅に遅れている	2	9.5	

2　取組内容の見直し

加須市ＤＸ推進計画においては、社会的な変化に応じた迅速な対応が求められることを前提として、PDCAサイクル（継続的な改善）に捉われることなく、個々の事案において情報収集による現状把握から、迅速な決定と実行に移行するOODAループ（社会変化への迅速な対応）の考え方を併用していることから、令和6年度の取組結果等を踏まえて具体的な取組の見直しを行った。

[見直し概要]

区分	項目数（件）	内容
変更	4	取組内容、方向性の変更

事 業 名	子どもを見守る工事現場事業		
担 当 課	管理契約課	総合振興計画コード	1312-06
事業の目的	安心なまちづくりを推進するため、円滑な地域コミュニケーションによる子ども達を見守る体制整備を図る。		
事業の概要	子どもを見守るネットワークの一端として、市発注の工事現場において、受注者の協力のもと、「子どもを見守る工事現場」である旨の看板を設置し、作業員による周辺への目配り、子どもへの声がけ、不審者情報の警察への提供などを実施する。		

事業の実績・成果

加須市が発注する公共工事等の現場付近において、子ども達を見守り、不審者を見かけたときは110番通報する取組みを関係各課・受注業者の協力を得て、38 件実施した。結果として警察への通報件数は0件であり、犯罪の抑止効果が得られた。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
協力工事件数(件)	38	36	35	43	38

事 業 名	小規模契約希望者登録制度活用事業		
担 当 課	管理契約課	総合振興計画コード	3231-05
事業の目的	地域経済の活性化を推進するため、市内中小事業者の受注機会の拡大を図る。		
事業の概要	市内中小事業者への優先的な発注を推進するため、市内に本店を置く中小事業者を名簿登録し、市が発注する100万円以下の小規模な工事や物品購入等に積極的に活用する。		

事業の実績・成果

小規模契約希望者登録制度については、庁内各課に登録業者の積極的活用を呼びかけ、市内中小事業者の受注機会の拡大と市内経済の活性化に寄与した。

小規模契約希望者登録制度活用実績

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
金額（円）	103,214,929	150,404,754	160,638,423	178,255,516	167,850,652
件数（件）	2,044	2,285	2,246	2,350	2,252
登録業者数	400	405	413	420	403

事 業 名	行政利用借地解消事業		
担 当 課	管理契約課	総合振興計画コード	5314-07
事業の目的	安定的・継続的な行政運営のため、事業用地を適切に確保し、行政借地の解消を図る。		
事業の概要	・借地の不安定な状況の解消に向け、所管課への情報提供を行う。 ・借地状況の確認・必要性・今後の方針等を契約更新時に所管課に確認する。		

事業の実績・成果

1　行政運営を安定的・継続的に行うため、行政利用している借地について、契約更新時に必要性や今後の方針等を確認した。

2　借地の現状

借地筆数	155箇所・402筆（うち、有償86箇所・312筆、無償69箇所・90筆）
借地面積	192,328.03㎡（うち、有償136,583.42㎡、無償55,744.61㎡）
土地借上料	29,305,227円

事 業 名	特定事業主行動計画策定事業		
担 当 課	職員課	総合振興計画コード	5313-01
事業の目的	子どもを産み育てやすい職場環境を構築し、子育て中の職員の仕事と子育ての両立を促進する。 また、一人ひとりの女性が個性と能力を十分に発揮できるよう、女性の採用・登用の拡大やワーク・ライフ・バランスを推進する。		
事業の概要	総務部長を委員長、関係課職員を委員とする「加須市特定事業主行動計画策定・推進委員会」を開催し、委員の意見も踏まえながら、第4次加須市特定事業主行動計画を策定する。 【計画期間：令和8年度～令和12年度】		

事業の実績・成果

第3次加須市特定事業主行動計画の計画期間が令和7年度をもって満了を迎えることに伴い、加須市特定事業主行動計画策定・推進委員会を開催し、第3次計画の取組成果とその評価を踏まえるとともに、次世代育成推進法や女性活躍推進法等の改正内容を勘案し「第4次加須市特定事業主行動計画」を令和8年3月に策定した。

【策定の経緯】

令和7年10月	加須市特定事業主行動計画策定・推進委員会へ素案の報告・検討
令和7年12月	各課へ第4次加須市特定事業主行動計画（案）の内容確認及び意見等照会
令和8年2月	加須市特定事業主行動計画策定・推進委員会へ修正案の報告・検討
令和8年3月	第4次加須市特定事業主行動計画策定

【計画期間】　令和8年度～令和12年度

事 業 名	特定事業主行動計画進行管理事業		
担 当 課	職員課	総合振興計画コード	5313-02
事業の目的	子どもを産み育てやすい職場環境を構築し、子育て中の職員の仕事と子育ての両立を促進する。 また、一人ひとりの女性が個性と能力を十分に発揮できるよう、女性の採用・登用の拡大やワーク・ライフ・バランスを推進する。		
事業の概要	加須市特定事業主行動計画に掲げた各種取組を実施するとともに、同計画の進ちょく状況を取りまとめ、問題点がある場合はその解消・改善策を検討する。		

事業の実績・成果

第3次加須市特定事業主行動計画の実施状況をとりまとめ、加須市特定事業主行動計画策定・推進委員会へ報告し、計画の進行管理を行った。

令和7年5月　第3次加須市特定事業主行動計画の実施状況取りまとめ
令和7年7月　加須市特定事業主行動計画策定・推進委員会へ実施状況の報告

◇第3次加須市特定事業主行動計画の令和6年度取組状況

施　策	項目数	取組に対する評価（%）			
		目標を達成	概ね達成	やや遅れている	大幅に遅れている
次世代育成支援対策及び女性活躍推進に関する共通の取組	23	8項目	14項目	1項目	0項目
		34.8%	60.9%	4.3%	0.0%
次世代育成支援対策に関するその他の取組	7	5項目	1項目	1項目	0項目
		71.4%	14.3%	14.3%	0.0%
女性活躍推進に関するその他の取組	3	3項目	0項目	0項目	0項目
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合　計	33	16項目	15項目	2項目	0項目
		48.5%	45.4%	6.1%	0.0%

事 業 名	多重債務対策事業		
担 当 課	人権・男女共同参画課	総合振興計画コード	1174-02
事業の目的	市民の多重債務問題を解決し、安心した生活が送れるよう支援する。		
事業の概要	各課において多重債務問題があるとわかった場合、消費生活センターへ相談を繋げていただく。 消費生活センターの消費生活相談員は、多重債務問題の解決方法を説明し、専門機関(認定司法書士等)へ連絡する。紹介後も債務整理の状況を把握し、再度多重債務状態に陥らないよう生活再建に向けて支援する。		

事業の実績・成果

1　多重債務問題の解決

各課窓口に来所された市民の中で、多重債務問題を抱えた方と分かった場合、消費生活相談員と連携を図り、早期問題解決に繋げた。

・他課からの多重債務者の相談件数

生活福祉課　　11 件

2　多重債務相談件数　　(単位：件)

区　　分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
相談件数	19	22	39	48	44
うち生活福祉課	9	7	8	17	11

事業名	男女共同参画出前講座事業		
担当課	人権・男女共同参画課	総合振興計画コード	2523-04
事業の目的	男女共同参画社会への意識醸成を図るため、現在の国の動向をはじめ、県・市の取り組み状況や社会情勢を分かり易く、直接市民に伝達することにより、男女共同参画社会の実現を目指す。		
事業の概要	コミュニティセンターで開催される講座や、保健センターで実施している事業等に職員が出向き、男女共同参画に関する社会情勢や現状・方向性についての説明を行う。		

事業の実績・成果

○人権・男女共同参画課職員による出前講座

民生委員や女性団体等の会議等の機会を捉え、職員が出向いて直接市民等に対し出前講座を実施した。女性相談窓口の案内や、男女共同参画に関する社会情勢や現状・方向性等について分かりやすく説明し、男女共同参画社会の推進に努めた。

講座実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	回数(回)	23	31	38	25	25
	人数(人)	159	440	605	618	734

令和7年度　出前講座実施状況

場所	事業名	実施日	参加人数	講座内容
加須市役所	単位民児協会長連絡会議	6月17日	24人	男女共同参画週間記念講演会、人権ってなんだろう？
パストラルかぞ	男女共同参画週間記念講演会	6月25日	118人	女性相談、ぱれっと
市民プラザかぞ	女性就業支援セミナー	6月26日	16人	女性相談、ぱれっと
加須市役所	加須市男女共同参画審議会	8月5日	16人	ぱれっと
市民プラザかぞ	加須市男女共同参画セミナー	8月20日	26人	女性相談
市民プラザかぞ	加須市男女共同参画セミナー	10月29日	21人	ぱれっと
キャッスル騎西	騎西城しあわせを呼ぶライトアップ	11月12日	50人	パープルリボン運動、ＤＶ防止啓発、デートＤＶ
市民プラザかぞ	男女共同参画セミナー	12月6日	152人	ＤＶ防止啓発, ぱれっと
市民プラザかぞ	女性就業セミナー	12月8日	15人	女性相談、ぱれっと
加須保健センター	男女共同参画審議会	12月9日	15人	みんなでフォーラム in かぞ
市民プラザかぞ	かぞ地域女性会連合会常任理事会	1月8日	10人	みんなでフォーラム in かぞ
市民プラザかぞ	女性就業支援セミナー	1月16日	7人	女性相談、ぱれっと
市民プラザかぞ	みんなでフォーラム in かぞ	2月1日	91人	男女共同参画プラン

市民プラザかぞ	女性就業支援セミナー	2月6日	15人	女性相談、ぱれっと
パストラルかぞ	女性リーダー研修	2月9日	39人	女性人材リスト
加須保健センター	乳幼児健康相談	2月26日	40人	女性相談
加須市役所	人権擁護委員加須部会役員会	3月2日	15人	女性相談
市民プラザかぞ	かぞ地域女性会連合会常任理事会	3月9日	9人	女性相談
市民プラザかぞ	ＤＶネットワーク会議	3月16日	19人	女性相談
加須保健センター	乳幼児健康相談	3月23日	40人	女性相談

事 業 名	気候変動適応対策事業		
担 当 課	環境政策課	総合振興計画コード	4316-07
事業の目的	地球温暖化に伴う気候変動により考えられるリスクに対し分野ごとに想定される影響を踏まえ、適応策を促進する。		
事業の概要	第2次加須市環境基本計画に、温室効果ガスの排出量削減に加えて、気候変動の影響への「適応策」について位置付けている。地球温暖化を防止するための緩和策の実施と並行して、気候変動に伴い生じる被害の防止・軽減策の実施を周知・啓発する。		

事業の実績・成果

1　加須市気候変動適応センターの設置

埼玉県と加須市が共同して、加須市内における気候変動影響及び気候変動適応に関する情報の収集、整理、分析及び提供並びに技術的助言を行い、気候変動適応の取組を推進することを目的に、令和5年6月に埼玉県気候変動適応センター（埼玉県環境科学国際センターに設置）と共同で、加須市気候変動適応センターを設置。センターの設置に伴い開設した加須市気候変動適応センターのホームページで、気候変動適応の取組の周知・啓発を行った。

【加須市気候変動適応センター】
設置日：令和5年6月30日
構　成：埼玉県気候変動適応センター及び加須市環境安全部環境政策課

2　地域気候変動適応センター定例会議への参画

国立環境研究所気候変動適応センター主催の地域気候変動適応センター定例会議（WEB）会議に出席し、気候変動適応策の推進のための情報共有・情報収集を図った。
令和7年4月11日、6月12日、8月7日、10月9日、令和8年2月12日

3　第2次加須市環境基本計画に位置付けた気候変動の影響への適応策の実施

(1) 農業分野に対する適応策
埼玉県と連携し、高温に対する技術対策等について、市ホームページ等を通じて情報を周知

(2) 自然生態系分野に対する適応策
浮野の里における絶滅危惧種指定の「トキソウ」をはじめとする希少野生植物の調査の実施

(3) 健康分野に対する適応策
熱中症予防対策として、クールオアシスの周知・啓発の実施

(4) 自然災害分野に対する適応策
市民の防災意識の高揚と地域防災力向上のために、防災出前講座等の啓発活動を実施

(5) 都市生活・市民生活に対する適応策
消費電力の削減、暑さ対策のため、「グリーンカーテン」の設置の普及を目的に、「グリーンカーテンコンテスト」を実施

事 業 名	生活排水処理施設整備計画進行管理事業		
担 当 課	環境政策課	総合振興計画コード	4421-02
事業の目的	生活排水処理施設の早期整備を実施し、河川などの公共用水域の汚濁等を改善し生活環境の保全と公衆衛生の向上を図る。		
事業の概要	計画の進捗状況の把握や点検評価を行うとともに、環境審議会や市民等へ公表し、適切な進行管理を行う。 基準年度：平成29年度 目標年度：令和7年度		

事業の実績・成果

公共下水道や農業集落排水事業等への加入促進、合併処理浄化槽への転換促進及び適正な維持管理の徹底をすることにより、市の生活排水処理普及率の向上を図る「第3次加須市生活排水処理施設整備計画」の進捗状況の把握及び点検評価を実施し、「加須市の環境」にその結果を掲載し、環境審議会へ報告するとともに市民等へ公表した。

計画の目標値：令和7年度までに生活排水処理普及率84.5%達成
実　　績：令和7年度末における生活排水処理普及率81.8%

（単位：人）

区　分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
行政区域内人口 (X)	111,947	112,230	112,115	111,840	111,691
生活雑排水処理人口 (A)＋(B)＋(C)＝(Y)	91,414	91,130	91,086	90,912	91,334
公共下水道接続人口	49,410	49,967	49,568	49,220	49,621
公共下水道処理人口 (A)	57,774	58,986	59,177	58,961	59,334
農業集落排水施設接続人口	9,673	9,677	9,697	9,592	9,574
農業集落排水施設処理人口 (B)	12,459	12,294	12,218	11,990	11,903
合併処理浄化槽処理人口	24,561	23,983	24,754	25,028	25,406
うち、浄化槽整備区域内の合併処理浄化槽整備人口 (C)	21,181	19,850	19,691	19,961	20,097
生活雑排水未処理人口	20,533	21,100	21,029	20,928	20,357
生活排水処理普及率 (%) (Y)÷(X)	81.7	81.2	81.2	81.3	81.8

※(X)の人口は、各年度3月31日時点の人口

事 業 名	浄化槽適正管理促進事業		
担 当 課	環境政策課	総合振興計画コード	4423-02
事業の目的	生活環境の保全と公衆衛生の向上のため、浄化槽の適正な維持管理を促進することにより、公共用水域の水質改善を図る。		
事業の概要	浄化槽の維持管理の徹底に向けた普及啓発を実施するとともに、浄化槽管理者及び法定検査の未受検者への受検指導や法定検査結果が不適正と指摘された浄化槽管理者に対する改善指導を実施する。		

事業の実績・成果

1　法定検査の実施状況の推移

(1) 7条検査

設置された浄化槽が適正に施工され、機能しているかを確認する検査。浄化槽を使い始めてから3か月を経過した日から5か月以内に行わなければならない。

・令和7年度合併処理浄化槽設置整備補助金申請者の7条検査受検率 100%

(2) 11条検査

保守点検や清掃が適正に行われ、浄化槽の機能が発揮されているかを確認する検査。毎年1回行わなければならない。

・令和7年度合併処理浄化槽設置整備補助金申請者の11条検査受検率 100%

2　浄化槽の維持管理の徹底に向けた啓発活動

・広報紙を活用し、浄化槽の維持管理の意義及び必要性について周知した。

・浄化槽の維持管理について、浄化槽管理者を戸別訪問し、啓発を行った。

加須地域：下樋遣川地区（198世帯）、騎西地域：上高柳地区（103世帯）

北川辺地域：向古河地区（100世帯）、大利根地域：間口地区（79世帯）で実施

事 業 名	浸水住宅改善資金貸付事業		
担 当 課	危機管理防災課	総合振興計画コード	1217-14
事業の目的	大雨等により床上床下浸水及び恐れのある住宅の改善を図るため住宅の改善資金の貸付及び利子補給の支援を行う。		
事業の概要	貸付条件等 ・貸付資金は、1,000万円を限度として融資する。 ・貸付利率は、2.5%以内とする。 ・貸付期間は、15年以内とし、また借受人が約定どおり償還している場合には前年度償還した資金に係る利子の全額を補助する。 ・貸付に係る利子を補給する。		

事業の実績・成果

1　浸水住宅改善資金：指定金融機関（埼玉りそな銀行加須支店）と協議した。

貸付利率は年2.5%以内

2　令和7年度　申請なし。

事 業 名	国土強靭化地域計画策定事業		
担 当 課	危機管理防災課	総合振興計画コード	1222-01
事業の目的	大規模自然災害等から市民の生命と財産を守り、地域への致命的な被害を回避し、速やかな復旧復興に資する施策を計画的に推進するために、加須市国土強靭化地域計画を策定し、適正管理するとともに周知を図る。		
事業の概要	・加須市国土強靭化地域計画策定・見直しに係る庁内会議の開催 ・当該計画の周知		

事業の実績・成果

大規模自然災害が発生しても市民の生命を最大限守り地域社会の重要な機能を維持する「強さ」と、生活・経済への影響、市民の財産及び公共施設の被害をできる限り軽減して迅速な復旧・復興ができる「しなやかさ」を持ち、市民の安全安心を守るよう備えることを目的として、「第2次加須市国土強靭化地域計画」を策定した。

1　主な改定内容

（1）国の基本計画改定（R5.7月）に対する対応

○策定の趣旨、国の動向を本計画の概要に記載

○新たに基本的な方針に位置付けられた「デジタル等新技術の活用による国土強靭化施策の高度化と「地域における防災力の一層の強化（地域力の発揮)」への対応

・防災士の活動に対する支援

・新たな防災行政無線の整備

・被災者支援システム（避難所入退管理アプリ）の活用

（2）第２次加須市総合振興計画との調和と整合性

○市の概要の整合（位置・地勢・人口・経済等）

○計画期間の整合（R8～R12）

○関連する項目の推進方針、関連計画・指針、KPI（重要業績評価指標）等の整合

（3）施策分野ごとの取組の方向性における内容の追加等

○国土強靭化に関する指針となる各部門計画・指針の修正・追加

・「加須市健康づくり推進計画」→「加須市健康・医療・スポーツ推進計画」

・「加須市商業振興プラン」→「加須市産業振興プラン」

・「加須市新型インフルエンザ等対策行動計画」を追加

○防災士の活動に対する支援

○新たな防災行政無線の整備

○被災者支援システム（避難所入退管理アプリ）の活用

○災害ケースマネジメントの構築

○避難場所の備蓄品の充実

○各課への意見照会により担当課からの修正・追加等を反映

2　策定の経過

月日	会議等	備考
R7.10.10	庁内意見照会	
R7.11.12	政策会議	
R7.12.25～R8.1.23	パブリックコメント	意見なし
R8.1.30	策定（決裁）	
R8.3.9	議会　計画書データ配付	

事 業 名	国土強靭化地域計画進行管理事業		
担 当 課	危機管理防災課	総合振興計画コード	1222-02
事業の目的	大規模自然災害等から市民の生命と財産を守り、地域への致命的な被害を回避し、速やかな復旧復興に資する施策を計画的に推進するために、加須市国土強靭化地域計画を策定し、適正管理するとともに周知を図る。		
事業の概要	・年次計画（国土強靭化地域計画アクションプラン）を作成し、進行管理を行う。 ・国の情勢を注視し、適時、計画の見直しを図る。 ・当該計画の周知を図る。		

事業の実績・成果

加須市国土強靭化地域計画は、東日本大震災や令和元年東日本台風（台風第 19 号）等の教訓を踏まえ、どのような大規模災害等が起こっても機能不全に陥らず、市民の生命・財産及び生活を守るとともに、市民や国、埼玉県、関係機関が一体となり、「強さ」と「しなやかさ」を兼ね備えた自助・共助・公助で守る安心安全なまちづくりを推進するために、令和 3 年 3 月 4 日策定した。

国土強靭化を確実に推進するために、個別事業の進捗を定量的に把握し、数値目標等を用いて的確に進行を管理するため、年次計画（アクションプラン）を令和 7 年 7 月に作成した。

事 業 名	全職員による青色回転灯パトロール事業		
担 当 課	交通防犯課	総合振興計画コード	1312-04
事業の目的	市民が犯罪に巻き込まれることなく、安全で安心して生活を送ることができるようにするため、青色回転灯を装備した車両を使用し、パトロールを実施する。		
事業の概要	・全職員が交代で青色回転灯を装備した公用車で、市内をパトロールする。 ・実施者講習会（管理職対象）を行う。		

事業の実績・成果

○ こどもたちをはじめ、市民の安全確保や様々な犯罪防止を図るため、青色回転灯装備車両を使用した防犯パトロール（市内全域）を実施した。

・本庁 2 台、各総合支所 1 台の 5 台体制で小学校の通学路を中心に、パトロールを実施した。
・民間パトロール団体（4 団体）と共にパトロールを実施した。
・行方不明者及び不審者情報の提供があった場合は、対象地域での重点的なパトロールを実施した。
・パトロール実施者講習会を開催した。（4 月 16 日、4 月 23 日の 2 日間 計 4 回）

【パトロール実施日数】（職員実施分） 214 日

【加須市内の犯罪発生件数の推移】 （単位：件）

	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
刑法犯総数	616	575	642	707	717
侵 入 盗 計	89	90	54	47	33
街頭犯罪計	179	129	167	176	167

※侵 入 盗：空き巣・忍び込み・事務所荒しなど
※街頭犯罪：自転車盗・車上狙い・ひったくり・自販機ねらいなど

事 業 名	企業立地促進事業		
担 当 課	産業振興課	総合振興計画コード	3111-01
事業の目的	市内への企業立地を促進することにより、雇用の創出や地域産業の活性化、新たな財源確保を図る。		
事業の概要	県や関係機関と連携し、工業団地や民有地物件などへの企業立地を促進するとともに、既存立地企業との関係を良好に保ち、継続的な支援を行う。 また、大規模小売店舗立地法に基づく届出等に関する円滑な支援を行う。		

事業の実績・成果

県や関係機関と連携し、工場適地への優良企業の立地を促進するとともに、工業の振興を図り、雇用の創出や地域経済の活性化、新たな財源確保に努めた。

・ 企業からの相談等（市内工業団地内空き区画及び工場立地適地に関する情報収集等）
　相談件数　19 件

・ エコ産業団地づくり（産業活性化）サポート
　快適かぞ市民活動への参加件数　3 件

・ 工業団地内への企業立地
　企業立地件数　3 件

事 業 名	先端設備等導入促進事業		
担 当 課	産業振興課	総合振興計画コード	3222-06
事業の目的	「中小企業等経営強化法」を通じて、市内の中小企業・小規模事業者等の多様な設備投資を支援し、市内の労働生産性を高め、市内経済の活性化を図る。		
事業の概要	「中小企業等経営強化法」により、市が導入促進基本計画を策定し、その計画により先端設備等導入計画の認定を受けた場合、以下の支援が受けられる。 ・1.5%の賃上げ方針を表明して、一定の設備を新規取得した場合、償却資産に係る固定資産税の特例として課税標準を 3 年間、2 分の 1（賃上げ 3%以上の場合 5 年間、4 分の 1）の軽減措置を受けることができる。		

事業の実績・成果

・ 加須市導入促進基本計画について
　平成 30 年 6 月 6 日に施行された「生産性向上特別措置法」に基づき、平成 30 年 7 月 17 日、経済産業省関東経済産業局長より加須市導入促進基本計画の同意を得た。
　平成 30 年 10 月 17 日、経済産業省関東経済産業局長より同導入促進基本計画の一部変更について同意を得た。
　「中小企業等経営強化法」に移管されたことに伴い、令和 3 年 6 月 30 日、経済産業省関東経済産業局長より同導入促進基本計画の一部変更について同意を得た。
　また、税制改正による新特例措置の開始に伴い、令和 5 年 4 月 1 日、経済産業省関東経済産業局長より同導入促進基本計画の新計画（計画期間 令和 5 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日）について同意を得た。
　計画期間の終了に伴い、新計画（計画期間 令和 7 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日）について同意を得た。

・ 先端設備等導入計画の認定について
　令和 7 年度認定件数：新規 12 件、変更 6 件

事 業 名	移動スーパー支援事業		
担 当 課	産業振興課	総合振興計画コード	3222-08
事業の目的	主に買い物弱者を対象として新たに「移動スーパー」を導入することで、新たな経営スタイルを目指す事業者や個人事業者を支援し、事業への積極的な参入を促す。		
事業の概要	移動販売車を使用し、市内の任意の地域を週に1回以上巡回して生鮮三品及び日用生活物資等を販売しようとする事業者等に対し、事業費の一部を補助する。		

事業の実績・成果

移動スーパーを導入する事業者を支援する「移動スーパー支援事業補助金」の利用はなかった。

・ 移動スーパー支援事業補助金交付件数等の推移

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
補助件数（件）	1	0	1	0	0
補助金額（円）	1,000,000	0	1,000,000	0	0

補助上限額100万円（補助率2/3）

・ 令和8年3月31日現在、3事業者により1週間に延べ114箇所で販売

事 業 名	民間マルシェ応援事業		
担 当 課	産業振興課	総合振興計画コード	3223-13
事業の目的	市内で開催する民間主導のマルシェ（市（いち）の開催）を支援し、地域の賑わい創出と地域産業の振興を図る。		
事業の概要	商工会と連携し、市内で開催する民間主導のマルシェの後援やテント等備品の貸与、市民への周知を行う。		

事業の実績・成果

・令和7年5月24日開催の力士蔵祭りについて、テント等備品の貸与及び庁舎内でのポスター掲示を実施した。
・令和7年9月27日および令和8年3月20日開催のはなさくクラフトマーケットについて後援を行った。

事 業 名	中川上流地区高収益作物導入推進事業		
担 当 課	農業振興課	総合振興計画コード	3212-01
事業の目的	中川上流地区での水田農業における経営の安定化を図る。		
事業の概要	中川上流地区国営事業等推進協議会　営農部会において、地域農業の将来における振興方向を協議する。		

事業の実績・成果

令和7年2月3日の推進協議会総会において、国営かんがい排水事業（高収益作物導入促進事業）から国営かんがい排水事業（地域防災対策一体型）による事業化を推進することが決まった。

なお、次の会議で営農関係事項の話し合いが行われた。

・中川上流地区国営事業等推進協議会 令和7年度第1回営農部会
日　時　令和7年9月24日（水）午後2時から
場　所　羽生領島中領用排水路土地改良区 大会議室
内　容　・これまでの検討経緯等
・土地利用計画（現況及び計画）（案）について
・今後の営農部会について

・中川上流地区国営事業等推進協議会 令和7年度第2回営農部会
日　時　令和8年1月8日（木）午後1時30分から
場　所　羽生領島中領用排水路土地改良区 大会議室
内　容　・土地利用計画（案）について
・経営計画（案）について
・営農計画の実現に向けた取組（案）について

・中川上流地区国営事業等推進協議会 令和7年度第3回営農部会
日　時　令和8年3月25日（水）午前9時30分から
場　所　羽生領島中領用排水路土地改良区 大会議室
内　容　・営農計画（土地利用計画・経営計画）（案）について
・営農計画の実現に向けた取組（案）について

事 業 名	養育費確保支援事業		
担 当 課	子育て支援課	総合振興計画コード	2122-15
事業の目的	離婚等によりひとり親となった方の家庭のこどもの生活と健やかな成長を支える。		
事業の概要	こどもを監護するひとり親が、もう一方の親との間で養育費の取決めをするために要した費用の一部を補助する（令和8年度から）。		

事業の実績・成果

離婚を考えている方などを対象に、養育費に関する相談支援を実施した。

令和7年8月に児童扶養手当現況届の提出対象者に（離婚を支給事由とする受給資格者に限る。）を対象として「養育費に関する調査」を実施した。

加須市養育費公正証書等作成支援補助金交付要綱を制定（令和8年4月1日施行）した。

事 業 名	主任児童委員・児童委員活動支援事業		
担 当 課	すくすく子育て相談室	総合振興計画コード	2114-01
事業の目的	主任児童委員・児童委員の活動を支援し、地域での子育て支援活動の充実を図る。		
事業の概要	研修会の開催や児童虐待啓発活動にて交流を図ることで連携を密にするとともに、研修会では児童虐待等に関する知識を提供することで安心して活動出来る環境を構築する。		

事業の実績・成果

研修会を通じて、児童相談所の虐待対応の実状、市と児童相談所の役割、事例について学び、児童虐待の実際について理解が深まるとともに、学んだ知識を児童委員・主任児童委員の業務に役立てられている。

・研修会の開催
期　日：令和7年10月22日
参加者：加須市民生委員・児童委員協議会30名
会　場：市民プラザかぞ
講　師：埼玉県中央児童相談所　市町村支援員　伊藤　隆之氏
内　容：「児童虐待について」

事 業 名	母子自立支援施設入所事業		
担 当 課	すくすく子育て相談室	総合振興計画コード	2114-17
事業の目的	保護を必要とする母子家庭に支援を行うことにより、子育て支援体制の充実を図ること、並びに、安全でかつ自立へ向けた指導が受けられるよう、生活の場を提供することを目的とする。また、保健上入院が必要であるにも関わらず、経済的な理由により入院助産を受けることができず、他からの援助も期待できない妊婦を対象に、指定の助産施設に入所させ、出産する際の費用援助を目的とする。		
事業の概要	母子での生活を余儀なくされている家庭で、精神的に不安定になったり、前夫から暴力を受けているなど、生活の安定が得られない母子家庭が、自立の道を歩むことができるよう母子生活支援施設で、様々な指導、支援を受けながら自立促進を図る。 経済的理由かつ他からの援助が期待できない妊婦を対象に指定助産施設に入所させ、安全な環境で出産ができる。		

事業の実績・成果

令和7年度は実績なし。

1　施設入所世帯・措置費の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
措置入所世帯数（世帯）	1	1	0	0	0
措置費（円）	6,109,301	3,459,086	0	0	0

2　助産施設入所人数・措置費の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
助産施設入所人数（人）	0	0	0	0	0
措置費（円）	0	0	0	0	0

事 業 名	多子世帯保育所保育料軽減事業		
担 当 課	こども保育課	総合振興計画コード	2113-10
事業の目的	低所得世帯等の保育料を軽減し、子どもを産み育てやすいまちをつくる		
事業の概要	収入が一定額未満の世帯について、保育所保育料の多子軽減措置の範囲を拡大し、軽減を受けられる対象を増やす。		

事業の実績・成果

平成 28 年度から拡大した保育所保育料の多子軽減措置の範囲を、令和 7 年度も継続して実施した。

【軽減内容】
・年収約 360 万円未満相当の世帯について、これまでの多子計算に係る年齢制限（就学前児童のなかで数える）を撤廃し、第 2 子の保育料を半額、第 3 子以降の保育料を無償化。
・年収約 360 万円未満相当のひとり親世帯については、第 1 子の保育料を半額、第 2 子以降の保育料を無償化。

事 業 名	保育料収納対策事業		
担 当 課	こども保育課	総合振興計画コード	2131-19
事業の目的	迅速かつ効率的な収納・滞納整理事務を実施し、保育料の収納率の向上、公平性の確保、市民サービスの向上及び自主財源の確保を図る。		
事業の概要	現年度の保育料の未納を作らないよう、滞納者へ働きかける。 滞納者へ催告書を送付、面談等を行い納付を促す。 市内私立保育園に保育料収納事務を委託（予算：就学前子ども教育・保育認定事業）。		

事業の実績・成果

保育所保育料の滞納解消に向けて、納付に対する積極的なＰＲ等を行い、自主納付の推進を図るとともに、催告書の送付などを実施し、収納率の維持向上に努めた。
また、新たな未納を作らないように、口座振替による納付を推進した。

保育所保育料（現年度分）収納率の推移　（単位：%）

令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
99.29	99.09	99.31	99.48	99.12

事 業 名	あんしん見守りサポート事業		
担 当 課	地域福祉課	総合振興計画コード	1163-07
事業の目的	市内のひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯、障がい者、生活に困窮している者、及びその他日常の生活の中で見守りが必要とされる者が安心して暮らせる地域づくりを目的とする。		
事業の概要	ライフライン事業者等がお客様宅を訪問された際に、郵便ポストに新聞や郵便物がたまっていたなど、日常業務の範囲内で何らかの異変に気づかれた場合、市の安心見守り事業担当部署へ連絡をいただく。その後、市は関係機関や団体と連携し、対象者の安否確認等を行う。		

事業の実績・成果

〇あんしん見守り協力事業者　　61 事業者
協力事業者には礼状を送付し、1 年間の見守りに対するお礼と引き続いての見守りへの協力依頼を実施した。

〇発生件数の推移　（単位：件）

令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
3	2	3	1	3

事 業 名	行方不明者早期発見活動事業		
担 当 課	地域福祉課	総合振興計画コード	1163-08
事業の目的	警察へ届出があった市民の行方不明者情報を、関係機関等に情報提供を行うことにより、行方不明となった市民を早期に発見する。		
事業の概要	届出のあった行方不明者情報の詳細を確認し、早期発見に向けて関係機関等に情報提供する。		

事業の実績・成果

・関係各課から情報収集のうえ、防災行政無線の依頼、民生委員や自治協力団体への情報提供等を行い行方不明者早期発見に向け、連携し事業を実施した。
その他、高齢者の行方不明者が多いため、「認知症高齢者等早期発見ステッカー」（高齢介護課）をご家族等にご案内した。

〇発生件数の推移　（単位：件）

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
22	22	17	25	11

事 業 名	社会福祉事業許可等事務事業		
担 当 課	地域福祉課	総合振興計画コード	1164-01
事業の目的	健全な福祉サービスを確保し、もってすべての市民が豊かに生活できる地域福祉の推進に資する。		
事業の概要	社会福祉法第2条第2項、第3項に規定される第一種・第二種社会福祉事業（社会福祉法第 74 条の規定により適用除外とされるもの及び県の権限未移譲の軽費老人ホームに係る事務を除く）の届出受理、許可等を実施する。		

事業の実績・成果

第一種・第二種社会福祉事業を行う社会福祉法人等からの事業開始の届出受理、許可等を行った。

〇 社会福祉事業開始届受理、許可件数　（単位：件）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
開始届受理件数	0	0	0	0	1
事業許可件数	0	0	0	0	0

事 業 名	保育所等指導監査等事務事業		
担 当 課	地域福祉課	総合振興計画コード	1164-04
事業の目的	良好な児童福祉サービスを確保し、もって子どもを産み育てやすい環境の整備に資する。		
事業の概要	児童福祉施設（保育所・児童館）の設置認可、特定教育・保育施設及び特定子ども・子育て支援施設等の確認審査及び届出の受理。 児童福祉施設の施設監査、特定教育・保育施設等の確認指導監査、業務管理体制検査の実施。 特定子ども・子育て支援施設等に係る確認指導監査の実施。		

事業の実績・成果

民間保育所の設置認可・廃止（休止）承認・設置認可事項変更届出の受理及び児童福祉法に基づく児童福祉施設指導監査を実施した。併せて、子ども・子育て支援法に基づく特定教育・保育施設の確認指導監査及び特定子ども・子育て支援施設等確認指導監査を実施した。

○ 児童福祉法に基づく児童福祉施設指導監査実施件数

（単位：施設）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
定期指導監査（実地指導）	6	2	9	7	3
定期指導監査（書面指導）	8	12	6	7	11
随時指導監査（特別調査）	0	0	0	0	0

○ 子ども・子育て支援法に基づく特定教育・保育施設確認指導監査実施件数

（単位：施設）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
指導	実地指導	6	2	8	7	3
	書面指導	7	8	6	5	5
監査		－	－	－	1	1

※ 監査は令和6年度から継続中

○ 子ども・子育て支援法に基づく特定子ども・子育て支援施設等確認指導監査実施件数

（単位：施設・事業）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
一般指導監査	実地指導	0	10	12	9	10
	書面指導	0	8	3	7	5
特別指導監査	実地監査	－	－	－	1	1

※ 令和3年度：新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、講習会形式での実施に代えて、資料を対象施設等へ個別送付することにより実施

※ 特別指導監査は令和6年度から継続中

事 業 名	認可外保育施設指導監査等事務事業		
担 当 課	地域福祉課	総合振興計画コード	1164-05
事業の目的	良好な児童福祉サービスを確保し、もって子どもを産み育てやすい環境の整備に資する。		
事業の概要	安全かつ良好な保育サービスの確保のため、市内の認可外保育施設の開設状況を管理するとともに、児童福祉法に基づく立入調査等及び子ども・子育て支援法に基づく特定子ども・子育て支援施設等実地指導を実施し、基準の遵守や保育の質の確保、子育てのための施設等利用費支給事務の適正の確保について必要な指導を行う。		

事業の実績・成果

認可外保育施設の開設相談、事業内容等変更届出の受理、運営状況の報告及び人員や設備・運営等に関する立入調査（ベビーシッターは集団指導）に併せて、幼児教育・保育の無償化に関する特定子ども・子育て支援施設等実地指導（企業主導型保育施設を除く）を行った。

○ 市内認可外保育施設数（施設型:各年度末現在） （単位：件）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
認可外保育施設数（施設型）	7	8	8	6	6
うち企業主導型保育施設	3	3	3	2	2

○ 市内認可外保育施設数（居宅訪問型:各年度末現在） （単位：件）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
認可外保育施設数（居宅訪問型）	3 (内 休止中1)	2 (内 休止中1)	3 (内 休止中1)	3 (内 休止中2)	3 (内 休止中2)

※ 居宅訪問型：ベビーシッター

○ 立入調査実施件数 （単位：件）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
立入調査実施件数	7	8	8	6	6

○ 集団指導実施回数 （単位：回／人）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
集団指導実施回数 （ ）は事業者数	1 (3)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)

※令和3年度より集団指導を実施
※令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面で実施
※令和4年度以降は事業者1名のため個別で実施

事 業 名	放課後児童健全育成事業者指導監査等事務事業		
担 当 課	地域福祉課	総合振興計画コード	1164-06
事業の目的	良好な児童福祉サービスを確保し、もって子どもを産み育てやすい環境の整備に資する。		
事業の概要	市内で放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）を運営する施設に係る各種届出の受理及び指導監査を実施し、運営状況の確認を行う。		

事業の実績・成果

市内で放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）を運営する施設に係る事業内容変更届の受理及び放課後児童クラブ運営指針や設備・運営に関する基準の遵守に関する報告徴収（書面監査）・立入調査を実施した。

・公営放課後児童健全育成室は、毎年報告徴収（書面監査）を実施
・民営放課後児童健全育成事業所は、原則 3 年に 1 回立入調査を実施し、これ以外の年は報告徴収（書面監査）を実施

○ 事業所数(各年度末現在)　（単位：件）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
公営放課後児童健全育成室	17	17	17	17	17
民営放課後児童健全育成事業所	17	17	17	17 (内 休止中 1)	17 (内 休止中 1)

○ 報告徴収(書面監査)実施件数　（単位：件）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
公営放課後児童健全育成室	17	17	17	17	17
民営放課後児童健全育成事業所	12	11	11	11	10

○ 立入調査実施件数　（単位：件）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
民営放課後児童健全育成事業所	5	6	6	5	6

※ 原則として 3 年に 1 回実施

事 業 名	指定特定相談支援事業者等指導監査等事務事業		
担 当 課	地域福祉課	総合振興計画コード	1164-07
事業の目的	適切かつ良好な障害福祉サービスを確保し、もって障がい者及び障がい児の福祉の増進に資する。		
事業の概要	特定相談支援事業所等に係る指導監査を実施し、運営状況の確認を行う。		

事業の実績・成果

加須市が指定した指定特定相談支援事業者及び指定障害児相談支援事業者の指導監査（実地指導）を行い、適切な相談支援を提供するための体制（人員・設備・運営・給付等）について、法令の基準等に不適当な点がないか確認を行った。

○ 事業所数（各年度末現在）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
指定特定相談支援事業者	3	4	6	6	7 （うち休止2）
指定障害児相談支援事業者	3	4	6	6	6 （うち休止1）

○ 実地指導実施件数 （単位：件）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
指定特定相談支援事業者	3	2	1
指定障害児相談支援事業者	3	2	1

※ 実地指導は、令和5年度より原則3年に1回実施

事 業 名	乳児等通園支援事業者等指導監査等事務事業		
担 当 課	地域福祉課	総合振興計画コード	1164-08
事業の目的	良好な児童福祉サービスを確保し、もって子どもを産み育てやすい環境の整備に資する。		
事業の概要	加須市乳児等通園支援事業の実施に向けた関係例規の整備。 乳児等通園支援事業の認可、確認審査及び届出の受理。 特定乳児等通園支援事業者に対する指導監査の実施及び運営指導。		

事業の実績・成果

児童福祉法第34条の15に基づく乳児等通園支援事業の認可及び子ども・子育て支援法第54条の2に基づく特定乳児等通園支援事業者の確認事務を新たに行うため、「加須市乳児等通園支援事業の認可等に関する規則」を制定した。

また、特定乳児等通園支援事業者の確認を行った。

○ 認可・確認件数 （単位：件）

	令和7年度
認可件数	－
確認件数	1

※ 令和8年度から給付事業として全国的に実施する乳児等通園支援事業者の確認を令和7年度に実施。
市が公立保育所等において乳児等通園支援事業を行う場合、児童福祉法に基づく「認可」は不要。

事 業 名	生活保護法による返還金等収納対策事業		
担 当 課	生活福祉課	総合振興計画コード	1173-07
事業の目的	生活保護費の適正な受給を行うため、迅速かつ効率的な債権管理事務を実施するとともに、不正受給の防止と保護の適正実施を図る。		
事業の概要	・返還金等の計画的な納付指導を行うとともに、返還金等の未納者に対しては、督促状や催告書を送付し納付を促す。さらに、臨宅徴収を実施し、返還金等の早期収納を図る。		

事業の実績・成果

・不正受給防止対策

受給者に対し収入申告徴収の徹底を図り、課税調査の時期を早めるなどし、返還金発生の防止・早期発覚を図った。

・計画的な納付指導の強化

生活実態を把握するとともに、生活保護費支給時及び訪問時に分割納付などによる計画的な納付指導を実施した。

令和7年10月を「生活保護返還金収納対策強化月間」とし、未納者に対する積極的な声掛けや、収納相談・指導を実施した。

返還金が発生した時点で生活保護を受給している者は、本人の同意を得た上で毎月支給する保護費の一部を返還に充当した。

・届出義務の周知徹底

返還金等の発生を未然に防ぐため、「保護だより」を定期的に発行するとともに、生活保護受給者に対し、来庁又は訪問時に収入申告等の届出義務の周知徹底を図った。

・催告・臨宅の実施

文書催告及び電話催告を実施し、訪問時に自主納付を促した。

滞納者に対し催告（年4回）を送付する際、滞納者が中身を確認せず捨てることを防ぐため、封筒に「重要」の印を赤字で押すとともに、「必ず中身をご確認ください」の一文を印刷し、郵送した。

・不納欠損処分の実施

死亡や居所不明の世帯を十分に調査し、消滅時効による不納欠損処分を実施した。

【返還金等の収納率】　（単位：%）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
現　年　分	79.6	67.8	70.7	50.5	56.5
滞納繰越分	8.6	9.8	10.1	8.2	9.2
計	32.1	19.7	25.2	16.0	19.3

事 業 名	障害者虐待防止事業		
担 当 課	障がい者福祉課	総合振興計画コード	1151-04
事業の目的	障害者の権利利益の擁護を図る。		
事業の概要	障害者虐待の防止、早期発見、虐待を受けた障害者に対する保護や自立の支援、養護者に対する支援を行う。		

事業の実績・成果

・平成24年10月1日に、「障害者虐待の防止、障害者の擁護者に対する支援等に関する法律（障害者虐待防止法）」が施行され、市町村が障がい者虐待の通報・相談の窓口となった。

・広報かぞ及び市ホームページにおいて、虐待防止に係る記事を掲載し周知を図った。

虐待相談件数

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
件数	14件	15件	19件	22件	31件

事 業 名	終活支援事業		
担 当 課	高齢介護課	総合振興計画コード	1142-35
事業の目的	高齢者が自分らしい最期を迎えるために、人生の終わりに向けた準備をサポートし、本人と家族の安心と負担軽減を図る。		
事業の概要	・エンディングノートの作成及び配布 ・エンディングプラン・サポートの実施 ・終活情報登録支援の実施 ・終活説明会の開催		

事業の実績・成果

説明会や登録制度を通じて行政が直接支援を行う体制を確立し、高齢者本人と家族が将来への不安を軽減し、尊厳を保てる地域づくりを推進した。

【エンディングノート】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
作成部数	－	－	－	－	3,500

【終活情報登録制度】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
登録者数	－	－	－	－	3

【エンディングプラン・サポート】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
登録者数	－	－	－	－	0

【終活説明会】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
開催回数	－	－	－	－	4
参加者数	－	－	－	－	170

事 業 名	国民健康保険保健事業実施計画進行管理事業		
担 当 課	いきいき健康医療課	総合振興計画コード	1111-04
事業の目的	国保被保険者に対し、健康課題に応じた保健事業を実施することにより、「健康の保持増進」、「生活の質の維持及び向上」が図られ、結果として「医療費の適正化」に資することを目的とする。		
事業の概要	データヘルス計画の目的、目標を達成に関連する個別保健事業(7 事業) について健康課題に対する評価指標を設定し、事業の効果や目標の達成状況を評価する。 併せて、ＰＤＣＡサイクルに基づき事業の点検、評価及び課題の抽出を行い、目標達成のための評価・見直しを毎年度行う。 ※計画期間：令和 6 年度から令和 11 年度（中間評価：令和 8 年度）		

事業の実績・成果

加須市国民健康保険保健事業実施計画に位置付けられた事業の進捗状況を評価した。

○令和 7 年度第 1 回加須市国保運営協議会
開　催　日　令和 7 年 7 月 29 日
内　　容
加須市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)の進捗状況について
健康寿命の延伸
生活習慣病一人当たりの医療費
国保特定健診受診率
特定保健指導実施（終了）率

事 業 名	スポーツ施設安全点検事業		
担 当 課	スポーツ振興課	総合振興計画コード	2411-21
事業の目的	一般利用者が安心・安全に利用できるプレー環境の実現を図る。		
事業の概要	安全な施設、最適な運動施設環境をつくるため、体育館内、野球場、テニスコート、駐車場、各広場、鎮守前公園等を巡回し、施設・設備・用具等安全点検を行い、施設管理者に報告する。		

事業の実績・成果

職員による日常的な安全点検を実施し、施設に起因する事故はゼロであった。

○点検概要

主な点検施設	体育館、野球場、テニスコート、陸上競技場、プール、多目的広場、グラウンド・ゴルフ場、ゲートボール場など
点検体制	職員による日常点検
点検項目	施設・器具・用具等の異常の有無、グラウンドコンディション・雑草の繁殖状況

事 業 名	ねんきんサテライト加須利用促進事業		
担 当 課	国保年金課	総合振興計画コード	1171-02
事業の目的	『ねんきんサテライト加須』との連携強化による年金窓口の充実を図る。		
事業の概要	・『ねんきんサテライト加須』で年金に関する相談、手続きができることを周知する。 ・『ねんきんサテライト加須』との連携強化及びPRによる利用促進を図る。		

事業の実績・成果

・　加須市周辺の住民が、より近くで年金の相談や手続きができるよう、平成31年2月から「ねんきんサテライト加須（熊谷年金事務所加須分室）」が開所された。

（単位：人）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用人数　　A	7,039	9,066	8,802	7,126	7,495
うち加須市民　B	4,166	5,278	5,148	4,210	5,397
加須市民利用率 B/A(%)	59.2	58.2	58.5	59.1	72.0

事 業 名	産前産後国民年金保険料免除事業		
担 当 課	国保年金課	総合振興計画コード	1171-03
事業の目的	次世代育成支援の観点から国民年金保険料の免除申請を促進する。		
事業の概要	国民年金保険料の産前産後期間の免除制度について周知する。		

事業の実績・成果

・　関係各課において、対象者にチラシを配布し周知を図った。

（単位：人）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
申請者数	25	23	45	51	41

事 業 名	景観形成推進事業		
担 当 課	都市計画課	総合振興計画コード	4222-02
事業の目的	やすらぎとうるおいのある景観形成の推進を図る。		
事業の概要	・市民との協働による景観まちづくり事業を推進する。 ・地域の魅力と活力の向上を図る。		

事業の実績・成果

・景観モデル地区である水深地区の豊かな自然等の景観資源を保全、継承するため、「水深地区景観指針」に基づき、景観を活かしたまちづくりの一環として「下高柳憩いの場」の維持管理に努めた。

○水深地区景観まちづくりの活動状況

実　施　日	内　容	参加人数
令和7年9月2日（火）	下高柳憩いの場の除草	5名

事 業 名	土地利用推進事業		
担 当 課	都市計画課	総合振興計画コード	5211-03
事業の目的	地域の特性を活かし、秩序ある整備と発展を目指すため、土地利用の方針に基づき、計画的な土地利用を推進する。		
事業の概要	「土地利用に係る庁内連絡会議」を開催し、関係課と情報や課題を共有し、土地利用の計画的な推進に向けて調整・連携を図るとともに、県をはじめとする関係機関との協議を行う。		

事業の実績・成果

・次の産業団地の整備に係る候補地区の公表や、加須市都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例第 6 条第 1 項第 1 号区域（法第 34 条第 12 号区域(産業系)）の指定等を行うため、土地利用に係る庁内連絡会議を開催し、産業系ゾーンにおける土地利用推進について協議した。

○土地利用に係る庁内連絡会議の開催回数　2回

事 業 名	公共施設バリアフリー化事業		
担 当 課	建築開発課	総合振興計画コード	1165-01
事業の目的	誰もが生活しやすい地域環境を形成するため、ユニバーサルデザインを推進する。		
事業の概要	加須市バリアフリー条例、加須市市有施設設計方針及び埼玉県福祉のまちづくり条例に基づき、市有建築物の大規模改修工事等（新築・改築・増築）に併せてバリアフリー化を推進する。		

事業の実績・成果

誰もが生活しやすい地域環境を形成するため、市有建築物の大規模改修工事等（新築・改築・増築）と併せたバリアフリー化の設計、工事を実施し、公共施設のバリアフリー情報を公表した。

1　建築物の設計、工事の状況

(1)加須市立礼羽小学校校舎長寿命化改良工事

(2)加須市立高柳小学校校舎長寿命化改良工事設計業務委託

(3)加須市立新保育所新築工事設計業務委託

(4)加須市消防団第１分団詰所新築工事

2　バリアフリー化の内容

スロープ、バリアフリートイレ、手すり、車椅子使用者専用駐車場等の設置

3　公共施設（学校施設を除く）のバリアフリー化状況　　※市ＨＰ掲載（市独自基準によるもの）

バリアフリー情報 （令和7年7月現在）

NO	用途	施設名	地区	階数	①車イス用駐車場	②スロープ（段差がない）	③車イスが利用可能な出入口	④車イスが利用可能な廊下	⑤階段の両側手すり	⑥エレベーター（昇降機）	⑦バリアフリートイレ	⑧オストメイト	⑨ベビーチェア（トイレ）	⑩乳児用ベッド	⑪授乳コーナー	⑫貸出用車イス	⑬貸出用ベビーカー	⑭貸出用シルバーカー
1	官公署	加須市役所（本庁舎）	加須	5	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2	官公署他	プラザきさい（騎西総合支所他）	騎西	3	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
3	官公署	北川辺総合支所	北川辺	2	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	
4	官公署	大利根総合支所	大利根	2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
5	官公署	加須保健センター	加須	2	●	●	●	●			●		●	●	●	●		
6	官公署	北川辺健康福祉センター	北川辺	2	●	●	●	●	●		●			●	●			
7	官公署	大利根健康福祉センター	大利根	2	●	●	●	●	●		●		●	●	●	●		
8	官公署	水道課（加須市上水道管理センター）	加須	2	●	●	●	●	●		●		●	●				
9	集会・図書	市民プラザ（市民総合会館他）	加須	5	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
10	集会・図書	キャッスルきさい（騎西文化・学習ｾﾝﾀｰ）	騎西	2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
11	集会・図書	みのり（北川辺文化・学習ｾﾝﾀｰ）	北川辺	2	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●		
12	図書館	ノイエ（童謡のふる里おおとね図書館）	大利根	2	●	●	●	●		●	●		●					
13	集会場	パストラルかぞ（加須文化・学習ｾﾝﾀｰ）	加須	4	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●		
14	集会場	アスタホール（大利根文化・学習ｾﾝﾀｰ）	大利根	2	●	●	●	●	●		●		●	●	●	●		
15	集会場	田ケ谷総合センター	騎西	2	●	●	●	●			●		●	●	●	●		
16	集会場	北川辺ライスパーク	北川辺	1		●	●	●			●							
17	集会場	大利根総合福祉会館	大利根	3	●	●	●	●		●	●			●	●	●		●
18	集会・展示	加須未来館	加須	2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
19	道の駅	道の駅かぞわたらせ農産物直売施設・ﾚｽﾄﾗﾝ	北川辺	1	●	●	●	●			●	●	●	●				
20	道の駅	童謡のふる里おおとね農業創生センター	大利根	1	●	●	●	●			●	●	●	●				
21	体育館	加須市民体育館	加須	2	●	●	●	●			●			●	●	●		
22	体育館	加須南篠崎体育館	加須	1	●	●	●	●			●	●	●					
23	体育館	騎西総合体育館（ふじアリーナ）	騎西	2	●	●	●	●		●	●		●	●	●	●		
24	体育館	北川辺体育館	北川辺	2	●	●	●	●	●									
25	体育館	大利根文化体育館	大利根	2	●	●	●	●			●							
26	公衆浴場	健康ふれあいセンター（いなほの湯）	加須	1	●	●	●	●						●	●	●		
27	展示場	道の駅かぞわたらせ物産施設・交流ｽﾍﾟｰｽ	北川辺	3	●	●	●	●	●	●	●							
28	展示場	騎西郷土史料展示室（騎西城）	騎西	3	●		●	●	●									
29	展示場	北川辺郷土資料館	北川辺	1		●	●	●										
30	児童施設	利根川こども館	加須	1	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●			
31	児童施設	加須児童館	加須	2				●	●					●	●			
32	児童施設	花崎児童館	加須	2	●	●	●	●	●		●		●	●	●			
33	児童施設	加須市子どもふれあいの家	加須	2		●	●	●	●		●	●						
34	診療所	国民健康保険北川辺診療所 （※現在、休診中）	北川辺	1			●				●			●		●		
35	多目的	グリーンファーム加須	加須	1	●		●	●			●							
36	コミセン	加須コミュニティセンター	加須	2	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●		
37	コミセン	不動岡コミュニティセンター	加須	1	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●		
38	コミセン	三俣コミュニティセンター	加須	1	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●		
39	コミセン	礼羽コミュニティセンター	加須	2			●	●	●							●		
40	コミセン	大桑コミュニティセンター	加須	2	●	●	●	●	●							●		
41	コミセン	花崎コミュニティセンター	加須	1	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●		
42	コミセン	川口コミュニティセンター	加須	2	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●		
43	コミセン	南篠崎コミュニティセンター	加須	2	●	●	●	●						●				
44	コミセン	水深コミュニティセンター	加須	2	●	●	●	●	●							●		
45	コミセン	樋遣川コミュニティセンター	加須	2	●	●	●	●	●						●			
46	コミセン	志多見コミュニティセンター	加須	2	●	●	●	●	●							●		
47	コミセン	大越コミュニティセンター	加須	2	●	●	●	●	●							●		
48	コミセン	高柳コミュニティセンター	騎西	1	●	●	●	●			●							
49	コミセン	鴻茎コミュニティセンター	騎西	1	●	●	●	●										
50	コミセン	種足コミュニティセンター	騎西	1	●	●	●	●										
51	コミセン	北川辺コミュニティセンター	北川辺	2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
52	コミセン	豊野コミュニティセンター	大利根	2	●	●	●	●	●	●	●							
53	コミセン	原道コミュニティセンター	大利根	1	●	●	●	●	●									

事 業 名	民間施設バリアフリー化事業		
担 当 課	建築開発課	総合振興計画コード	1165-02
事業の目的	誰もが生活しやすい地域環境を形成するため、ユニバーサルデザインを推進する。		
事業の概要	・加須市バリアフリー条例及び埼玉県福祉のまちづくり条例に基づき、県と連携し、民間施設のバリアフリー化を推進する。		

事業の実績・成果

誰もが生活しやすい地域環境を形成するため、加須市バリアフリー条例、埼玉県福祉のまちづくり条例に基づく指導、助言等を行い、民間施設のバリアフリー化の推進を図った。

設計者への指導、助言等の状況　（単位：回）

区　　分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
指導・助言等の回数	20	29	17	17	14

事 業 名	市営住宅使用料収納対策事業		
担 当 課	建築開発課	総合振興計画コード	5212-07
事業の目的	市営住宅の使用料収納の適正化を図る。		
事業の概要	埼玉県住宅供給公社（管理代行）と連携し、督促、相談、指導等を行ない、収納率向上を図る。		

事業の実績・成果

市営住宅の家賃と駐車場使用料について、埼玉県住宅供給公社（管理代行）と連携し、督促、相談、指導等を行い、収納率の向上を図った。

家賃・駐車場使用料の収納状況　（単位：円）

区　　分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
調定額	現年度	34,882,400	33,346,800	33,472,700	34,096,500	34,681,700
	過年度	2,685,400	2,092,800	1,649,200	1,441,300	1,124,200
	計	37,567,800	35,439,600	35,121,900	35,537,800	35,805,900
収納額	現年度	34,706,800	33,124,000	33,277,800	34,026,800	34,554,600
	過年度	768,200	666,400	402,800	386,800	443,100
	計	35,475,000	33,790,400	33,680,600	34,413,600	34,997,700
不納欠損額		0	0	0	0	0
収納率（%）	現年度	99.49	99.33	99.41	99.79	99.63
	過年度	28.61	31.84	24.42	26.83	39.41
	計	94.43	95.34	95.89	96.83	97.74

事 業 名	マンション管理適正化推進事業		
担 当 課	建築開発課	総合振興計画コード	5212-10
事業の目的	分譲マンション及びその周辺における良好な居住環境の確保を図る。		
事業の概要	・加須市マンション管理適正化推進計画（計画期間：令和7年度～令和16年度・令和7年2月策定）を推進する。 ・加須市マンション管理計画認定制度（令和7年4月～）の周知を図る。		

事業の実績・成果

市内の分譲マンションの管理の適正化を推進するため、「加須市マンション管理適正化推進計画」及び「加須市マンション管理計画認定制度（※1）」について、マンション管理組合へパンフレットを配布し、周知を図った。

※1 一定基準を満たすマンションの管理計画について、加須市の認定を受けることにより、適正に管理されているマンションとして市場で高く評価されることが期待され、リフォーム融資等の優遇措置がうけられる制度。

配布先一覧〔市内分譲マンション・10戸/棟以上〕　（令和7年度末現在）

マンションNo.	棟No.	マンション名	棟名	住所	階数	構造※2	戸数	築年数
1	①	キャッスルマンション花咲		花崎1-30-4	4	RC造	24	36年
2	②	パレ･ドール花崎		花崎2-8-3	5	RC造	25	35年
3	③	花崎駅前ダイカンプラザ		花崎北1-19-4	6	RC造	73	32年
4	④	ライオンズガーデン花崎	A棟	花崎北2-16-1 （計699戸）	13	SRC造	111	35年
	⑤		B棟		3	RC造	12	
	⑥		C棟		14	SRC造	109	
	⑦		D棟		5	RC造	19	
	⑧		E棟		14	SRC造	94	
	⑨		F棟		14	SRC造	109	
	⑩		G棟		5	RC造	19	
	⑪		H棟		14	SRC造	109	
	⑫		I棟		5	RC造	19	
	⑬		J棟		12	SRC造	98	
5	⑭	SSKグリーンパーク加須		土手1-12-3	11	S造	80	34年
6	⑮	イトーピアリビエルコート		旗井1994-7	14	RC造	184	33年
7	⑯	グラン･コート花崎		花崎北1-15-1	6	RC造	38	16年

（計　16棟）　（計　1，123戸）

※2 凡例 S造:鉄骨造、RC造:鉄筋コンクリート造、SRC造:鉄骨鉄筋コンクリート造

事 業 名	南北幹線道路整備促進事業		
担 当 課	道路公園課	総合振興計画コード	5223-01
事業の目的	便利で暮らしやすいまちをつくるため、国・県道を含めた市内の幹線道路による交通ネットワークの構築を推進するとともに、市内を南北に結ぶ幹線道路の整備を行う。		
事業の概要	踏切による慢性的な交通渋滞を解消するため、ルートの検証や効率的な整備促進について検討を進めるとともに、関係機関への要望活動を実施する。		

事業の実績・成果

南北幹線道路の整備を促進し、市内の道路ネットワークを強化するため、慢性的な交通渋滞が発生している県道北中曽根北大桑線と東武伊勢崎線が交差する花崎踏切の立体化等の渋滞解消に向けた取組みについて、埼玉県と調整を図った。

事 業 名	道路網整備計画策定事業		
担 当 課	道路公園課	総合振興計画コード	5224-01
事業の目的	企業などの社会経済活動や市民の日常生活を支え、便利で暮らしやすいまちをつくるため、国・県道を含めた市内の幹線道路による交通ネットワークの構築を推進する。		
事業の概要	・「加須市道路網整備計画（計画期間：R3～R12 の 10 年間）」の策定。 ・社会情勢や交通事情の変化に合わせ、定期的（おおむね 5 年）に見直しを行う。		

事業の実績・成果

加須市の道路整備の総合的な計画として、第 2 次加須市総合基本計画の関連計画に位置付けた「加須市道路網整備計画」（令和 3 年 2 月策定）」について、本市を取り巻く社会情勢や国県道整備の進捗による道路状況の変化等への対応、及び効果的・効率的に道路整備を推進し、国県道も含めた市内全体の道路ネットワークの構築を更に進めるため、令和 7 年 12 月に改訂を行った。

事 業 名	道路網整備計画進行管理事業		
担 当 課	道路公園課	総合振興計画コード	5224-02
事業の目的	企業などの社会経済活動や市民の日常生活を支え、便利で暮らしやすいまちをつくるため、国・県道を含めた市内の幹線道路による交通ネットワークの構築を推進する。		
事業の概要	「加須市道路網整備計画」の適正な進行管理を行う。		

事業の実績・成果

令和 3 年 2 月に策定した「加須市道路網整備計画」（計画期間：令和 3 年度から令和 12 年度）に位置付けた各施策を推進するため、取組内容について令和 6 年度の状況を取りまとめ進行管理を行った。

事 業 名	都市計画道路整備事業		
担 当 課	道路公園課	総合振興計画コード	5224-09
事業の目的	地域の特性を活かし、秩序ある整備と発展を目指すため、計画的な都市計画道路の整備を推進する。		
事業の概要	・県の方針に基づく都市計画道路の見直し路線の検討 ・都市計画道路見直し路線の選定・決定 ・計画的な都市計画道路の整備		

事業の実績・成果

事業実施中の都市計画道路について、計画的な整備及び早期の供用開始に向けて、埼玉県や警察等の関係機関と協議・調整を行った。

○事業実施中の都市計画道路
- 都市計画道路国道 125 号バイパス （一般国道 125 号加須羽生バイパス）
- 都市計画道路下高柳道地線 （一般県道久喜騎西線バイパス）
- 都市計画道路幸手久喜加須線 （一般県道久喜騎西線バイパス）
- 都市計画道路栗橋大利根加須線 （主要地方道羽生栗橋線バイパス）

事 業 名	橋りょう整備計画進行管理事業		
担 当 課	道路公園課	総合振興計画コード	5225-02
事業の目的	橋りょう整備計画は、橋りょうの長寿命化及び耐震化という目的の違う 2 つの事業を実施することにより、市民が安全で安心して通行できる道路橋の確保を図るとともに、「防災のまちづくり」の実現を図る。		
事業の概要	令和 6 年度に改訂した「加須市橋りょう整備計画」及び「加須市橋りょう長寿命化修繕計画」による長寿命化や耐震化の進捗に併せた進行管理を行う。		

事業の実績・成果

「加須市橋りょう整備計画」及び「加須市橋りょう長寿命化修繕計画」に基づき、橋りょうの長寿命化修繕工事の進行管理を行った。

○令和 7 年度実績
- 長寿命化工事数 ： 2 橋
- 長寿命化設計数 ： 2 橋
- 橋りょう点検数 ： 77 橋（うち職員よる点検数：26 橋）

事 業 名	道路・公園等ウォッチャー事業		
担 当 課	道路公園課	総合振興計画コード	5226-01
事業の目的	効率的・効果的な公共施設の補修等の実施により、公共施設利用者の安全性の向上を図る。		
事業の概要	市民には市報かぞで、民間企業等には依頼文で、市職員には依頼文をグループウェアに掲載することで、道路・水路・公園・駅前広場などの公共施設の損傷箇所や危険箇所の情報提供を依頼する。寄せられた情報を取りまとめ、各施設の所管課で速やかに修繕等の対応を行う。		

事業の実績・成果

市民・民間企業等関係機関・市職員から寄せられた情報を基に、各施設の所管課で速やかに修繕等の対応を行った。

○情報提供の依頼

・広報かぞへの掲載（令和7年4月1日号、令和7年10月1日号、令和8年3月1日号）

○情報提供・対応件数　（単位：件）

危険箇所等の内訳	加須地域	騎西地域	北川辺地域	大利根地域	合　計
駅前広場、都市公園・遊具等	62	22	13	27	124
道路、側溝、橋梁等	602	84	91	142	919
河川、水路、調整池等	53	19	50	27	149
防犯灯、道路照明灯、道路反射鏡、路面標示等	181	60	21	20	282
その他（県の管轄等）	74	8	17	26	125
合　計	972	193	192	242	1,599

事 業 名	「お花が池」自然環境保全事業		
担 当 課	地域振興課（大利根）	総合振興計画コード	4212-04
事業の目的	地域特有の豊かな水辺や緑などの自然環境やそこに生息する様々な生物種の減少を最小限にとどめるため、絶滅危惧種指定の希少生物が生息する「お花が池」の保全に努める。		
事業の概要	野中地区まちづくりプランとの整合を図るための調整を行うほか、周辺住民による草刈等の活動、自然保護団体による自然観察会や自然保護団体、周辺自治協力団体との間で定期的な会議を開催する。また、貴重な自然を住民に周知するための環境学習を実施する。		

事業の実績・成果

1　お花が池の保全活動

（1）埼玉県生態系保護協会加須支部による継続的な観察

生態系保護協会加須支部の会員が毎月 1 回お花が池の調査を実施し、観察された動植物の記録を行った。

（2）地元住民の協力による池周辺の草刈り及びごみ拾い

お花が池周辺の草刈り及びゴミ拾いを随時実施した。

（3）お花が池紹介掲示板を活用した情報提供

平成 26 年度に設置したお花が池紹介掲示板を利用し、生態系保護協会加須支部が実施した調査の結果などを掲示し、情報提供を行った。

（4）元和小学校児童に対する環境学習

・目的　お花が池に生息する希少な動植物の観察をとおして、身近に残された貴重な自然環境を知るとともに、その生態系の保護について考える機会とする。

・対象　第 5 学年

・日時　〇座学　令和 7 年 6 月 17 日　午前 9 時 25 分～午前 10 時 10 分

【内容】「お花が池・トンボの生態系」について、生態系保護協会加須支部の講師が写真や教材を使いながら講話を実施。

〇実地　令和 7 年 6 月 24 日　午前 9 時 00 分～午前 9 時 45 分

【内容】「アナゴかごで捕獲した生物の観察」、「お花が池の生態系や特定外来生物の生息実態」という内容で、生態系保護協会加須支部の協力のもと、実地で授業を実施。

（5）埼玉県生態系保護協会加須支部による外来生物の防除

役員による外来生物防除作業を月 1 回行った。

（令和 7 年 5 月 11 日、6 月 24 日、9 月 13 日、10 月 11 日及び 2 月 14 日に
アカミミガメ他外来種を捕獲。）

（6）お花が池自然観察会の実施

令和 7 年 4 月 12 日、令和 8 年 2 月 14 日に、お花が池自然観察会を実施し、生息する野鳥や野草を観察することで生態系について学ぶ機会を提供した。

2　お花が池の保全活動に係る周知ついて

（1）保護団体、地元自治協力団体代表者との定期的な意見交換（資料の配布のみ実施）

地元自治協力団体代表者(北下新井野中中央地区)に対して年間活動報告書を提出した。

事 業 名	栗橋駅西（大利根地区）土地区画整理事業		
担 当 課	農政建設課（大利根）	総合振興計画コード	5212-09
事業の目的	住み良い快適な居住環境の創造と宅地の利用増進を図るため、土地区画整理事業を実施する。		
事業の概要	清算金の分割徴収及び滞納整理を行う。		

事業の実績・成果

・ 平成28年12月16日換地処分を行い、平成29年度から清算金の徴収を開始したため、分割納付期限の令和9年5月31日まで徴収を行う。

分割徴収に係る滞納分について、催告及び自宅訪問等を実施したが、令和7年度は徴収できなかった。

○栗橋駅西（大利根地区）清算金徴収状況 （単位：円）

徴収方法	徴収額	徴収済額	滞納額	収納率
一括徴収	117,367,049	117,367,049	0	100%
分割徴収	27,419,082	26,305,910	1,113,172	95.9%
合　　計	144,786,131	143,672,959	1,113,172	99.2%

○清算金年度別徴収済額 （単位：円）

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
徴収済額	2,805,215	1,246,921	30,000	0	0

事 業 名	加須市人づくりプラン策定事業		
担 当 課	教育総務課	総合振興計画コード	2211-01
事業の目的	「加須市総合振興計画」及び「加須市人づくり宣言～教育大綱～」との整合を図りながら、本市の教育を総合的かつ計画的に推進するため、「第3次加須市人づくりプラン」を策定する。		
事業の概要	令和8年度から令和12年度までの5年間を計画期間とする「第3次加須市人づくりプラン」を策定する。		

事業の実績・成果

「家族・地域の絆を大切に、生きる力を醸成する」を基本理念に、本市の教育を総合的かつ計画的に推進するため、令和8年度から令和12年度までを計画期間とする「第3次加須市人づくりプラン」を策定した。

事 業 名	加須市人づくりプラン進行管理事業		
担 当 課	教育総務課	総合振興計画コード	2211-02
事業の目的	・「加須市人づくり宣言～教育大綱～」の基本理念である家族・地域の絆を大切に、生きる力を醸成し、三つの目指すべき市民の姿を実現させる。		
事業の概要	・「加須市人づくりプラン」の施策を的確に実施するよう、進行管理を行う。		

事業の実績・成果

「加須市人づくり宣言～教育大綱～」を踏まえ、令和3年3月に策定した「第2次加須市人づくりプラン」に位置付けた各施策を推進するため、令和6年度の実施状況とその評価を取りまとめ、進行管理を行った。

事 業 名	余裕教室等活用事業		
担 当 課	生涯学習課	総合振興計画コード	2311-12
事業の目的	余裕教室等の有効活用を図り、地域住民の学習と交流の場として提供し、開かれた学校づくりを進める。		
事業の概要	各小中学校（全 30 校）における余裕教室等を、登録許可制により市民団体の活動の場として提供し有効活用する。		

事業の実績・成果

令和 7 年度実績

・余裕教室等（一時利用可能教室）…市内公立小学校 3 校 3 教室
3 校（志多見小、北川辺西小、北川辺東小）

・活用実績…なし

事 業 名	子ども読書活動推進計画進行管理事業		
担 当 課	図書館課	総合振興計画コード	2314-02
事業の目的	家庭・学校・地域・図書館等が連携・協働のもと、子どもの自主的な読書活動を推進し、読書をとおして心豊かな子どもの成長を図る。		
事業の概要	庁内関係課による子ども読書活動推進会議において、事業の進捗状況を確認検証する。 また、図書館協議会において、検証結果について意見を求め、事業の推進を図る。		

事業の実績・成果

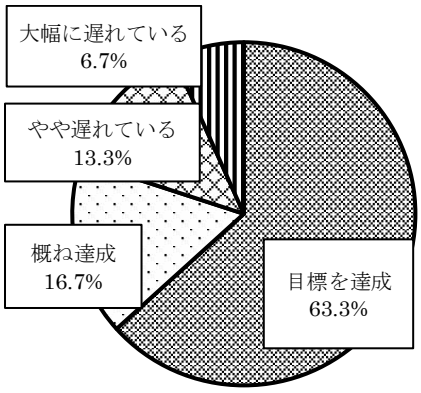
第4次計画（計画期間：令和5年度～令和9年度）の進捗状況について、庁内関係課の計画に対する取組及び進捗状況を把握し、加須市子ども読書活動推進会議（書面会議）及び加須市立図書館協議会を開催し、その結果を加須市立図書館協議会に諮り公表した。

1　第4次子ども読書活動推進計画の令和6年度評価結果

基本方針	施策	施策の柱	評価項目数に占める 1　目標達成 2　概ね達成の割合	評価項目数
Ⅰ年齢・発達に応じた読書活動の推進	1　乳幼児に向けた読書活動の推進	(1)家庭における読書活動の推進	83.3%	6
		(2)保育所・幼稚園・子育て支援施設等における読書活動の推進	71.4%	7
		(3)図書館における読書活動の推進	33.3%	3
	2　小中学生に向けた読書活動の推進	(1)家庭における読書活動の推進	100.0%	3
		(2)小中学校における読書活動の推進	90.9%	11
		(3)図書館における読書活動の推進	85.7%	7
	3　青少年に向けた読書活動の推進	(1)図書館における読書活動の推進	100.0%	3
Ⅱ子どもが読書に親しむ推進体制の充実	1　読書環境の整備と充実	(1)資料活用に関する取組	83.3%	6
		(2)読書環境の整備に関する取組	80.0%	5
	2　協働・連携による読書活動の推進	(1)地域における読書活動の推進	100.0%	3
		(2)関係機関との連携強化	50.0%	6
合　　計				60

2　評価結果の概要

区分	具体的取組項目数	割合
1　目標を達成	38	63.3%
2　概ね達成	10	16.7%
3　やや遅れている	8	13.3%
4　大幅に遅れている	4	6.7%
合　　計	60	100.0%



事 業 名	図書館まつり開催事業		
担 当 課	図書館課	総合振興計画コード	2314-07
事業の目的	図書館やボランティア団体等の活動内容を周知し、利用への関心を高め、図書館利用者の増加と読書の推進を図る。		
事業の概要	図書館利用への関心を高め、利用者の増加と読書の推進を図るためのイベント等を実施する。 市民から寄贈を受けた本及び図書館で除籍された図書及び雑誌のリサイクル活用を目的とした古本市や、ボランティアによるおはなし会などを開催する。		

事業の実績・成果

令和 6 年度に引き続き、観光大使で絵本作家のまつながもえ氏による絵本の読み聞かせ＆ミニトークや、各館で著書に関する展示を行った。また、工作教室や工夫を凝らしたフォトスポットの設置、ボランティアとこども司書との協働によるおはなし会等、親子で楽しめるイベントの充実によって、参加者の図書館に対する関心を高めるとともに、読書の楽しみを伝えることができた。

1　令和 7 年度の開催状況

	開催日 【参加者数】	主な催し物
加須図書館	11 月 22 日(土) 【1,282 人】	・絵本作家まつながもえさんによる絵本の読み聞かせ＆ミニトーク ・図書館でゲーム？ ・フォトスポット「こけしのゆ」 ・工作教室「クリスマス飾りをつくろう」
騎西図書館	11 月 1 日（土） 【884 人】	・ボランティア＆こども司書によるおはなし会 ・書庫見学ツアー ・フォトスポット「赤ずきん、オオカミ、猟師の衣装」 ・工作教室「鈴おとしをつくろう」
北川辺図書館	10 月 25 日(土) 【473 人】	・金魚つりゲーム ・古本市 ・フォトスポット「ハロウィンの背景とカボチャや魔女の被り物」 ・工作教室「百面相のおもちゃをつくろう」
おおとね図書館	11 月 8 日（土） 【463 人】	・トーンチャイムさくら演奏 ・きくちゃんぬりえ ・フォトスポット「ヘンゼルとグレーテルの衣装」 ・工作教室「クリスマスオーナメントをつくろう」


まつながもえ氏による
絵本の読み聞かせ＆ミニトーク


こども司書によるおはなし会


古本市

2　参加者の推移　（単位：人）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
加須図書館	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	788	1,065	1,156	1,282
騎西図書館		643	1,103	883	884
北川辺図書館		760	514	503	473
おおとね図書館		451	433	448	463
計		2,642	3,115	2,990	3,102

事業名	加須市学校教育推進計画進行管理事業		
担当課	学校教育課	総合振興計画コード	2211-04
事業の目的	・「加須市学校教育推進計画～加須市子ども伸び伸びプラン～」の基本理念である「夢を育み未来を拓く人づくり」を実現させる。		
事業の概要	・「加須市学校教育推進計画～加須市子ども伸び伸びプラン～」の施策を的確に嫉視するよう、進行管理を行う。		

事業の実績・成果

基本理念の「 夢を育み未来を拓く人づくり 」を中核に、4つの基本目標のもと、下表のとおり、取組を展開している。

基本目標1：自ら学ぶ力と確かな学力の育成（知）　※数値の単位は%

施策	指標内容		現状値(令和7年度)	目標値(令和7年度)
一人一人を伸ばす教育の推進 教職員の資質能力の向上 特別支援教育の推進 学を支える経済支援 自立する力の育成	全国学力・学習状況調査	小6国語	95.6	県平均比101%以上 小6：国語、算数 中3：国語、数学 英語
		小6算数	93.1	
		中3国語	94.5	
		中3数学	86.0	
		中3英語	実施なし	
	埼玉県学力・学習状況調査	小6国語	97.1	県平均比101%以上 小4～中1：国語、算数 中2～中3：国語、数学 英語
		小6算数	99.8	
		中3国語	95.6	
		中3数学	93.4	
		中3英語	90.6	
	（県学調）「月に読む本が3冊以上」		43.9(小6)　23.0(中3)	70.0(小6)　40.0(中3)
	（県学調）「将来の夢や目標をもっている」		87.5(小6)　67.8(中3)	90.0(小6)　80.0(中3)

基本目標2：豊かな心を育む取組の推進（徳）　※数値の単位は%

施策	指標内容	現状値(令和7年度)	目標値(令和7年度)
いじめ対策の充実 教育相談の充実 人権教育の推進	いじめの解消率	73.1(小)　74.1(中)	100(小)　100(中)
	不登校児童生徒の割合	1.4(小)　8.2(中)	0(小)　0(中)
	（県学調）「自分にはよいところがある」	77.5(小6) 76.1(中3)	85(小6)　85(中3)
	（全国学調）「人が困っていたら進んで助ける」	95.2(小6) 91.8(中3)	95(小6)　95(中3)

基本目標3：安全で安心な学校給食の提供と健やかな体を育む取組の推進（体）　※数値の単位は%

施策	指標内容	現状値(令和7年度)	目標値(令和7年度)
安心・安全な給食の提供 健康の保持増進と食育の推進	給食アンケート「給食は好き」	98.3(小中)	97.0(小中)
	食べ残し量と廃棄割合率	32,203kg ／ 2.8%	24,000kg ／ 2.0%
	（全国学調）「朝食を食べている」	91.1(小6) 88.2(中3)	100(小6) 100(中3)
	虫歯処置率	83.5(小)　90.2(中)	100(小6) 100(中3)
	体力調査「運動やスポーツが好き」	88.2(小5) 81.9(中2)	95.0(小5) 90.0(中2)

基本目標4：家庭や地域で健やかな子どもを育む取組の推進（絆）　※数値の単位は%

施策	指標内容	現状値(令和7年度)	目標値(令和7年度)
学校・家庭・地域が一体となった絆づくりの推進	（県学調）「自ら進んであいさつ」	87.6(小6) 86.4(中3)	90.0(小6) 85.0(中3)

事 業 名	市職員マンパワー活用事業		
担 当 課	学校教育課	総合振興計画コード	2211-19
事業の目的	地域密着型教育の推進のために、市職員が有する専門的知識、技術等を学校教育に活用し、教育活動の充実をめざす。		
事業の概要	市内の公立小・中学校及び幼稚園（以下「小・中学校等」という。）からの要請に基づき、市職員を講師として、小・中学校等へ派遣し、市職員が有する専門的知識、技能等を活用した教科等の学習活動の支援及び教職員研修等を行う。		

事業の実績・成果

1　活用状況

1	5月20日	元和小学校	4年生環境学習講座
2	6月12日	大越小学校	防災･安全
3	6月23日 10月27日	花崎北小学校	防災･安全
4	9月9日	原道小学校	防災･安全
5	11月1日	北川辺西小学校	プロフェッショナル体験講師
6	12月4日	鴻茎小学校	保健指導(生命尊重)
7	1月20日	大越小学校 樋遣川小学校	保健指導(生命尊重)
8	3月5日	三俣小学校	保健指導(生命尊重)

2　成果

専門的な知識を得ることで、児童生徒等の興味･関心が高まり、価値の高い研修や事業との評価を得ることができた。

事 業 名	学校グリーンカーテン事業		
担 当 課	学校教育課	総合振興計画コード	2211-22
事業の目的	環境問題に真剣に取り組む幼児、児童生徒を育成するために、具体的かつ体験的な環境学習を実施する。		
事業の概要	市立各幼稚園及び小・中学校の壁面や花壇等を活用し、ゴーヤやヘチマ等を栽培してネットにはわせ、校（園）舎南側にグリーンカーテンをつくる。また、小・中学校における学校ファームを活用した活動を推進する。		

事業の実績・成果

1　実績

小学校３校において、校舎等の壁面や花壇等を利用し、ゴーヤやヒョウタン、ヘチマ等を栽培してネットにはわせ、校舎南側にグリーンカーテンを作った。

2　成果

・各教科・領域等、多面的な学習の機会として各園、各校で実施し、その中で、児童生徒が主体的に取り組む姿が多く見られた。学校によっては、児童会活動や生徒会活動との関連で事業の充実を図っていた。
・ヒョウタンやヘチマの実を活用し、環境教育の充実を図る中で、実を工作の材料としたり実から取り出した種を観察したりするなど、園や学校それぞれの創意工夫を凝らした取組を行う状況が見られる。

事 業 名	地域密着型教育広報事業		
担 当 課	学校教育課	総合振興計画コード	2215-02
事業の目的	地域密着型教育を進展させるために、学校等の情報を広く地域に広報することを目指す。		
事業の概要	各学校のホームページ及び庁舎内の掲示コーナーを活用して、各学校（園）の教育活動を市民へ公開し、学校教育に対する理解を深める。		

事業の実績・成果

1　みて　わかる「地域密着型教育」掲示コーナー

・庁舎内　3階「教育委員会前壁面」・・・・・ 9点
　　1階「正面玄関前」・・・・・・・・ 2点
　　1階「高齢介護課前」・・・・・・・ 1点
　　1階「こども保育課前」・・・・・・ 1点

展示場所をローテーションしながら、常時13点のパネルを展示し、学校（園）で取り組んでいるさまざまな特色ある教育活動について、市民に対して広報している。年間を通して、538点のパネルを展示した。

・騎西総合体育館：騎西地域の5小学校1中学校のパネルを常時展示

・大利根文化・学習センター：大利根地域の4小学校1中学校のパネルを常時展示

・北川辺文化・学習センター：北川辺地域2小学校1中学校1幼稚園のパネルを常時展示

2　ホームページ

すべての小中学校でホームページを作成し、随時更新しながら学校経営の方針や教育活動の様子を広く周知した。

・学校教育課ホームページの更新：情報が市民に対して、見やすく分かりやすく伝わるように、ホームページの内容を更新。

事 業 名	給食費収納対策事業		
担 当 課	学校給食課	総合振興計画コード	2213-06
事業の目的	保護者からの学校給食費の収納を確実に行うことにより学校給食提供に係る財源を確保する。		
事業の概要	保護者に給食費納入の重要性について説明をする。 収納状況を正確に把握する。 学校と連携し、滞納家庭に納入を督促する。 必要に応じて面談や臨宅徴収を行う。		

事業の実績・成果

・滞納家庭に対して、電話による催促や相談、督促の通知、臨宅による徴収等を計画的に行うとともに、学校と連携を密にし、児童手当から学校給食費の徴収を実施した結果、現年分（令和７年度）の収入未済額は 94,918 円となった。

1　現年分

区分	令和３年度		令和４年度		令和５年度	
	収入未済額(円)	収納率(%)	収入未済額(円)	収納率(%)	収入未済額(円)	収納率(%)
小学校	68,022	99.97	22,800	99.98	48,490	99.97
中学校	27,790	99.98	0	100.00	127,600	99.85
幼稚園	0	100.00	0	100.00	0	100.00
計	95,312	99.98	22,800	99.99	176,090	99.93

区分	令和６年度		令和７年度	
	収入未済額(円)	収納率(%)	収入未済額(円)	収納率(%)
小学校	17,171	99.99	11,400	99.99
中学校	114,400	99.86	83,518	99.89
幼稚園	0	100.00	0	100.00
計	131,571	99.94	94,918	99.96

2　滞納繰越分

区分	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
調定額(円)	237,478	95,312	22,800	176,090	131,571
収入済額(円)	237,478	95,312	22,800	176,090	131,571
不納欠損額(円)	0	0	0	0	0
収入未済額(円)	0	0	0	0	0
収納率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00